

# 御浜町のまちづくりに関する アンケート調査結果報告書

令和6年8月  
御 浜 町



# 目次

I. 調査の概要及び回答者の属性	3
1. 調査の概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査概要及び回収率等	3
(3) 本調査結果報告書の留意点	3
2. 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 職業・産業分類	5
(4) 就学先・勤務先	5
(5) 居住歴・出身地	6
(6) 居住地区	6
II. 調査結果(御浜町のまちづくりに関するアンケート調査)	9
1. 愛着度・定住意向について	9
(1) 愛着度について	9
(2) 今後の定住意向について	12
(3) 住み続けたい理由	14
(4) 住みたくない理由	16
2. まちの現状と今後の取り組みについて	18
(1) まちの各環境に対する満足度	18
(2) まちの各環境に対する重要度	37
(3) 今後のまちづくりの特色について	55
3. 若者定住対策について	58
4. 防災対策について	61
(1) 防災対策で必要なこと	61
(2) 災害への備え対策について	63
5. 高齢者福祉について	67
6. 行政サービスについて	70
7. コミュニティ活動、参画・協働について	71
(1) コミュニティ活動（地域活動）等への参加状況と参加意向	71
(2) 参加したいコミュニティ活動（地域活動）等	74
(3) コミュニティ活動（地域活動）等に参加しない理由	77
(4) 町民参画・協働のために必要なこと	79
8. 日頃の行動について	82
(1) 生涯学習活動について	82
(2) スポーツ活動について	84
(3) 健康増進について	86
(4) かかりつけ医について	94
(5) 地域福祉活動について	96
(6) 地域とのつながりについて	98
III. 調査結果(御浜町の暮らしやすさの幸福度に関するアンケート調査)	103
1. 暮らしやすさの幸福度について	103
(1) 生活環境について	103
(2) 地域の間人関係について	123
(3) 自分らしい生き方について	143
(4) 幸福度について	156

(5) 地域幸福度 (Well-Being) 指標について.....	165
------------------------------------	-----

## I . 調査の概要及び回答者の属性



# I. 調査の概要及び回答者の属性

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、第6次御浜町総合計画の中間見直しを行い、令和8年度から令和12年度の5年間のまちづくりを進めるための後期基本計画の策定に向け、今後の定住意向をはじめ、各分野の満足度・重要度、今後のまちづくりの方向、若者の定住対策、防災対策、高齢者福祉など、町民の意識構造の実態把握を目的に実施しました。

### (2) 調査概要及び回収率等

	内 容
調 査 対 象	18 歳以上の町民
抽 出 法	無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
調 査 方 法	郵送による配布・回収及び Web 回答
調 査 時 期	令和6年7月
配 布 数	2,000
有効回収数	791
有効回収率	39.6%

### (3) 本調査結果報告書の留意点

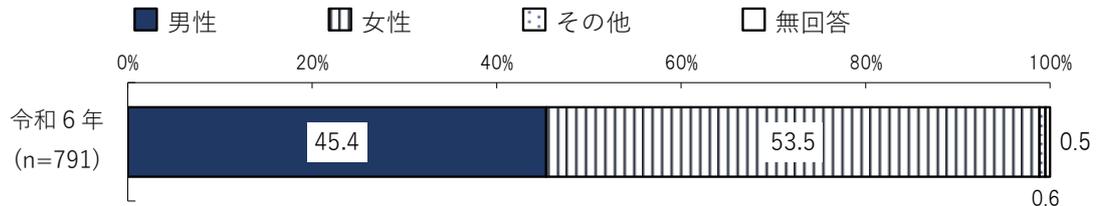
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要があります。

- 比率は百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、選択肢の各比率は基礎となる実数全体を100%として算出しています。
- 質問の終わりに【複数回答】とある設問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい設問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 設問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、また、回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれます。

## 2. 回答者の属性

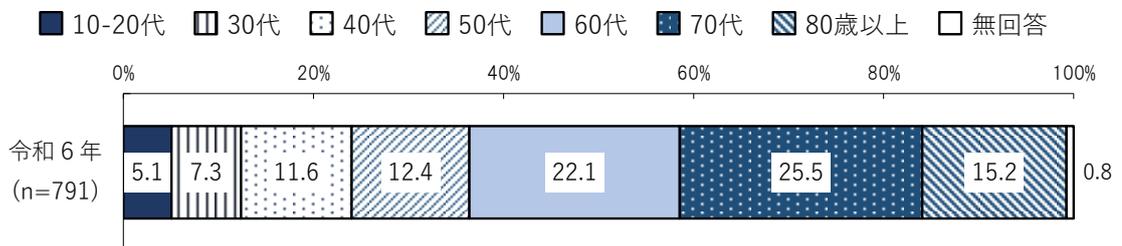
### (1)性別

回答者の性別は、「女性」が 53.5%と最も高く、次いで「男性」(45.4%)、「その他」(0.6%) となっています。



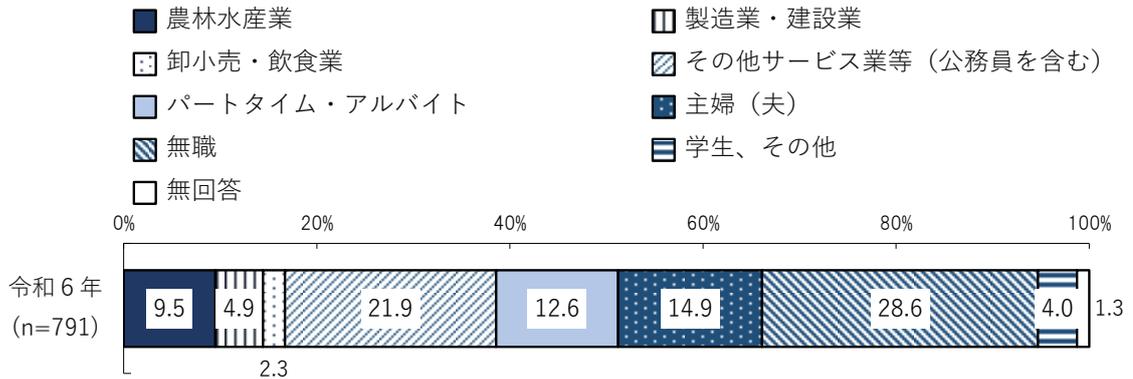
### (2)年齢

回答者の年齢は、「70代」が 25.5%と最も高く、次いで「60代」(22.1%)、「80歳以上」(15.2%)、「50代」(12.4%)、「40代」(11.6%)、「30代」(7.3%)、「10-20代」(5.1%) の順となっています。

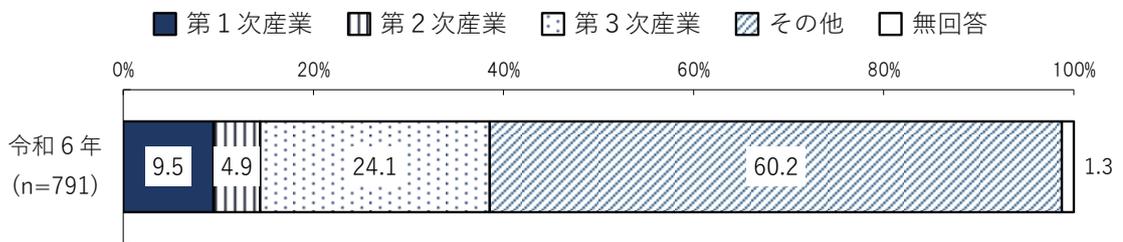


### (3) 職業・産業分類

回答者の職業をみると、「無職」が 28.6%と最も高く、次いで「**その他サービス業等（公務員を含む）**」(21.9%)、「**主婦（夫）**」(14.9%)、「**パートタイム・アルバイト**」(12.6%)、「**農林水産業**」(9.5%)、「**製造業・建設業**」(4.9%)、「**学生、その他**」(4.0%)、「**卸小売・飲食業**」(2.3%)の順となっています。

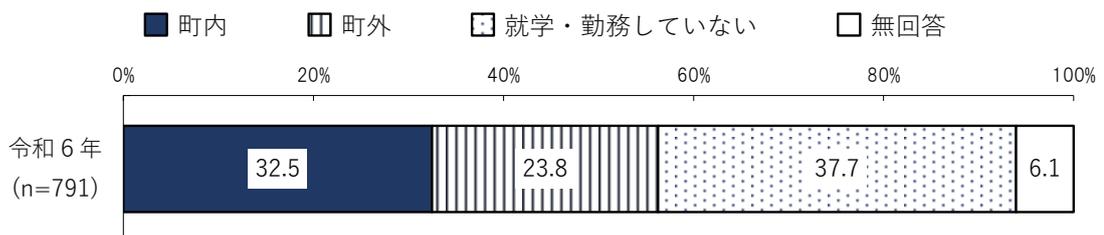


回答者の職業を産業分類でみると、「**第3次産業**」が 24.1%と最も高く、次いで「**第1次産業**」(9.5%)、「**第2次産業**」(4.9%)の順となっています。



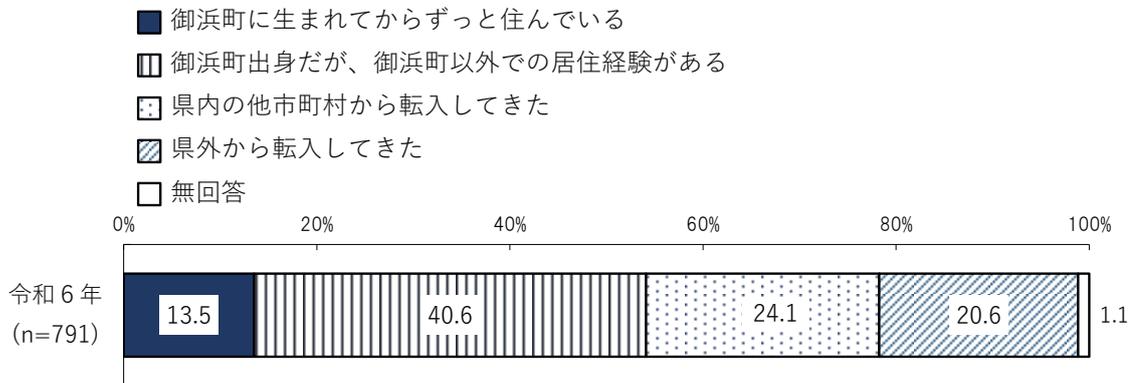
### (4) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「**就学・勤務していない**」が 37.7%と最も高く、次いで「**町内**」(32.5%)、「**町外**」(23.8%)の順となっています。

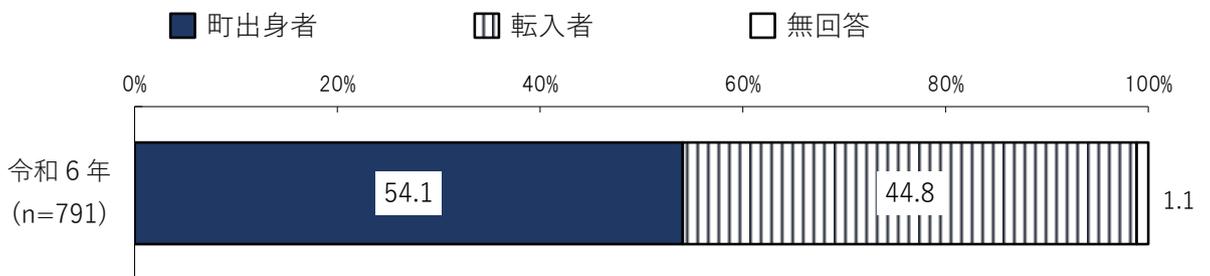


## (5) 居住歴・出身地

回答者の居住歴は、「御浜町出身だが、御浜町以外での居住経験がある」が40.6%と最も高く、次いで「県内の他市町村から転入してきた」(24.1%)、「県外から転入してきた」(20.6%)、「御浜町に生まれてからずっと住んでいる」(13.5%)となっています。

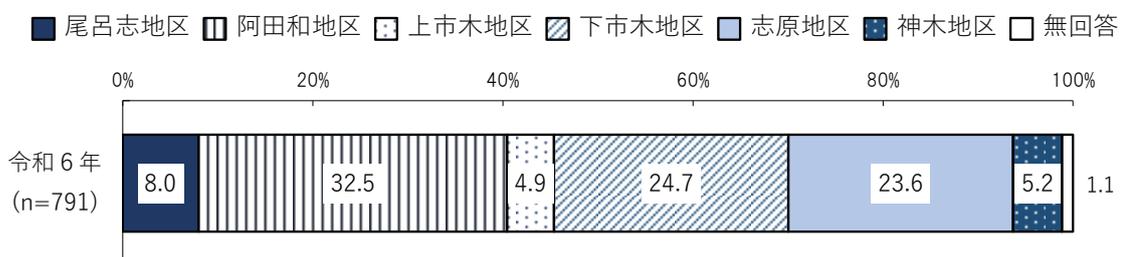


回答者の居住歴を「町出身者」(「御浜町に生まれてからずっと住んでいる」及び「御浜町出身だが、御浜町以外での居住経験がある」)、「転入者」(「県内の他市町村から転入してきた」及び「県外から転入してきた」)に区分すると、「町出身者」が54.1%、「転入者」が44.8%となっています。



## (6) 居住地区

回答者の居住地区は、「阿田和地区」が32.5%と最も高く、次いで「下市木地区」(24.7%)、「志原地区」(23.6%)、「尾呂志地区」(8.0%)、「神木地区」(5.2%)、「上市木地区」(4.9%)となっており、令和2年国勢調査結果の地区別人口比率とほぼ同じとなっています。



## II. 調査結果

(御浜町のまちづくりに関するアンケート調査)



## Ⅱ. 調査結果(御浜町のまちづくりに関するアンケート調査)

### 1. 愛着度・定住意向について

---

#### (1) 愛着度について

問2 あなたは、御浜町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

■『愛着を感じている』は67.5%。「どちらともいえない」は20.7%、『愛着を感じていない』は11.1%。

---

御浜町に対する愛着をたずねたところ、愛着を「感じている」が38.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が29.1%で続き、これらをあわせた愛着を『感じている』という人が67.5%となっています。これに対して、『愛着を感じていない』（「どちらかといえば感じていない」5.9%及び「感じていない」5.2%の合計）は11.1%にとどまります。なお、「どちらともいえない」は20.7%となっています。

また、愛着を『感じている』割合は令和2年調査の2.4ポイント微増しています。

性別で『愛着を感じている』と回答した割合をみると、男性で73.8%、女性で63.4%と、男性が7割超、女性は6割台半ばとなっています。

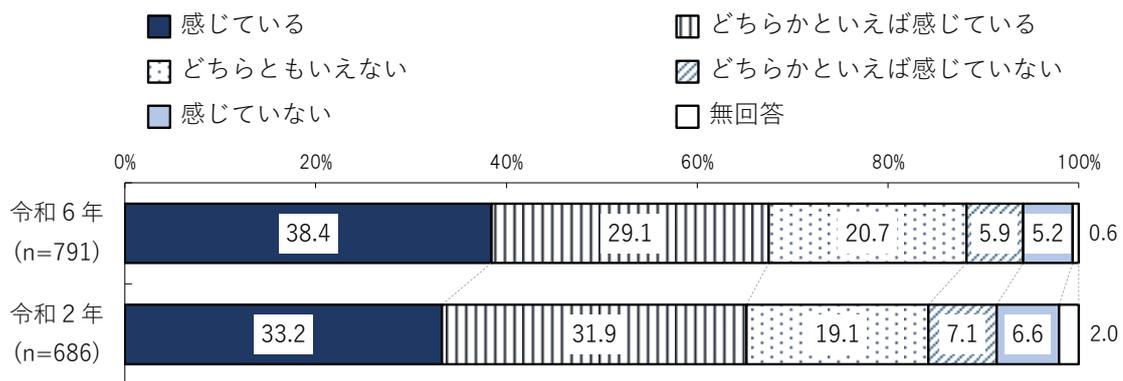
年齢別で『愛着を感じている』と回答した割合をみると、80歳以上（80.9%）で最も多く、次いで50代（72.4%）、70代（69.3%）、60代（66.3%）、40代（60.9%）が続き、10-20代（57.5%）と30代（53.4%）では5割台半ばとなっています。

産業分類別で『愛着を感じている』と回答した割合をみると、第1次産業で84.0%と8割を超え、最も多い割合となっています。

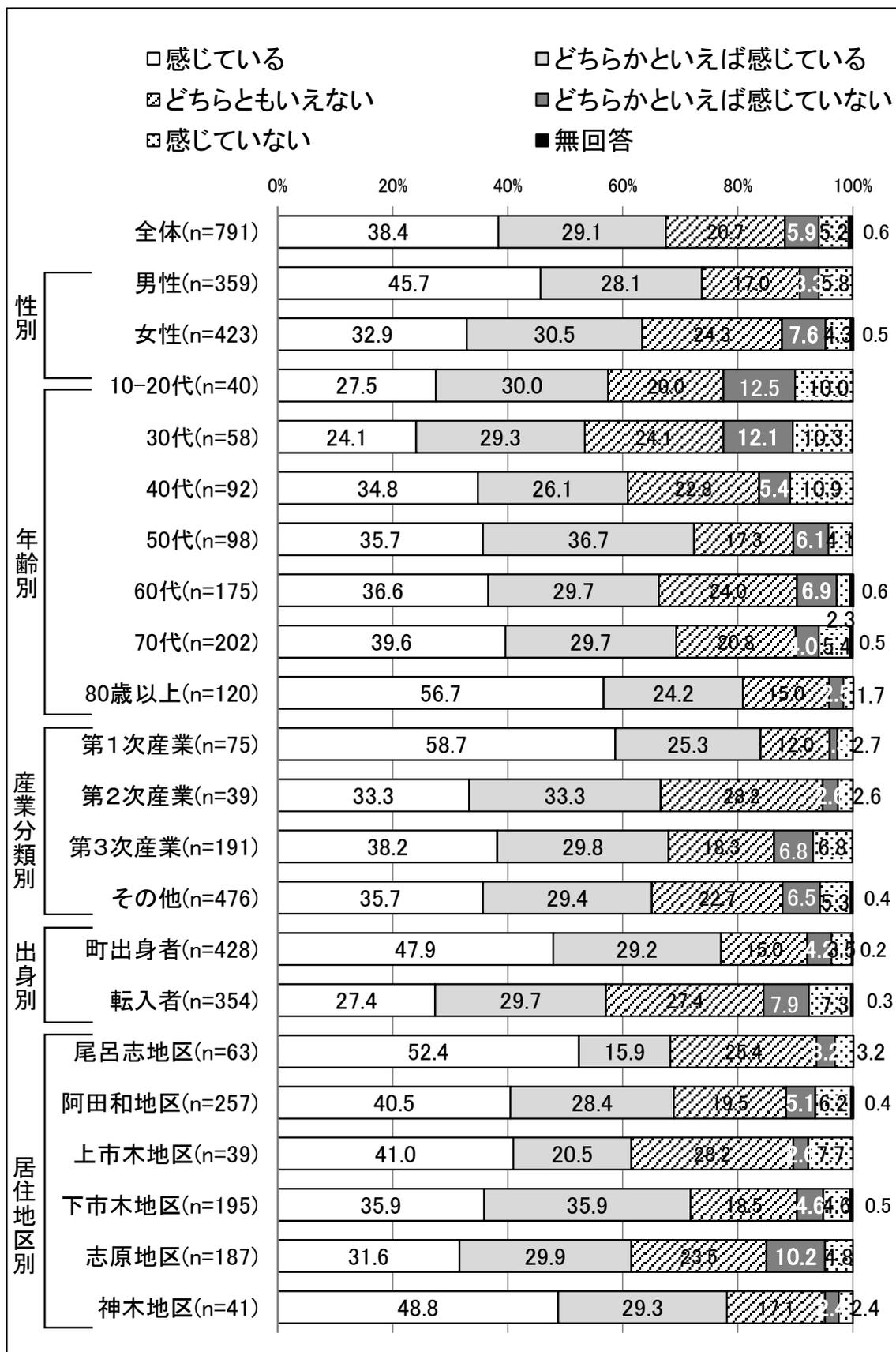
出身別別で『愛着を感じている』と回答した割合をみると、出身者が77.1%と、転入者の57.1%を大きく上回ります。

居住地区別で『愛着を感じている』と回答した割合をみると、神木地区で78.1%と最も多く、次いで下市木地区（71.8%）、阿田和地区（68.9%）、尾呂志地区（68.3%）、上市木地区（61.5%）、志原地区（61.5%）の順となっています。

### 愛着度について（全体）



愛着度について（全体、性別、年齢別、産業分類別、出身別、居住地区別）



## (2) 今後の定住意向について

問3① あなたは、今後も御浜町に住み続けたいと思いますか。

■『住み続けたい』は73.1%。「どちらともいえない」は14.4%、『住みたくない』は11.0%。

今後も御浜町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」が47.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が25.2%で続き、これらをあわせた73.1%の人が『住み続けたい』という意向を示しています。これに対して、『住みたくない』（「どちらかといえば住みたくない」8.7%及び「住みたくない」2.3%の合計）は11.0%にとどまります。なお、「どちらともいえない」は14.4%となっています。

また、『住み続けたい』割合は令和2年調査の1.1ポイント微増しています。

性別で『住み続けたい』と回答した割合をみると、男性で77.8%と、女性の70.0%を上回ります。

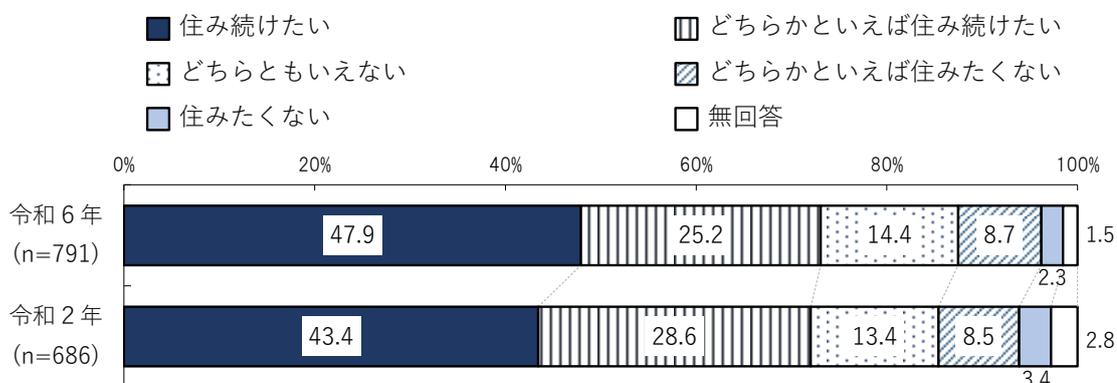
年齢別で『住み続けたい』と回答した割合をみると、おおむね加齢とともに増加し、80歳以上で91.7%と9割を超え、70代（78.3%）、60代（73.1%）、50代（71.4%）では7割超、40代（65.2%）、30代（60.3%）では6割程度となっています。

職業別で『住み続けたい』と回答した割合をみると、第1次産業で90.7%と最も多くなっています。

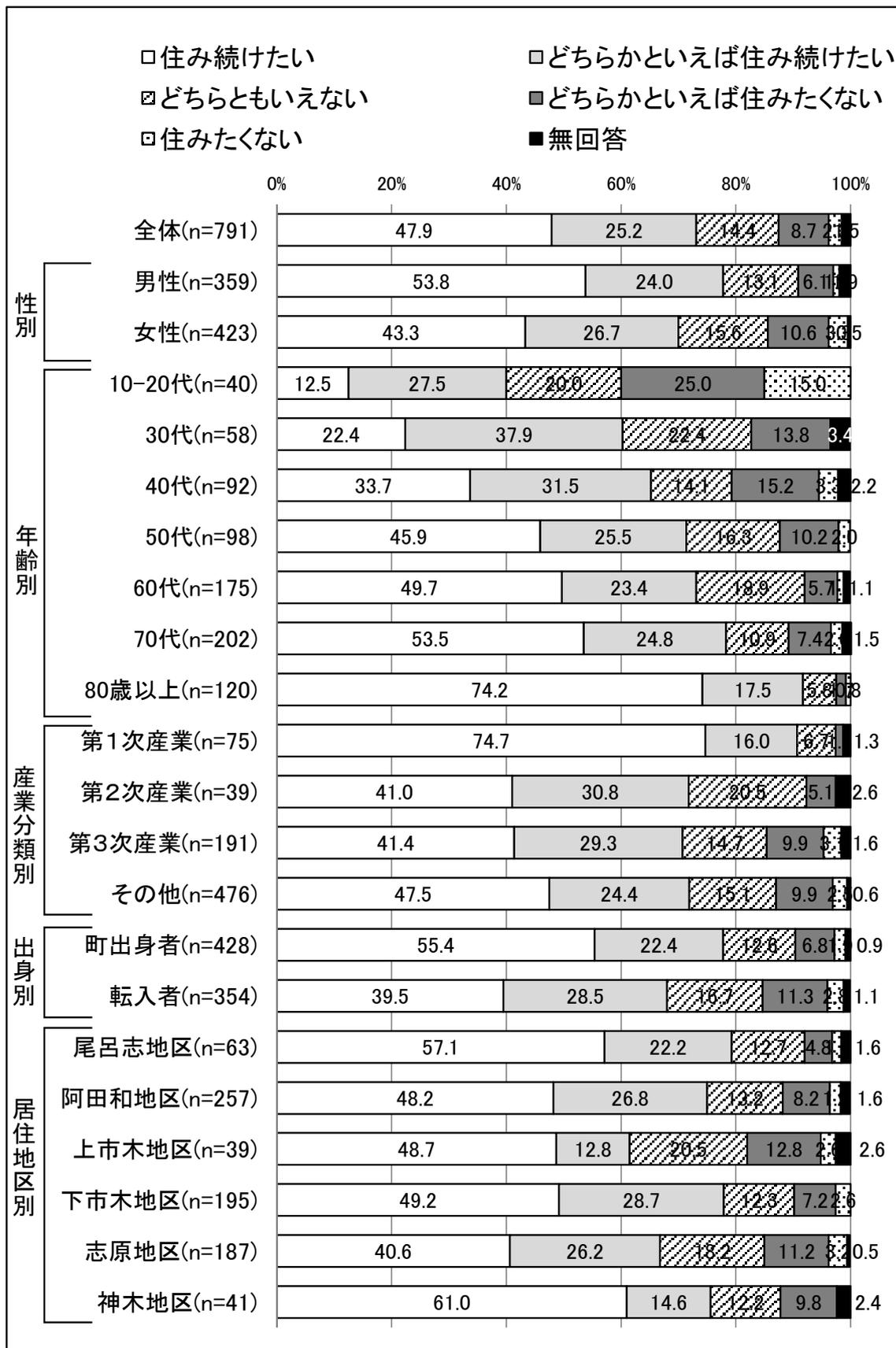
出身別で『住み続けたい』と回答した割合をみると、出身者が77.8%と、転入者の68.0%を大きく上回ります。

居住地区別で『住み続けたい』と回答した割合をみると、尾呂志地区（79.3%）、阿田和地区（75.0%）、下市木地区（77.9%）、神木地区（75.6%）で7割を超える一方、上市木地区（61.5%）と志原地区（66.8%）では6割代にとどまる結果となっています。

今後の定住意向について（全体）



今後の定住意向について（全体、性別、年齢別、産業分類別、出身別、居住地区別）



### (3)住み続けたい理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(問3①で『住み続けたい』と回答した人のみ)  
【複数回答】

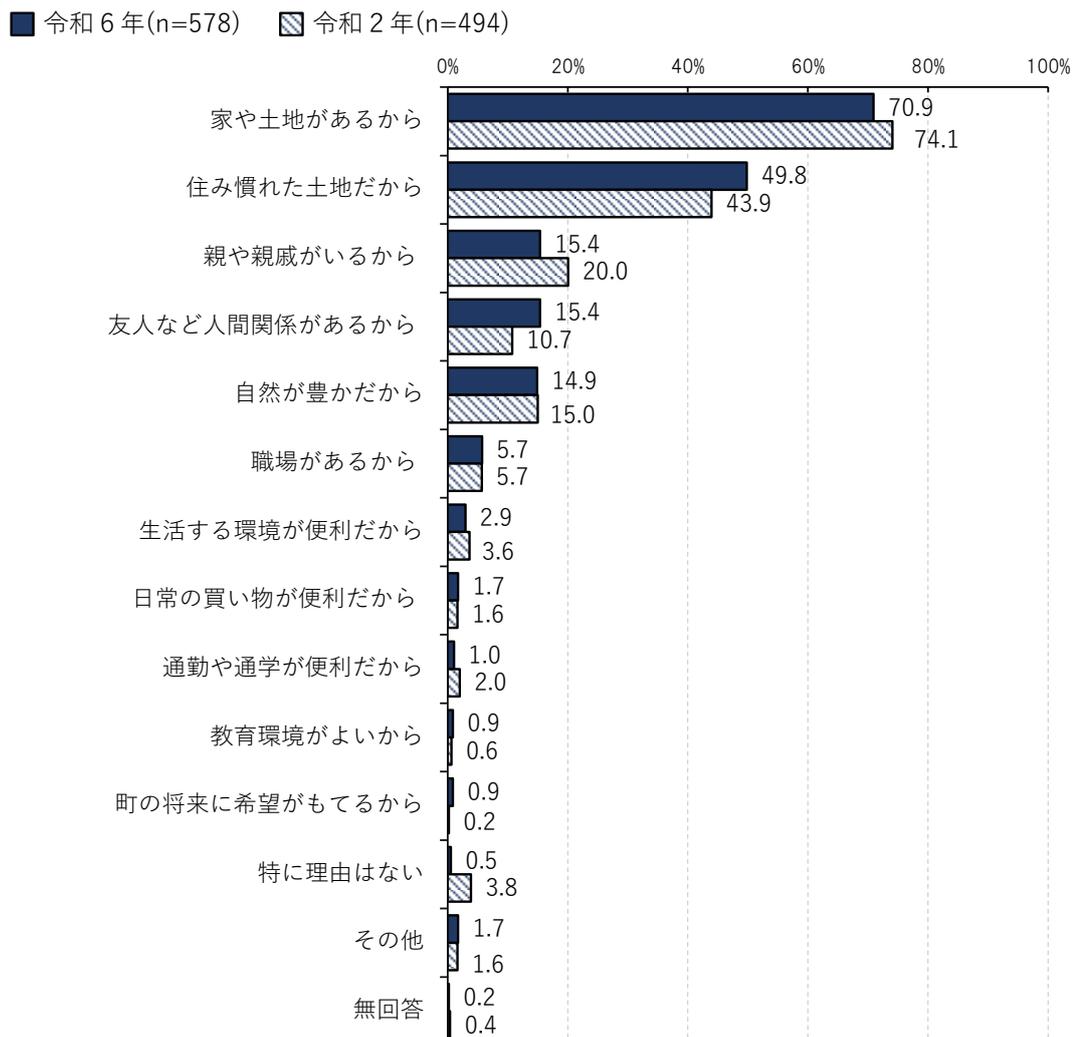
■「家や土地があるから」が第1位。次いで「住み慣れた土地だから」が続く。

問3①で『住み続けたい』と回答した人(73.1%、578人)に、その理由をたずねたところ、「家や土地があるから」が70.9%と第1位に挙げられ、次いで「住み慣れた土地だから」(49.8%)などの順となっています。

性別、年齢別、出身地、居住地区別でも、ほとんどの層で「家や土地があるから」及び「住み慣れた土地だから」が理由の上位に挙げられています。

また、令和2年調査と比較すると、「住み慣れた土地だから」や「友人など人間関係があるから」が増加しています。

住み続けたい理由(全体/複数回答、『住み続けたい』と回答した人のみ)



## 住み続けたい理由

(全体、性別、年齢別、出身別、居住地区別)

		だ か ら 慣 れ た 土 地 (%)	か ら 家 や 土 地 が あ る	か ら 親 や 親 戚 が い る	係 友 人 な ど か ら 間 関	ら 自 然 が 豊 か だ か	か ら 教 育 環 境 が よ い	利 通 勤 や 通 学 が 便 だ か ら	便 日 常 の 買 い 物 が だ か ら
全体 (n=578)		49.8	70.9	15.4	15.4	14.9	0.9	1.0	1.7
性別	男性 (n=279)	52.7	71.0	13.6	14.0	14.0	0.7	1.1	0.4
	女性 (n=296)	47.6	71.3	16.6	16.6	15.9	1.0	1.0	3.0
年齢別	10-20代 (n=16)	68.8	18.8	43.8	18.8	25.0	0.0	6.3	0.0
	30代 (n=35)	37.1	48.6	25.7	11.4	17.1	8.6	2.9	0.0
	40代 (n=60)	40.0	66.7	30.0	18.3	10.0	1.7	0.0	0.0
	50代 (n=70)	42.9	72.9	11.4	20.0	15.7	0.0	2.9	1.4
	60代 (n=128)	50.8	76.6	18.0	13.3	13.3	0.0	0.8	3.1
	70代 (n=158)	54.4	76.6	5.1	13.9	17.7	0.0	0.6	1.3
	80歳以上 (n=110)	53.6	72.7	13.6	16.4	12.7	0.9	0.0	2.7
産業分類別	第1次産業 (n=68)	58.8	73.5	8.8	10.3	11.8	0.0	1.5	1.5
	第2次産業 (n=28)	53.6	75.0	21.4	7.1	14.3	3.6	3.6	0.0
	第3次産業 (n=135)	44.4	65.9	24.4	17.0	8.9	0.7	1.5	0.7
	その他 (n=342)	50.3	72.2	12.0	16.7	18.1	0.9	0.6	2.3
出身別	町出身者 (n=333)	64.3	65.5	19.8	13.5	10.8	0.3	0.9	0.6
	転入者 (n=241)	30.3	78.4	9.1	18.3	20.7	1.7	1.2	3.3
居住地区別	尾呂志地区 (n=50)	48.0	78.0	6.0	8.0	18.0	4.0	0.0	2.0
	阿田和地区 (n=193)	49.2	66.3	14.0	16.6	17.6	1.0	1.0	2.6
	上市木地区 (n=24)	58.3	87.5	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2
	下市木地区 (n=152)	49.3	72.4	17.8	13.8	11.2	0.0	0.7	1.3
	志原地区 (n=125)	52.0	69.6	19.2	17.6	12.8	0.0	2.4	0.0
	神木地区 (n=31)	45.2	77.4	9.7	19.4	32.3	3.2	0.0	0.0

		便 生 活 だ か ら 環 境 が (%)	職 場 が あ る か ら	が 町 の 将 来 に 希 望	特 に 理 由 は な い	そ の 他
全体 (n=578)		2.9	5.7	0.9	0.5	1.7
性別	男性 (n=279)	3.6	6.5	1.8	0.7	1.1
	女性 (n=296)	2.4	5.1	0.0	0.3	2.0
年齢別	10-20代 (n=16)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	30代 (n=35)	0.0	17.1	0.0	0.0	2.9
	40代 (n=60)	0.0	8.3	0.0	1.7	1.7
	50代 (n=70)	4.3	12.9	1.4	1.4	2.9
	60代 (n=128)	1.6	4.7	1.6	0.0	0.8
	70代 (n=158)	4.4	2.5	0.0	0.0	2.5
	80歳以上 (n=110)	4.5	0.9	1.8	0.9	0.0
産業分類別	第1次産業 (n=68)	1.5	13.2	0.0	1.5	2.9
	第2次産業 (n=28)	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	第3次産業 (n=135)	3.7	10.4	1.5	0.7	0.7
	その他 (n=342)	3.2	1.8	0.9	0.3	1.8
出身別	町出身者 (n=333)	1.8	5.4	0.9	0.3	0.6
	転入者 (n=241)	4.6	6.2	0.8	0.8	2.5
居住地区別	尾呂志地区 (n=50)	2.0	6.0	0.0	0.0	8.0
	阿田和地区 (n=193)	5.2	5.7	0.0	1.0	0.0
	上市木地区 (n=24)	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
	下市木地区 (n=152)	2.0	8.6	0.7	0.0	2.0
	志原地区 (n=125)	1.6	3.2	2.4	0.0	0.8
	神木地区 (n=31)	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2

#### (4)住みたくない理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(問3①で『住みたくない』と回答した人のみ)  
【複数回答】

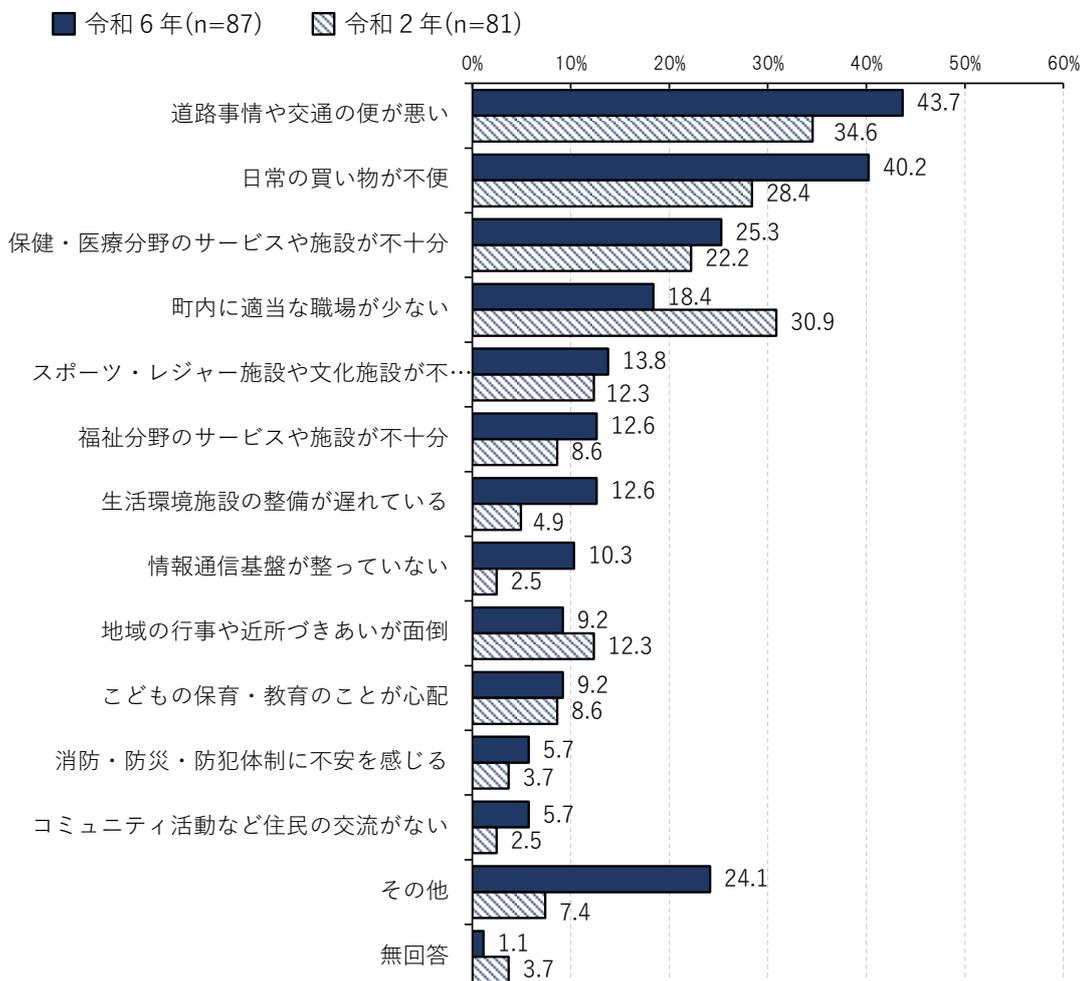
■「道路事情や交通の便が悪い」が第1位。次いで「日常の買い物が不便」、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が続く。

問3①で『住みたくない』と回答した人(11.0%、87人に、その理由をたずねたところ、「道路事情や交通の便が悪い」が43.7%と第1位に挙げられ、次いで「日常の買い物が不便」(40.2%)、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」(25.3%)、「町内に適当な職場が少ない」(18.4%)等の順となっています。

性別、年齢別、出身地別、居住地区別でも、ほとんどの層で「日常の買い物が不便」、「道路事情や交通の便が悪い」、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が上位に挙げられています。

また、令和2年調査と比較すると、「日常の買い物が不便」や「道路事情や交通の便が悪い」が増加する一方、「町内に適当な職場が少ない」は大きく減少しています。

住みたくない理由(全体/複数回答、『住みたくない』と回答した人のみ)



## 住みたくない理由

(全体、性別、年齢別、出身別、居住地区別)

		(%)	不 便 の 買 い 物 が	の 道 便 路 が 事 情 い や 交 通	倒 所 地 づ 域 の あ い 事 が 面 近	配 教 子 育 の こ と が 保 育 心	場 町 が 少 に 適 当 な 職	設 が サ ー ビ ス が 不 十 分	保 健 ・ 医 療 分 野	十 分 な サ ー ビ ス が 不 十 分	福 祉 分 野 の サ ー ビ ス が 不 十 分	感 じ る 防 災 ・ 安 全	消 防 ・ 防 災 ・ 安 全
全体 (n=87)			40.2	43.7	9.2	9.2	18.4	25.3	12.6			5.7	
性別	男性 (n=26)		34.6	38.5	0.0	11.5	19.2	23.1	19.2			7.7	
	女性 (n=59)		44.1	45.8	11.9	8.5	18.6	25.4	10.2			5.1	
年齢別	10-20代 (n=16)		37.5	50.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0			6.3	
	30代 (n=8)		12.5	62.5	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0			0.0	
	40代 (n=17)		35.3	35.3	17.6	17.6	11.8	47.1	23.5			11.8	
	50代 (n=12)		50.0	58.3	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3			0.0	
	60代 (n=12)		41.7	41.7	16.7	0.0	25.0	33.3	8.3			8.3	
	70代 (n=19)		47.4	26.3	10.5	0.0	15.8	31.6	21.1			5.3	
	80歳以上 (n=3)		66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3			0.0	
産業分類別	第1次産業 (n=1)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0			0.0	
	第2次産業 (n=2)		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0			50.0	
	第3次産業 (n=25)		36.0	48.0	4.0	20.0	16.0	24.0	12.0			8.0	
	その他 (n=59)		40.7	42.4	11.9	5.1	20.3	25.4	11.9			3.4	
出身別	町出身者 (n=37)		35.1	48.6	10.8	10.8	29.7	18.9	18.9			5.4	
	転入者 (n=50)		44.0	40.0	8.0	8.0	10.0	30.0	8.0			6.0	
居住地区別	尾呂志地区 (n=4)		50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0			0.0	
	阿田和地区 (n=26)		23.1	50.0	19.2	7.7	19.2	23.1	19.2			7.7	
	上市木地区 (n=6)		50.0	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	33.3			0.0	
	下市木地区 (n=19)		42.1	42.1	0.0	26.3	15.8	26.3	5.3			10.5	
	志原地区 (n=27)		55.6	40.7	0.0	3.7	14.8	22.2	11.1			3.7	
	神木地区 (n=4)		25.0	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0			0.0	

		(%)	化 施 設 が 不 十 分	ジ ャ ー が 施 設 が 不 十 分	る 整 備 が 遅 れ て い る	生 活 環 境 が 悪 い	流 動 が な い	コ ミ ュ ニ テ ィ の 交 渉	整 情 報 通 信 基 盤 が	そ の 他
全体 (n=87)			13.8	12.6	5.7	10.3	24.1			
性別	男性 (n=26)		19.2	11.5	0.0	26.9	23.1			
	女性 (n=59)		11.9	13.6	8.5	3.4	23.7			
年齢別	10-20代 (n=16)		12.5	6.3	6.3	6.3	37.5			
	30代 (n=8)		25.0	0.0	0.0	25.0	0.0			
	40代 (n=17)		29.4	11.8	5.9	17.6	29.4			
	50代 (n=12)		0.0	16.7	0.0	0.0	8.3			
	60代 (n=12)		8.3	8.3	8.3	16.7	33.3			
	70代 (n=19)		10.5	26.3	10.5	5.3	21.1			
	80歳以上 (n=3)		0.0	0.0	0.0	0.0	33.3			
産業分類別	第1次産業 (n=1)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	第2次産業 (n=2)		50.0	50.0	0.0	50.0	50.0			
	第3次産業 (n=25)		16.0	12.0	8.0	20.0	20.0			
	その他 (n=59)		11.9	11.9	5.1	5.1	25.4			
出身別	町出身者 (n=37)		18.9	13.5	2.7	10.8	32.4			
	転入者 (n=50)		10.0	12.0	8.0	10.0	18.0			
居住地区別	尾呂志地区 (n=4)		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0			
	阿田和地区 (n=26)		23.1	11.5	15.4	15.4	26.9			
	上市木地区 (n=6)		16.7	33.3	0.0	0.0	33.3			
	下市木地区 (n=19)		5.3	0.0	5.3	15.8	15.8			
	志原地区 (n=27)		14.8	18.5	0.0	7.4	25.9			
	神木地区 (n=4)		0.0	25.0	0.0	0.0	0.0			

## 2. まちの現状と今後の取り組みについて

### (1) まちの各環境に対する満足度

問4 あなたは、町の施策やサービス、生活環境について満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。

- 満足度が最も高い項目は「健康づくり」。次で「上下水道」、「消防・防災」、「ごみ・し尿処理」、「交通安全・防犯」の順。
- 満足度が最も低い項目は「商工業」。次いで「集客交流産業」、「雇用対策」、「土地利用」、「道路・交通網」の順。

町の施策やサービス、生活環境について6分野 33項目を設定し、「非常に満足」、「満足」、「どちらでもない」、「不満」、「非常に不満」の5段階で評価した回答結果を、満足度として点数化※しました。

その結果をみると、満足度が最も高い項目は「3-①健康づくり」(2.21点)となっており、次いで「5-②上下水道」(1.49点)、「5-④消防・防災」(1.20点)、「5-③ごみ・し尿処理」(1.07点)、「5-⑤交通安全・防犯」(0.79点)が続きます。

一方、満足度が最も低い項目は「1-③商工業」(-2.29点)となっており、次いで「1-④集客交流産業」(-2.18点)、「1-⑤雇用対策」(-2.06点)、「2-①土地利用」(-1.83点)、「2-④道路・交通網」(-1.69点)など、産業分野の項目への評価が厳しい結果となっています。

また、設定した33項目のうち、評価がプラス点の項目は10項目、マイナス点の項目は23項目となっています。

満足度（全体／評価点、上位・下位項目）

上位	項目	評価点	下位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.21	1	1-③商工業	-2.29
2	5-②上下水道	1.49	2	1-④集客交流産業	-2.18
3	5-④消防・防災	1.20	3	1-⑤雇用対策	-2.06
4	5-③ごみ・し尿処理	1.07	4	2-①土地利用	-1.83
5	5-⑤交通安全・防犯	0.79	5	2-④道路・交通網	-1.69

※評価点の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「非常に満足」の回答者数} \times 10 \text{点}) + (\text{「満足」の回答者数} \times 5 \text{点}) + (\text{「どちらでもない」の回答者数} \times 0 \text{点}) + (\text{「不満」の回答者数} \times -5 \text{点}) + (\text{「非常に不満」の回答者数} \times -10 \text{点})}{(\text{「非常に満足」、「満足」、「どちらでもない」、「不満」、「非常に不満」の回答者数})}$$

また、令和2年調査と比較すると、ほとんどの項目で満足度が上がって（不満度が下がる）おり、特に「3-①健康づくり」と「3-②医療体制」が向上しています。一方、「2-①土地利用」と「2-②景観」は変化がありません。

さらに、満足度の上位項目を年齢別で見ると、30代は「5-④消防・防災」ですが、その他の年代では「3-①健康づくり」が第1位に挙げられています。

居住地区別で見ると、全ての地区で「3-①健康づくり」が第1位となっています。

一方、満足度の下位項目を年齢別で見ると、10-20代・60代では「1-⑤雇用対策」、30代では「3-②医療体制」、40代では「1-④集客交流産業」、50代では「2-④道路・交通網」、70代では「1-③商工業」、80歳以上では「2-①土地利用」が最下位となっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区・上市木地区では「1-⑤雇用対策」、阿田和地区・下市木地区・神木地区では「2-③居住環境」、志原地区では「2-①土地利用」が最下位となっています。

満足度上位・下位項目（年齢別／評価点、上位・下位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.38
1	5-②上下水道	2.38
3	5-③ごみ・し尿処理	1.75
4	5-①自然環境の保全	1.63
4	5-④消防・防災	1.63
下位	項目	評価点
1	1-⑤雇用対策	-1.88
2	2-④道路・交通網	-1.63
3	1-③商工業	-1.38
4	1-④集客交流産業	-1.13
5	2-③居住環境	-0.75

30代

上位	項目	評価点
1	5-④消防・防災	1.49
2	3-①健康づくり	1.14
3	5-⑤交通安全・防犯	0.96
4	6-①町民参画	0.70
5	6-③人権・男女共同参画	0.61
下位	項目	評価点
1	3-②医療体制	-2.89
2	2-③居住環境	-2.63
3	1-③商工業	-2.46
4	2-④道路・交通網	-2.37
4	2-①土地利用	-2.37

40代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	1.56
2	5-②上下水道	1.04
3	5-⑤交通安全・防犯	0.83
4	5-⑥消費者対策	0.45
5	5-④消防・防災	0.38
下位	項目	評価点
1	1-④集客交流産業	-3.02
2	1-③商工業	-2.69
3	3-②医療体制	-2.17
4	1-⑤雇用対策	-1.76
5	2-③居住環境	-1.72

50代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	1.60
2	5-③ごみ・し尿処理	1.09
3	5-④消防・防災	0.82
4	5-②上下水道	0.73
5	5-⑤交通安全・防犯	0.62
下位	項目	評価点
1	2-④道路・交通網	-2.63
2	1-⑤雇用対策	-2.58
3	1-③商工業	-2.53
4	3-②医療体制	-2.37
5	1-④集客交流産業	-2.24

60代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.24
2	5-②上下水道	1.20
3	5-④消防・防災	1.08
4	5-③ごみ・し尿処理	0.85
5	5-⑤交通安全・防犯	0.68
下位	項目	評価点
1	1-⑤雇用対策	-2.54
2	1-④集客交流産業	-2.41
3	1-③商工業	-2.35
4	3-②医療体制	-1.96
5	2-①土地利用	-1.92

70代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.34
2	5-②上下水道	1.98
3	5-③ごみ・し尿処理	1.31
4	5-④消防・防災	1.29
5	5-⑤交通安全・防犯	0.65
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-2.43
2	2-①土地利用	-2.16
3	1-④集客交流産業	-2.13
4	2-④道路・交通網	-1.85
5	1-⑤雇用対策	-1.72

80歳以上

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	3.72
2	5-③ごみ・し尿処理	2.79
3	5-②上下水道	2.66
4	5-④消防・防災	2.02
5	3-③地域福祉	1.63
下位	項目	評価点
1	2-①土地利用	-2.01
2	1-③商工業	-1.59
3	1-⑤雇用対策	-1.47
4	1-④集客交流産業	-1.39
5	1-①農業	-0.98

### 尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.09
2	5-④消防・防災	1.27
3	5-⑤交通安全・防犯	1.18
4	4-①学校教育	1.11
5	5-③ごみ・し尿処理	0.70
下位	項目	評価点
1	2-①土地利用	-2.64
2	2-④道路・交通網	-2.41
3	1-①農業	-2.24
4	1-②林業・水産業	-2.18
5	1-⑤雇用対策	-1.89

### 阿田和地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.18
2	5-②上下水道	1.89
3	5-④消防・防災	1.03
4	5-⑤交通安全・防犯	0.88
5	5-③ごみ・し尿処理	0.85
下位	項目	評価点
1	2-①土地利用	-2.37
2	1-③商工業	-2.26
3	1-⑤雇用対策	-2.23
4	1-④集客交流産業	-2.16
5	2-③居住環境	-1.85

### 上市木地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	3.47
2	5-②上下水道	2.57
3	5-④消防・防災	2.50
4	5-③ごみ・し尿処理	2.11
5	5-⑤交通安全・防犯	2.08
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-2.36
2	1-④集客交流産業	-2.08
3	2-③居住環境	-1.86
4	2-④道路・交通網	-1.49
5	1-⑤雇用対策/2-①土地利用	-1.39

### 下市木地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.10
2	5-④消防・防災	1.08
3	5-③ごみ・し尿処理	0.97
4	5-⑤交通安全・防犯	0.96
5	5-②上下水道	0.83
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-2.51
2	1-④集客交流産業	-2.36
3	1-⑤雇用対策	-2.11
4	2-①土地利用	-1.51
5	2-③居住環境	-1.29

### 志原地区

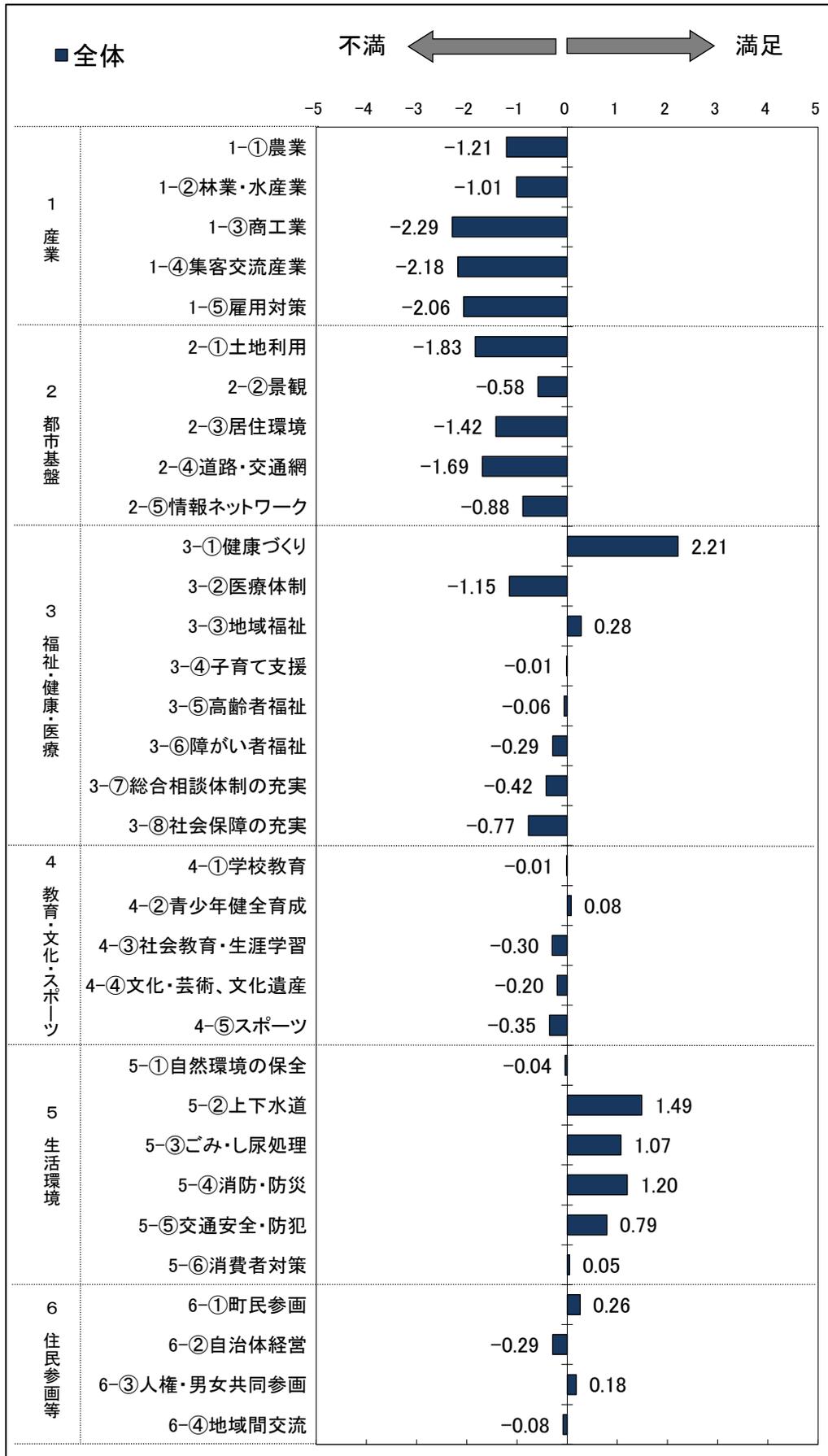
上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.12
2	5-②上下水道	1.49
3	5-③ごみ・し尿処理	1.31
4	5-④消防・防災	1.10
5	3-③地域福祉	0.28
下位	項目	評価点
1	1-④集客交流産業	-2.27
2	1-⑤雇用対策	-2.08
3	2-④道路・交通網	-2.06
4	1-③商工業	-2.03
5	2-①土地利用	-1.23

### 神木地区

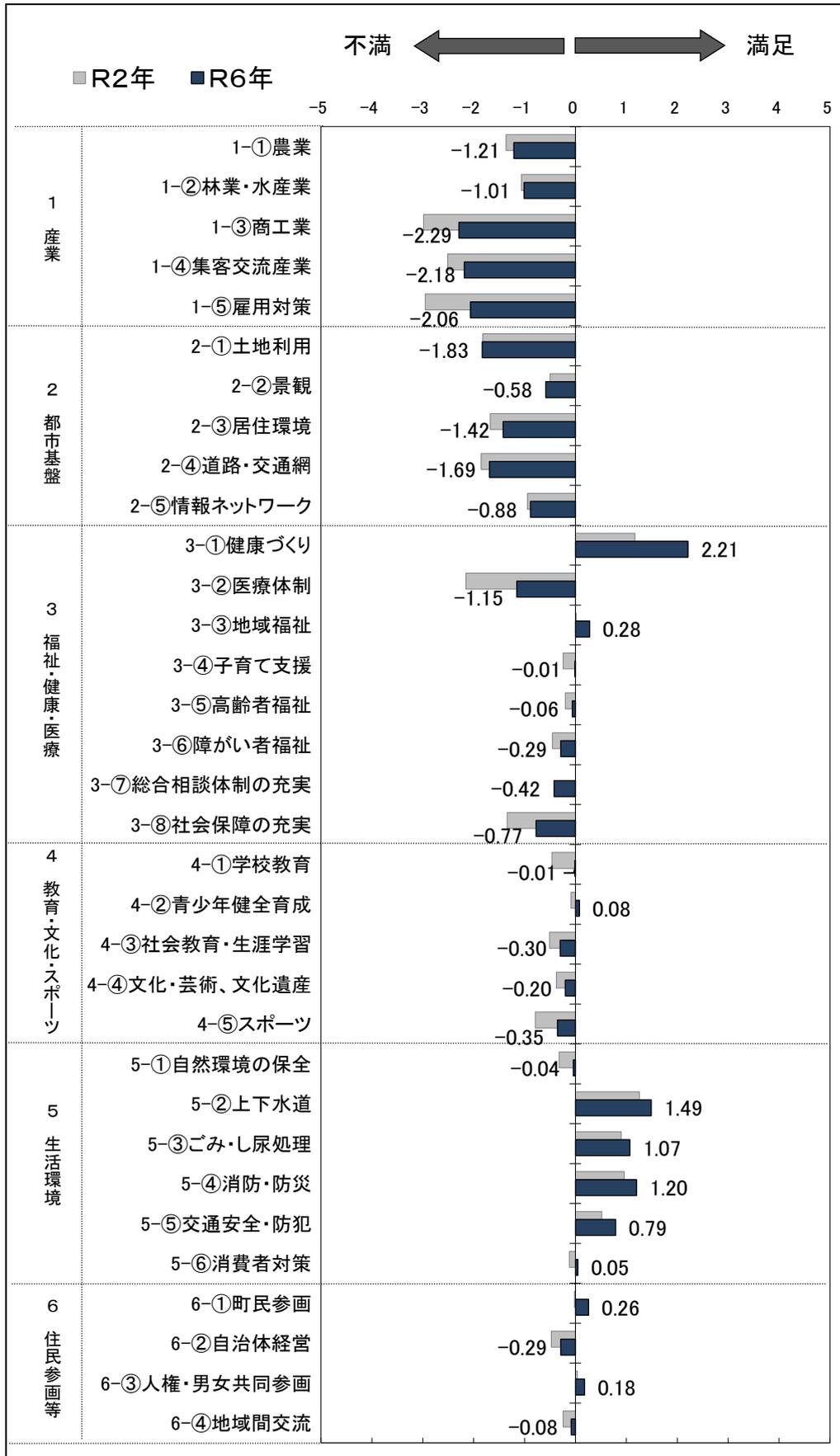
上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.30
2	5-②上下水道	2.08
3	5-④消防・防災	1.39
4	5-③ごみ・し尿処理	1.25
5	5-⑤交通安全・防犯	0.56
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-3.97
2	1-④集客交流産業	-2.58
3	1-①農業	-2.22
4	2-①土地利用	-2.21
5	2-③居住環境	-2.06

満足度上位・下位項目（居住地区別／評価点、上位・下位項目）

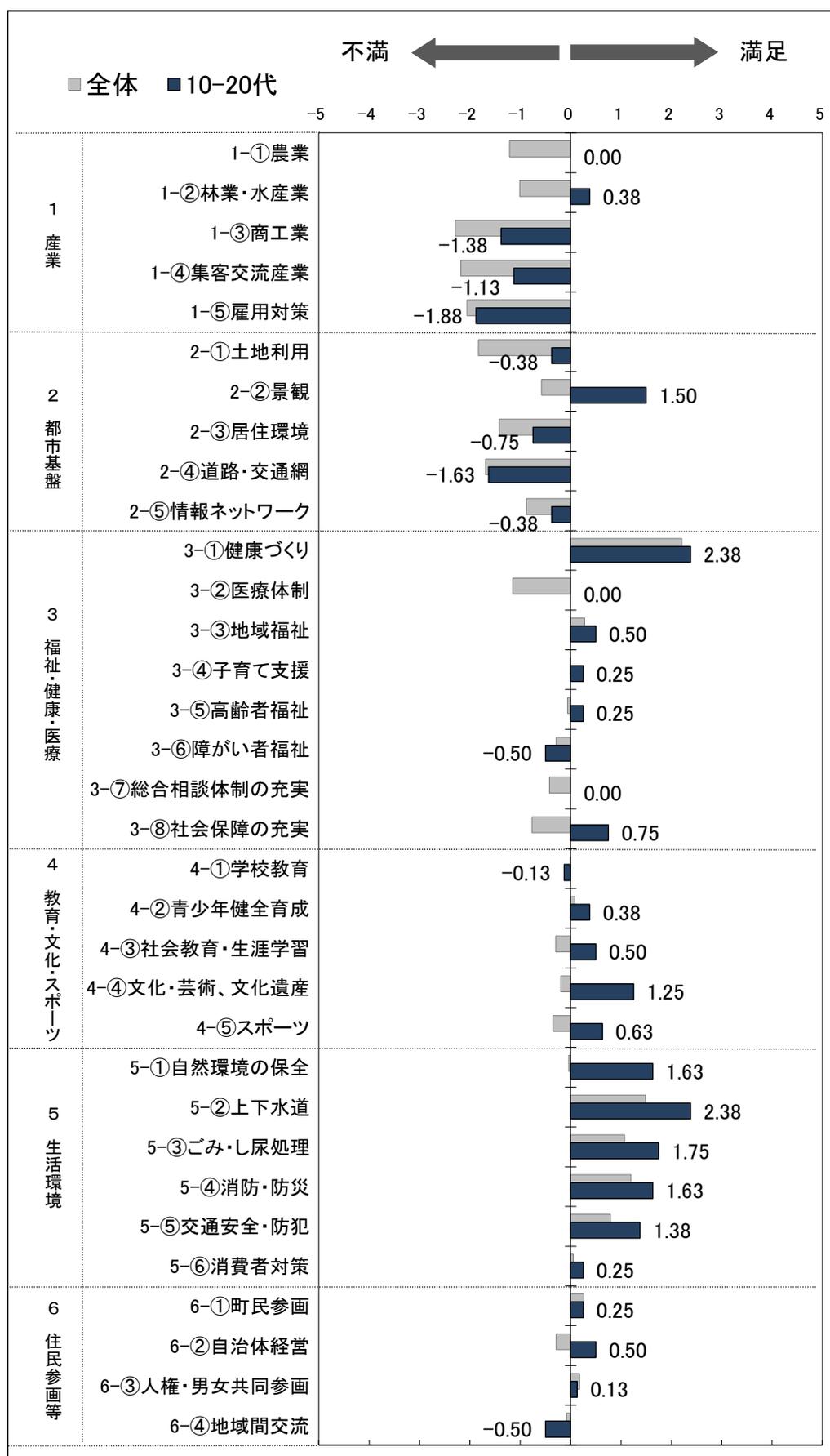
満足度（全体／評価点）



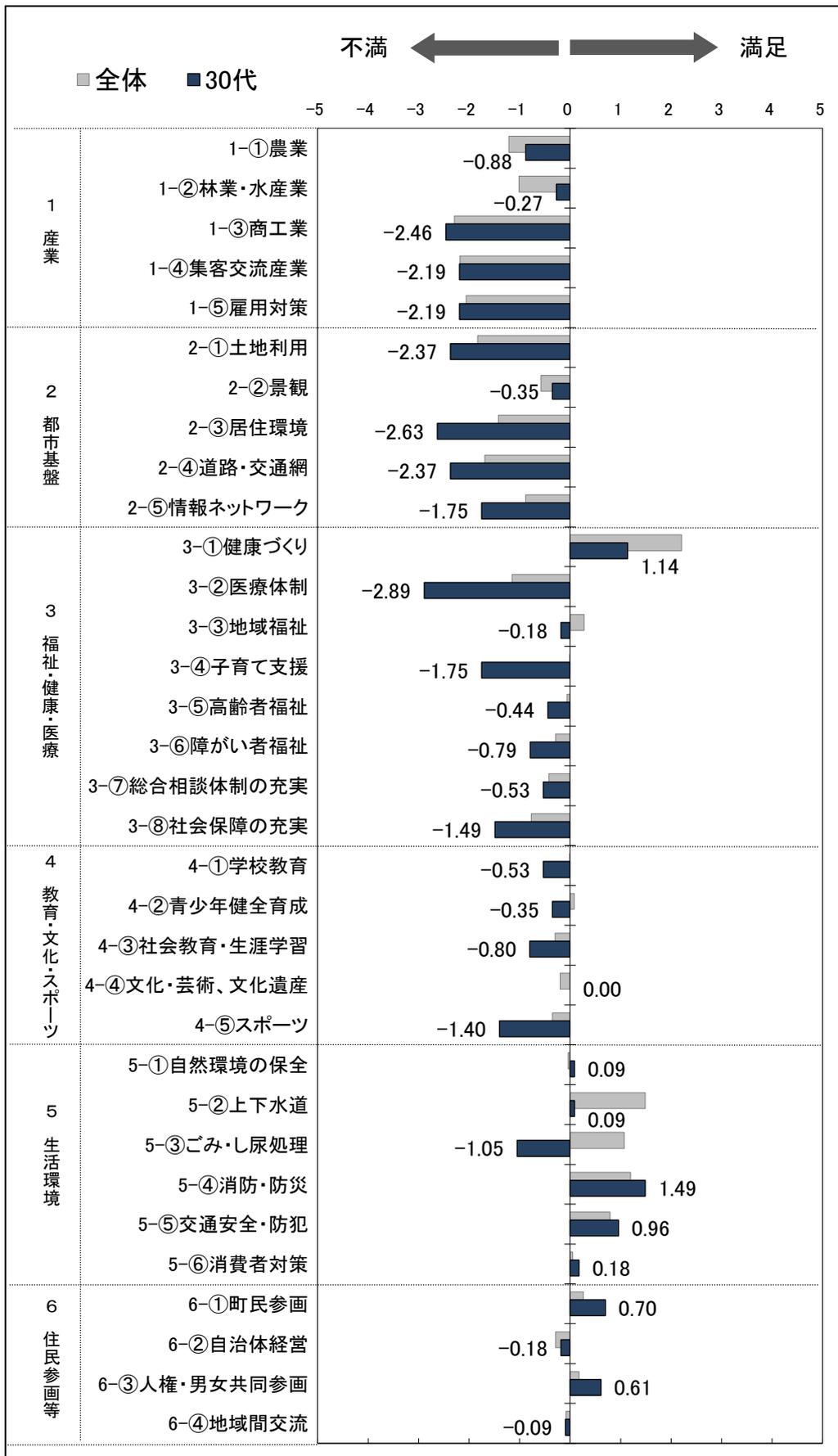
満足度（R6全体、R2全体／評価点）



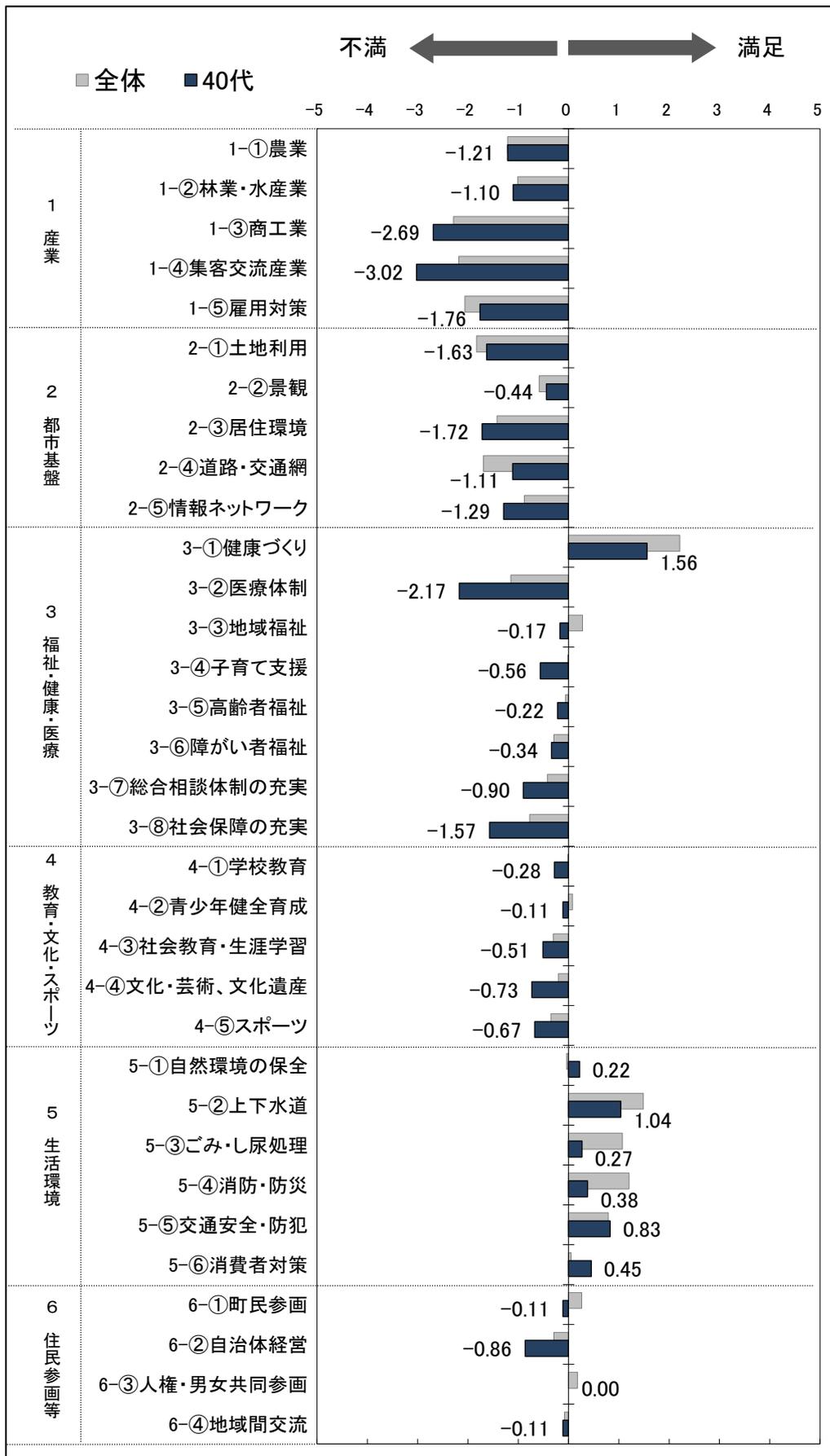
満足度（全体、10-20代／評価点）



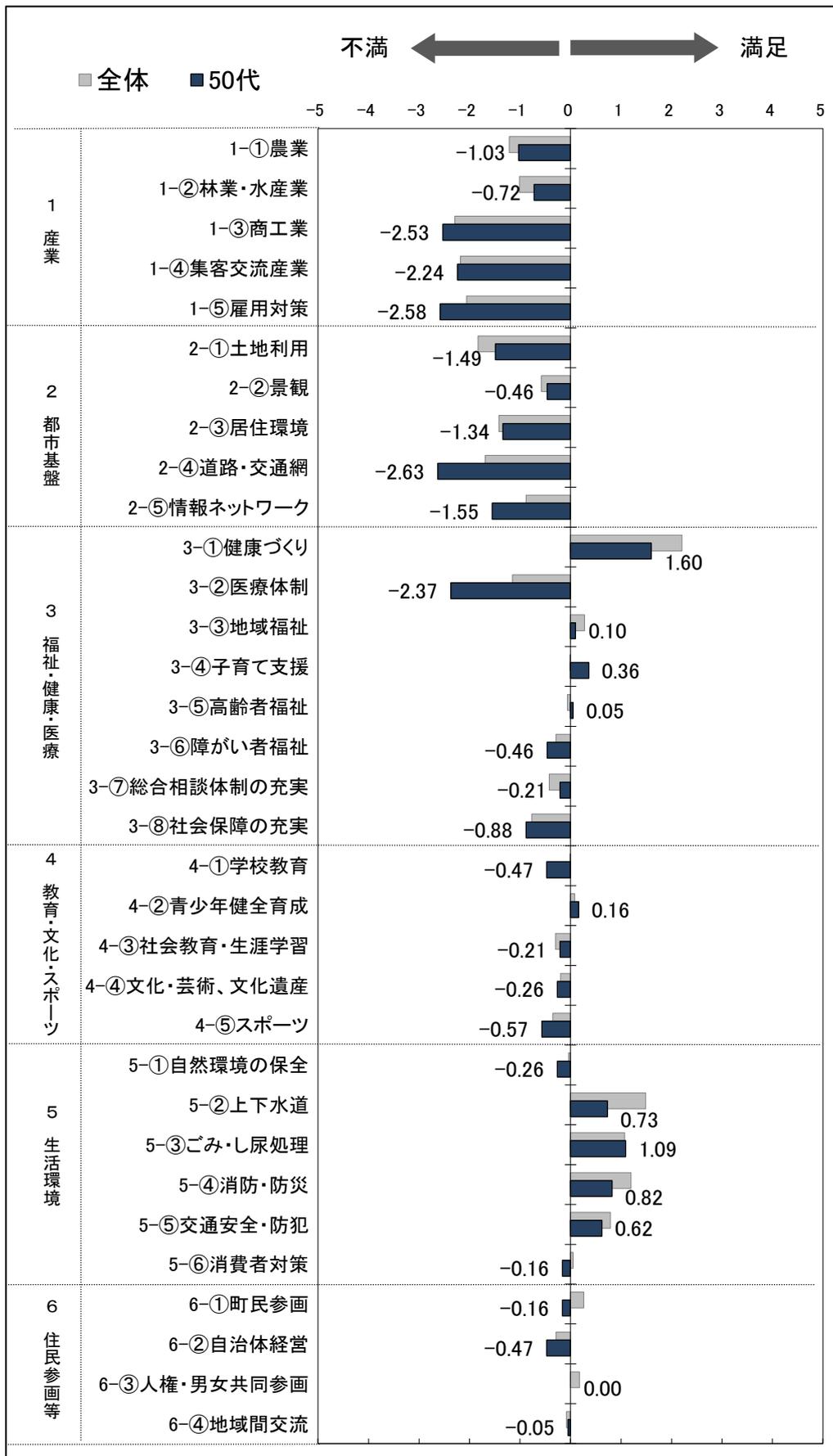
満足度（全体、30代／評価点）



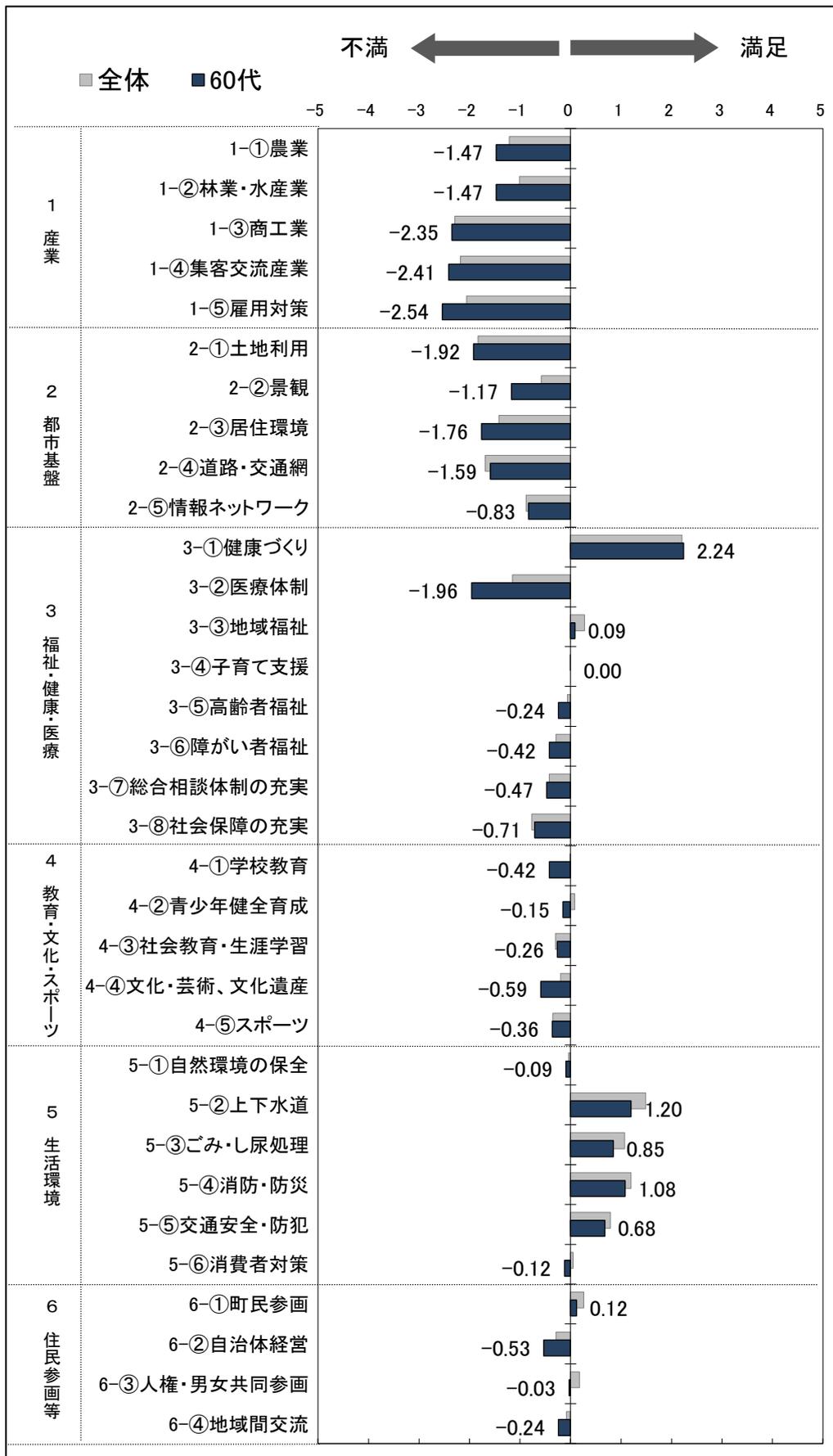
満足度（全体、40代／評価点）



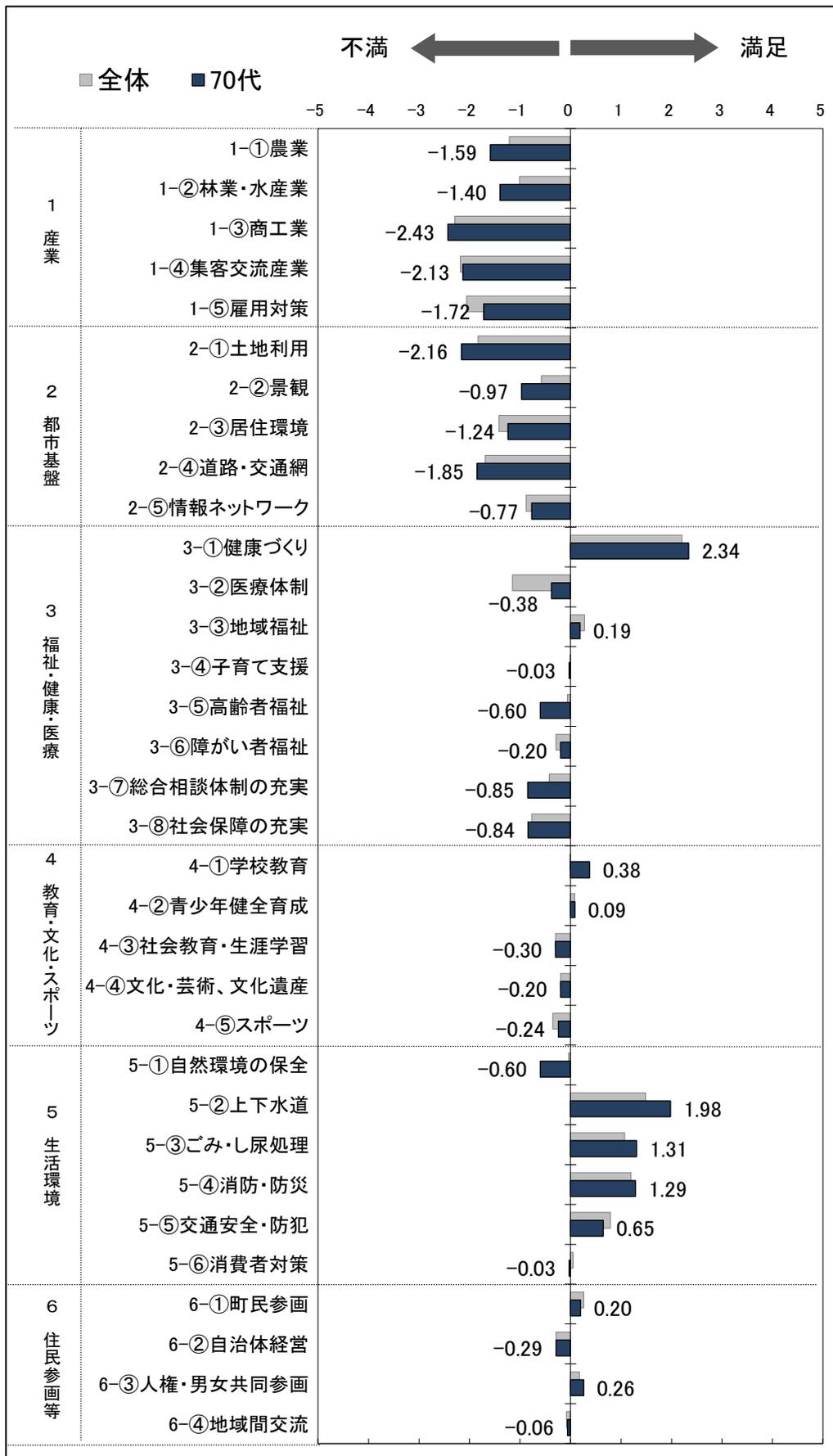
満足度（全体、50代／評価点）



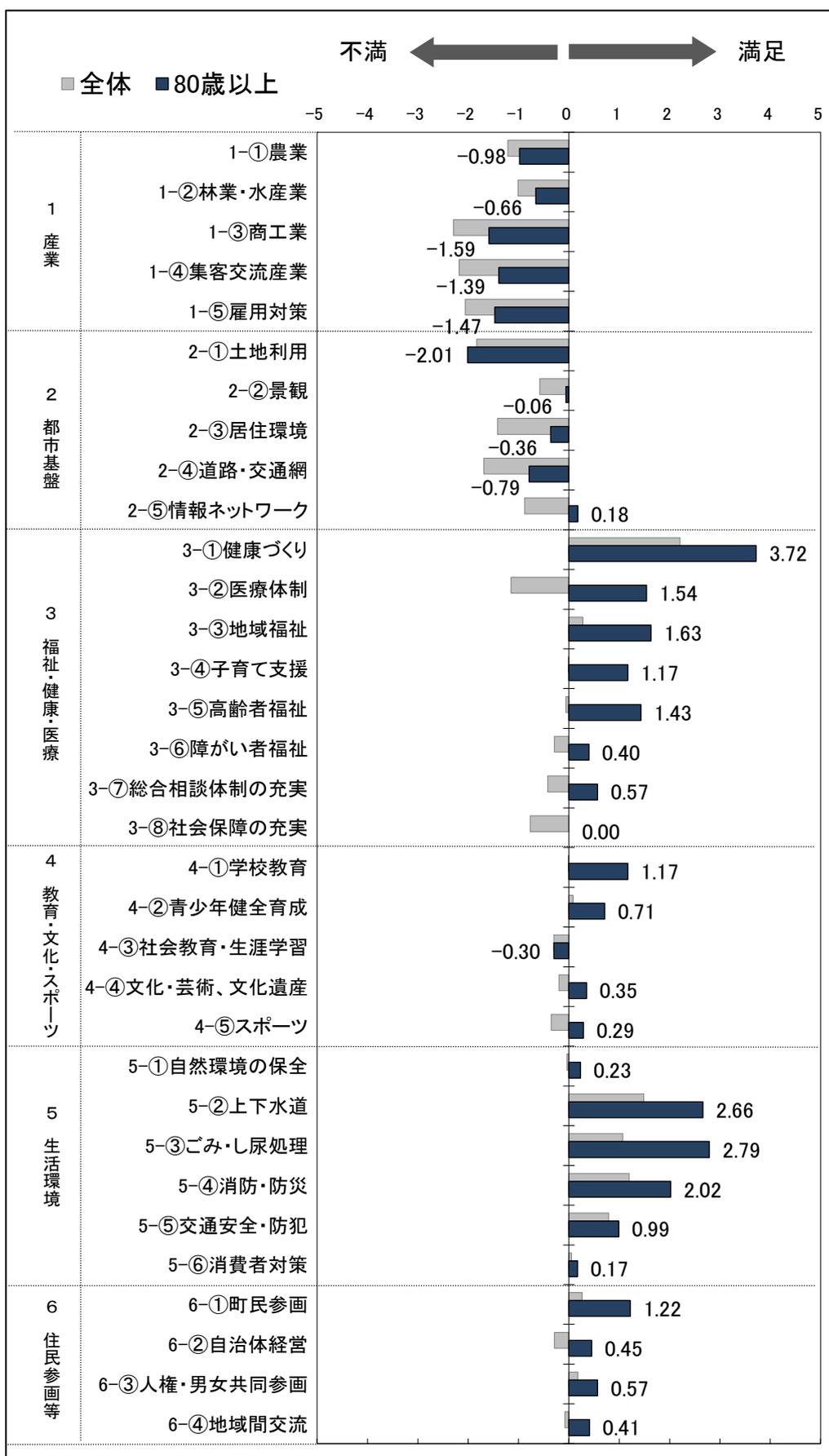
満足度（全体、60代／評価点）



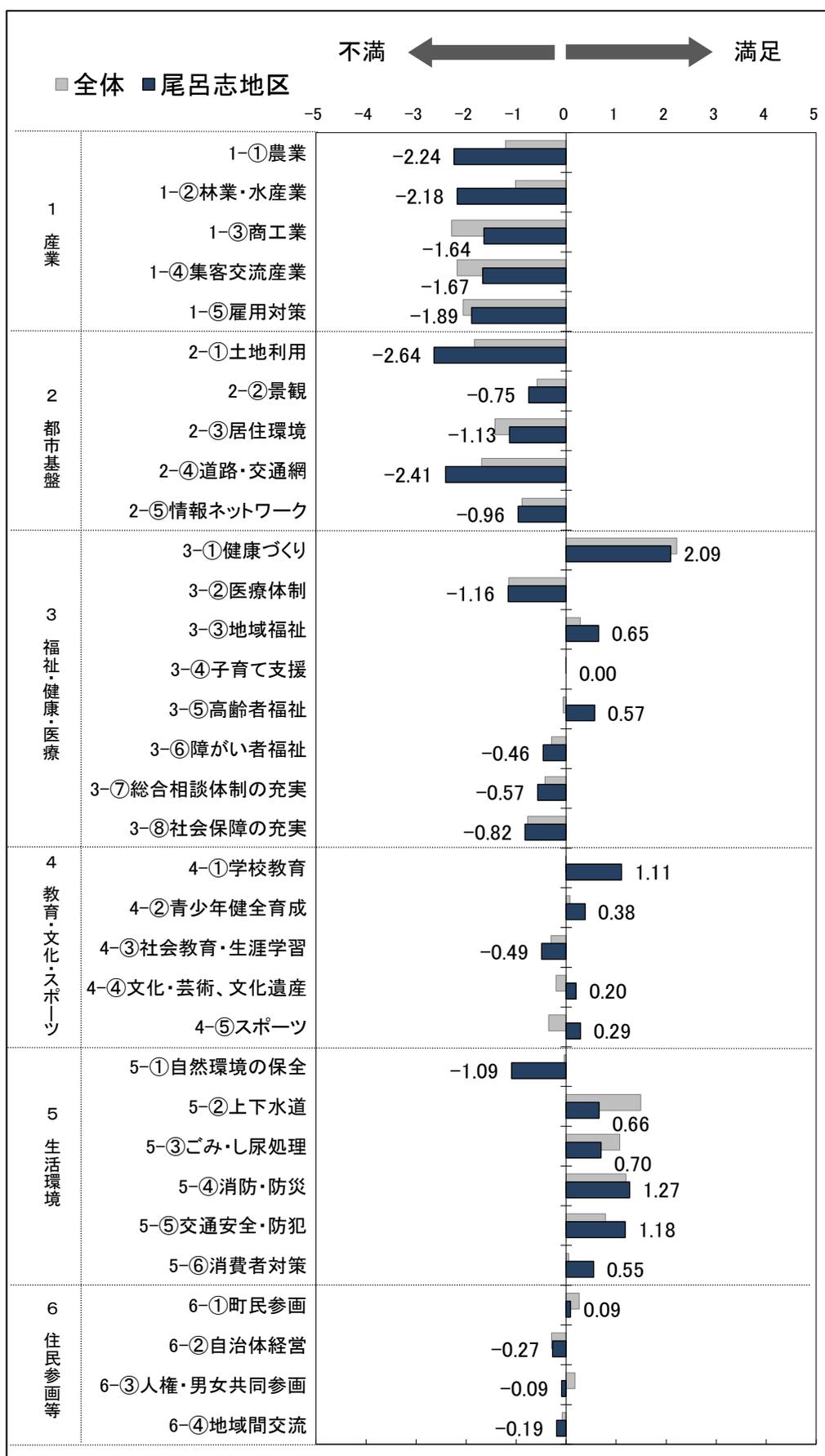
満足度（全体、70代／評価点）



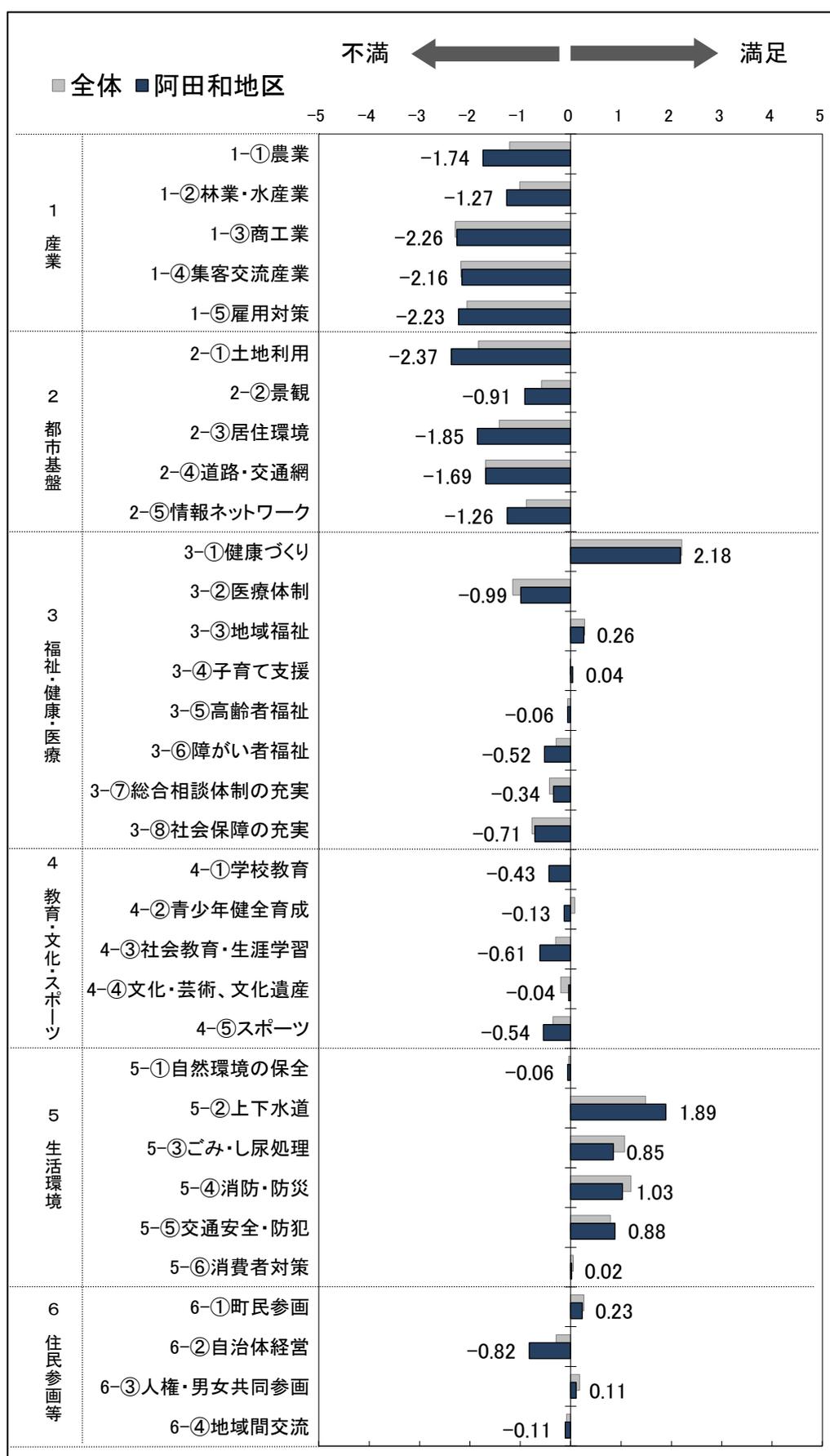
満足度（全体、80歳以上／評価点）



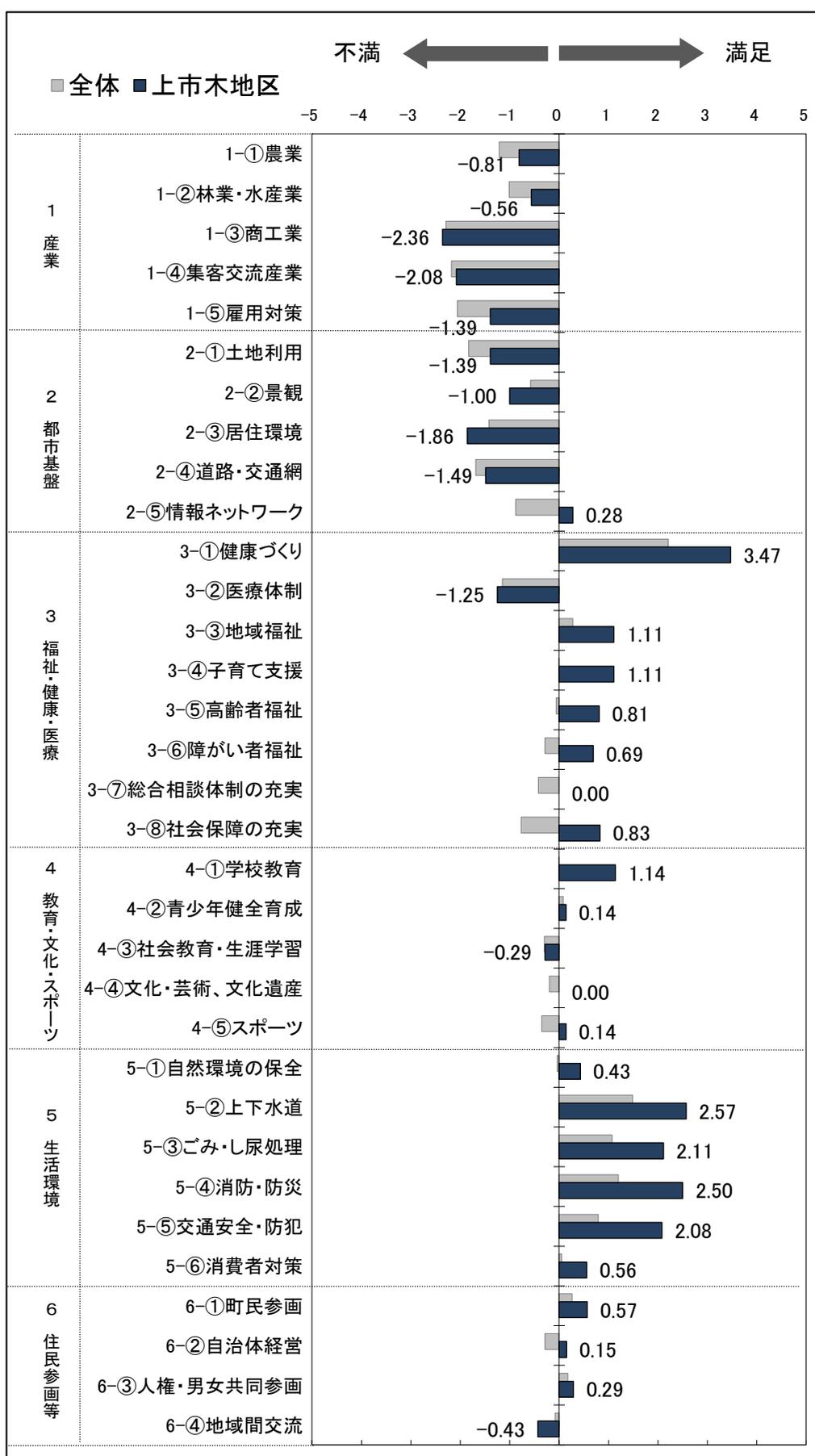
満足度（全体、尾呂志地区／評価点）



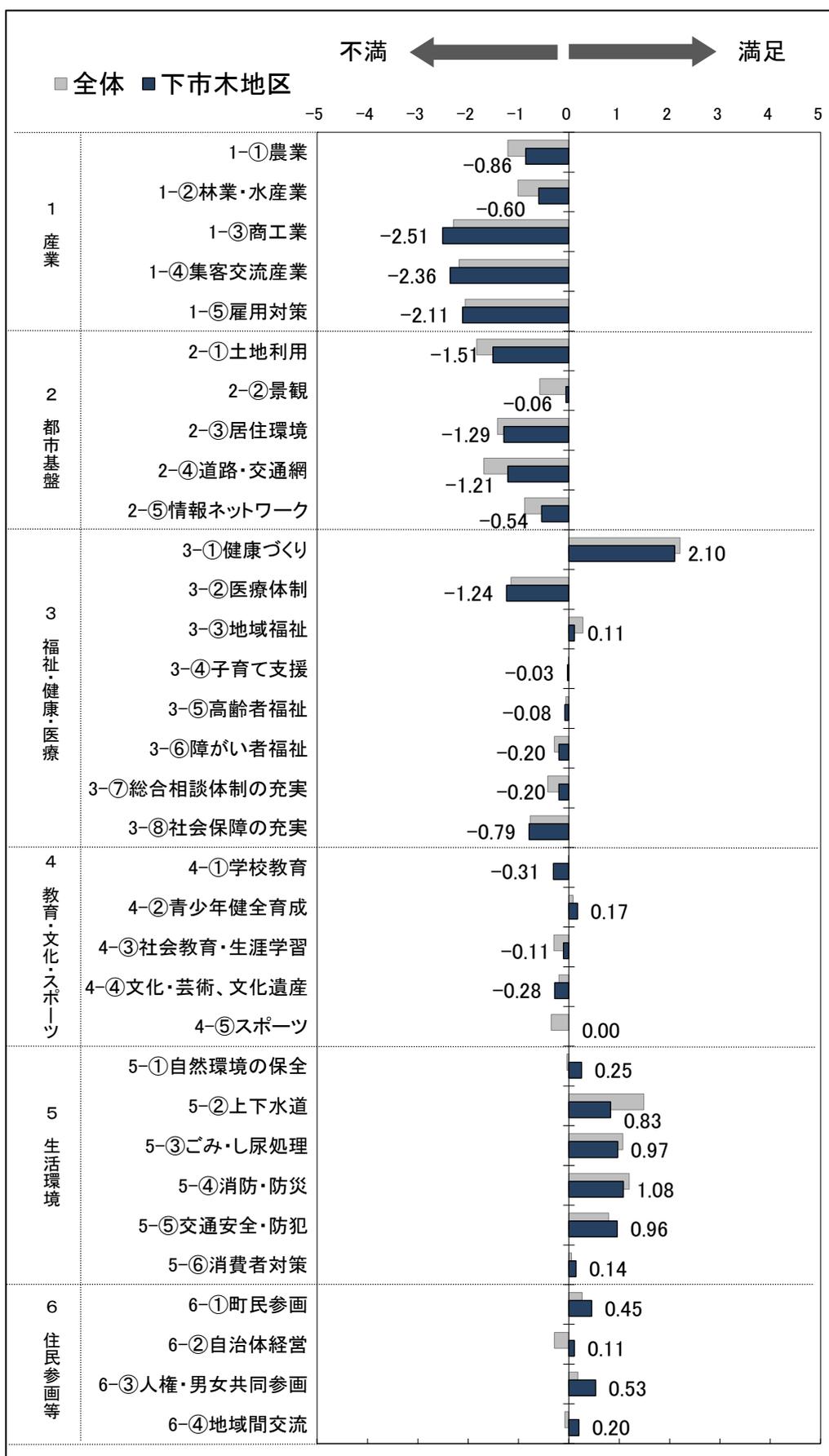
満足度（全体、阿田和地区／評価点）



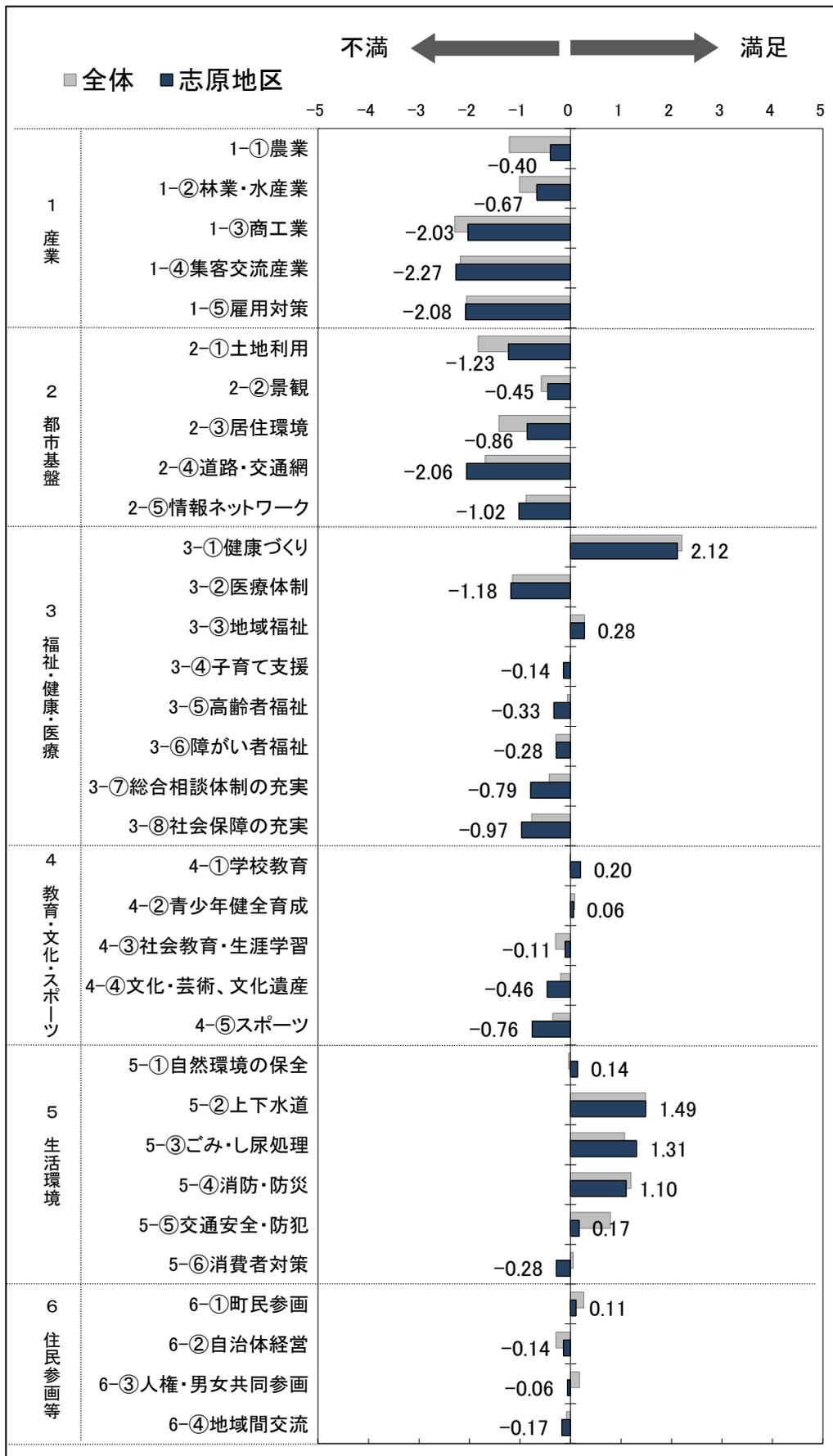
満足度（全体、上市木地区／評価点）



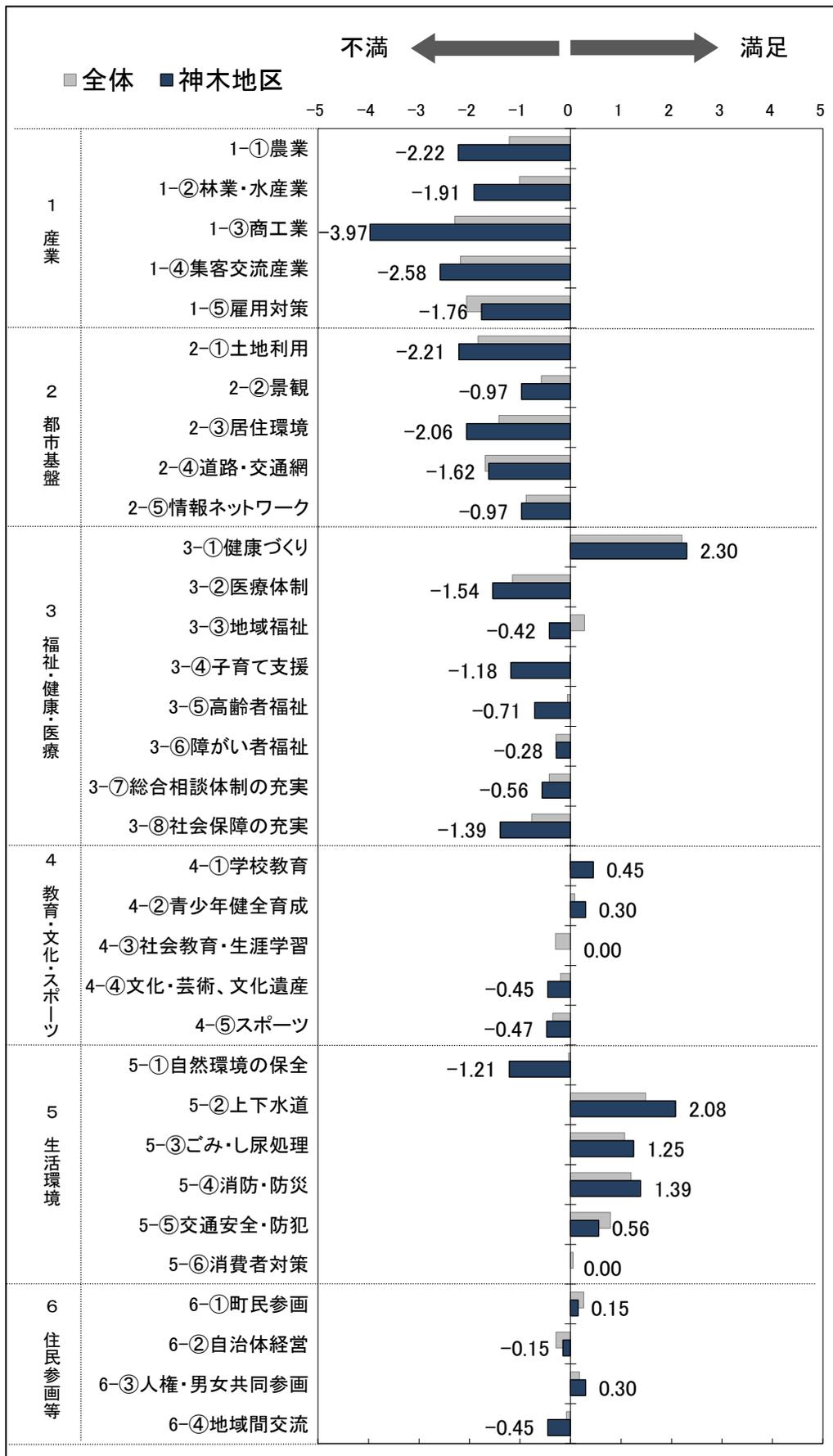
満足度（全体、下市木地区／評価点）



満足度（全体、志原地区／評価点）



満足度（全体、神木地区／評価点）



## (2)まちの各環境に対する重要度

■重要度が最も高い項目は「医療体制」。次いで「上下水道」、「ごみ・し尿処理」、「道路・交通網」、「学校教育」の順。

満足度と同様の6分野33項目について、「非常に重要」、「重要」、「どちらでもない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価した回答結果を、重要度として点数化※しました。

その結果をみると、「3-②医療体制」(6.35点)が最も高く、次いで「5-②上下水道」(5.59点)、「5-③ごみ・し尿処理」(5.27点)、「2-④道路・交通網」(5.04点)、「4-①学校教育」(5.03点)などが上位に挙げられています。

また、令和2年調査と比較し重要度が上がっている項目は「1-②林業・水産業」、「4-②青少年健全育成」、「5-②上下水道」、「5-③ごみ・し尿処理」、「5-⑥消費者対策」、「6-③人権・男女共同参画」となっています。

年齢別でみると、10-20代から60代までで「3-②医療体制」が第1位に挙げられており、医療体制の充実への要望が強い結果となっています。また、70代と80歳以上で「5-②上下水道」が第1位に挙げられています。また、40代以下の若年層では「3-④子育て支援」や「4-①学校教育」が上位となっており、教育環境を重視していることがうかがえます。

居住地区別でみると、尾呂志地区は「5-②上下水道」ですが、その他の地区で「3-②医療体制」が第1位に挙げられています。また、第2位に挙げられている項目は、尾呂志地区では「3-②医療体制」、阿田和地区、上市木地区、志原地区では「5-②上下水道」、下市木地区では「1-①農業」と「2-④道路・交通網」、神木地区では「1-⑤雇用対策」となっています。

重要度（全体／評価点、上位項目）

上位	項目	評価点	上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.35	6	5-④消防・防災	4.99
2	5-②上下水道	5.59	7	1-①農業	4.94
3	5-③ごみ・し尿処理	5.27	8	3-④子育て支援	4.73
4	2-④道路・交通網	5.04	9	3-⑤高齢者福祉	4.68
5	4-①学校教育	5.03	10	3-⑧社会保障の充実	4.60

※評価点の算出方法  
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left( \begin{array}{l} \text{「非常に重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「重要」の回答者数} \\ \times 5 \text{点} + \text{「どちらでもない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「あまり} \\ \text{重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「重要でない」の回答} \\ \text{者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right)}{\left( \begin{array}{l} \text{「非常に重要」、「重要」、「あ} \\ \text{まり重要でない」、「重要でない」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)}$$

重要度（年齢別／評価点、上位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.16
2	4-①学校教育	6.94
3	5-②上下水道	6.62
4	5-③ごみ・し尿処理	6.22
5	1-①農業/3-④子育て支援	6.08

30代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.14
2	3-④子育て支援	6.88
3	4-①学校教育	6.16
4	2-④道路・交通網	5.89
5	5-③ごみ・し尿処理	5.80

40代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.78
2	3-④子育て支援	5.87
3	1-①農業	5.75
4	4-①学校教育	5.63
5	1-③商工業	5.06

50代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.07
2	5-②上下水道	6.20
3	1-①農業	5.98
4	2-④道路・交通網	5.71
5	1-⑤雇用対策	5.66

60代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.57
2	5-④消防・防災	5.15
3	3-⑤高齢者福祉	5.12
3	5-②上下水道	5.12
5	2-④道路・交通網	5.09

70代

上位	項目	評価点
1	5-②上下水道	5.69
2	3-②医療体制	5.44
3	5-③ごみ・し尿処理	5.06
4	5-④消防・防災	4.79
5	2-④道路・交通網	4.43

80歳以上

上位	項目	評価点
1	5-②上下水道	6.57
2	5-④消防・防災	6.10
3	5-③ごみ・し尿処理	6.02
4	3-②医療体制	5.71
5	3-⑤高齢者福祉	5.44

重要度（居住地区別／評価点、上位項目）

尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	5-②上下水道	6.06
2	3-②医療体制	5.73
3	5-①自然環境の保全	5.67
4	4-①学校教育	5.49
5	1-①農業	5.45

阿田和地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.12
2	5-②上下水道	5.81
3	5-③ごみ・し尿処理	5.58
4	5-④消防・防災	5.11
5	4-①学校教育	5.00

上市木地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.35
2	5-②上下水道	6.32
3	2-④道路・交通網	5.74
4	1-①農業	5.43
5	1-③商工業/5-③ごみ・し尿処理	5.29

下市木地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.25
2	1-①農業	5.23
2	2-④道路・交通網	5.23
4	5-②上下水道	5.20
5	1-③商工業	5.14

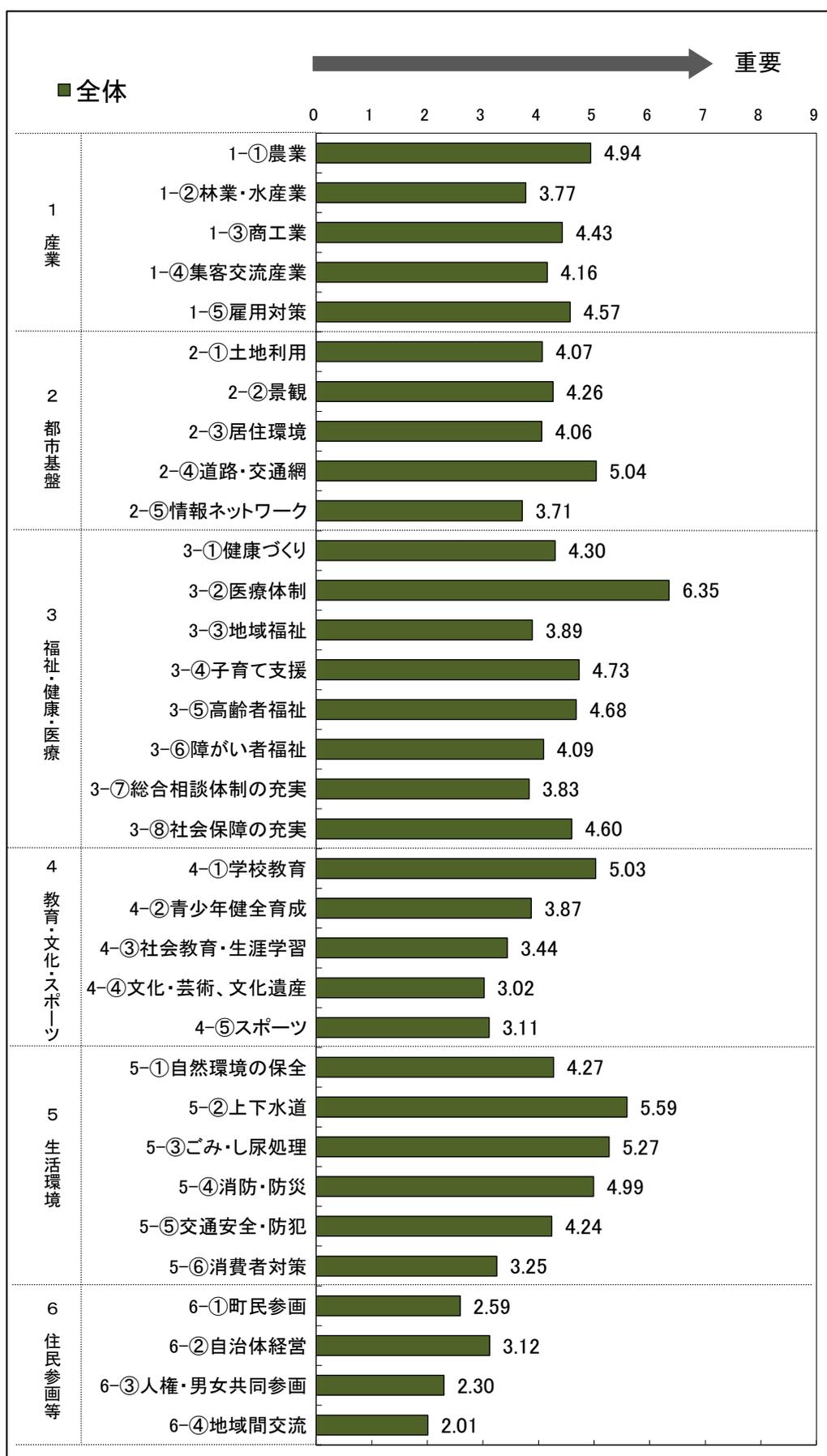
志原地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.86
2	5-②上下水道	5.59
3	2-④道路・交通網	5.56
4	5-③ごみ・し尿処理	5.30
5	3-④子育て支援	5.24

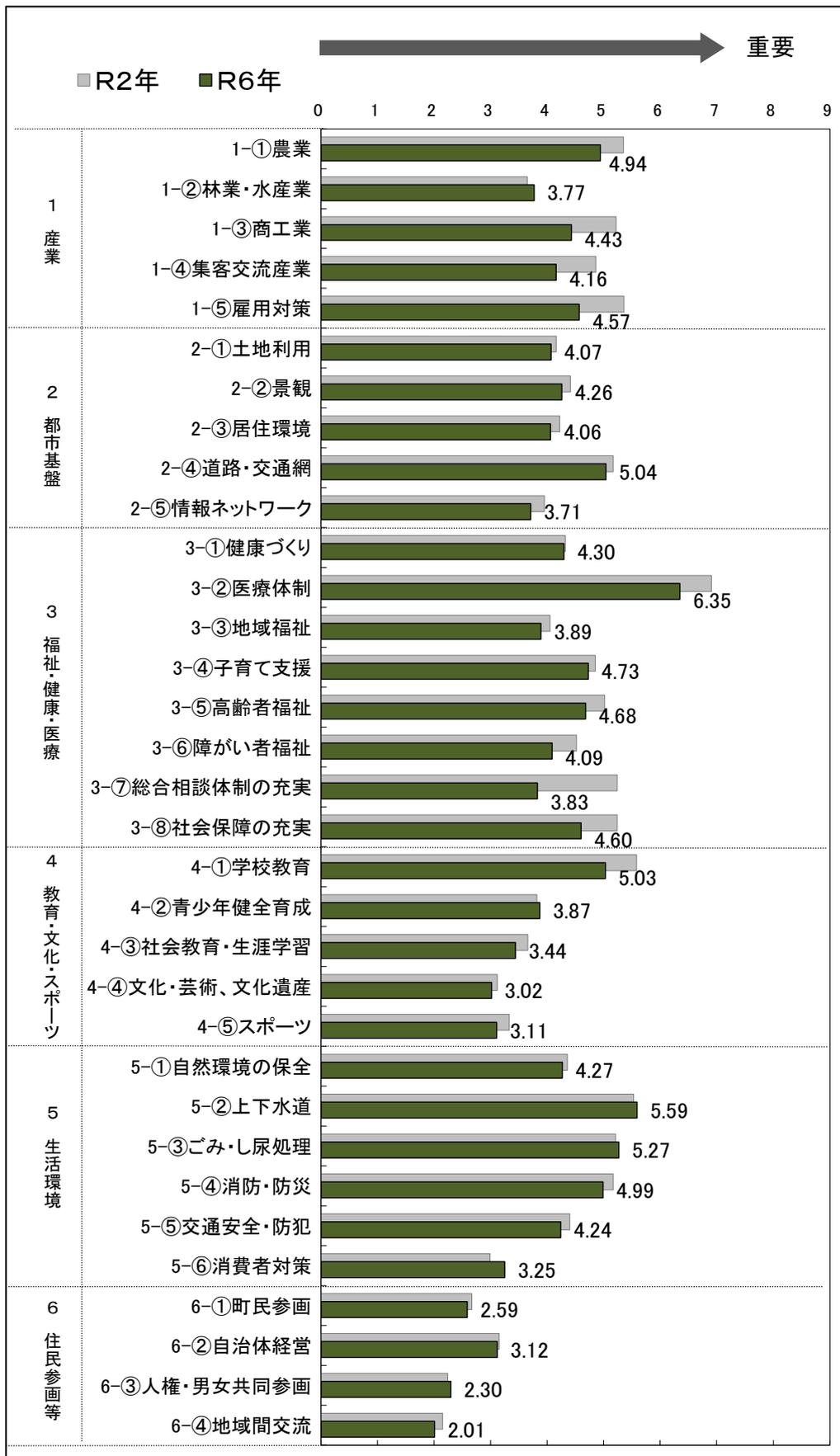
神木地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	5.91
2	1-⑤雇用対策	4.85
3	1-①農業	4.71
3	3-⑤高齢者福祉	4.71
5	1-③商工業	4.70

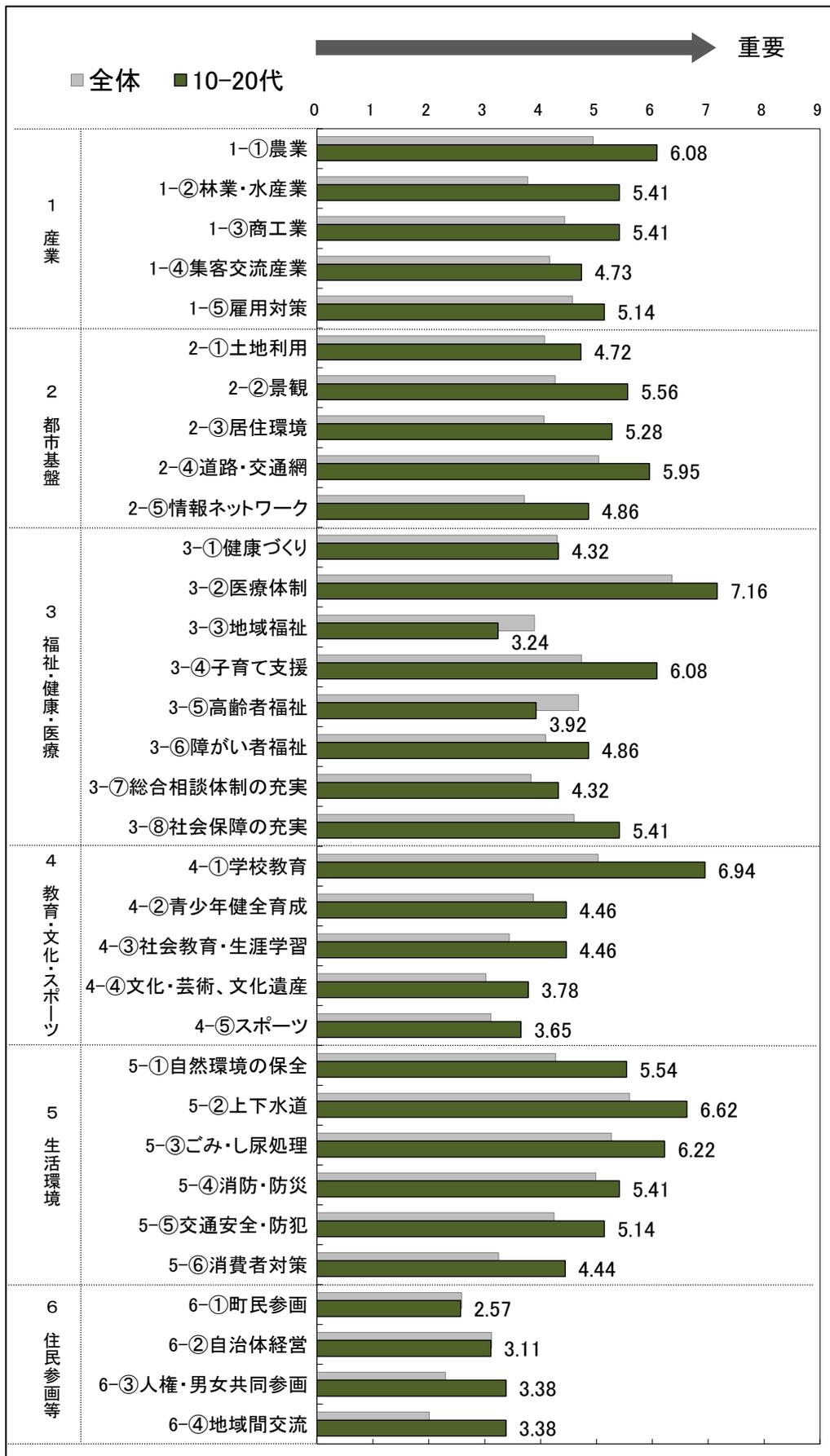
重要度（全体／評価点）



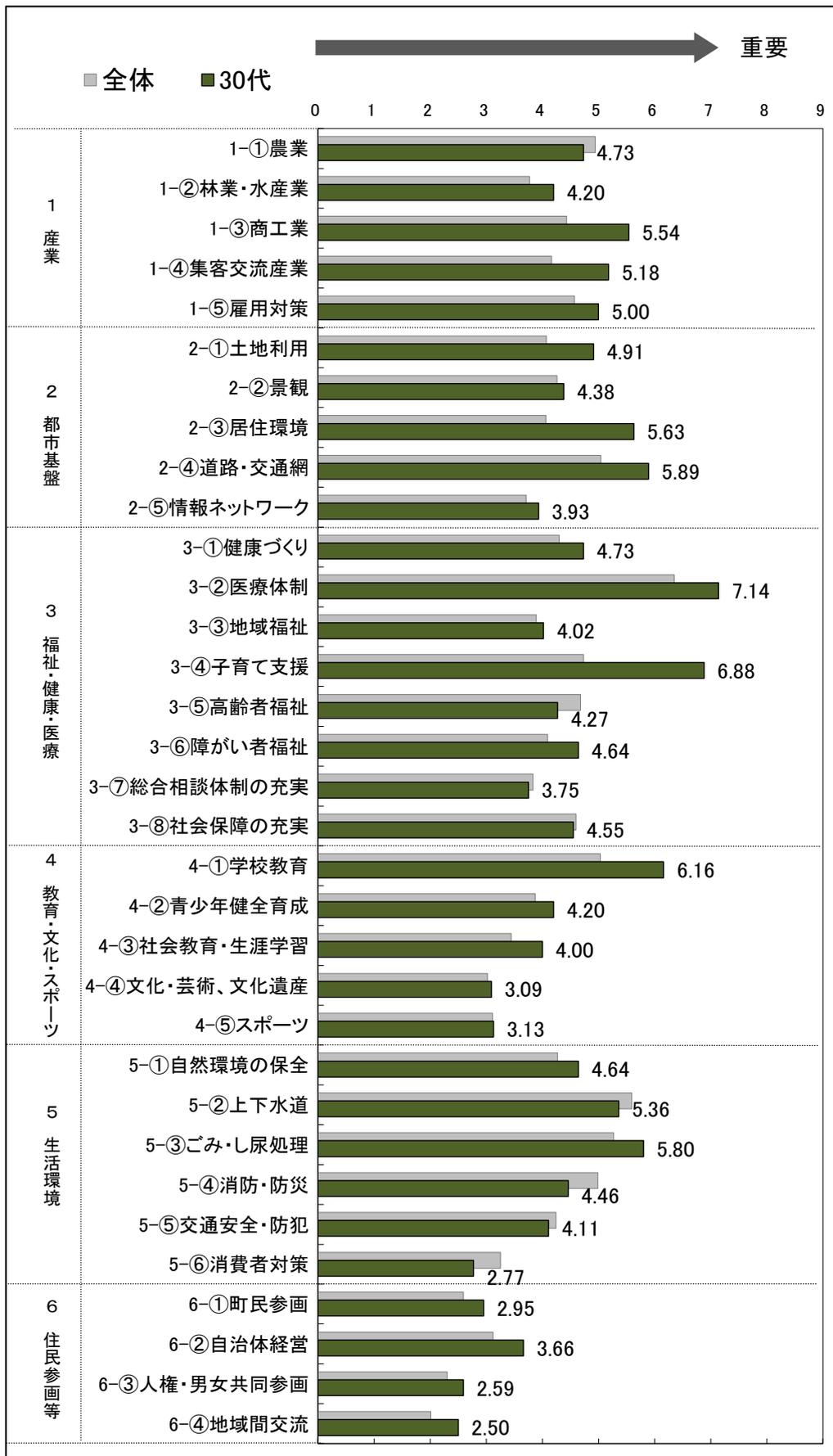
重要度（R6全体、R2全体／評価点）



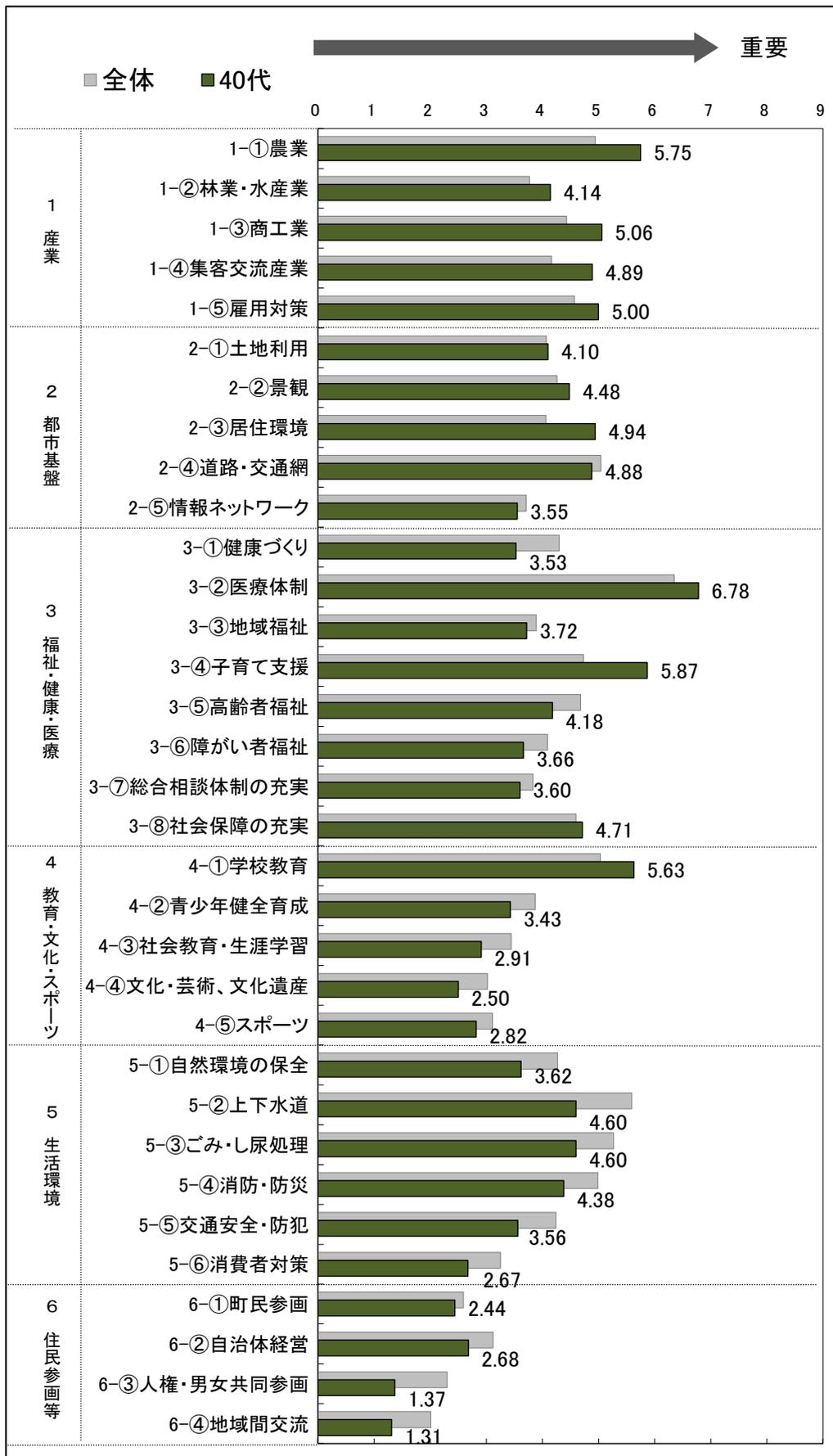
重要度（全体、10-20代／評価点）



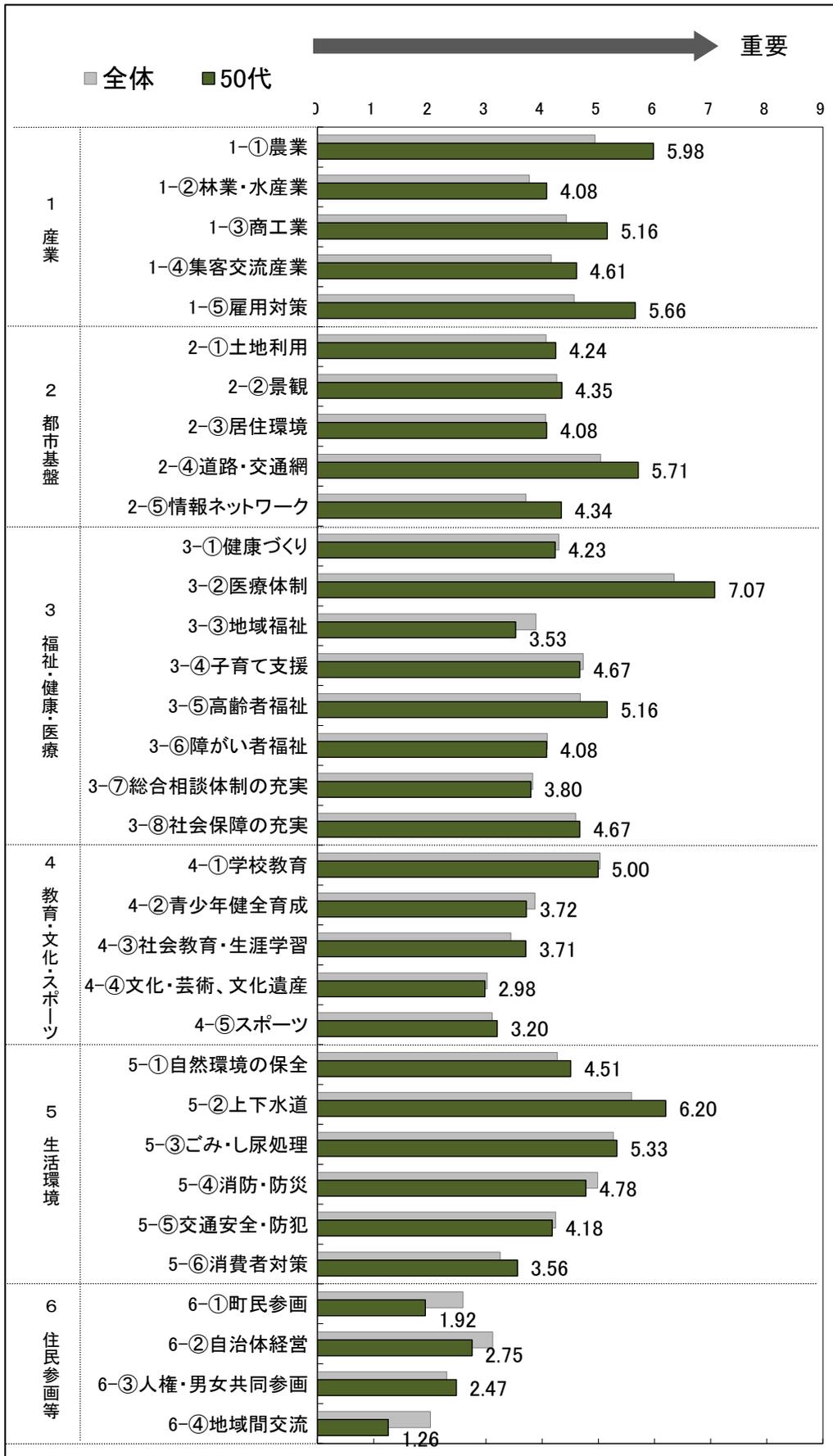
重要度（全体、30代／評価点）



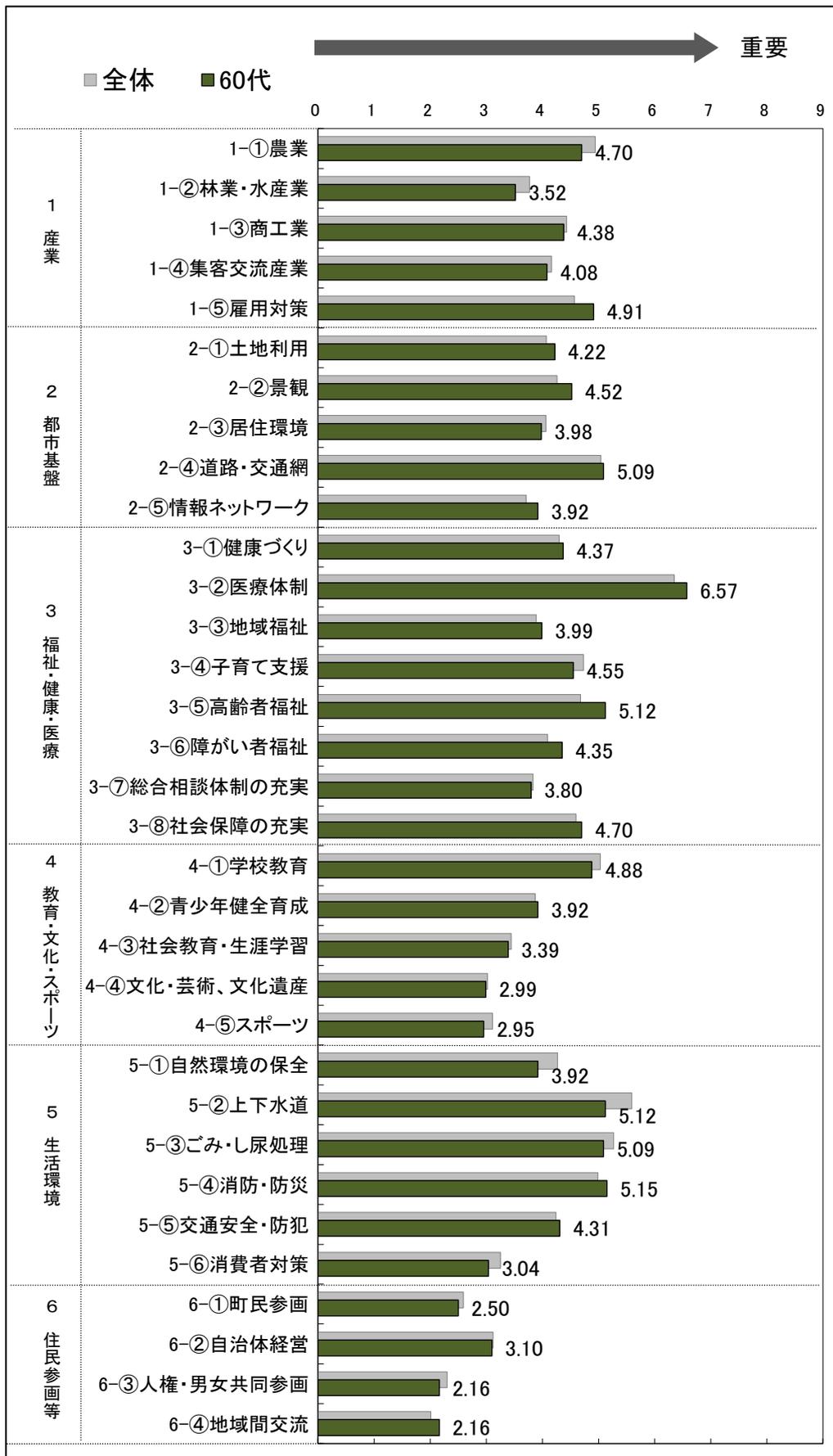
重要度（全体、40代／評価点）



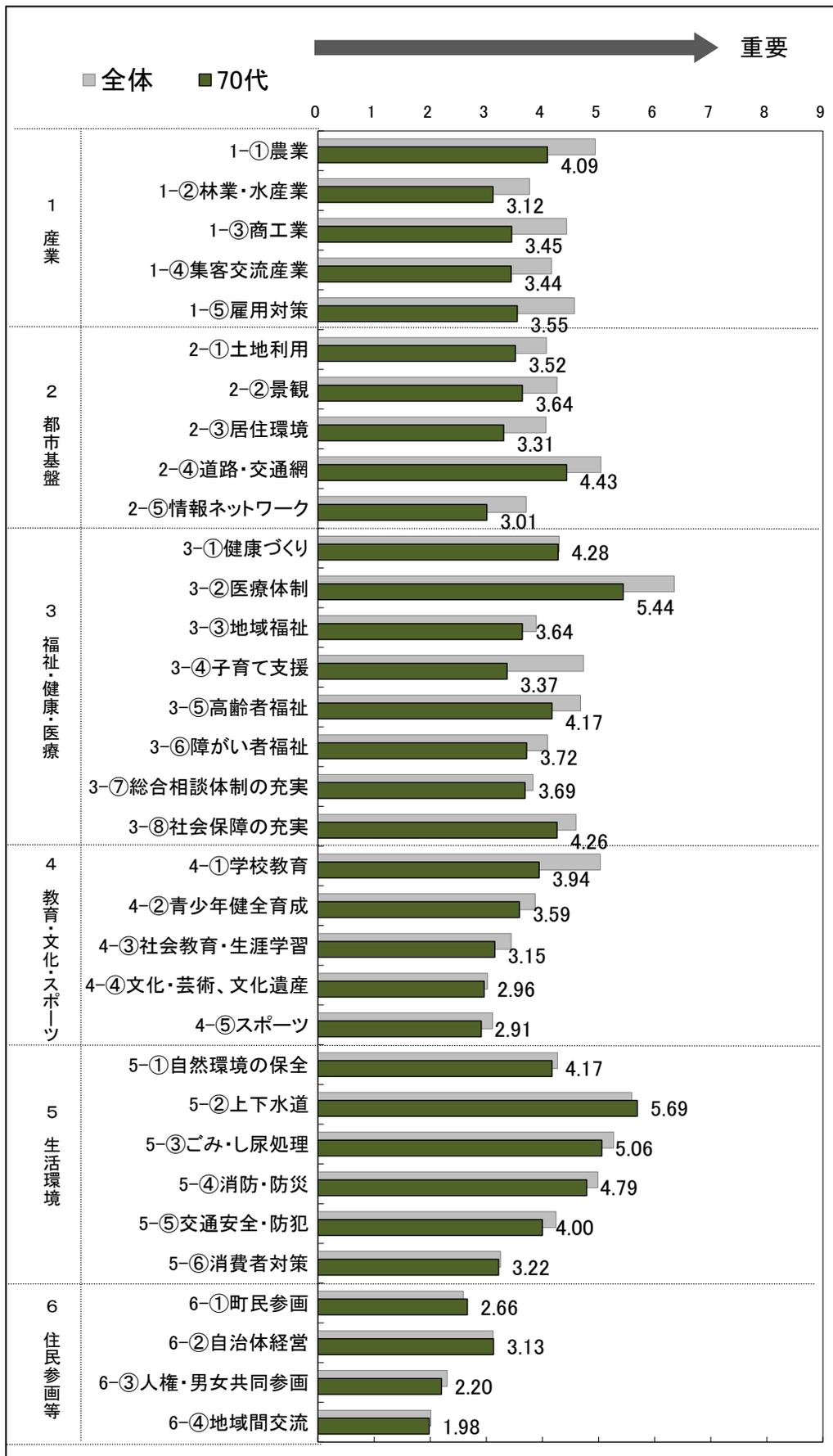
重要度（全体、50代／評価点）



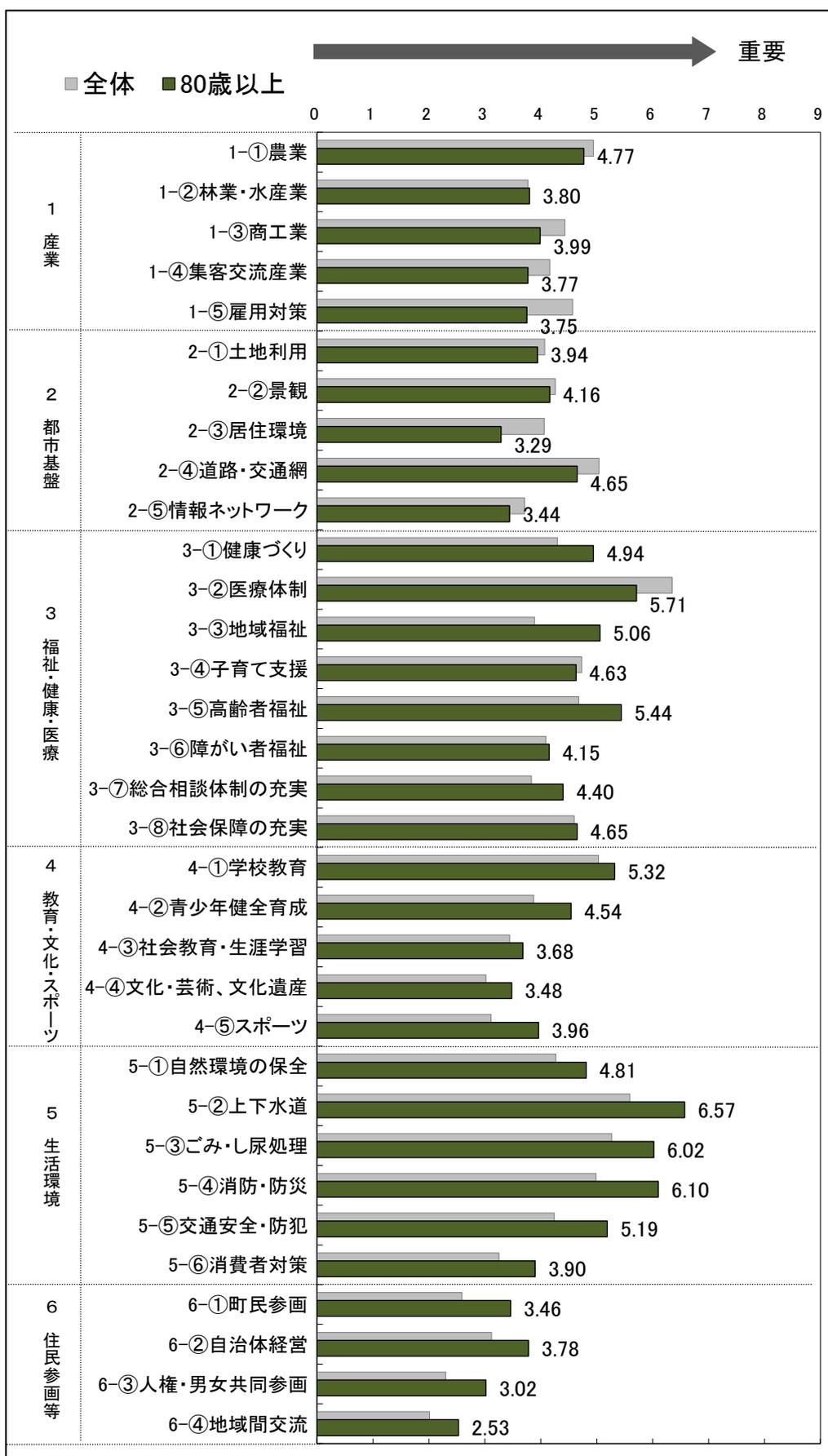
重要度（全体、60代／評価点）



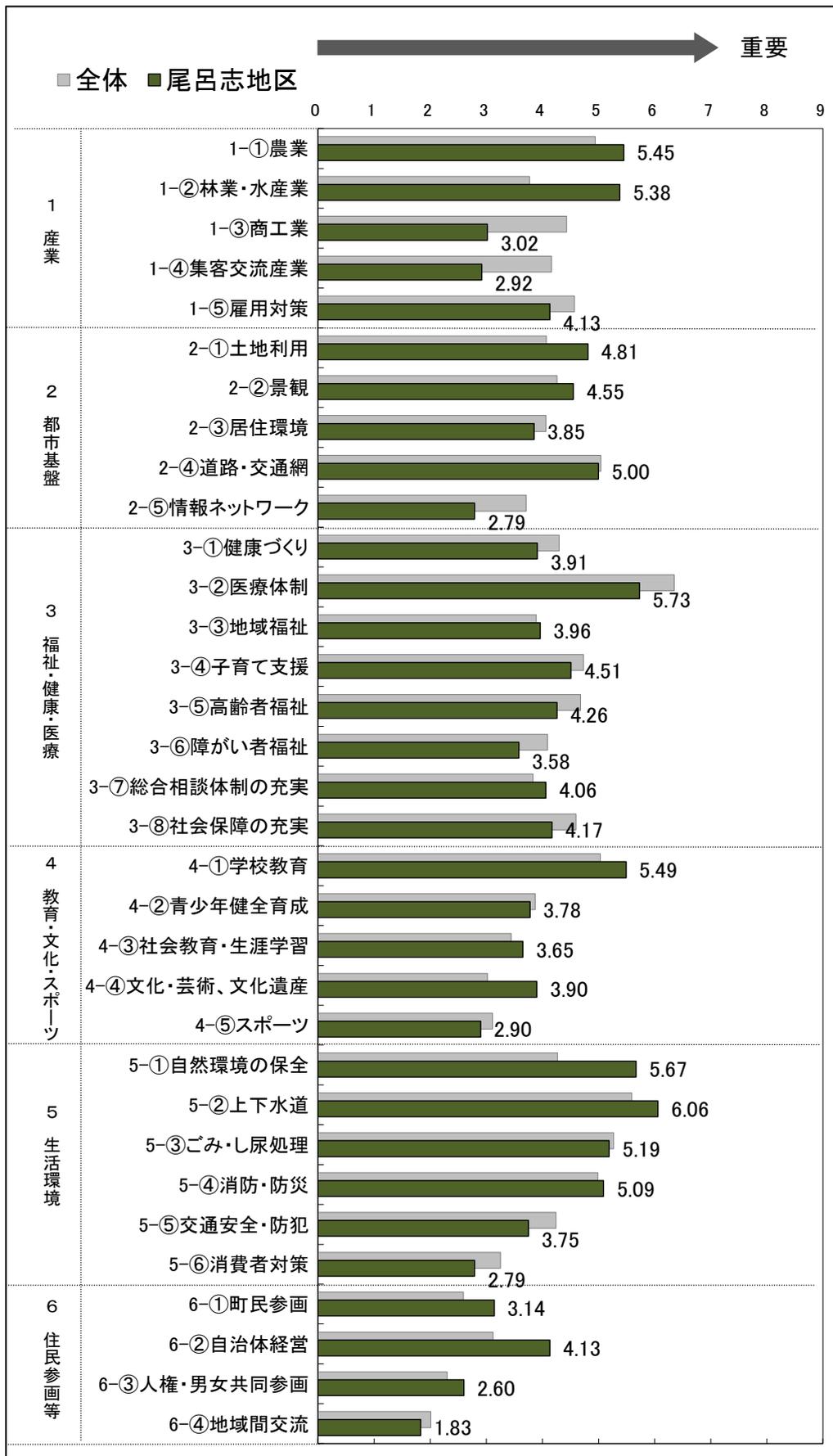
重要度（全体、70代／評価点）



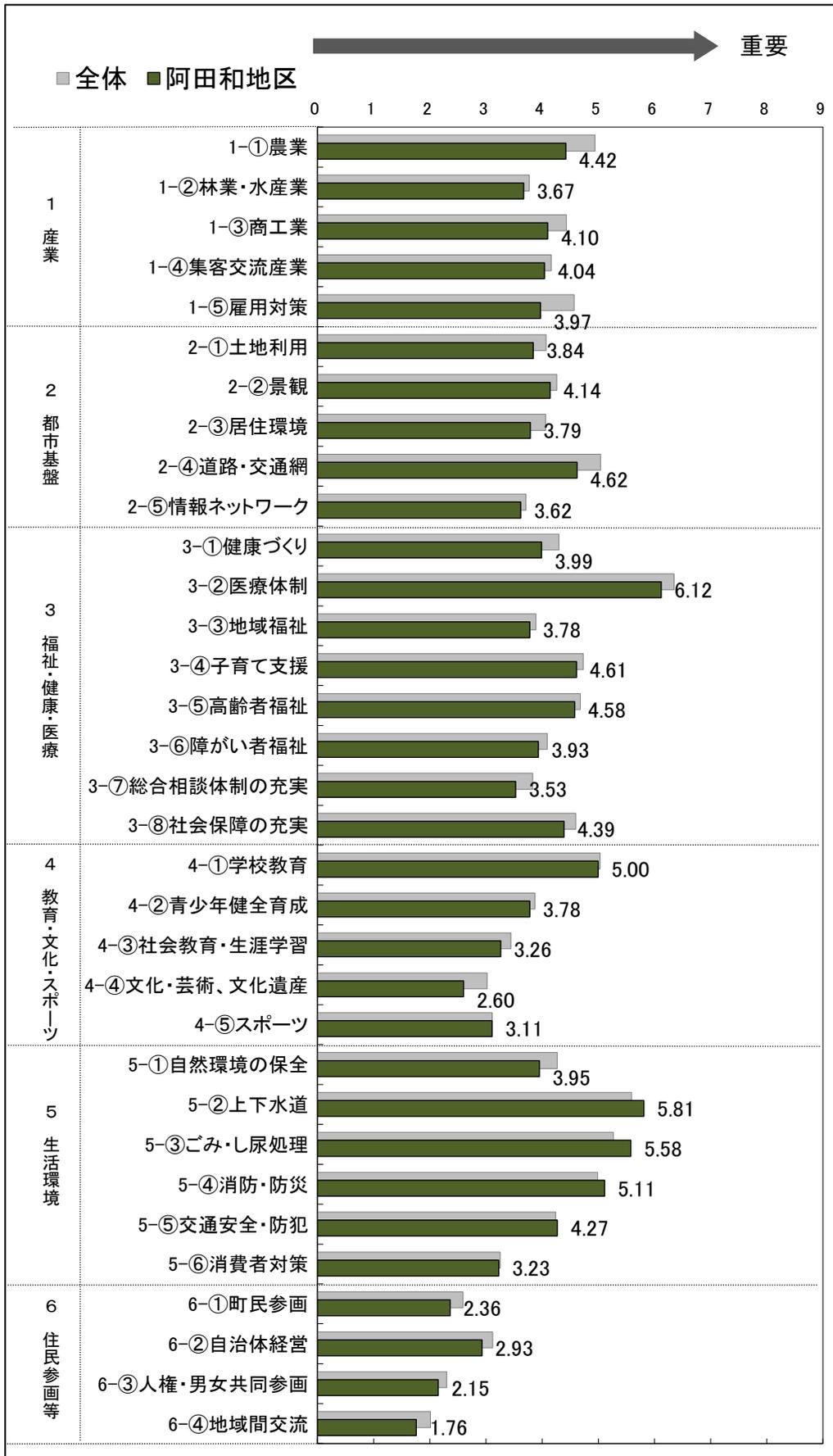
重要度（全体、80歳以上／評価点）



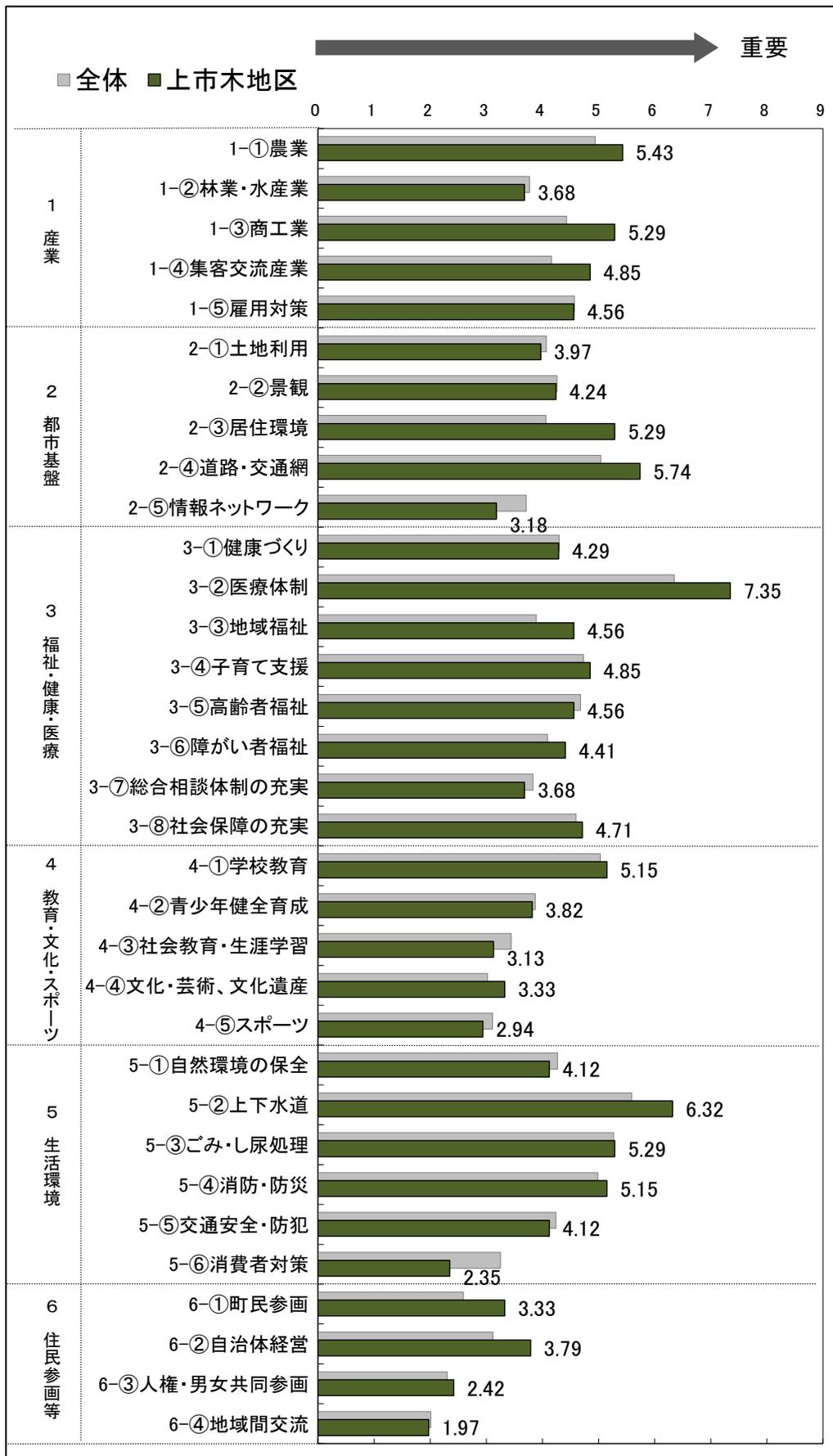
重要度（全体、尾呂志地区／評価点）



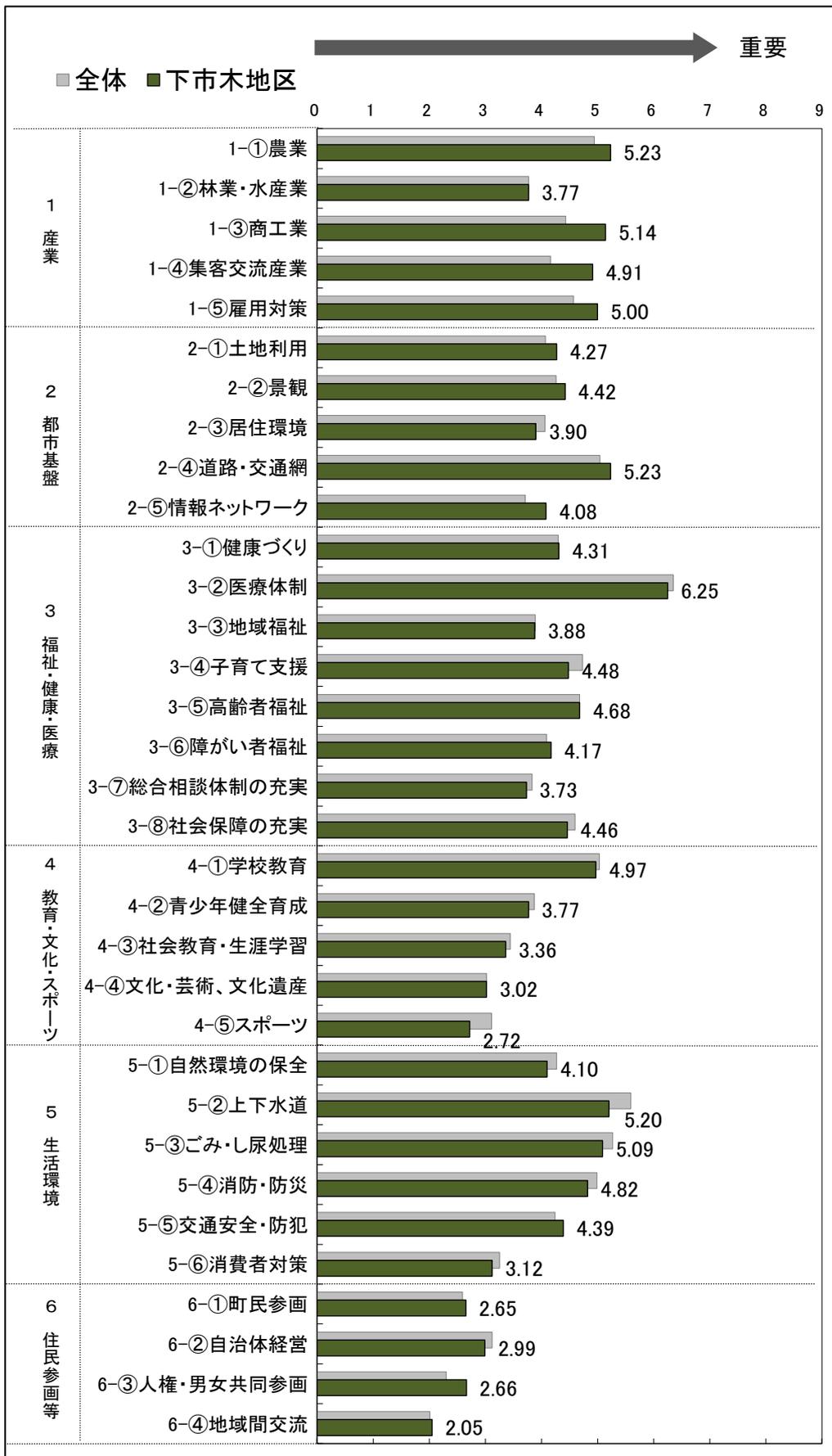
重要度（全体、阿田和地区／評価点）



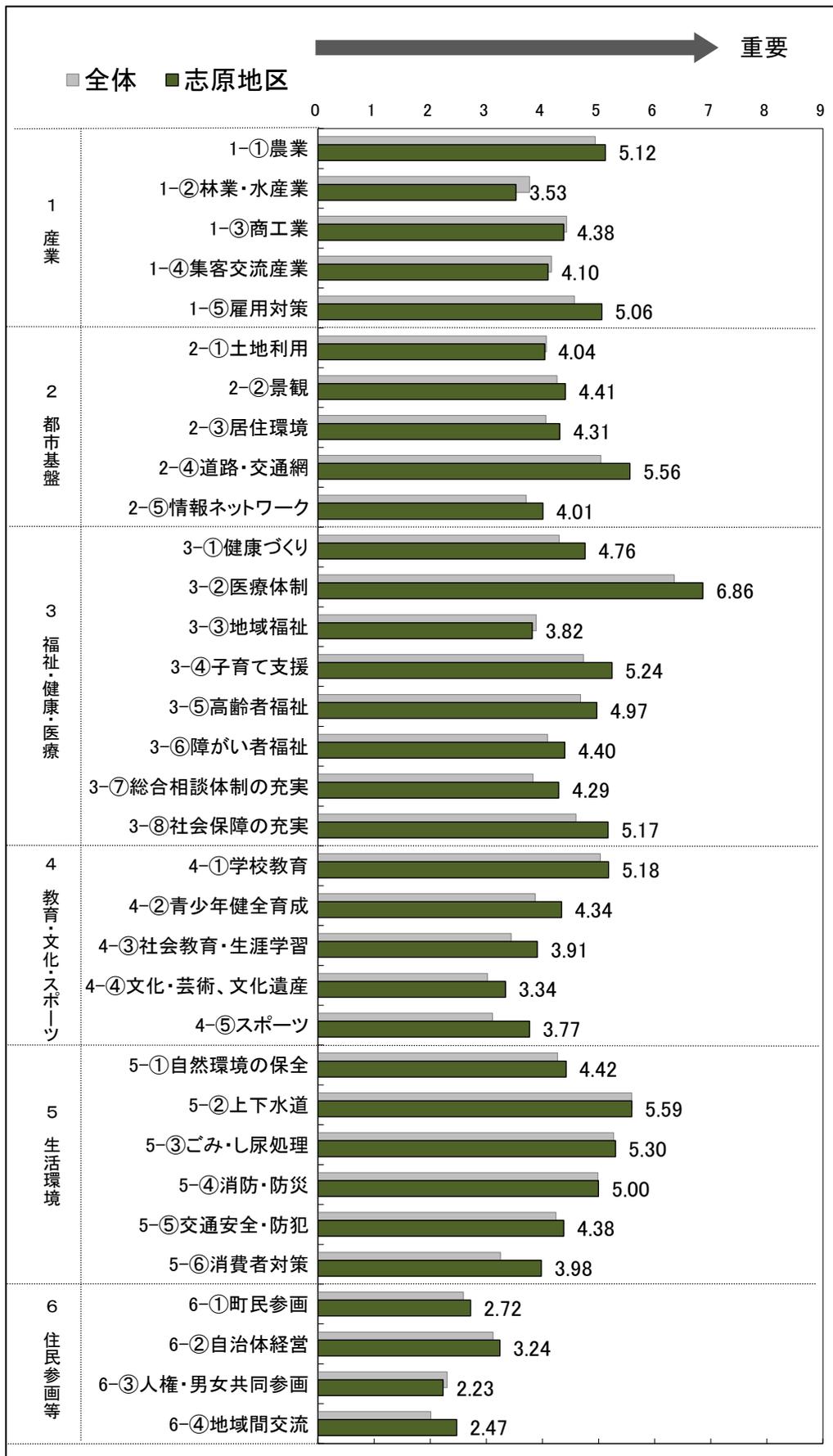
重要度（全体、上市木地区／評価点）



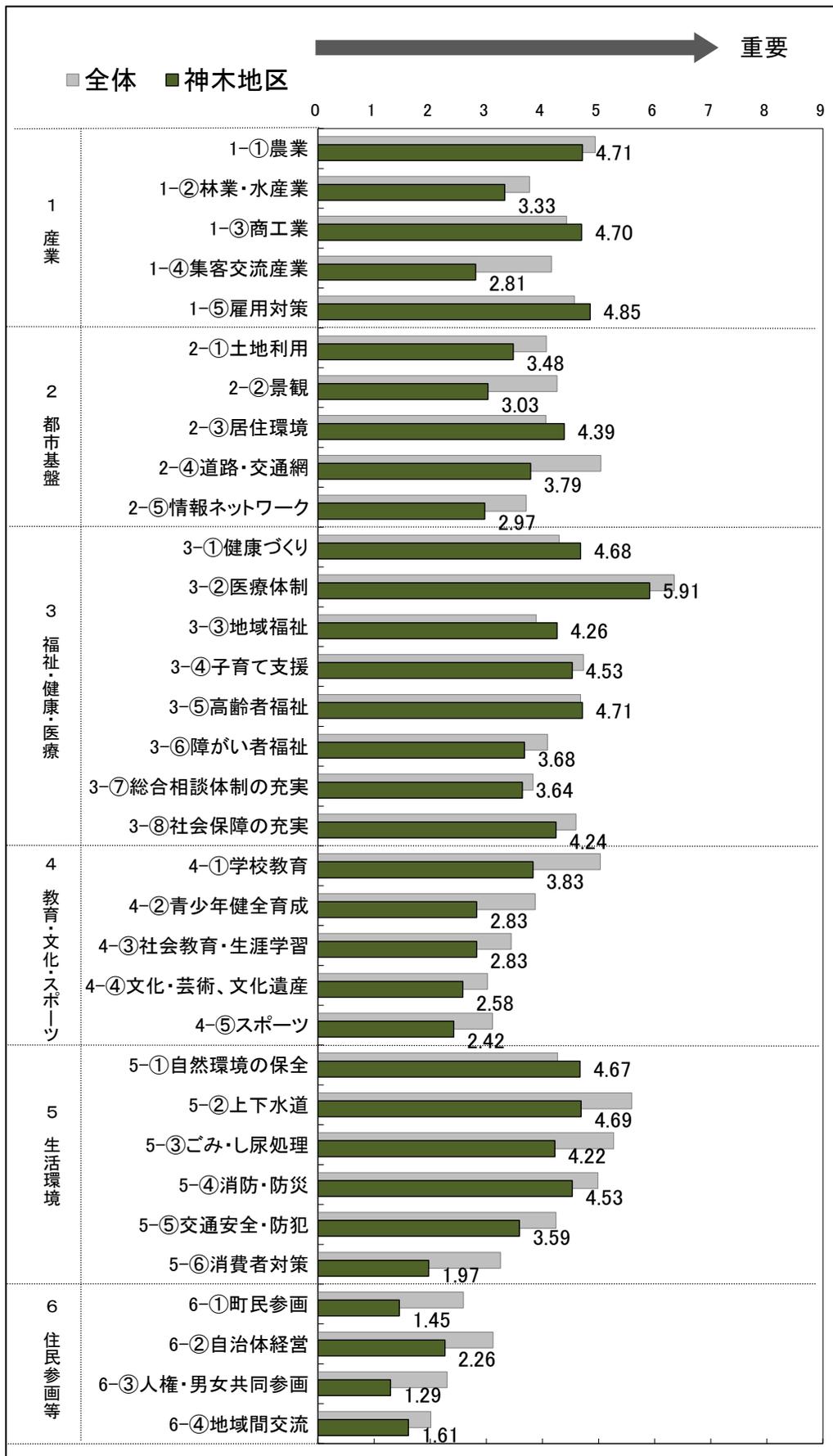
重要度（全体、下市木地区／評価点）



重要度（全体、志原地区／評価点）



重要度（全体、神木地区／評価点）



### (3)今後のまちづくりの特色について

問5 あなたは、御浜町のまちづくりにおいて、今後どのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

■「健康・福祉のまち」が第1位。次いで「快適住環境のまち」、「子育て・教育のまち」、「農林業のまち」が続く。

---

今後どのような特色のあるまちにすべきかをたずねたところ、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が41.3%と第1位に挙げられ、次いで「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(34.9%)、「子育て環境やこどもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(24.9%)、「農林業、水産業を中心として発展する農林水産業のまち」(20.1%)、「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」(16.8%)などの順となっています。

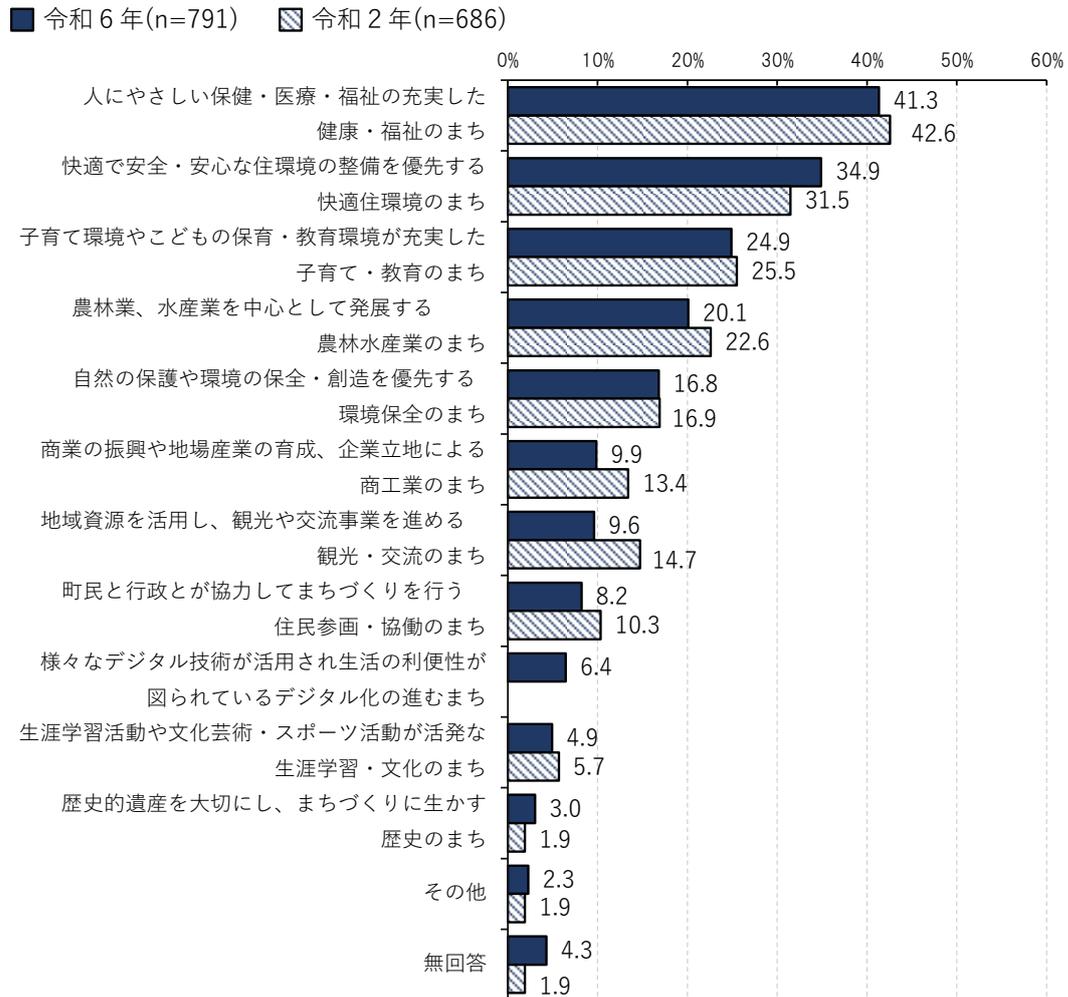
令和2年調査と比べると「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が3.4ポイント増加しています。

性別で見ると、男性・女性ともに「健康・福祉のまち」が第1位にあげられていますが、女性は約5割となっています。

年齢別で見ると、10-20代では「快適住環境のまち」と「子育て・教育のまち」、30代と40代では「健康・福祉のまち」と「子育て・教育のまち」がそれぞれ第1位となっており、30代では「子育て・教育のまち」が約6割におよびます。50代では「快適住環境のまち」、60代以上では「健康・福祉のまち」が第1位となっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区では「環境保全のまち」、その他の地区では「健康・福祉のまち」が第1位となっています。また、神木地区は「農林業のまち」も高くなっています。

## 今後のまちづくりの特色について（全体／複数回答）



※「様々なデジタル技術が活用され生活の利便性が図られているデジタル化の進むまち」は、令和6年から追加選択肢となっています。

今後のまちづくりの特色について（全体、性別、年齢別、居住地区別／複数回答）

		環境保全のまち	快適住環境のまち	健康・福祉のまち	子育て・教育のまち	生涯学習・文化のまち	歴史のまち	農林業のまち	商工業のまち	観光・交流のまち	住民参画・協働のまち	デジタル化の進むまち	その他
（%）													
全体 (n=791)		16.8	34.9	41.3	24.9	4.9	3.0	20.1	9.9	9.6	8.2	6.4	2.3
性別	男性 (n=359)	16.4	30.9	34.8	26.5	4.7	3.1	26.2	12.5	8.9	8.9	8.9	2.2
	女性 (n=423)	17.5	38.8	46.8	23.9	5.2	2.8	15.4	7.8	10.4	7.3	4.3	2.1
年齢別	10-20代 (n=40)	20.0	37.5	22.5	37.5	7.5	2.5	15.0	10.0	12.5	2.5	7.5	7.5
	30代 (n=58)	12.1	27.6	32.8	60.3	0.0	6.9	19.0	1.7	6.9	1.7	8.6	5.2
	40代 (n=92)	17.4	32.6	32.6	37.0	5.4	3.3	22.8	12.0	14.1	4.3	9.8	3.3
	50代 (n=98)	18.4	43.9	37.8	27.6	7.1	3.1	17.3	8.2	11.2	3.1	8.2	2.0
	60代 (n=175)	17.7	37.7	45.7	20.0	6.3	0.6	20.6	8.0	9.7	9.1	7.4	2.3
	70代 (n=202)	15.8	35.1	42.1	14.9	4.5	4.0	20.8	15.3	10.4	11.4	5.0	1.0
	80歳以上 (n=120)	16.7	28.3	55.0	15.8	3.3	3.3	21.7	6.7	4.2	14.2	2.5	0.8
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	33.3	28.6	27.0	27.0	3.2	6.3	19.0	9.5	6.3	9.5	4.8	4.8
	阿田和地区 (n=257)	13.2	38.5	41.6	23.7	6.6	3.9	20.6	11.7	8.6	7.0	7.0	2.7
	上市木地区 (n=39)	7.7	28.2	43.6	23.1	2.6	5.1	20.5	17.9	10.3	5.1	2.6	2.6
	下市木地区 (n=195)	17.4	32.3	45.1	26.7	2.6	1.5	18.5	8.2	10.8	8.7	6.2	2.6
	志原地区 (n=187)	16.0	38.0	42.8	25.1	6.4	2.7	20.3	7.5	12.3	9.1	7.0	0.5
	神木地区 (n=41)	22.0	29.3	31.7	24.4	4.9	0.0	29.3	12.2	4.9	9.8	9.8	2.4

### 3. 若者定住対策について

---

問6 あなたは、若者の定住対策として、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。  
【複数回答】

■「結婚・出産・子育て支援など子どもを産み育てやすい環境づくり」が第1位。  
前回の第1位の「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」は減少。

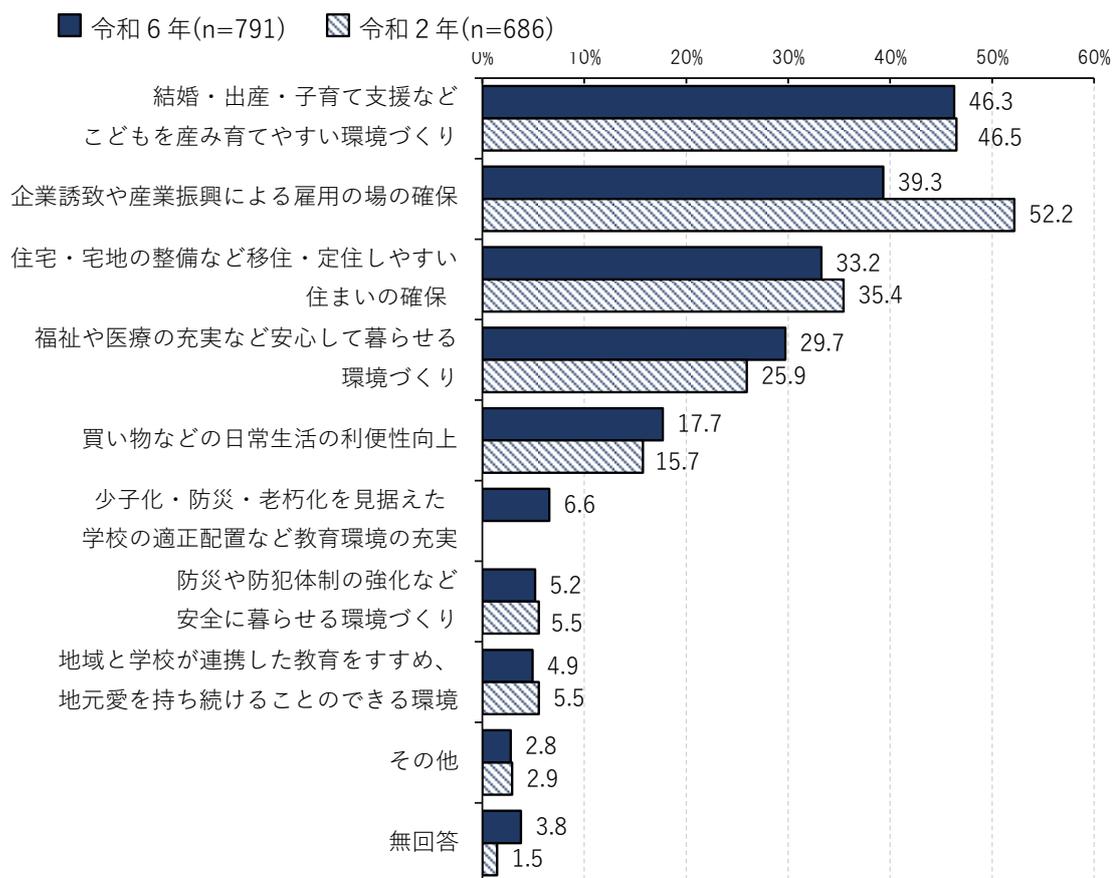
---

若者の定住対策で重要な取り組みをたずねたところ、「結婚・出産・子育て支援など子どもを産み育てやすい環境づくり」が46.3%と第1位に挙げられ、次いで「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」(39.3%)、「住宅・宅地の整備など移住・定住しやすい住まいの確保」(33.2%)、「福祉や医療の充実など安心して暮らせる環境づくり」(29.7%)、「買い物などの日常生活の利便性向上」(17.7%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「福祉や医療の充実など安心して暮らせる環境づくり」が3.8ポイント増加し、「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」が12.9ポイント減少しています。

性別、年齢別、居住地区別でも、ほとんどの層で「結婚・出産・子育て支援など子どもを産み育てやすい環境づくり」及び「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」が上位を占めています。また、居住地区別の尾呂志地区と神木地区では「住宅・宅地の整備など移住・定住しやすい住まいの確保」と回答する割合が多くなっています。

## 若者定住対策について（全体／複数回答）



若者定住対策について（全体、性別、年齢別、居住地区別／複数回答）

		住宅・宅地の整備など移住・定住しやすい住まいの確保	結婚・出産・子育てしやすい環境づくり	少子化・防災・老朽化を見据えた学校の適正配置など教育環境の充実	福祉や医療の充実など安心して暮らせる環境づくり	企業誘致や産業振興による雇用の場の確保	買い物などの日常生活の利便性向上	防災や防犯体制の強化など安全に暮らせる環境づくり	地域と学校が連携した教育をすすめる、地元愛を持ち続けることのできる環境	その他
		(%)								
全体 (n=791)		33.2	46.3	6.6	29.7	39.3	17.7	5.2	4.9	2.8
性別	男性 (n=359)	36.2	50.4	5.3	24.0	41.2	13.9	5.0	4.7	2.5
	女性 (n=423)	30.7	43.5	7.8	34.8	38.1	20.8	5.4	5.2	2.8
年齢別	10-20代 (n=40)	22.5	57.5	20.0	25.0	22.5	35.0	7.5	2.5	2.5
	30代 (n=58)	25.9	63.8	8.6	19.0	29.3	25.9	5.2	3.4	6.9
	40代 (n=92)	42.4	51.1	4.3	31.5	37.0	14.1	4.3	4.3	5.4
	50代 (n=98)	34.7	55.1	8.2	25.5	36.7	18.4	2.0	5.1	3.1
	60代 (n=175)	32.6	51.4	7.4	26.9	44.6	13.7	5.7	4.6	2.9
	70代 (n=202)	31.7	35.1	4.5	31.2	48.5	16.3	6.9	5.9	1.0
	80歳以上 (n=120)	36.7	36.7	4.2	40.8	30.8	18.3	4.2	5.8	0.8
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	44.4	49.2	4.8	28.6	30.2	11.1	4.8	6.3	11.1
	阿田和地区 (n=257)	37.0	45.1	5.4	31.5	39.3	13.2	6.2	5.1	1.9
	上市木地区 (n=39)	20.5	46.2	7.7	23.1	43.6	20.5	10.3	2.6	5.1
	下市木地区 (n=195)	31.3	47.7	7.7	27.2	40.0	19.0	4.6	5.1	2.1
	志原地区 (n=187)	27.8	48.7	9.1	33.2	39.6	23.5	4.8	4.3	1.6
	神木地区 (n=41)	43.9	36.6	0.0	24.4	46.3	19.5	0.0	4.9	2.4

## 4. 防災対策について

### (1) 防災対策で必要なこと

問7 あなたは、町の防災対策について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

■ 「避難場所の整備充実と周知」が第1位。前回と上位5位は変動なし。

防災対策で必要なことについては、「避難場所の整備充実と周知」が45.9%と最も高く、次いで「災害発生危険箇所の整備」(30.7%)、「災害時の情報連絡体制の充実」(29.3%)、「防災意識の啓発活動の充実」(20.2%)などの順となっています。

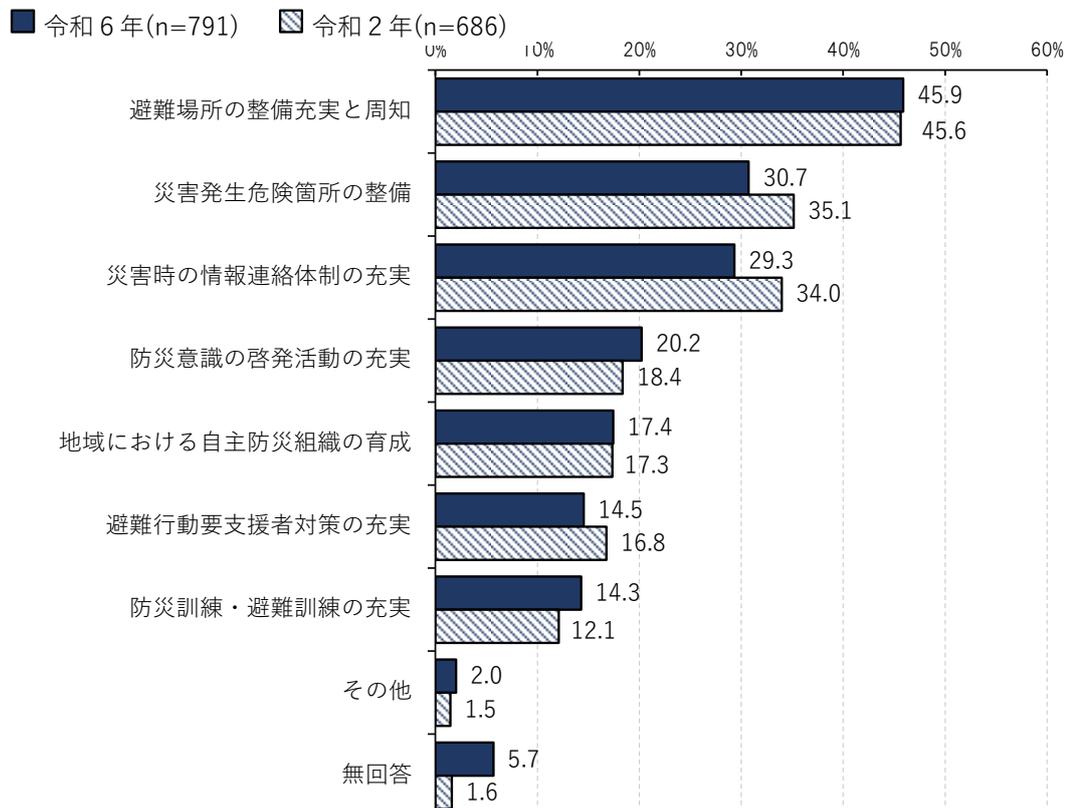
令和2年調査と比べると、「防災意識の啓発活動の充実」や「防災訓練・避難訓練の充実」が微増となっています。

性別で見ると、男女ともに「避難場所の整備充実と周知」が第1位となっています。

年齢別で見ると、ほとんどの層で「避難場所の整備充実と周知」が第1位となっています。また、40代では「災害発生危険箇所の整備」が高くなっています。

居住地区別で見ると、すべての地区で「避難場所の整備充実と周知」が第1位となっています。また、上市木地区と神木地区で「災害発生危険箇所の整備」が高くなっています。

防災対策で必要なこと（全体／複数回答）



防災対策で必要なこと（全体、性別、年齢別、居住地区別／複数回答）

		防災意識の啓発活動の充実	防災訓練・避難訓練の充実	地域における自主防災組織の育成	避難行動要支援者対策の充実	避難場所の整備充実と周知	災害時の情報連絡体制の充実	災害発生危険箇所の整備	その他
		（％）							
全体 (n=791)		20.2	14.3	17.4	14.5	45.9	29.3	30.7	2.0
性別	男性 (n=359)	21.4	17.3	15.3	15.6	46.5	25.6	30.9	2.5
	女性 (n=423)	19.4	12.1	19.4	13.9	45.9	32.9	31.0	1.4
年齢別	10-20代 (n=40)	17.5	22.5	5.0	7.5	60.0	27.5	32.5	5.0
	30代 (n=58)	12.1	17.2	22.4	13.8	58.6	27.6	22.4	1.7
	40代 (n=92)	19.6	10.9	12.0	17.4	60.9	23.9	39.1	2.2
	50代 (n=98)	23.5	9.2	13.3	14.3	51.0	34.7	28.6	1.0
	60代 (n=175)	23.4	12.0	22.3	12.6	45.1	29.1	34.3	2.3
	70代 (n=202)	21.3	13.9	17.3	15.3	38.1	34.2	28.7	2.5
	80歳以上 (n=120)	17.5	21.7	20.8	17.5	33.3	24.2	28.3	0.8
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	25.4	15.9	23.8	11.1	30.2	25.4	22.2	4.8
	阿田和地区 (n=257)	19.5	11.3	15.6	17.5	50.2	27.6	32.3	2.3
	上市木地区 (n=39)	12.8	20.5	15.4	12.8	48.7	33.3	35.9	2.6
	下市木地区 (n=195)	22.1	16.9	19.5	9.7	42.6	31.3	26.7	2.6
	志原地区 (n=187)	21.9	14.4	15.5	15.0	49.7	34.2	32.1	0.5
	神木地区 (n=41)	12.2	12.2	22.0	24.4	43.9	14.6	41.5	0.0

## (2)災害への備え対策について

問8 あなたの家では、災害に備えて次のような対策をしていますか。

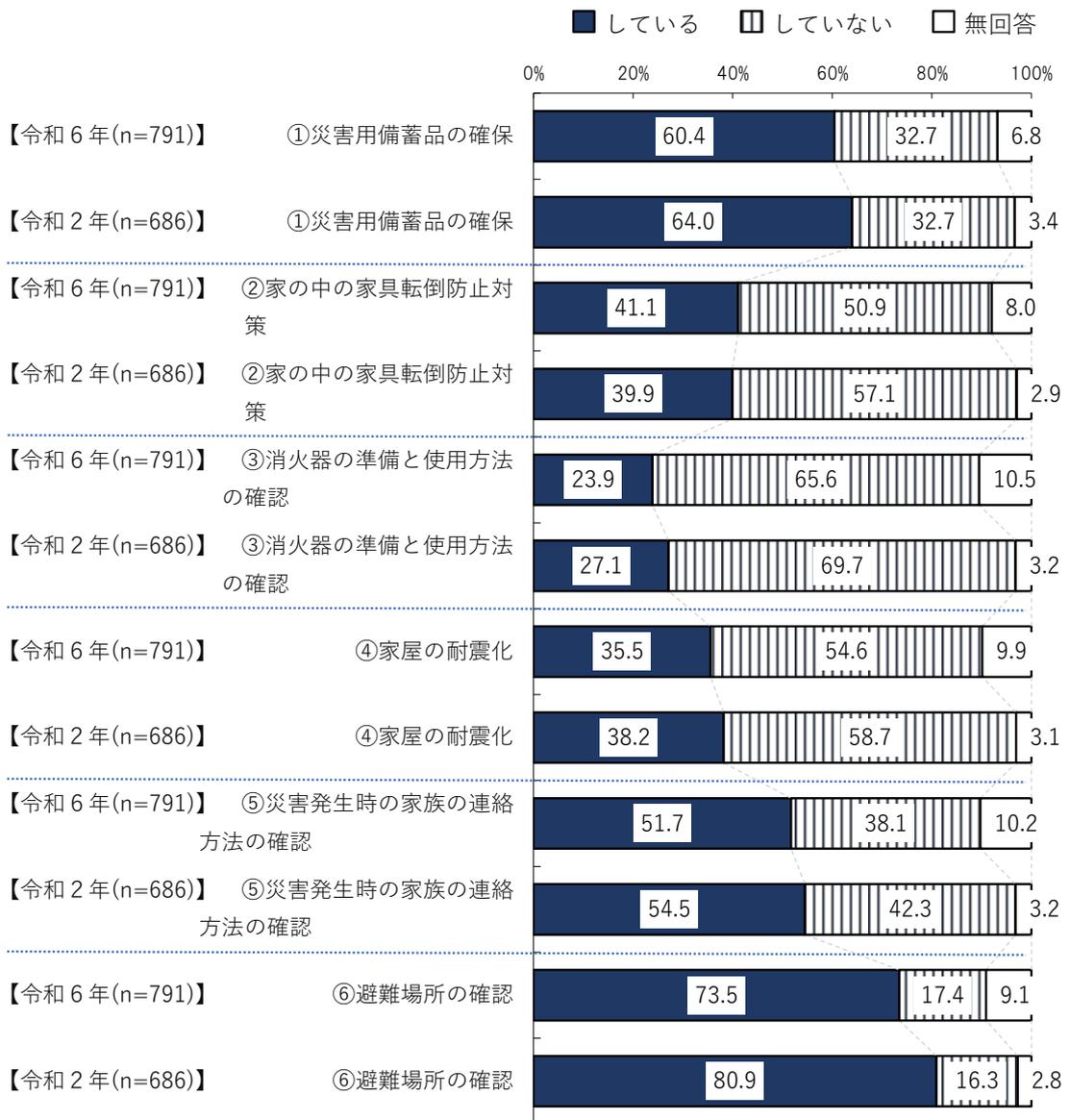
■『⑥避難場所の確認』を約7割が実践している一方、『③消火器の準備と使用方法の確認』は3割以下にとどまる。

家庭での災害への備えについて6つの項目でその取り組み状況をたずねたところ、「している」の割合が最も多い項目は、『⑥避難場所の確認』で73.5%と約7割が実践している結果となっています。次いで『①災害用備蓄品の確保（水・食料など）』（60.4%）、『⑤災害発生時の家族の連絡方法の確認』（51.7%）が続きます。一方、『②家の中の家具転倒防止対策』（41.1%）、『④家屋の耐震化』（35.5%）は約4割、『③消火器の準備と使用方法の確認』（23.9%）は3割以下にとどまります。

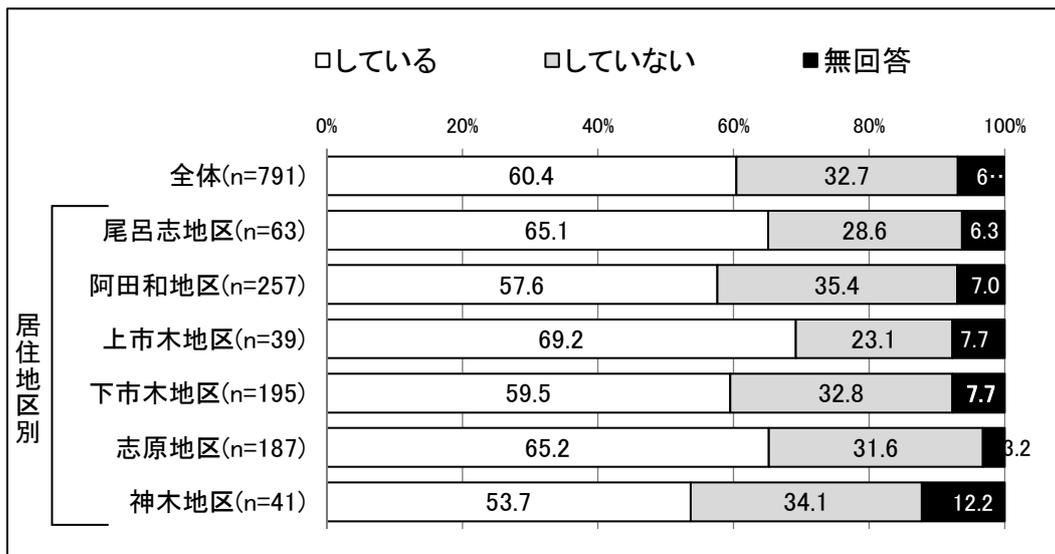
令和2年調査と比べると、『⑥避難場所の確認』が7.4ポイント減少しているものの、その他の項目は大きな違いはありません。

また、6つの項目を居住地区別で「している」傾向をみると、『①災害用備蓄品の確保』では志原地区がやや高く、『②家の中の家具転倒防止対策』では下市木地区がやや高く、『③消火器の準備と使用方法の確認』では下市木地区がやや高く、『④家屋の耐震化』では下市木地区が高く、『⑤災害発生時の家族の連絡方法の確認』では志原地区がやや高く、『⑥避難場所の確認』では下市木地区が高い傾向がみられます。

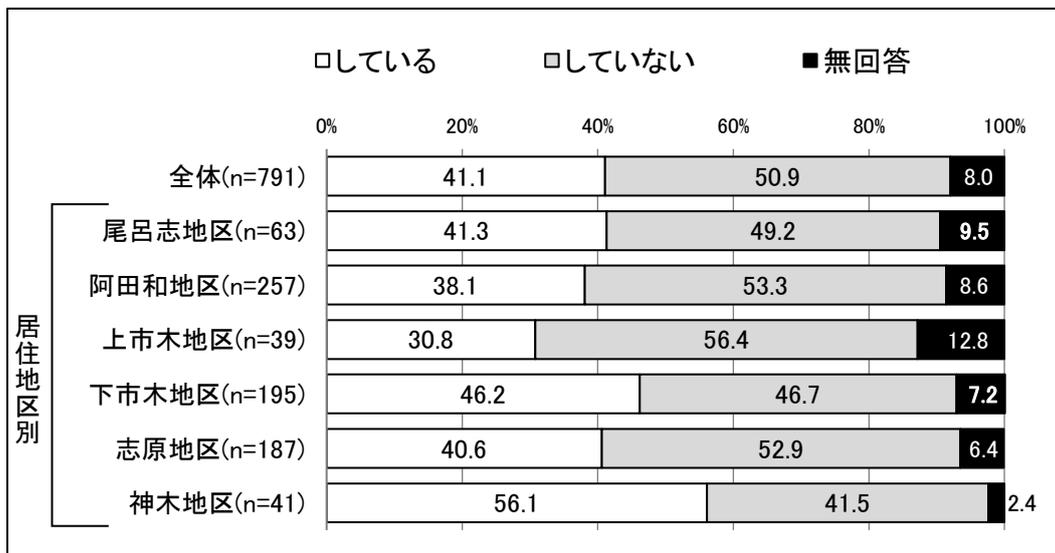
## 災害への備えについて（全体）



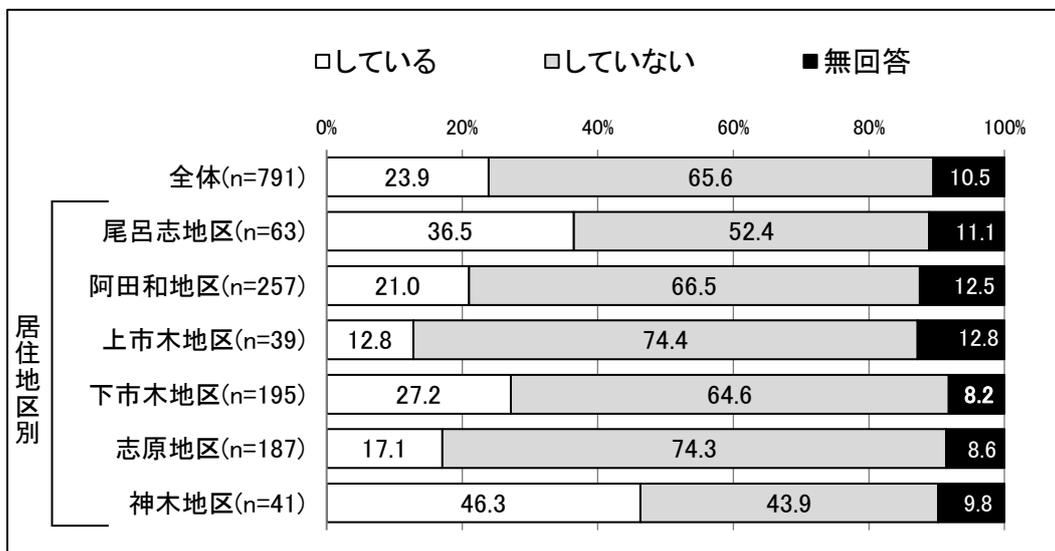
①災害用備蓄品の確保（全体、居住地地区別）



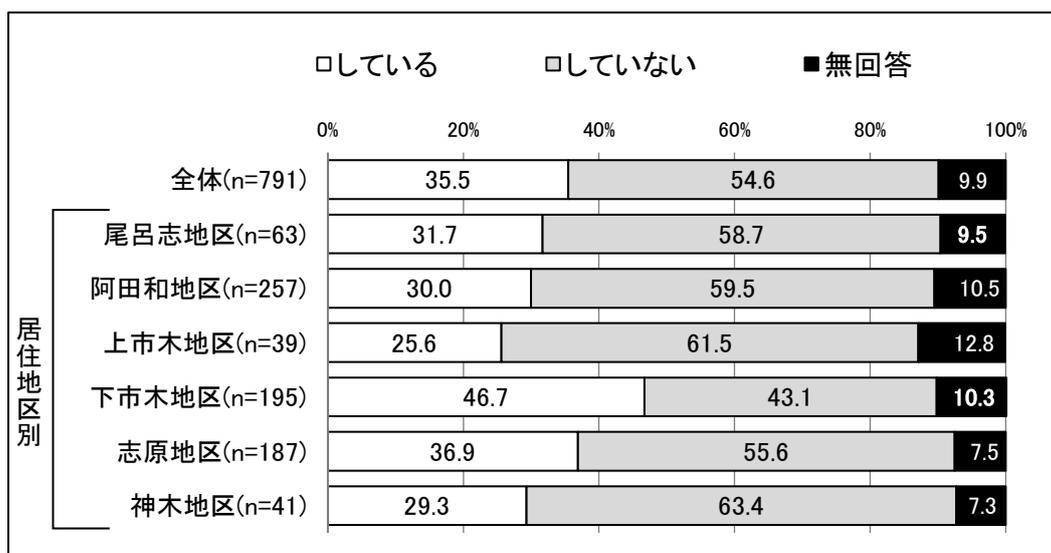
②家の中の家具転倒防止等の災害対策（全体、居住地地区別）



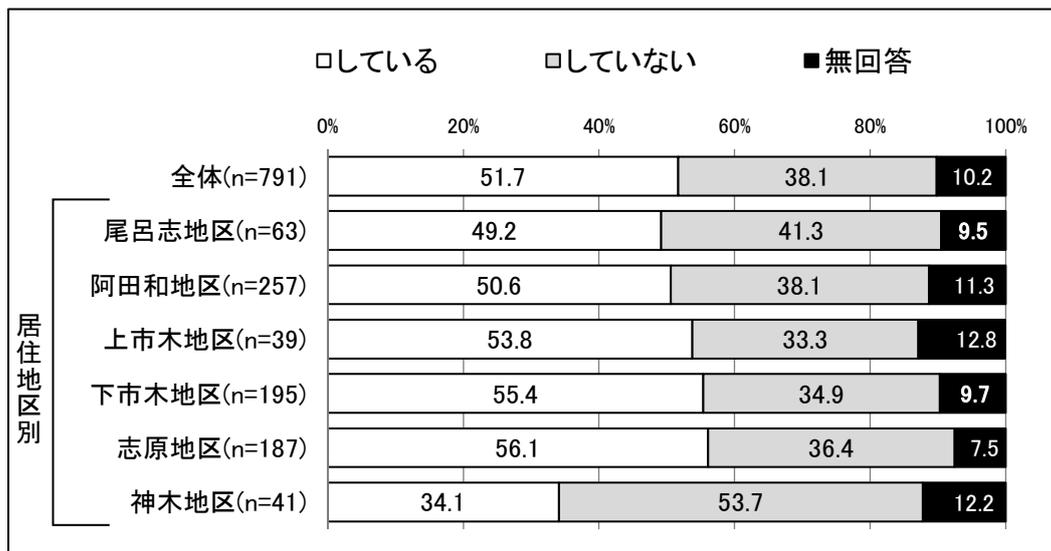
③消火器の準備と使用方法の確認（全体、居住地地区別）



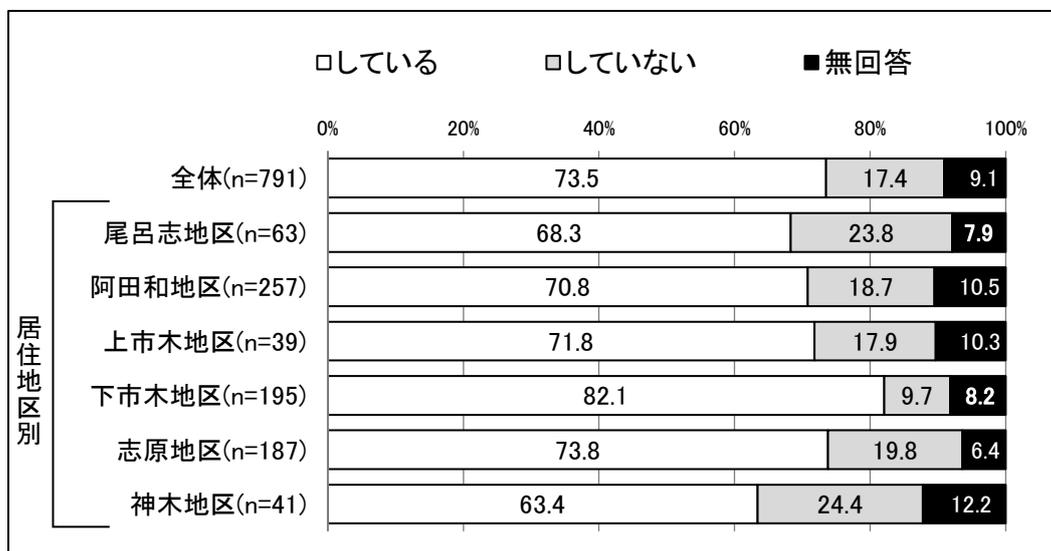
④家屋の耐震化対策（全体、居住地地区別）



⑤災害発生時の家族の連絡方法の確認（全体、居住地地区別）



⑥避難場所の確認（全体、居住地地区別）



## 5. 高齢者福祉について

---

問9 あなたは、高齢社会に対応するためどのような取り組みが重要だと思いますか。  
【複数回答】

■ 「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」が第1位。次いで「高齢者の移動手段の確保・充実」が続く。

---

高齢社会への対応について重要な取り組みをたずねたところ、「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」が45.3%と第1位に挙げられ、次いで

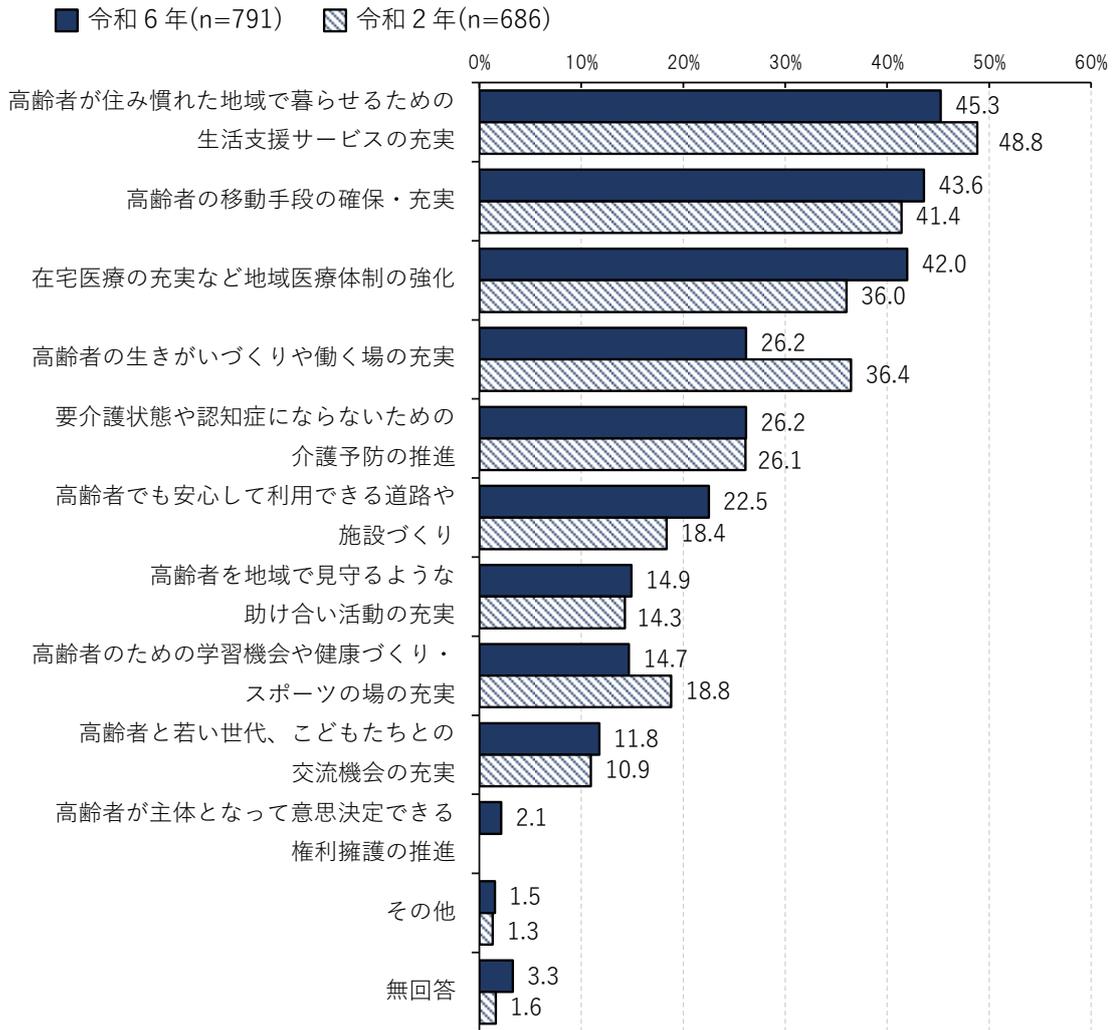
「高齢者の移動手段の確保・充実」(43.6%)、「在宅医療の充実など地域医療体制の強化」(42.0%)、「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」「要介護状態や認知症にならないための介護予防の推進」(同率26.2%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「在宅医療の充実など地域医療体制の強化」が6ポイント、「高齢者が安心して利用できる道路や施設づくり」が4.1ポイント増加する一方、「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」は10.2ポイント減少しています。

性別、年齢別、居住地区別でも、ほとんどの層で「高齢者の生活支援サービスの充実」及び「高齢者の移動手段の確保・充実」、「在宅医療の充実など地域医療体制の強化」が上位に挙げられ、年齢別の50代は「高齢者の移動手段の確保・充実」、60代は「在宅医療の充実など地域医療体制の強化」、70歳以上では「高齢者の生活支援サービスの充実」が第1位となっています。

また、居住地区による大きな違いはありませんでした。

## 高齢者福祉について（全体／複数回答）



高齢者福祉について（全体、性別、年齢別、居住地区別／複数回答）

		生きが いづく りや働 く場の 充実	安心し て利用 できる 道路や 施設づ く	高齢者 と若い 世代、 こども たちの 交流機 会の充 実	高齢者 の学習 機会や 健康づ くり・ ス	介護予 防の推 進	在宅医 療の充 実など 地域医 療体制 の強 化	高齢者 の移動 手段の 確保・ 充実	高齢者 の生活 支援サ ービス の充実	高齢者 を地域 で見守 る助け 合い活 動の充 実	高齢者 が主体 となっ て意思 決定で きる権 利擁護 の推進	その他
全体 (n=791)		26.2	22.5	11.8	14.7	26.2	42.0	43.6	45.3	14.9	2.1	1.5
性別	男性 (n=359)	28.4	22.6	12.5	14.2	29.0	40.9	41.5	44.6	14.8	2.5	1.9
	女性 (n=423)	24.6	22.5	11.1	15.4	23.6	43.0	45.6	46.1	15.1	1.9	0.9
年齢別	10-20代 (n=40)	22.5	7.5	25.0	25.0	32.5	30.0	37.5	30.0	17.5	0.0	2.5
	30代 (n=58)	27.6	22.4	19.0	6.9	32.8	43.1	55.2	24.1	13.8	1.7	3.4
	40代 (n=92)	32.6	17.4	13.0	9.8	22.8	40.2	48.9	40.2	15.2	0.0	1.1
	50代 (n=98)	34.7	30.6	10.2	12.2	23.5	30.6	63.3	33.7	10.2	3.1	1.0
	60代 (n=175)	29.1	22.9	12.6	20.6	20.0	49.7	38.3	46.9	14.9	3.4	1.1
	70代 (n=202)	22.8	21.3	7.9	14.9	26.2	44.6	40.6	53.0	15.3	2.5	2.0
	80歳以上 (n=120)	15.8	26.7	8.3	12.5	34.2	42.5	33.3	57.5	18.3	1.7	0.8
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	38.1	15.9	12.7	7.9	15.9	39.7	42.9	42.9	15.9	3.2	4.8
	阿田和地区 (n=257)	23.3	27.6	12.5	15.6	28.0	40.9	42.8	48.2	14.8	2.7	1.2
	上市木地区 (n=39)	7.7	25.6	12.8	12.8	30.8	46.2	53.8	41.0	12.8	0.0	2.6
	下市木地区 (n=195)	26.2	21.0	14.4	13.3	26.2	43.6	43.6	41.0	14.4	2.1	1.0
	志原地区 (n=187)	29.9	21.4	9.6	18.2	23.5	42.8	44.9	46.0	14.4	2.1	1.6
	神木地区 (n=41)	26.8	14.6	2.4	14.6	31.7	41.5	36.6	46.3	22.0	0.0	0.0

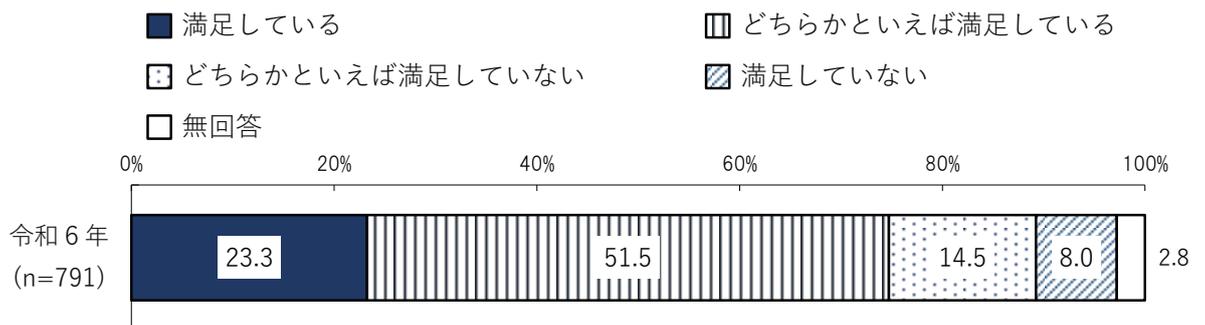
## 6. 行政サービスについて

問10 あなたは、役場等における職員の対応等（接遇）についてどう思いますか。

■ 『満足している』が74.8%。『満足していない』は22.5%。

役場等における職員の対応等（接遇）についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」が51.5%と最も高く、次いで「満足している」(23.3%)で続き、これらをあわせた『満足している』という人が74.8%となっています。これに対して、『満足していない』（「どちらかといえば満足していない」(14.5%)及び「満足していない」(8.0%)の合計）は22.5%にとどまります。

行政サービスについて（全体）



## 7. コミュニティ活動、参画・協働について

### (1) コミュニティ活動(地域活動)等への参加状況と参加意向

問11 あなたの現在のコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。

■現在、『参加している』は23.7%。今後、『参加したい』は42.9%。

コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況、今後の意向をたずねたところ、現在、『参加している』(「現在参加しており、今後も参加したい」(19.0%)及び「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」(4.7%)の合計)は23.7%となっています。

これに対し、今後、『参加したい』(「現在参加しており、今後も参加したい」(19.0%)及び「現在参加していないが、今後は参加したい」(23.9%)の合計)は42.9%と、現在、『参加している』の2倍弱となっています。

令和2年調査と比べてみると、「現在参加していないが、今後は参加したい」が減少し、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が増加し参加意向が減少しています。

性別で『参加したい』と回答した割合をみると、男性(42.9%)と女性(43.5%)がほぼ同率となっています。

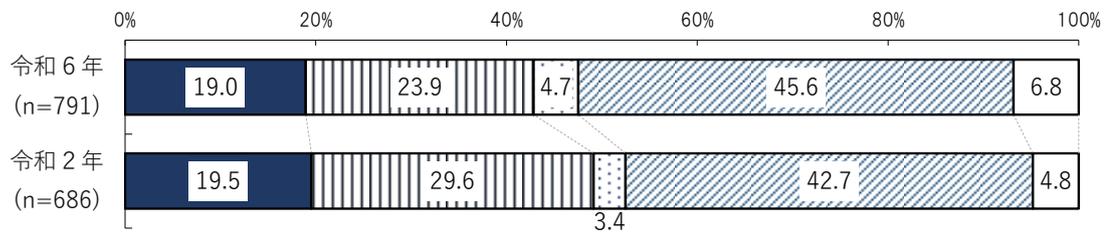
年齢別で『参加したい』と回答した割合をみると、30代で53.4%と最も多く、次いで40代(51.1%)、60代(50.3%)と続き、80歳以上(27.5%)で最も少なくなっています。

出身別で『参加したい』と回答した割合をみると、町出身者(43.2%)と転入者(43.3%)がほぼ同率となっています。

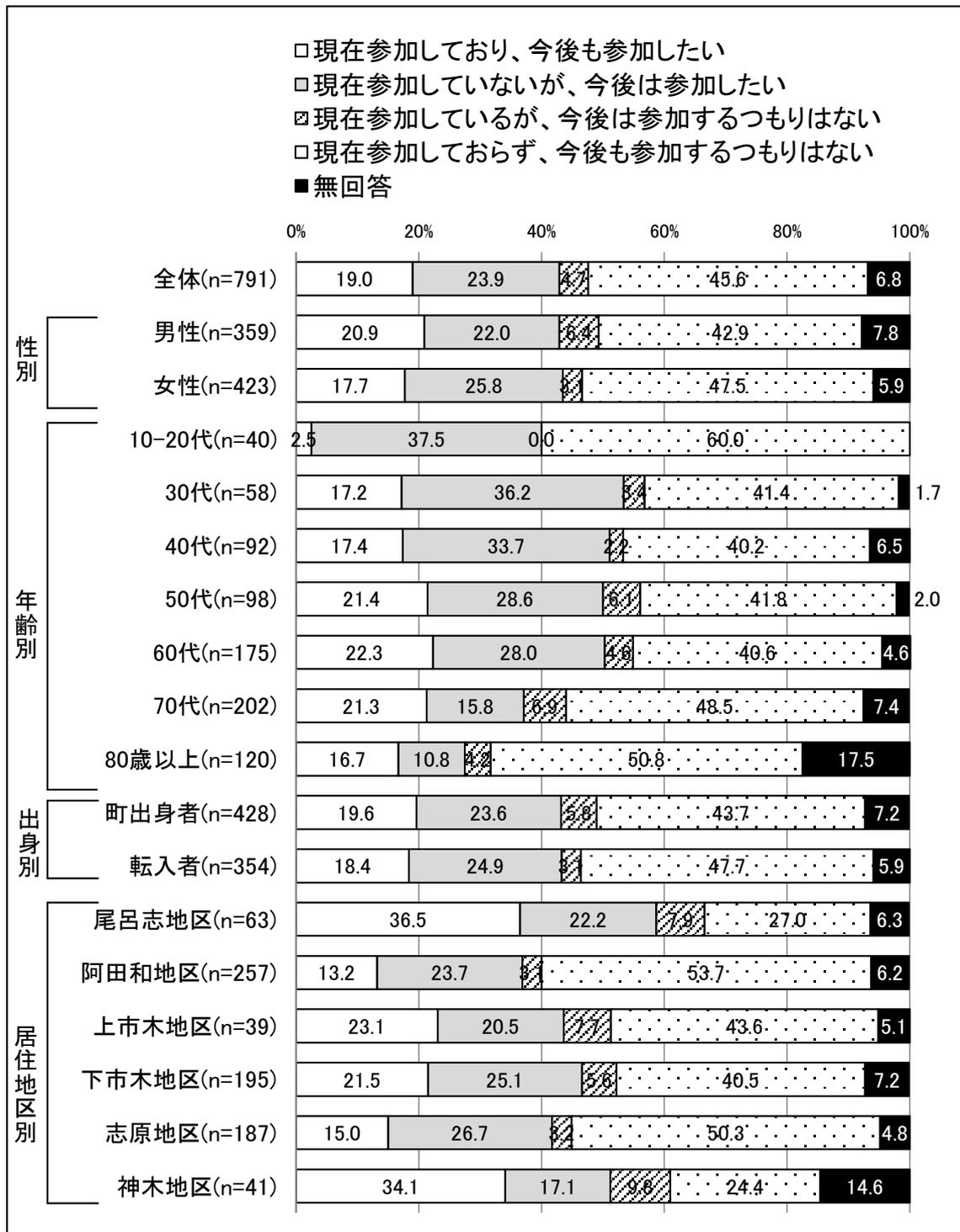
居住地区別で『参加したい』と回答した割合をみると、尾呂志地区で58.7%と最も多く、次いで神木地区(51.2%)、下市木地区(46.6%)などとなっており、阿田和地区(36.9%)が最も少なくなっています。

## コミュニティ活動（地域活動）等への参加状況と参加意向（全体）

- 現在参加しており、今後も参加したい
- ▨ 現在参加していないが、今後は参加したい
- ▩ 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
- ▧ 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- 無回答



コミュニティ活動（地域活動）等への参加状況と参加意向（全体、性別、年齢別、出身別、居住地区別）



## (2)参加したいコミュニティ活動(地域活動)等

問12 あなたは、今後(今後とも)どのようなコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動に参加したいと思いますか。(問11で『参加したい』と回答した人のみ)  
【複数回答】

■「自然保護やリサイクル等に関する活動」が第1位。次いで「自主組織の活動」、「地域づくりやまちおこしに関する活動」などの順。

問11で『参加したい』と回答した人(全体の42.9%、339人)に、参加したい活動をたずねたところ、「自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動」が28.0%と第1位に挙げられ、次いで「自治組織の活動」(25.1%)、「地域づくりやまちおこしに関する活動」(21.2%)、「子育て支援に関する活動」(18.6%)、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」(18.0%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「子育て支援に関する活動」が5.5ポイント、「老人クラブなどを通じた活動」が5.6ポイント増加し、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が6.9ポイント、「自主防災や災害援助に関する活動」が10.2ポイント減少しています。

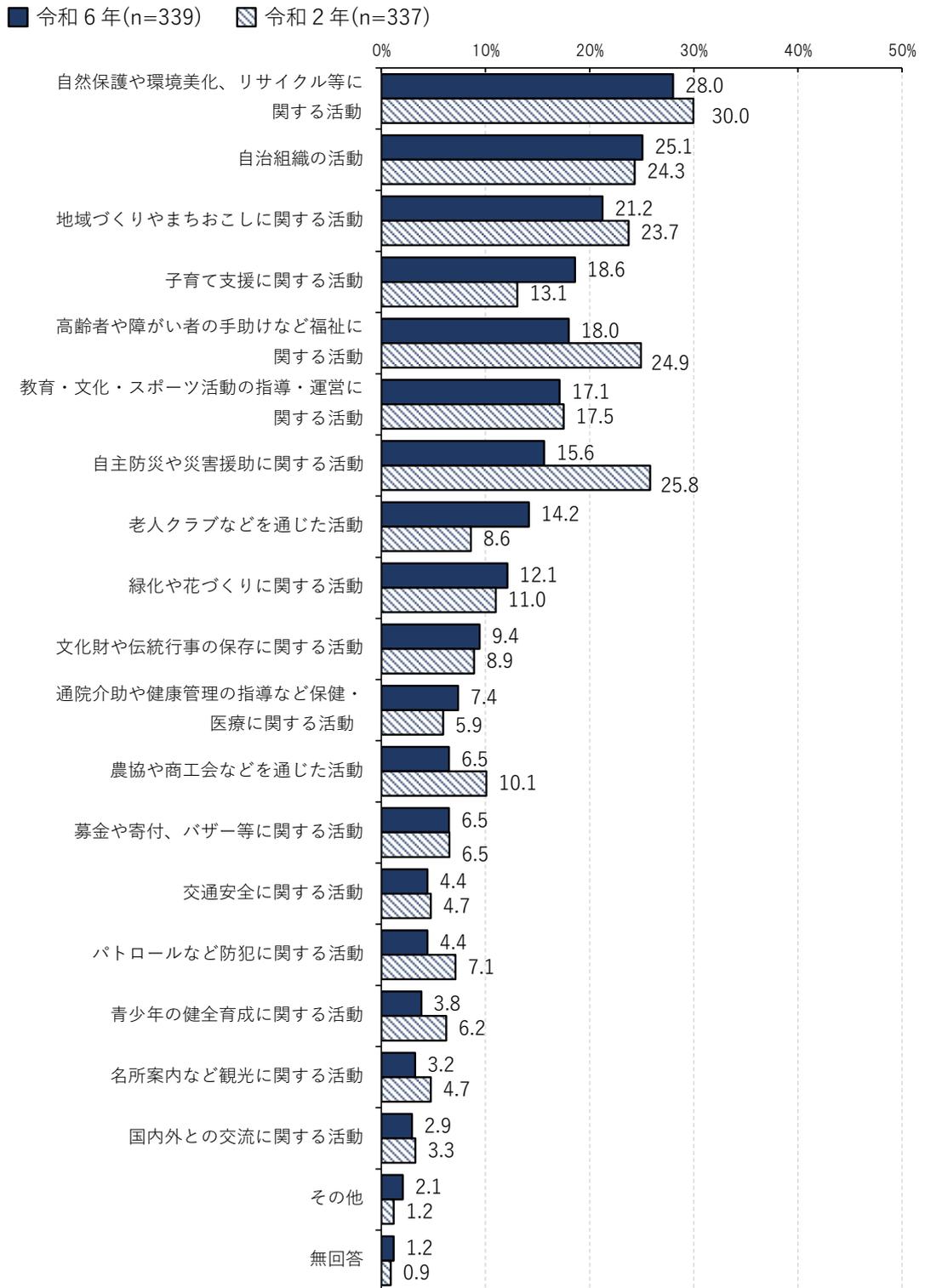
性別で男性は「自治組織の活動」が35.1%と最も多く、次いで「自然保護やリサイクル等に関する活動」(31.8%)、女性は「子育て支援に関する活動」が25.5%と最も多く、次いで「自然保護やリサイクル等に関する活動」(24.5%)となっています。

年齢別でほとんどの年代で「自然保護やリサイクル等に関する活動」や「地域づくりやまちおこしに関する活動」が多く、「自治組織の活動」は加齢とともに多くなっていきます。

出身別で町出身者の「自治組織の活動」は30.8%と転入者の17.9%より多くなっています。

居住地区別で「自治組織の活動」や「自然保護やリサイクル等に関する活動」、「高齢者や障がい者福祉に関する活動」が多くなっています。

参加したい地域活動（全体／複数回答、『参加したい』と回答した人のみ）



参加したい地域活動  
(全体、性別、年齢別、出身別、居住地区別)

		自治組織の活動	農協や商工会などを通じた活動	老人クラブなどを通じた活動	イクル等に関する活動	自然保護や緑化や花づくりに関する活動	自助に防災や災害に関する活動	交通安全に関する活動	防犯に関する活動	パトロールなど	保健・医療に関する活動	子育て支援に関する活動
		(%)										
全体 (n=339)		25.1	6.5	14.2	28.0	12.1	15.6	4.4	4.4	7.4	18.6	
性別	男性 (n=154)	35.1	11.7	9.1	31.8	5.8	19.5	6.5	5.8	3.2	9.7	
	女性 (n=184)	16.8	2.2	18.5	24.5	17.4	12.5	2.7	3.3	10.9	25.5	
年齢別	10-20代 (n=16)	0.0	0.0	6.3	50.0	25.0	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	
	30代 (n=31)	12.9	3.2	3.2	29.0	12.9	6.5	6.5	12.9	9.7	54.8	
	40代 (n=47)	21.3	12.8	4.3	29.8	2.1	21.3	6.4	4.3	8.5	23.4	
	50代 (n=49)	22.4	10.2	0.0	24.5	12.2	18.4	4.1	2.0	2.0	20.4	
	60代 (n=88)	28.4	4.5	8.0	28.4	14.8	15.9	3.4	2.3	8.0	17.0	
	70代 (n=75)	30.7	5.3	25.3	33.3	13.3	12.0	4.0	4.0	2.7	8.0	
	80歳以上 (n=33)	36.4	6.1	54.5	6.1	9.1	15.2	3.0	6.1	21.2	9.1	
出身別	町出身者 (n=185)	30.8	8.1	13.0	26.5	14.1	16.8	4.9	3.8	7.0	15.1	
	転入者 (n=153)	18.3	4.6	15.0	30.1	9.8	14.4	3.9	5.2	7.8	22.9	
居住地区別	尾呂志地区 (n=37)	35.1	2.7	13.5	13.5	18.9	16.2	2.7	2.7	10.8	24.3	
	阿田和地区 (n=95)	17.9	7.4	9.5	33.7	11.6	15.8	3.2	3.2	4.2	15.8	
	上市木地区 (n=17)	29.4	0.0	23.5	23.5	17.6	17.6	0.0	11.8	11.8	11.8	
	下市木地区 (n=91)	27.5	6.6	13.2	31.9	11.0	19.8	7.7	5.5	8.8	19.8	
	志原地区 (n=78)	23.1	7.7	16.7	28.2	11.5	11.5	5.1	3.8	9.0	21.8	
	神木地区 (n=21)	33.3	9.5	23.8	14.3	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	9.5	

		活動福祉者に障害がある	高齢者や障がい者に関する活動	教育・文化・スポーツ活動に関する活動	青少年に関する活動	文化財や伝統行事の保存に関する活動	国内外との交流に関する活動	名所案内など観光に関する活動	ボランティア等に関する活動	募金や寄付に関する活動	ちまきづくりに関する活動	地域づくりに関する活動	その他
		(%)											
全体 (n=339)		18.0	17.1	3.8	9.4	2.9	3.2	6.5	21.2	2.1			
性別	男性 (n=154)	11.7	22.1	4.5	11.0	3.9	4.5	4.5	24.0	1.9			
	女性 (n=184)	23.4	13.0	3.3	8.2	2.2	2.2	7.6	19.0	2.2			
年齢別	10-20代 (n=16)	6.3	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	37.5	0.0			
	30代 (n=31)	22.6	29.0	0.0	6.5	6.5	0.0	6.5	16.1	6.5			
	40代 (n=47)	2.1	21.3	4.3	14.9	4.3	6.4	10.6	31.9	2.1			
	50代 (n=49)	16.3	16.3	4.1	10.2	0.0	8.2	8.2	14.3	4.1			
	60代 (n=88)	22.7	15.9	6.8	8.0	5.7	4.5	3.4	21.6	1.1			
	70代 (n=75)	22.7	12.0	1.3	8.0	1.3	0.0	4.0	21.3	1.3			
	80歳以上 (n=33)	21.2	6.1	6.1	15.2	0.0	0.0	12.1	12.1	0.0			
出身別	町出身者 (n=185)	18.9	18.4	3.2	12.4	1.1	3.2	4.3	23.8	1.6			
	転入者 (n=153)	17.0	15.7	4.6	5.9	5.2	3.3	9.2	18.3	2.6			
居住地区別	尾呂志地区 (n=37)	18.9	27.0	0.0	10.8	2.7	0.0	2.7	21.6	8.1			
	阿田和地区 (n=95)	8.4	21.1	5.3	11.6	2.1	5.3	3.2	27.4	2.1			
	上市木地区 (n=17)	29.4	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0			
	下市木地区 (n=91)	19.8	11.0	4.4	7.7	3.3	1.1	7.7	15.4	0.0			
	志原地区 (n=78)	21.8	17.9	3.8	9.0	2.6	3.8	9.0	16.7	2.6			
	神木地区 (n=21)	28.6	9.5	4.8	14.3	4.8	9.5	14.3	47.6	0.0			

### (3)コミュニティ活動(地域活動)等に参加しない理由

問13 コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動に参加しない理由はどのようなことですか。(問11で『参加しない』と回答した人のみ)【複数回答】

■「参加する時間がない」が第1位。時間がない理由は前回調査より減少。

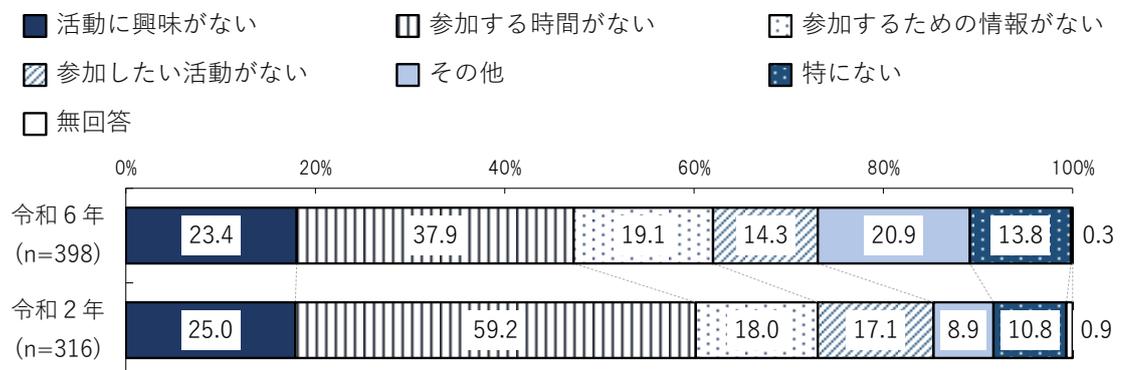
問11で『参加しない』と回答した人(全体の50.3%、398人)に、参加しない理由をたずねたところ、「参加する時間がない」が37.9%と第1位に挙げられ、次いで「活動に興味がない」(23.4%)、「参加するための情報がない」(19.1%)、「参加したい活動がない」(14.3%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「参加する時間がない」は21.3ポイント減少しています。

性別、年齢別、出身別、居住地区別でも、すべての層で「参加する時間がない」が第1位となっています。

年齢別で30代と40代は「活動に興味がない」、60代と70代は「参加するための情報がない」がやや多くなっています。

コミュニティ活動(地域活動)等に参加しない理由  
(全体/複数回答、『参加しない』と回答した人のみ)



コミュニティ活動（地域活動）等に参加しない理由  
 （全体、性別、年齢別、出身別、居住地区別）

		活動に興味がない	参加する時間がない	参加するための情報がない	参加したい活動がない	その他	特にない
		（％）					
全体 (n=398)		23.4	37.9	19.1	14.3	20.9	13.8
性別	男性 (n=177)	24.9	35.6	19.2	14.1	22.0	14.1
	女性 (n=214)	22.0	40.2	19.6	14.0	20.1	14.0
年齢別	10-20代 (n=24)	41.7	41.7	29.2	12.5	8.3	4.2
	30代 (n=26)	34.6	57.7	19.2	11.5	3.8	15.4
	40代 (n=39)	35.9	64.1	17.9	17.9	5.1	10.3
	50代 (n=47)	19.1	59.6	17.0	10.6	6.4	10.6
	60代 (n=79)	21.5	46.8	24.1	12.7	12.7	11.4
	70代 (n=112)	19.6	23.2	20.5	17.9	32.1	14.3
	80歳以上 (n=66)	16.7	13.6	10.6	12.1	40.9	24.2
出身別	町出身者 (n=212)	25.0	33.0	20.8	11.8	21.2	17.0
	転入者 (n=180)	21.7	43.3	17.2	17.2	20.6	10.6
居住地区別	尾呂志地区 (n=22)	13.6	27.3	9.1	18.2	36.4	13.6
	阿田和地区 (n=146)	24.0	39.7	20.5	15.8	23.3	12.3
	上市木地区 (n=20)	40.0	35.0	15.0	5.0	20.0	20.0
	下市木地区 (n=90)	16.7	46.7	22.2	15.6	12.2	13.3
	志原地区 (n=100)	27.0	33.0	17.0	13.0	22.0	15.0
	神木地区 (n=14)	28.6	28.6	21.4	7.1	21.4	14.3

#### (4)町民参画・協働のために必要なこと

問14 これからのまちづくりにおいては、より多くの町民の皆さまが町政に参画し、行政と協力して課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

■「広聴活動の充実」が第1位。次いで「広報活動の充実」、「住民参画・協働を促進する仕組みづくり」などの順。

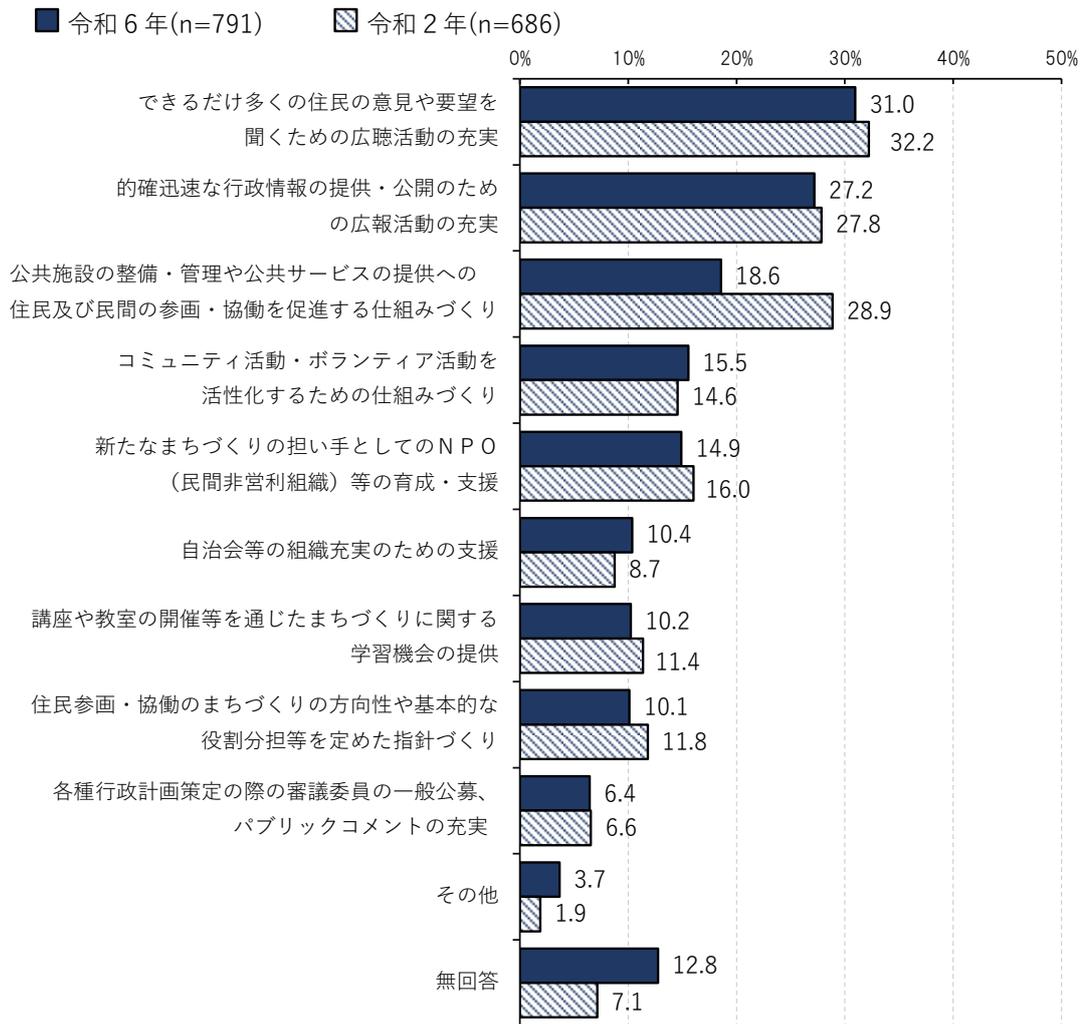
---

住民参画・協働のために必要なことについては、「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実」が31.0%と第1位に挙げられ、次いで「的確迅速な行政情報の提供・公開のための広報活動の充実」(27.2%)、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」(18.6%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」が10.3ポイント減少しています。

性別、年齢別、出身別、居住地区別でも、ほとんどの層で「広報活動の充実」、「広聴活動の充実」及び「住民参画・協働を促進する仕組みづくり」が上位に挙げられています。

## 町民参画・協働のために必要なこと（全体／複数回答）



町民参画・協働のために必要なこと（全体、性別、年齢別、出身別、居住地区別  
／複数回答）

		広報活動の充実	広聴活動の充実	学習機会の提供	コミュニティ活動を活性化する仕組みづくり	町民参画の方向性などを定めた指針づくり	一般公募、パブリックコメントの充実	住民参画・協働を促進する仕組みづくり	担い手としてのNPO等の育成・支援	自治会等の組織充実のための支援	その他
		(%)									
全体 (n=791)		27.2	31.0	10.2	15.5	10.1	6.4	18.6	14.9	10.4	3.7
性別	男性 (n=359)	29.5	31.2	10.0	16.7	12.3	8.1	18.4	14.8	13.6	4.5
	女性 (n=423)	25.3	30.7	10.6	14.9	8.5	5.2	19.1	15.1	7.8	2.6
年齢別	10-20代 (n=40)	40.0	17.5	10.0	12.5	10.0	15.0	17.5	20.0	5.0	7.5
	30代 (n=58)	25.9	44.8	13.8	15.5	8.6	6.9	22.4	12.1	3.4	5.2
	40代 (n=92)	25.0	29.3	8.7	23.9	14.1	9.8	22.8	17.4	6.5	2.2
	50代 (n=98)	29.6	25.5	12.2	21.4	9.2	5.1	20.4	12.2	10.2	5.1
	60代 (n=175)	30.3	34.9	12.6	18.3	7.4	5.7	18.3	14.9	10.3	2.3
	70代 (n=202)	24.8	29.7	8.9	12.4	11.9	4.5	17.3	16.8	14.4	3.5
	80歳以上 (n=120)	23.3	30.8	7.5	7.5	10.0	6.7	15.8	11.7	12.5	3.3
出身別	町出身者 (n=428)	27.3	31.5	9.1	18.0	12.4	6.5	16.6	14.5	11.2	3.0
	転入者 (n=354)	27.4	30.5	11.6	13.0	7.6	6.5	21.2	15.8	9.3	4.2
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	27.0	34.9	9.5	9.5	6.3	7.9	3.2	14.3	12.7	12.7
	阿田和地区 (n=257)	26.8	28.8	8.2	16.3	9.7	6.6	22.2	16.0	9.3	3.5
	上市木地区 (n=39)	25.6	41.0	12.8	12.8	10.3	7.7	23.1	12.8	10.3	0.0
	下市木地区 (n=195)	24.6	29.7	10.3	15.9	11.3	5.6	19.0	14.4	15.4	3.6
	志原地区 (n=187)	32.1	32.6	13.9	17.6	11.8	5.9	18.2	15.0	5.3	2.7
	神木地区 (n=41)	22.0	26.8	7.3	14.6	7.3	9.8	19.5	17.1	12.2	0.0

## 8. 日頃の行動について

### (1)生涯学習活動について

問15① あなたは、この1年間に、町の講座や教室等を利用した生涯学習活動をしましたか。

■町の講座や教室等を利用した生涯学習活動を「した」が14.2%。

町の講座や教室等を利用した生涯学習活動への参加については、「した」が14.2%となっています。

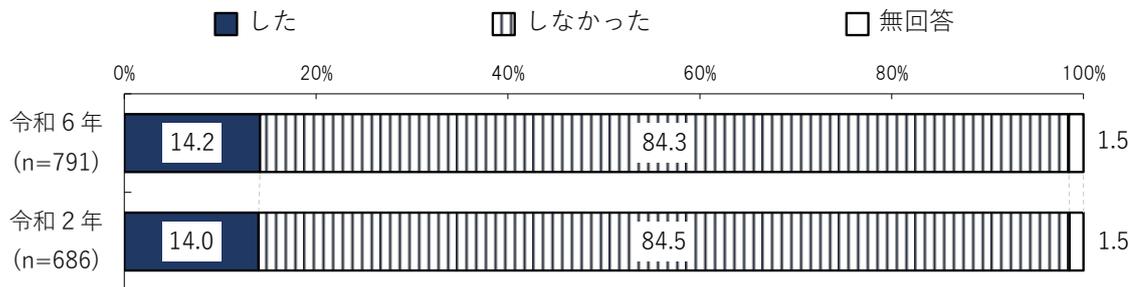
令和2年調査と大きな違いはありません。

性別で「した」と回答した割合をみると、男性（11.7%）より女性（16.5%）の方が多くなっています。

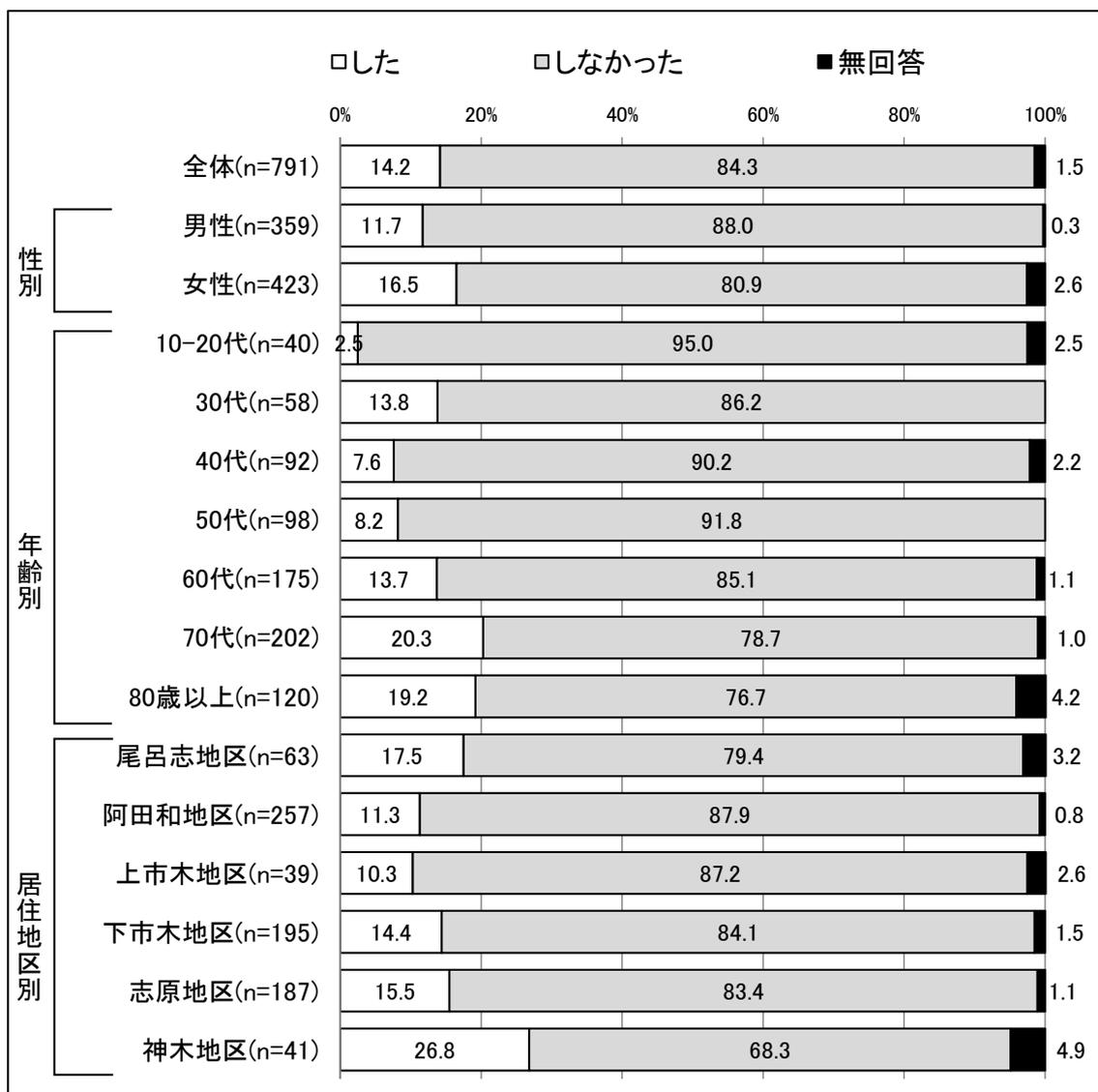
年齢別で「した」と回答した割合をみると、70歳以上で20.3%と最も多く、次いで80歳以上（19.2%）が続きます。

居住地区別で「した」と回答した割合をみると、尾呂志地区（17.5%）と神木地区（26.8%）で比較的多くなっています。

生涯学習活動について（全体）



生涯学習活動について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



## (2)スポーツ活動について

問15② あなたは、週1回以上、スポーツ活動をしていますか。

■週1回以上、スポーツ活動を「している」が27.3%。

週1回以上のスポーツ活動をしているかについては、「している」が27.3%となっています。

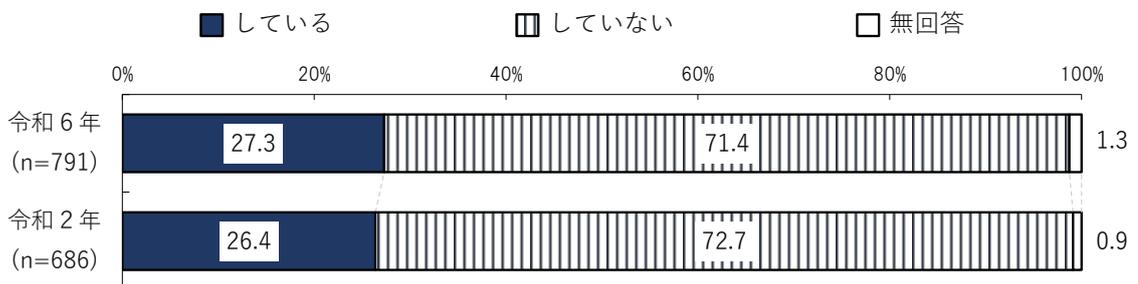
令和2年調査と大きな違いはありません。

性別で「している」と回答した割合をみると、男性で28.4%と女性の26.7%をやや上回ります。

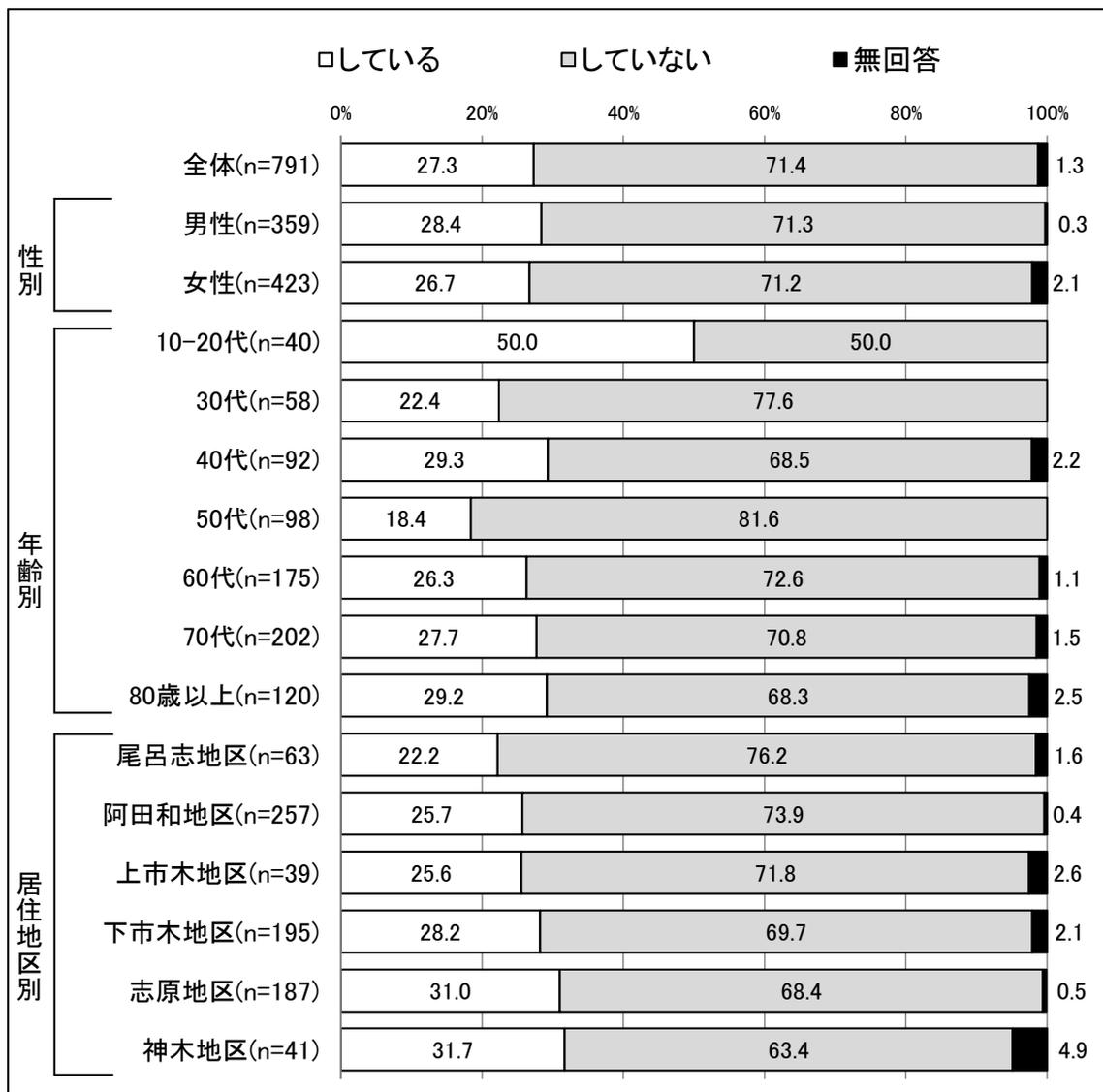
年齢別で「している」と回答した割合をみると、40代で29.3%と最も多く、次いで80歳以上(29.2%)、70代(27.7%)が続きます。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、神木地区(31.7%)、志原地区(31.0%)、下市木地区(28.2%)が比較的多くなっています。

スポーツ活動について (全体)



スポーツ活動について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



### (3)健康増進について

問15③ あなたは、日常、健康増進のために食生活に気をつけていますか。

#### ■食生活に気をつけているが「している」が76.7%。

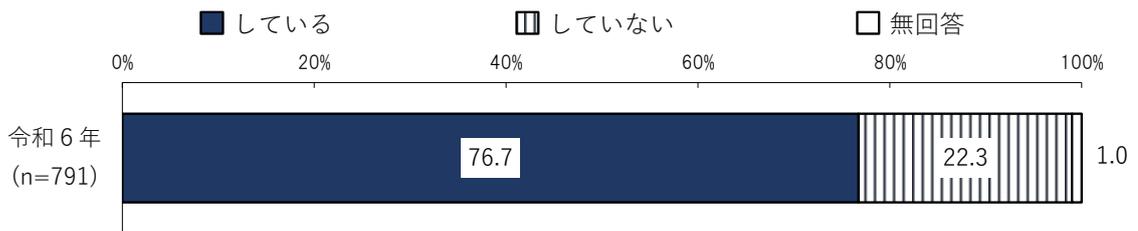
健康増進のために食生活に気をつけているかについて、「している」が76.7%となっています。

性別で「している」と回答した割合をみると、男性で73.0%、女性で80.1%と女性の方が多くなっています。

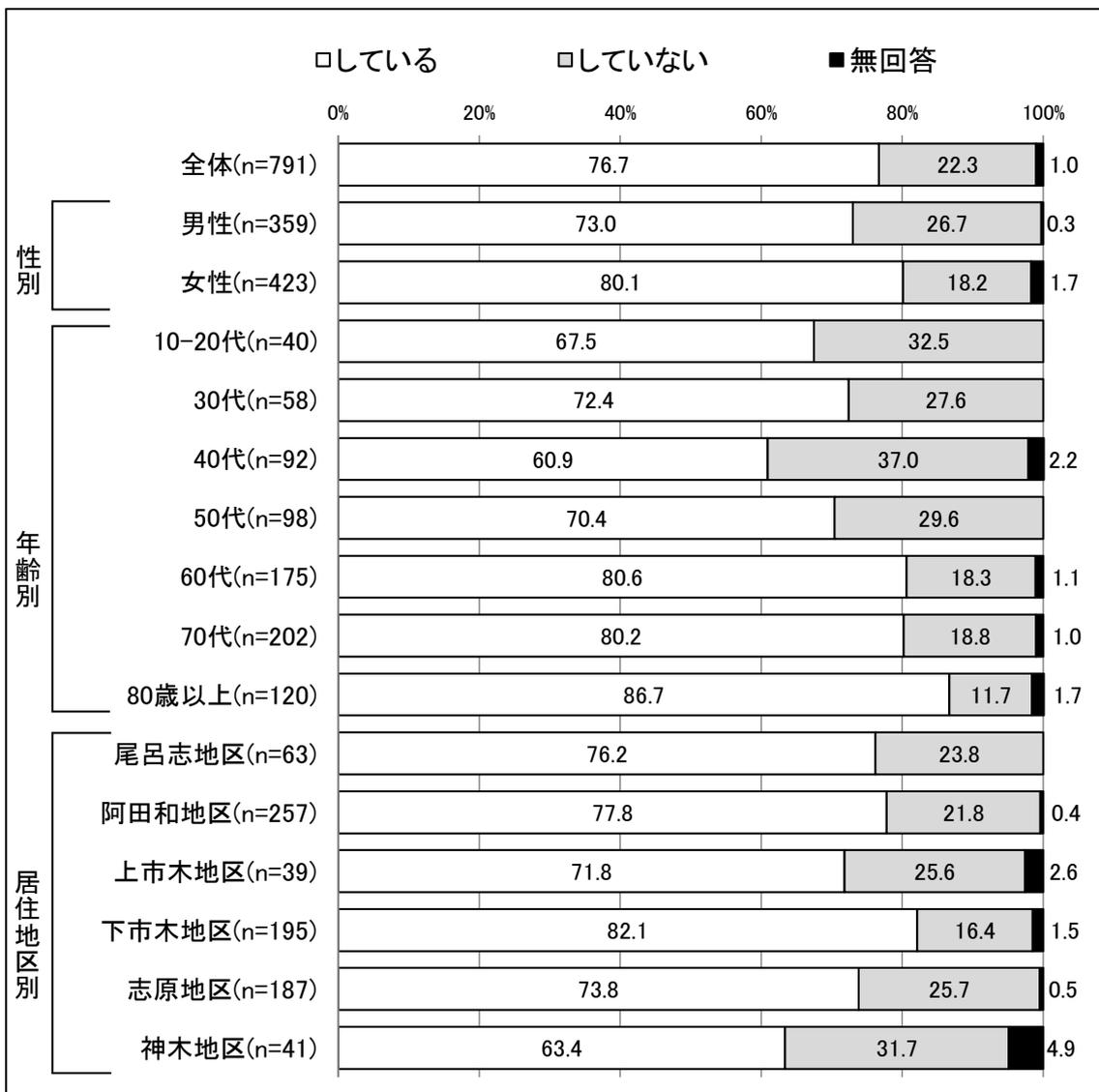
年齢別で「している」と回答した割合をみると、おおむね年齢が上がるにつれて増加し、60歳以上で8割を超えます。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、下市木地区が82.1%と最も多く、神木地区が63.4%と少なくなっています。

食生活について（全体）



食生活について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



問15④ あなたは、日常、健康増進のために定期的な運動をしていますか。

■定期的な運動をしているを「している」が53.1%。

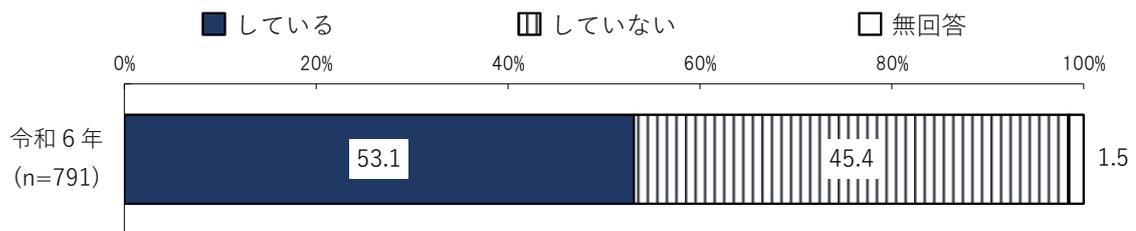
健康増進のために定期的な運動をしているかについて、「している」が53.1%となっています。

性別で「している」と回答した割合をみると、男性で55.4%、女性で51.8%と大きな差はみられません。

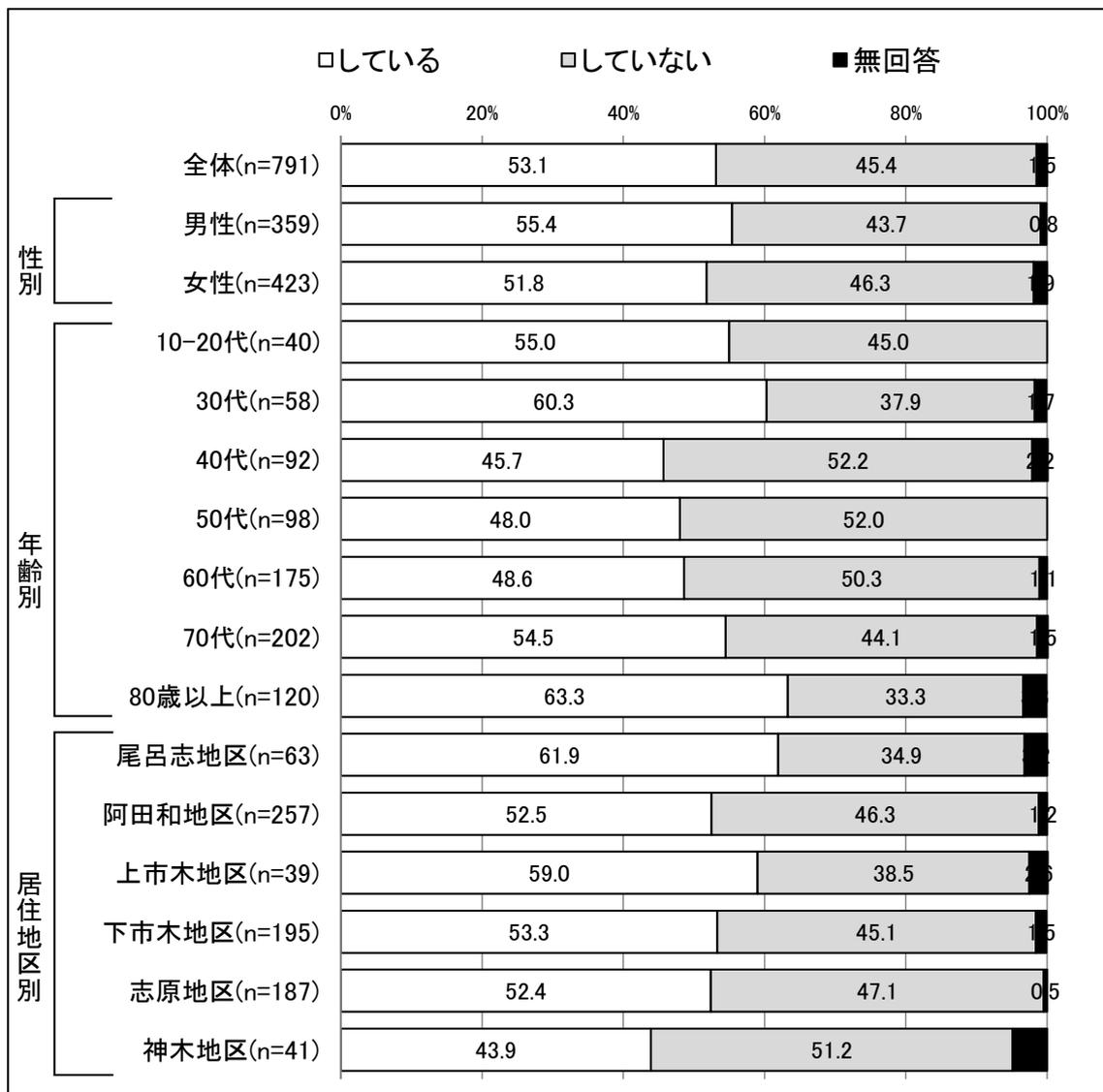
年齢別で「している」と回答した割合をみると、80歳以上が63.3%と最も多く、次いで30代（60.3%）であり、40代から60代が少なく、40代（45.7%）が最も少なくなっています。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、尾呂志地区で61.9%と最も多く、神木地区で43.9%と最も少なくなっています。

定期的な運動について（全体）



定期的な運動について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



問15⑤ あなたは、日常、健康増進のために休養・睡眠をとるようにしていますか。

■健康増進のための休養・睡眠をとる取り組みを「している」が84.2%。

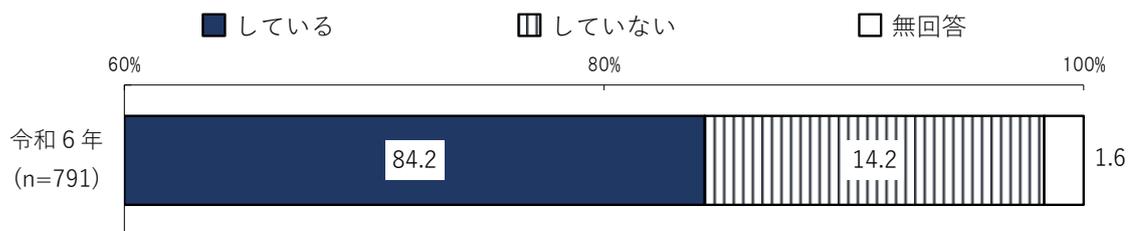
健康増進のために休養・睡眠をとるようにしているかについて、「している」が84.2%となっています。

性別で「している」と回答した割合をみると、男性で83.0%、女性で85.3%と大きな差はみられません。

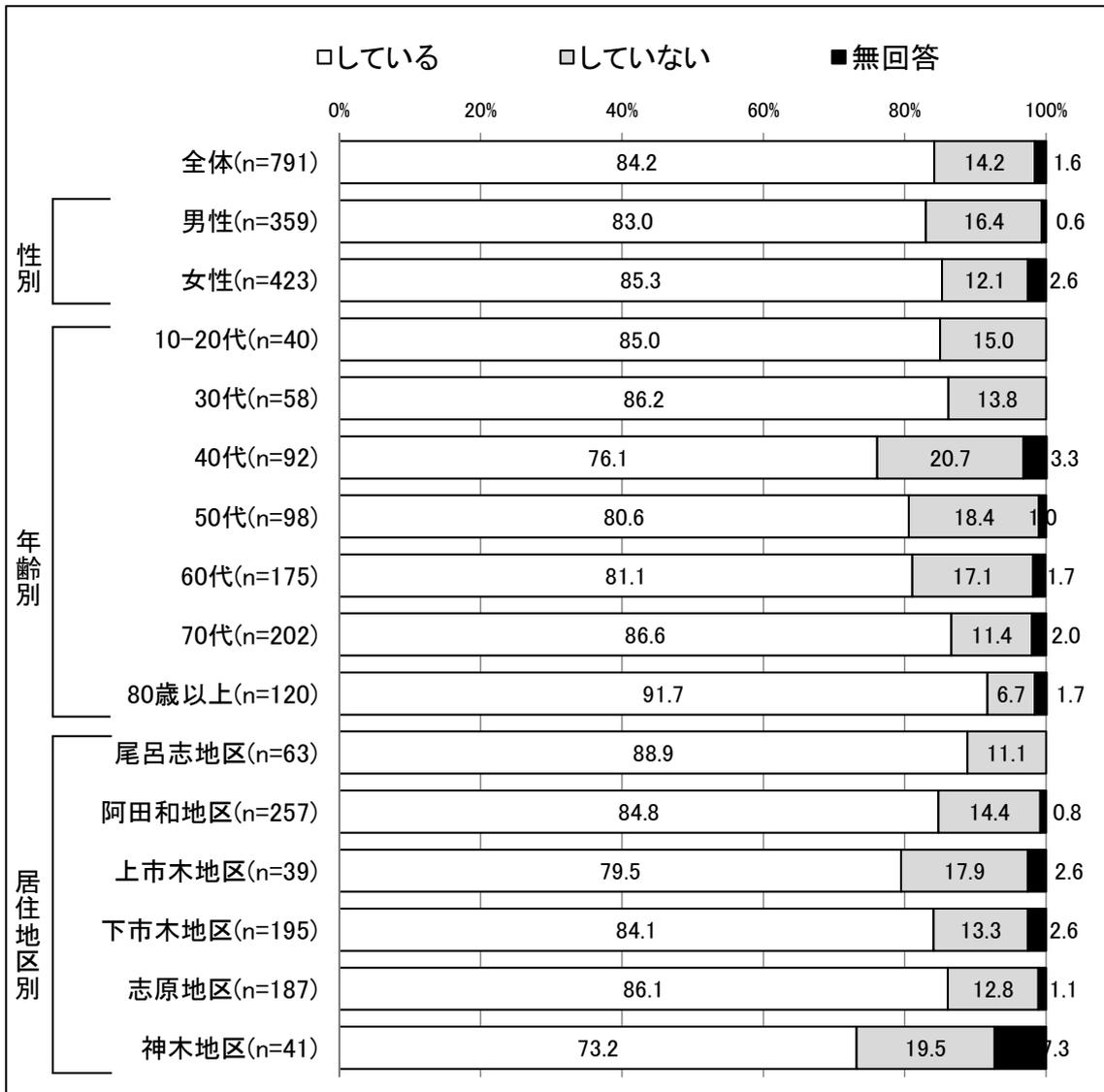
年齢別で「している」と回答した割合をみると、おおむね全ての年齢で8割を超えていますが、40代(76.1%)がやや少なくなっています。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、神木地区が73.2%と最も少なくなっていますが、おおむね全ての地区で8割を超えています。

休養・睡眠について（全体）



休養・睡眠について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



問15⑥ あなたは、日常、健康増進のために健康診査を受診していますか。

■健康診査の受診を「している」が80.2%。

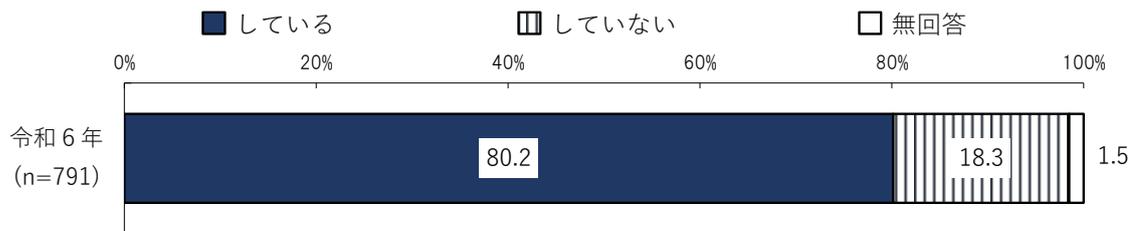
健康増進のために健康診査を受診しているかについて、「している」が80.2%となっています。

性別で「している」と回答した割合をみると、男性で81.3%、女性で79.2%と大きな差はみられません。

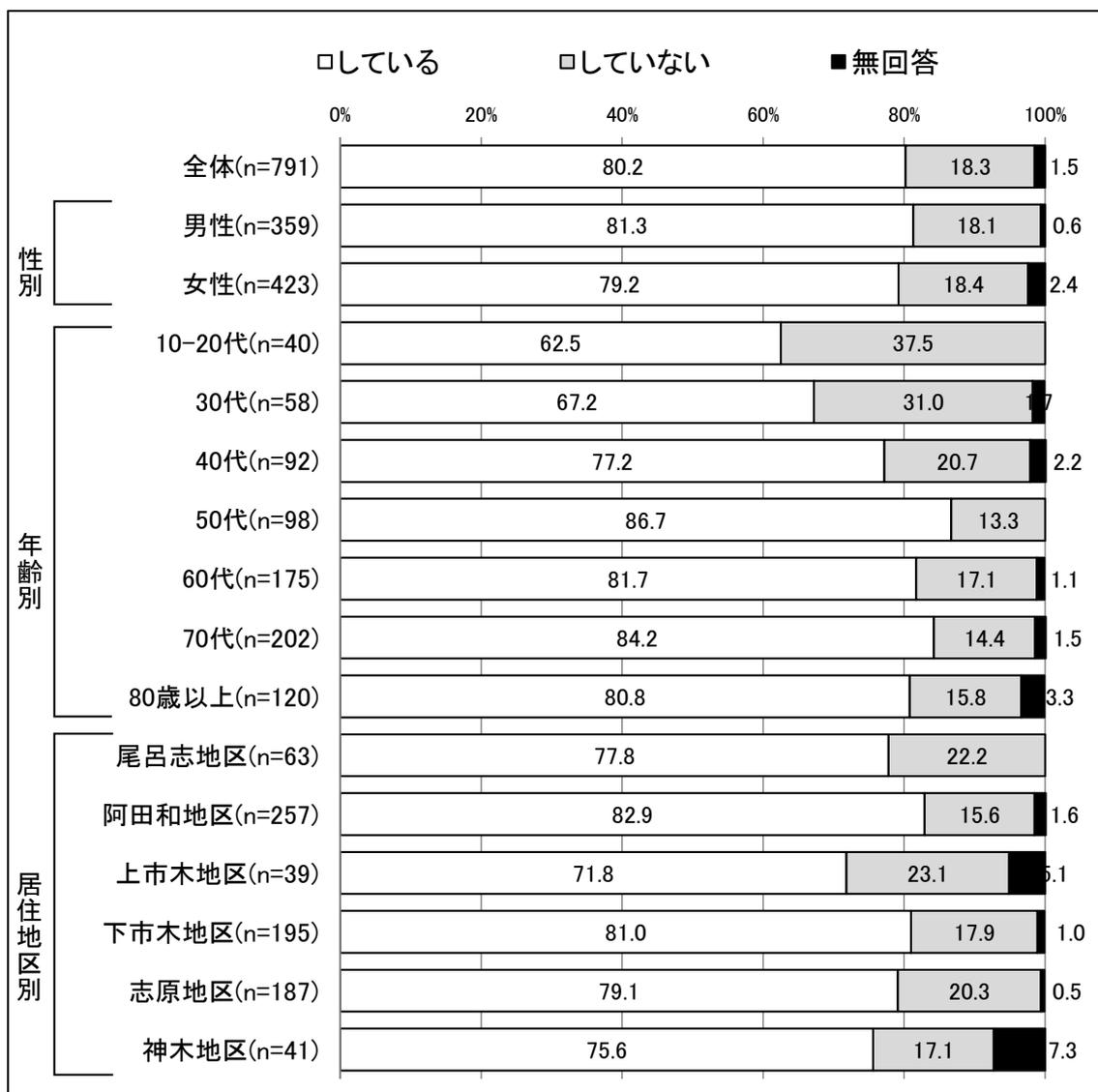
年齢別で「している」と回答した割合をみると、おおむね年齢が上がるにつれて増加し、50歳以上で8割を超えます。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、阿田和地区で82.9%と最も多く、上市木地区で71.8%と最も少なくなっています。

健康診査を受診について（全体）



健康診査を受診について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



#### (4) かかりつけ医について

問15⑦ あなたには、日常の健康管理や病気のことなど、気軽に相談できるかかりつけ医がいますか。

■気軽に相談できるかかりつけ医が「いる」が74.3%。

気軽に相談できるかかりつけ医の有無については、「いる」が74.3%と7割強となっています。

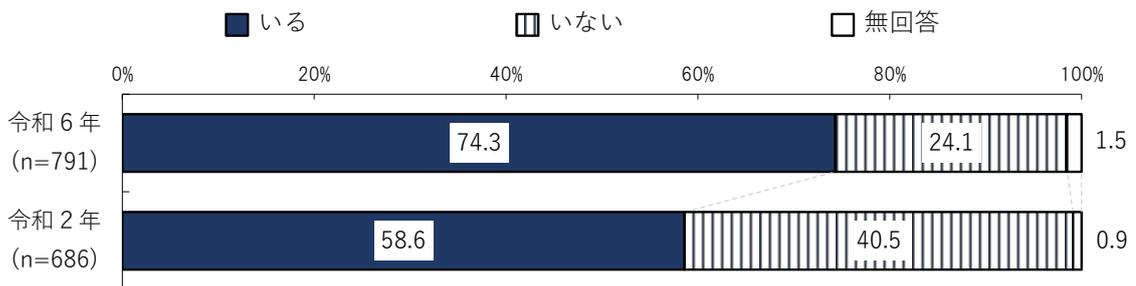
令和2年調査と比べると、15.7ポイント増加しています。

性別で「いる」と回答した割合をみると、男性で73.8%、女性で74.5%と大きな差はみられません。

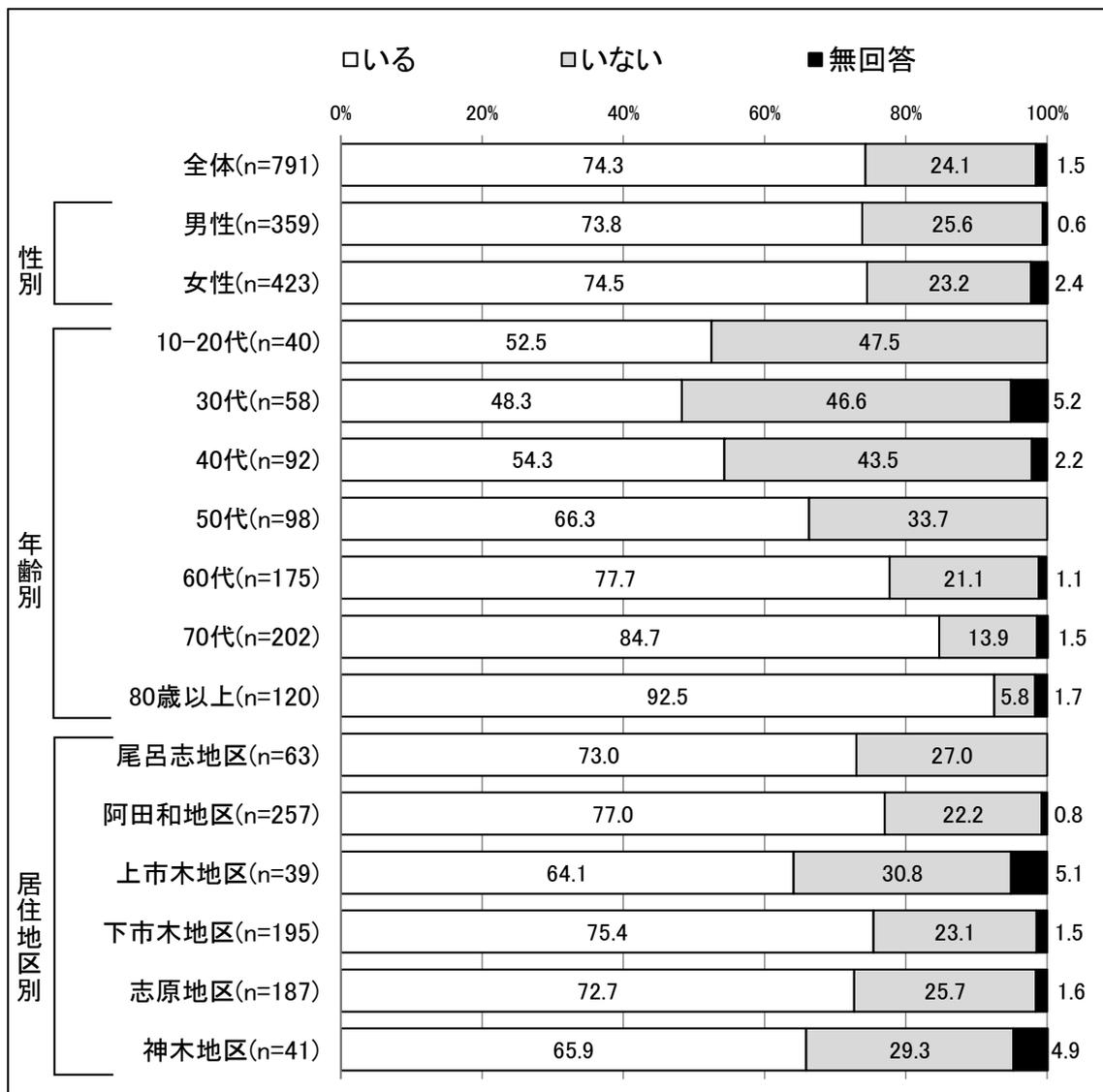
年齢別で「いる」と回答した割合をみると、おおむね年齢が上がるにつれて増加し、70歳以上で8割を超えます。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、阿田和地区で77.0%と最も多く、上市木地区で64.1%と最も少なくなっています。

かかりつけ医について（全体）



かかりつけ医について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



## (5)地域福祉活動について

問15⑧ あなたは、この1年間に、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加しましたか。

■地域福祉活動に参加「した」が16.6%。

身近な地域での見守りなど地域福祉活動への参加については、「した」が16.6%と約2割弱となっています。

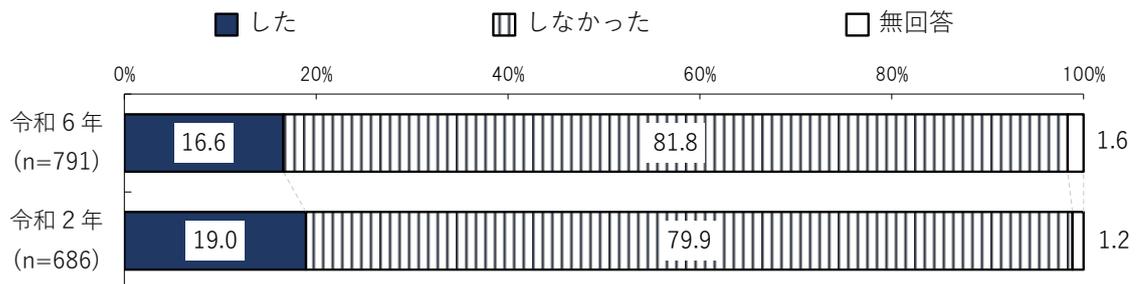
令和2年調査と比べるとやや減少しています。

性別で「した」と回答した割合をみると、男性で17.0%、女性で16.5%と、大きな差はみられません。

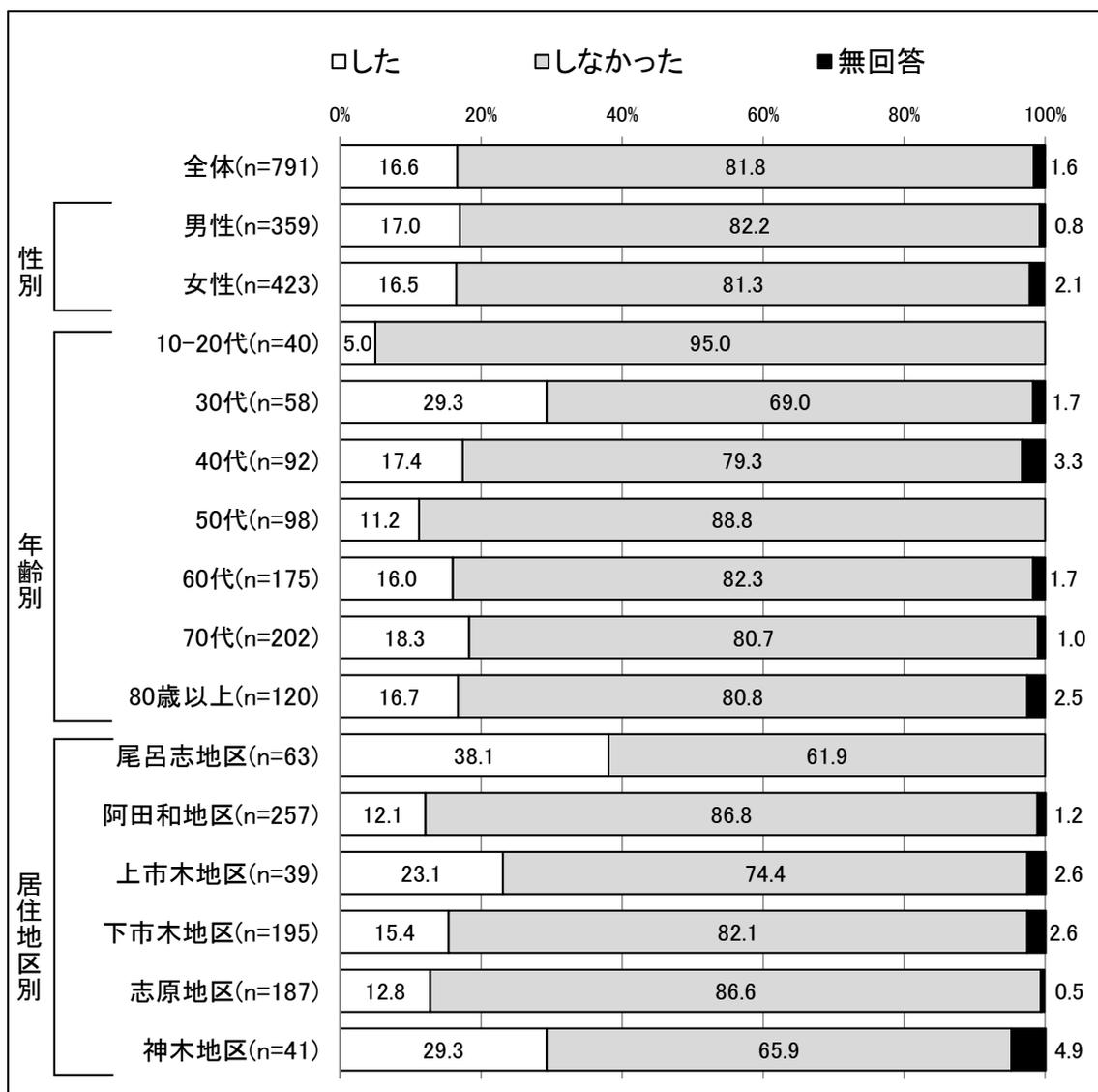
年齢別で「した」と回答した割合をみると、30代で29.3%と最も多く、50代で11.2%と最も少なくなっています。

居住地区別で「している」と回答した割合をみると、尾呂志地区で38.1%と、他の地区を大きく上回り、上市木地区(12.1%)と志原地区(12.8%)が少なくなっています。

地域福祉活動について（全体）



地域福祉活動について（全体、性別、年齢別、居住地区別）



## (6)地域とのつながりについて

問15⑨ あなた自身は、地域とのつながりがある方だと思いますか。

### ■地域とのつながりが「あると思う」が34.4%。

地域とのつながりについて、「あると思う」が34.4%となっています。

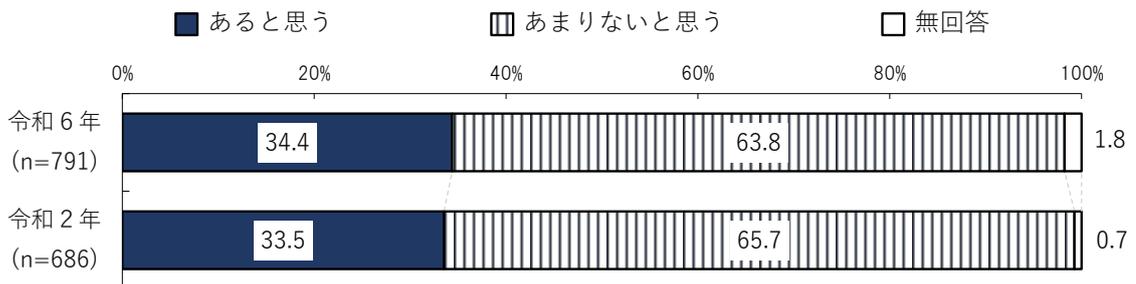
令和2年調査と大きな違いはありません。

性別で「あると思う」と回答した割合をみると、男性で38.2%と女性の31.4%を上回ります。

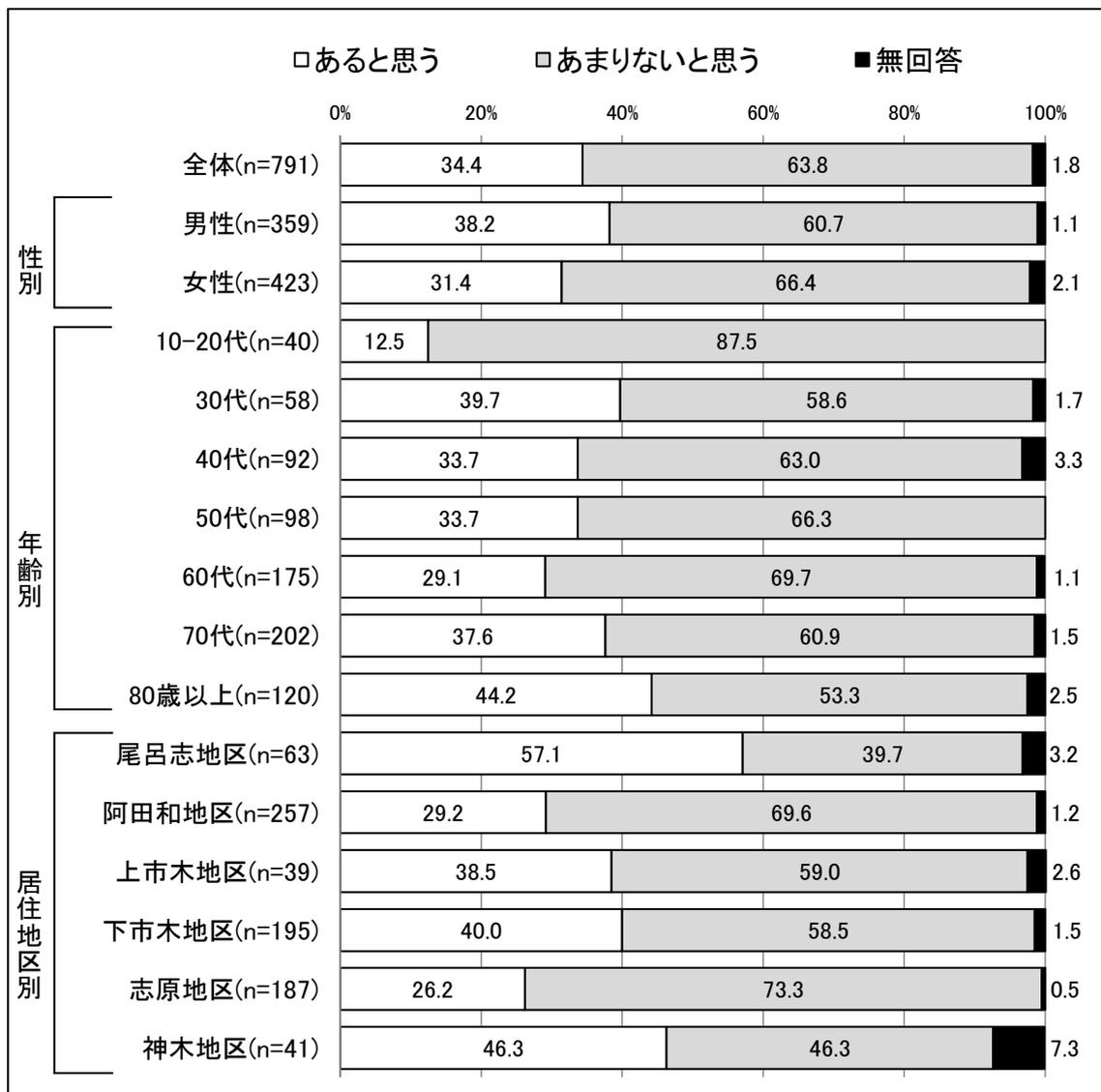
年齢別で「あると思う」と回答した割合をみると、80歳以上で44.2%と最も多く、次いで30代(39.7%)、70代(37.6%)が続きます。

居住地区別で「あると思う」と回答した割合をみると、尾呂志地区で57.1%と、他の地区を大きく上回り、阿田和地区(29.2%)と志原地区(26.2%)が少なくなっています。

地域とのつながりについて（全体）



地域とのつながりについて（全体、性別、年齢別、居住地区別）





### Ⅲ. 調査結果

(御浜町の暮らしやすさの幸福度に関するアンケート調査)



### Ⅲ. 調査結果(御浜町の暮らしやすさの幸福度に関するアンケート調査)

#### 1.暮らしやすさの幸福度について

---

##### (1)生活環境について

問16 生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものを選んでください。

##### ア 単純集計結果

- 「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤自宅には、心地のいい居場所がある』。「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる』
- 

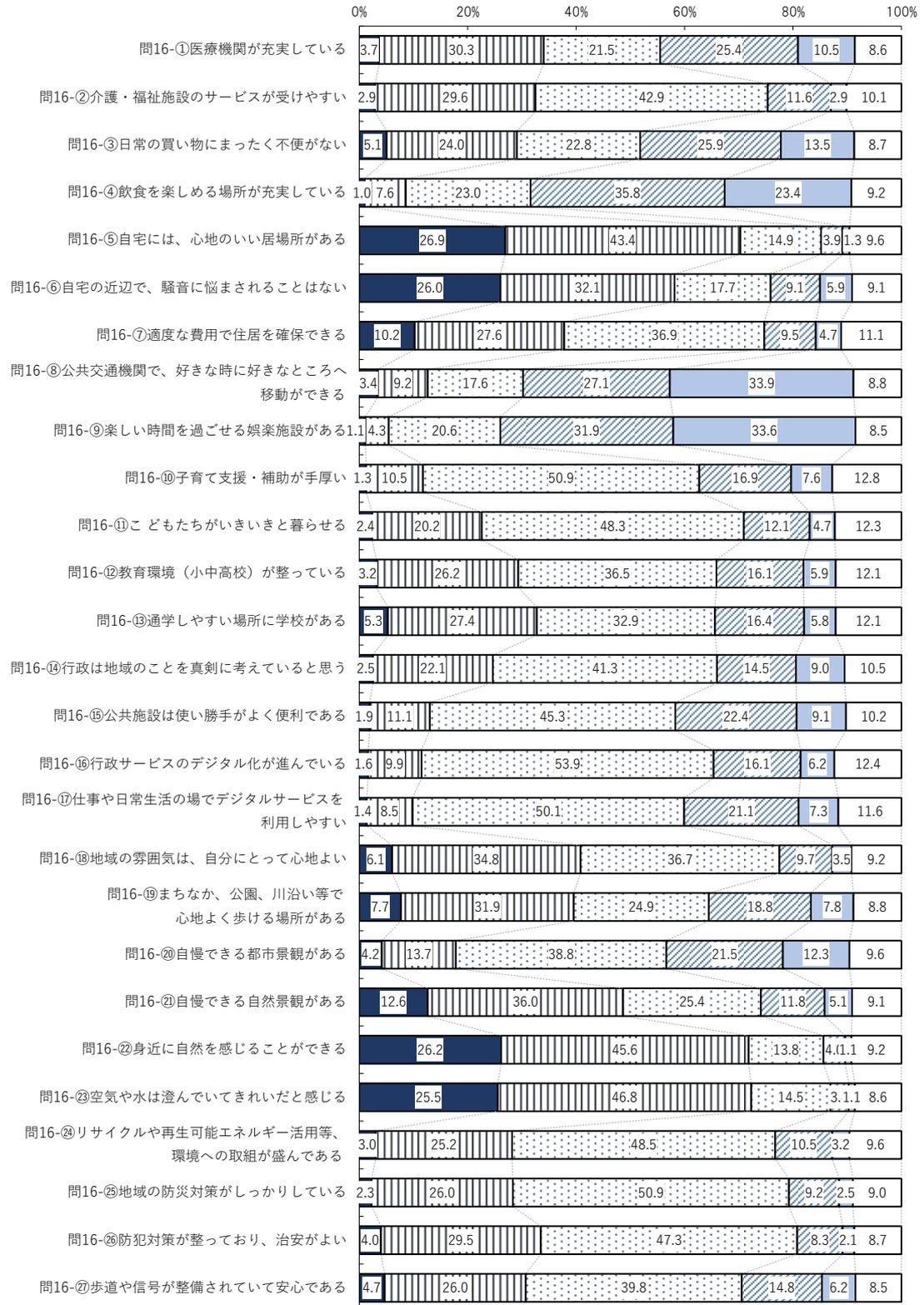
暮らしやすさの幸福度につながる生活環境に関する 27 の項目について状況をたずねたところ、「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤自宅には、心地のいい居場所がある』で 26.9%、次いで『⑫身近に自然を感じることができる』(26.2%)、『⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない』(26.0%)、『⑬空気や水は澄んでいてきれいだと感じる』(25.5%)が続きます。

一方、「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる』(33.9%)、『⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある』(33.6%)は3割強になっており、次いで『④飲食を楽しめる場所が充実している』(23.4%)の順となっています。

## 生活環境について（全体）

令和6年(n=791)

非常に当てはまる
  ある程度当てはまる
  どちらともいえない
  あまり当てはまらない
  全く当てはまらない
  無回答



## イ 回答結果の点数化

- 暮らしの満足度が最も高い項目は「身近に自然を感じることができる」。次いで「空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」、「自宅には、心地のいい居場所がある」、「自宅には、心地のいい居場所がある」の順。
- 暮らしの満足度が最も低い項目は「楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」。次いで「公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」、「飲食を楽しめる場所が充実している」の順。

暮らしやすさの幸福度につながる生活環境について設定された 27 項目を、「非常に当てはまる」、「ある程度当てはまる」、「どちらともいえない」、「あまり当てはまらない」、「全く当てはまらない」の 5 段階で評価した回答結果を、暮らしの満足度として点数化※しました。

その結果をみると、暮らしの満足度が最も高い項目は「②身近に自然を感じることができる」(5.05 点)となっており、次いで「③空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」(5.04 点)、「⑤自宅には、心地のいい居場所がある」(5.02 点)、「⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない」(3.48 点)、「⑪自慢できる自然景観がある」(2.17 点)が続き、自然環境に関する項目が多くなっています。

一方、暮らしの満足度が最も低い項目は「⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」(-5.06 点)となっており、次いで「⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」(-4.32 点)、「④飲食を楽しめる場所が充実している」(-4.02 点)、「⑮公共施設は使い勝手がよく便利である」(-1.43 点)、「⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい」(-1.39 点)など、娯楽や移動に関する項目への評価が厳しい結果となっています。

また、設定した 27 項目のうち、評価がプラス点の項目は 16 項目、マイナス点の項目は 11 項目となっています。

暮らしの満足度（全体／評価点、上位・下位項目）

上位	項目	評価点
1	②身近に自然を感じることができる	5.05
2	③空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.04
3	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.02
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.48
5	⑪自慢できる自然景観がある	2.17
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.06
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-4.32
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-4.02
4	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-1.43
5	⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	-1.39

※評価点の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left[ \begin{array}{l} \text{「非常に当てはまる」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「ある程度} \\ \text{当てはまる」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \\ \text{の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「あまり当てはまらない」の} \\ \text{回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「全く当てはまらない」の回答者数} \\ \times -10 \text{点} \end{array} \right] \div \left[ \begin{array}{l} \text{「非常に当てはまる」、「ある程度} \\ \text{当てはまる」、「どちらともいえない」、「あまり} \\ \text{当てはまらない」、「全く当てはまらないに不満」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right]$$

さらに、暮らしの満足度の上位項目を年齢別で見ると、60代は「㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」、70代と80歳以上は「㉕自宅には、心地のいい居場所がある」ですが、その他の年代では「㉒身近に自然を感じることが出来る」が第1位に挙げられています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区と下市木地区は「㉒身近に自然を感じることが出来る」、上市木地区は「㉕自宅には、心地のいい居場所がある」ですが、その他の地区は「㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」が第1位となっています。

一方、暮らしの満足度の下位項目を年齢別で見ると、全ての年代で「㉑楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」が最下位となっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区は「㉘公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」ですが、その他の地区は「㉑楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」が最下位となっています。

暮らしの満足度上位・下位項目（年齢別・居住地区別／評価点、上位・下位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	㉒身近に自然を感じることができる	7.31
1	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	6.71
3	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	6.54
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	4.62
5	㉑自慢できる自然景観がある	4.36
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.51
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-3.97
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-2.95
4	⑩行政サービスのデジタル化が進んでいる	-2.44
5	③日常の買い物にまったく不便がない	-2.31

40代

上位	項目	評価点
1	㉒身近に自然を感じることができる	5.40
2	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	4.66
3	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	4.66
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	4.15
5	㉑自慢できる自然景観がある	2.50
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.91
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-5.57
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-5.17
4	①医療機関が充実している	-2.39
5	③日常の買い物にまったく不便がない	-1.84

60代

上位	項目	評価点
1	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	4.94
2	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	4.82
3	㉒身近に自然を感じることができる	4.51
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.30
5	㉑自慢できる自然景観がある	1.86
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.84
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-5.03
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-4.76
4	㉑自慢できる都市景観がある	-1.82
5	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-1.54

80歳以上

上位	項目	評価点
1	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.11
2	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.00
3	㉒身近に自然を感じることができる	4.31
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.39
5	②介護・福祉施設のサービスが受けやすい	3.19
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-2.73
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-2.58
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-1.54
4	⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	-0.84
5	㉑自慢できる都市景観がある	-0.33

30代

上位	項目	評価点
1	㉒身近に自然を感じることができる	6.79
2	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.45
3	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.27
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	2.68
5	㉑自慢できる自然景観がある	2.14
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.89
2	④飲食を楽しめる場所が充実している	-5.89
3	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-5.27
4	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-4.20
5	①医療機関が充実している/③日常の買い物にまったく不便がない	-3.21

50代

上位	項目	評価点
1	㉒身近に自然を感じることができる	6.24
2	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.26
3	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.10
4	㉑自慢できる自然景観がある	3.71
5	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.62
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.21
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-5.15
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-3.81
4	①医療機関が充実している	-2.47
5	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-1.65

70代

上位	項目	評価点
1	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	4.89
2	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	4.78
3	㉒身近に自然を感じることができる	4.07
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.25
5	②介護・福祉施設のサービスが受けやすい	1.42
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-4.63
2	④飲食を楽しめる場所が充実している	-3.73
3	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-3.23
4	⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	-1.95
5	㉑自慢できる都市景観がある	-1.48

### 尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	㉒身近に自然を感じることができる	6.36
2	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.74
3	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.70
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	4.18
5	⑦適度な費用で住居を確保できる	3.11
下位	項目	評価点
1	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-4.56
2	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-4.48
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-3.66
4	③日常の買い物にまったく不便がない	-2.02
5	⑭行政は地域のことを真剣に考えていると思う	-1.32

### 上市木地区

上位	項目	評価点
1	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.69
2	㉒身近に自然を感じることができる	5.43
3	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.42
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.47
5	⑦適度な費用で住居を確保できる	2.43
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.56
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-5.14
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-4.00
4	㉑自慢できる都市景観がある	-1.94
5	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-1.67

### 志原地区

上位	項目	評価点
1	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.00
2	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	4.74
3	㉒身近に自然を感じることができる	4.66
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	4.38
5	㉑自慢できる自然景観がある	1.68
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.81
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-4.66
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-4.46
4	③日常の買い物にまったく不便がない	-2.24
5	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-1.86

### 阿田和地区

上位	項目	評価点
1	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.11
2	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.09
3	㉒身近に自然を感じることができる	4.93
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	2.75
5	㉑自慢できる自然景観がある	2.54
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-4.65
2	④飲食を楽しめる場所が充実している	-3.87
3	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-3.73
4	⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	-1.29
5	⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	-1.23

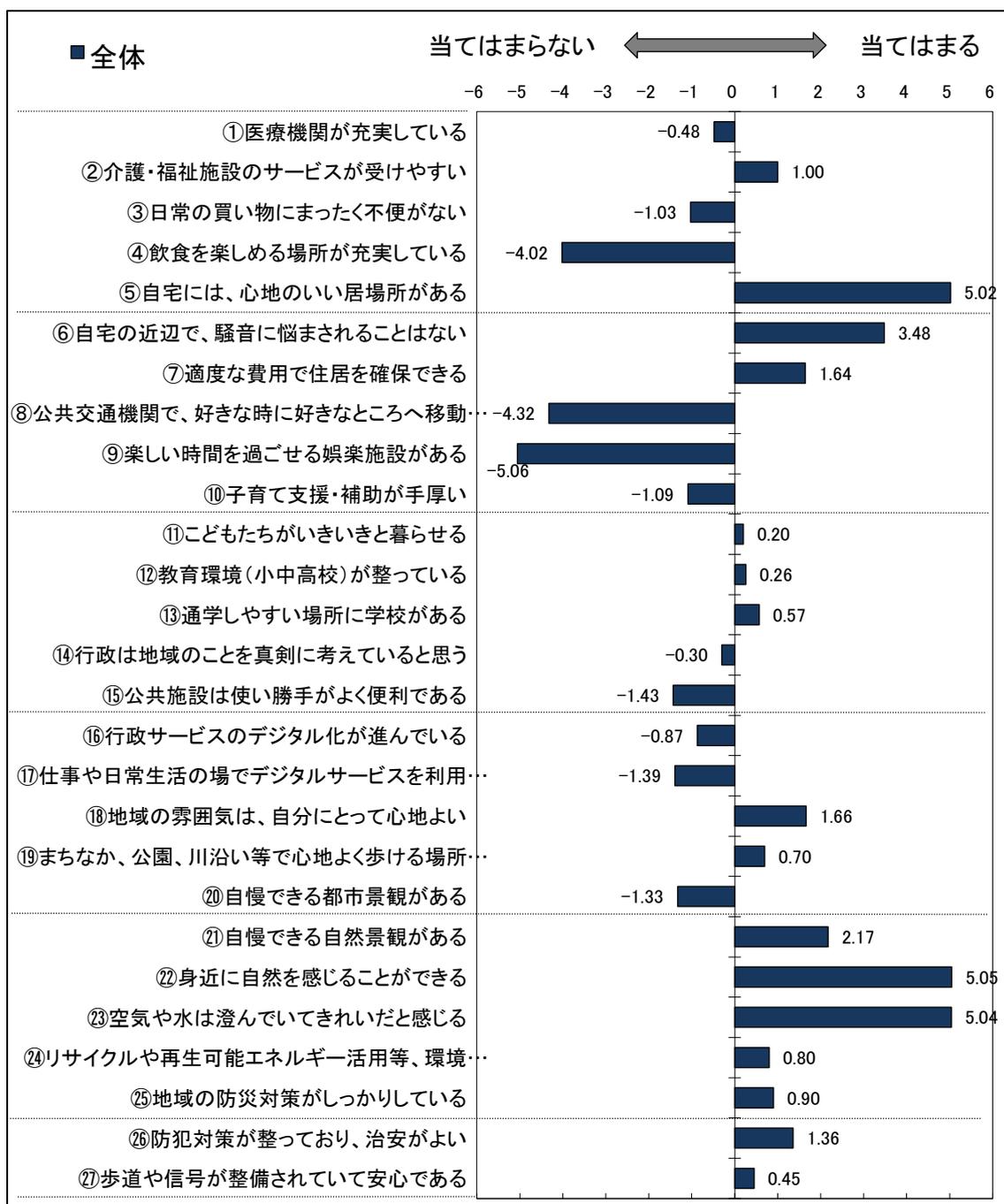
### 下市木地区

上位	項目	評価点
1	㉒身近に自然を感じることができる	5.22
2	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5.08
3	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	4.56
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.32
5	㉑自慢できる自然景観がある	2.37
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-4.89
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-4.31
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-3.99
4	⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	-1.51
5	①医療機関が充実している	-1.42

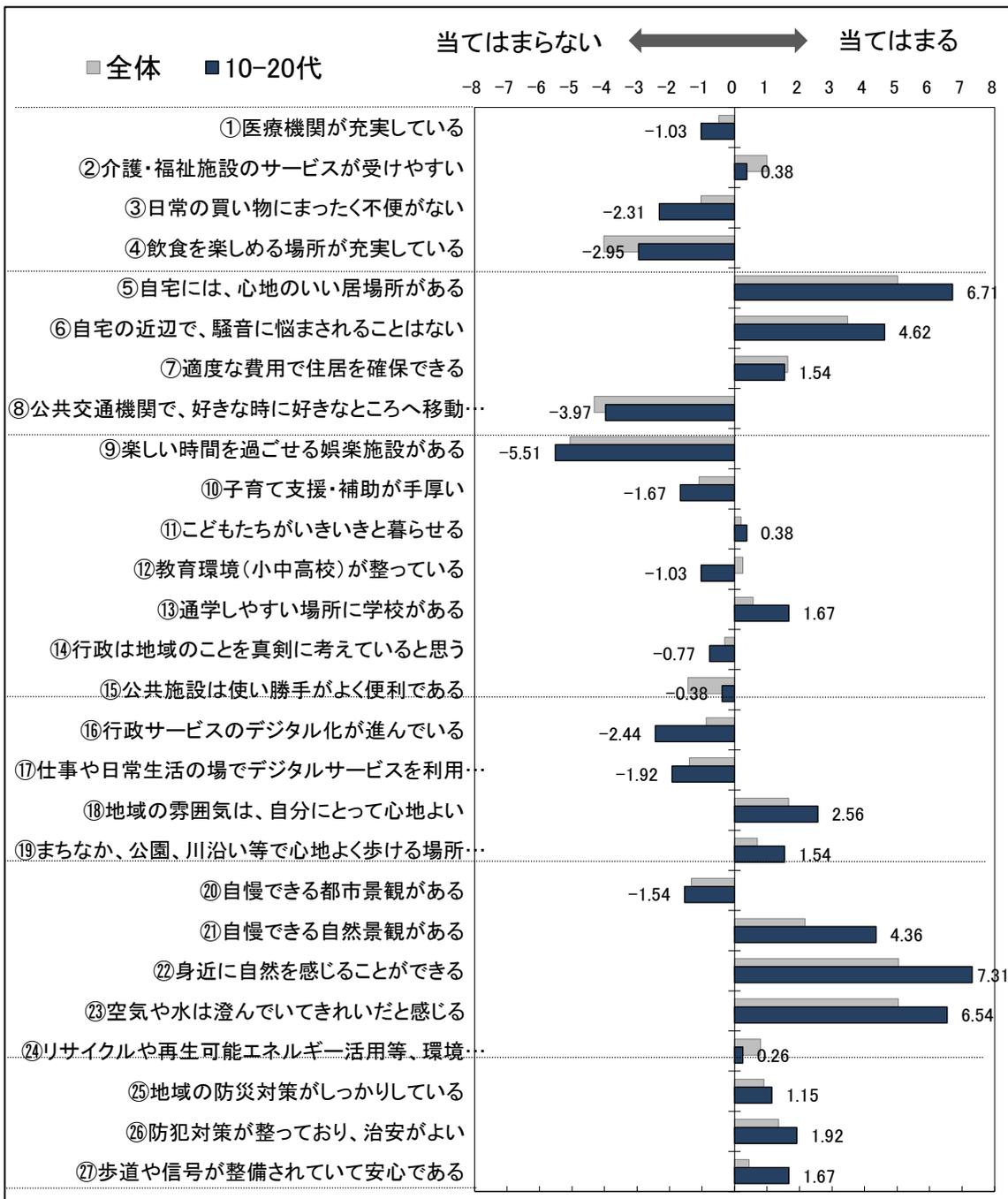
### 神木地区

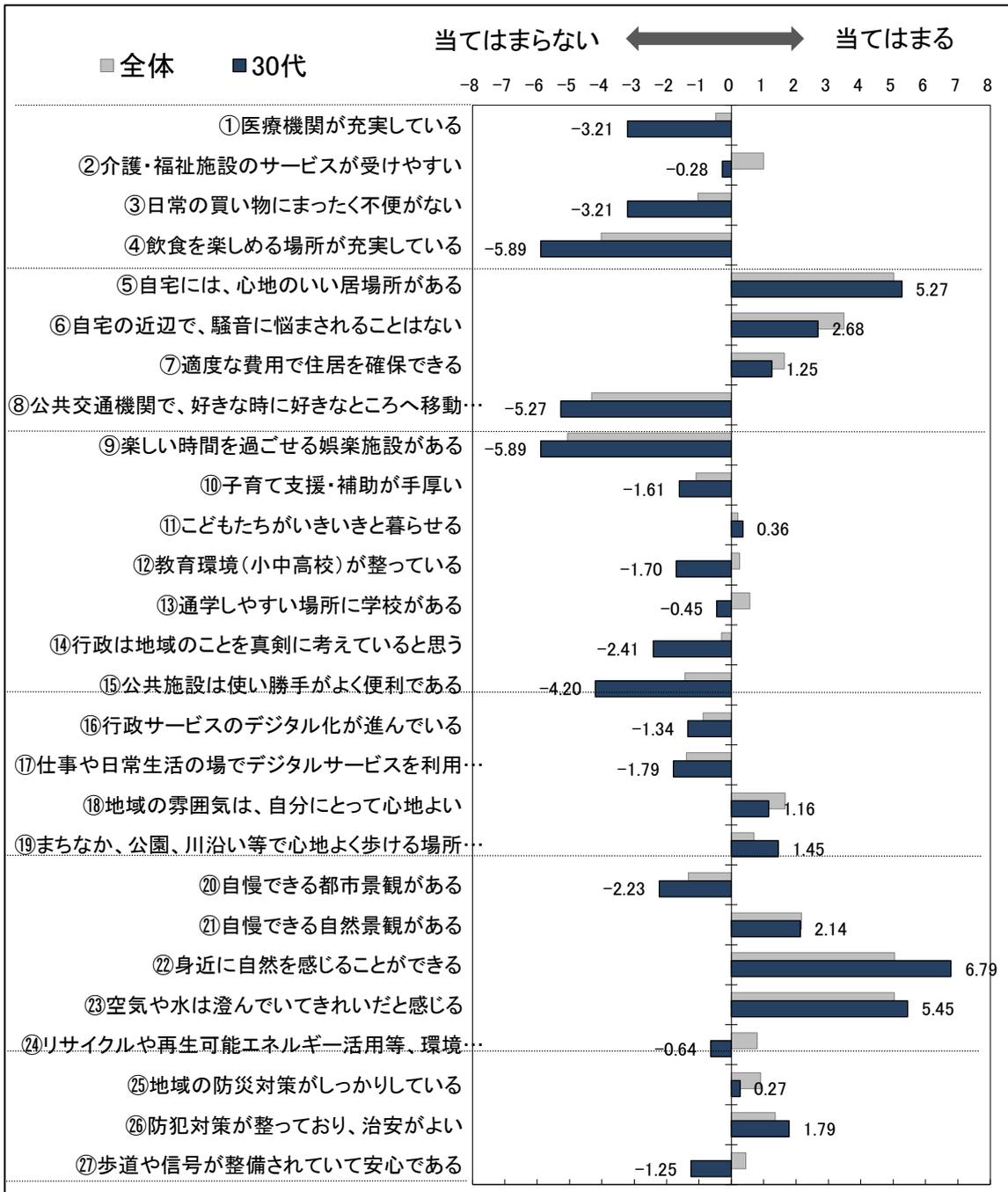
上位	項目	評価点
1	㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5.68
2	㉒身近に自然を感じることができる	4.73
3	⑤自宅には、心地のいい居場所がある	3.92
4	⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	3.92
5	㉑自慢できる自然景観がある	2.30
下位	項目	評価点
1	⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	-5.14
2	⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	-5.00
3	④飲食を楽しめる場所が充実している	-3.19
4	⑬通学しやすい場所に学校がある	-2.92
5	③日常の買い物にまったく不便がない	-2.43

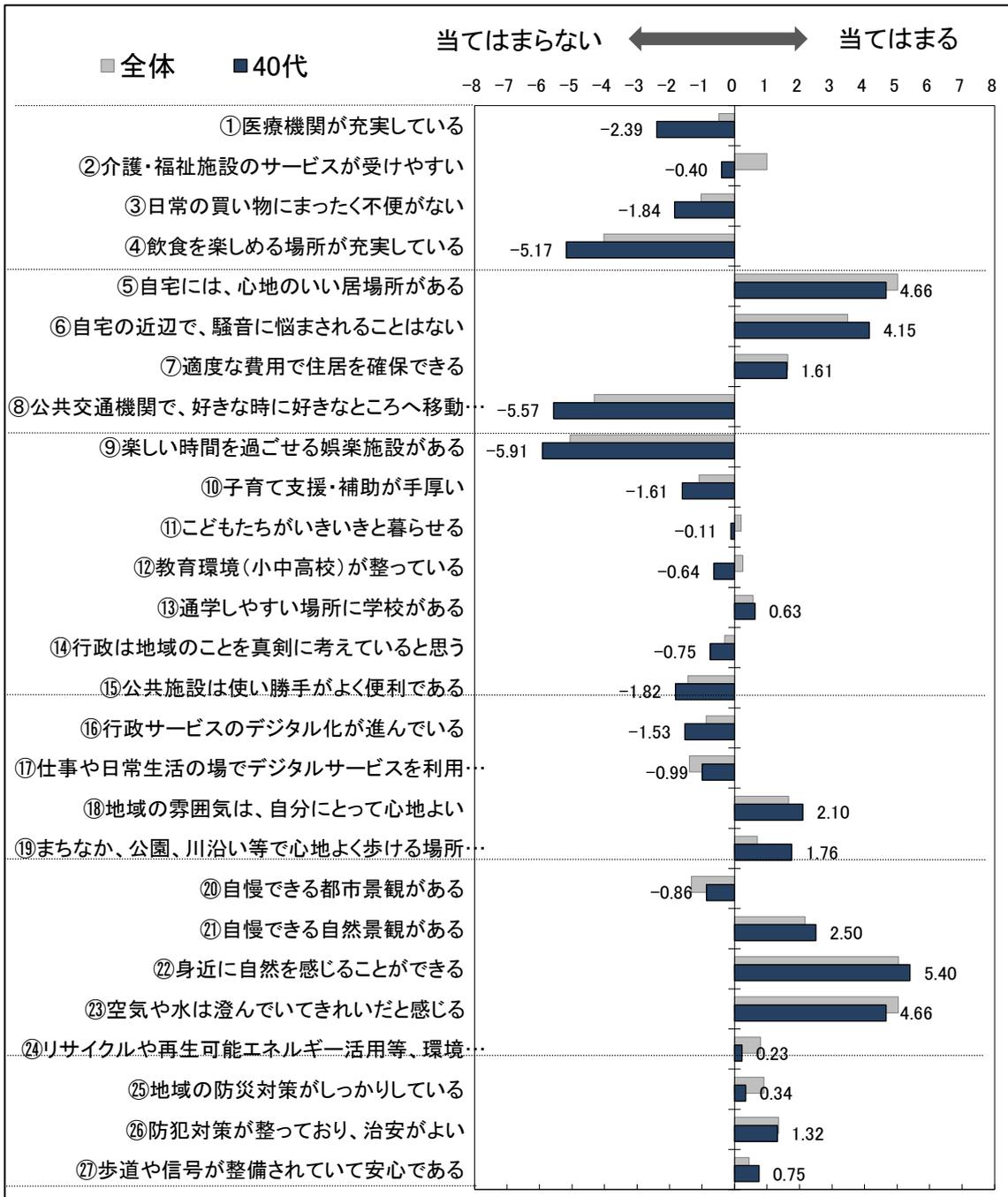
暮らしの満足度（全体／評価点）

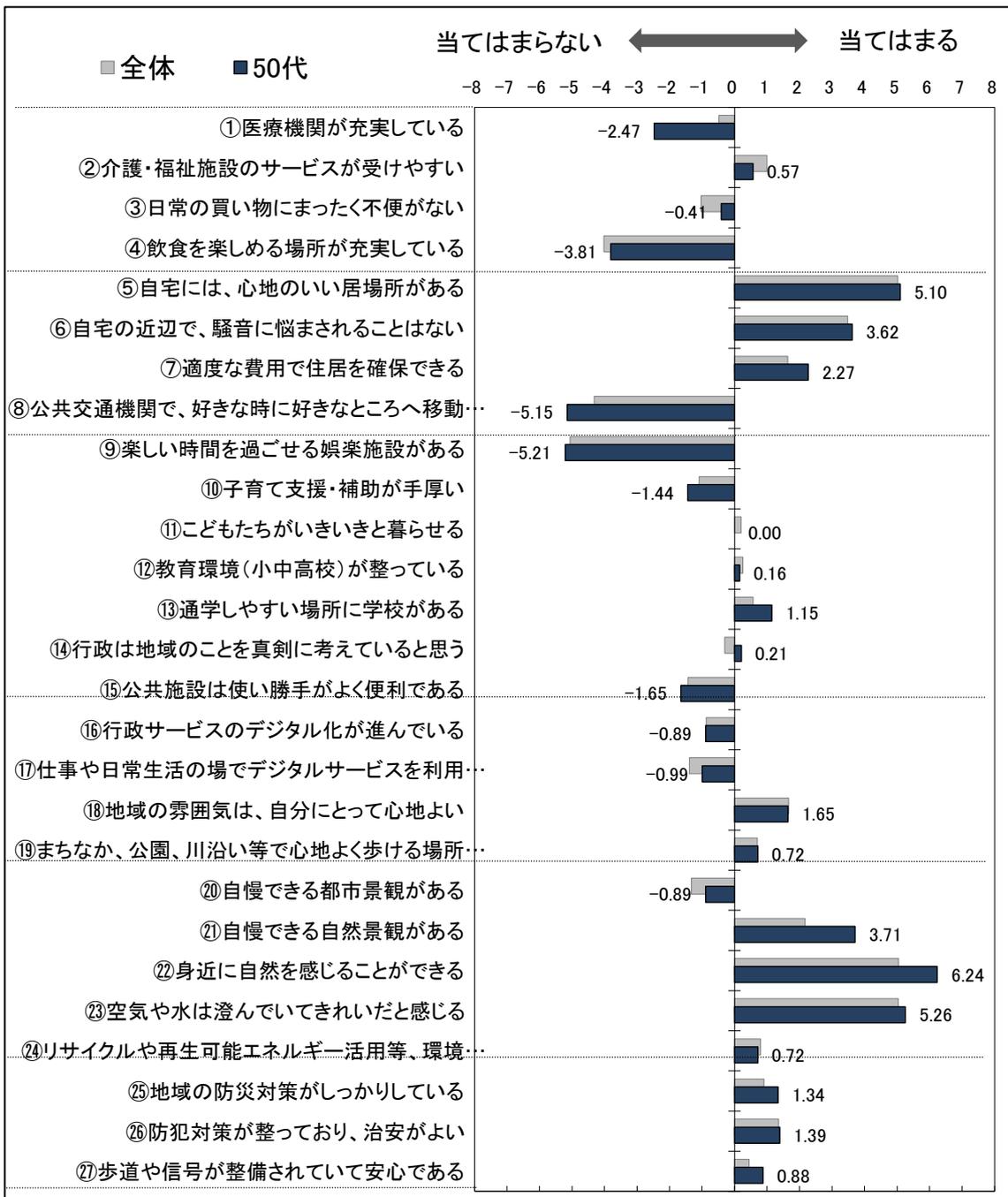


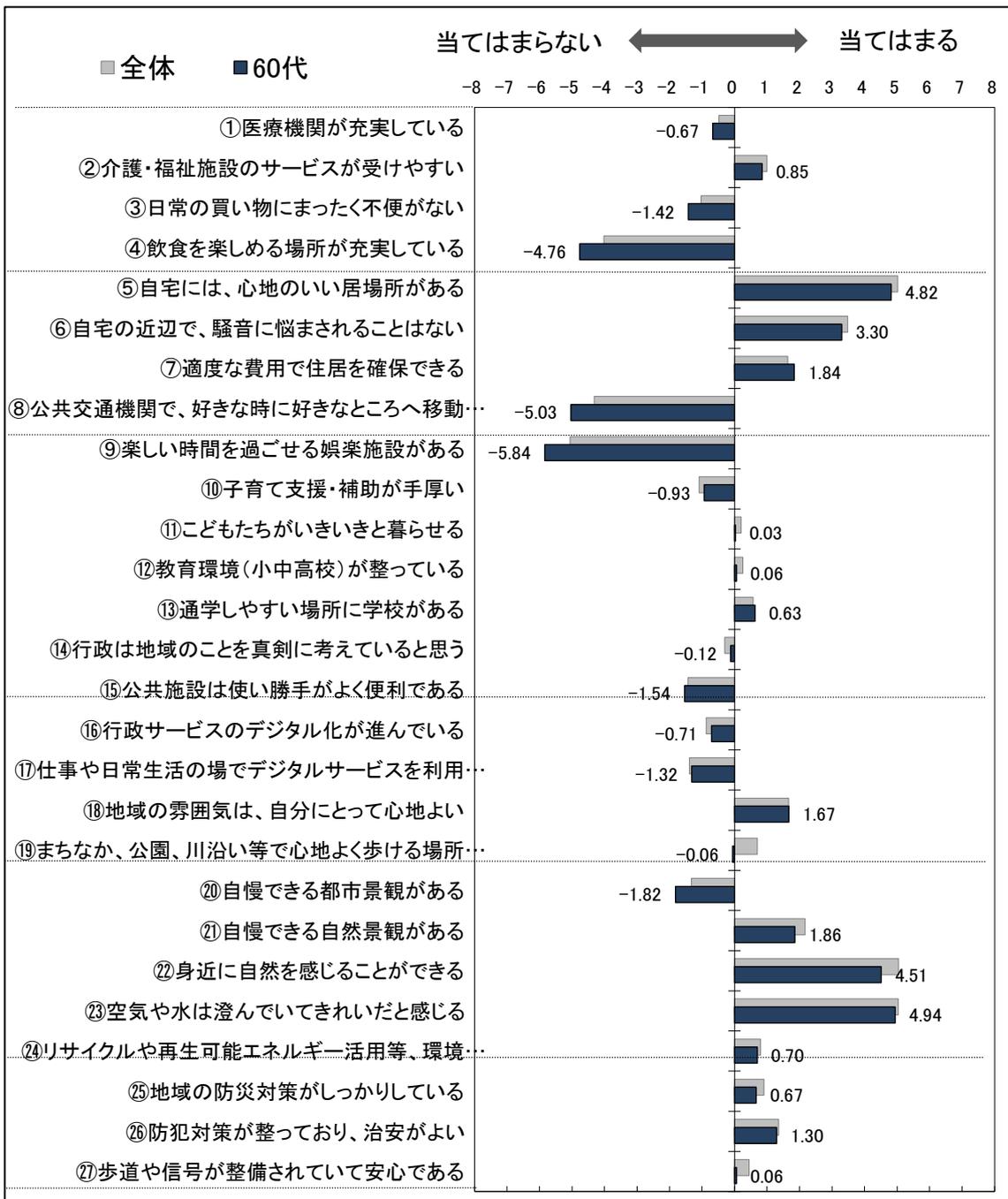
暮らしの満足度（年代別／評価点）

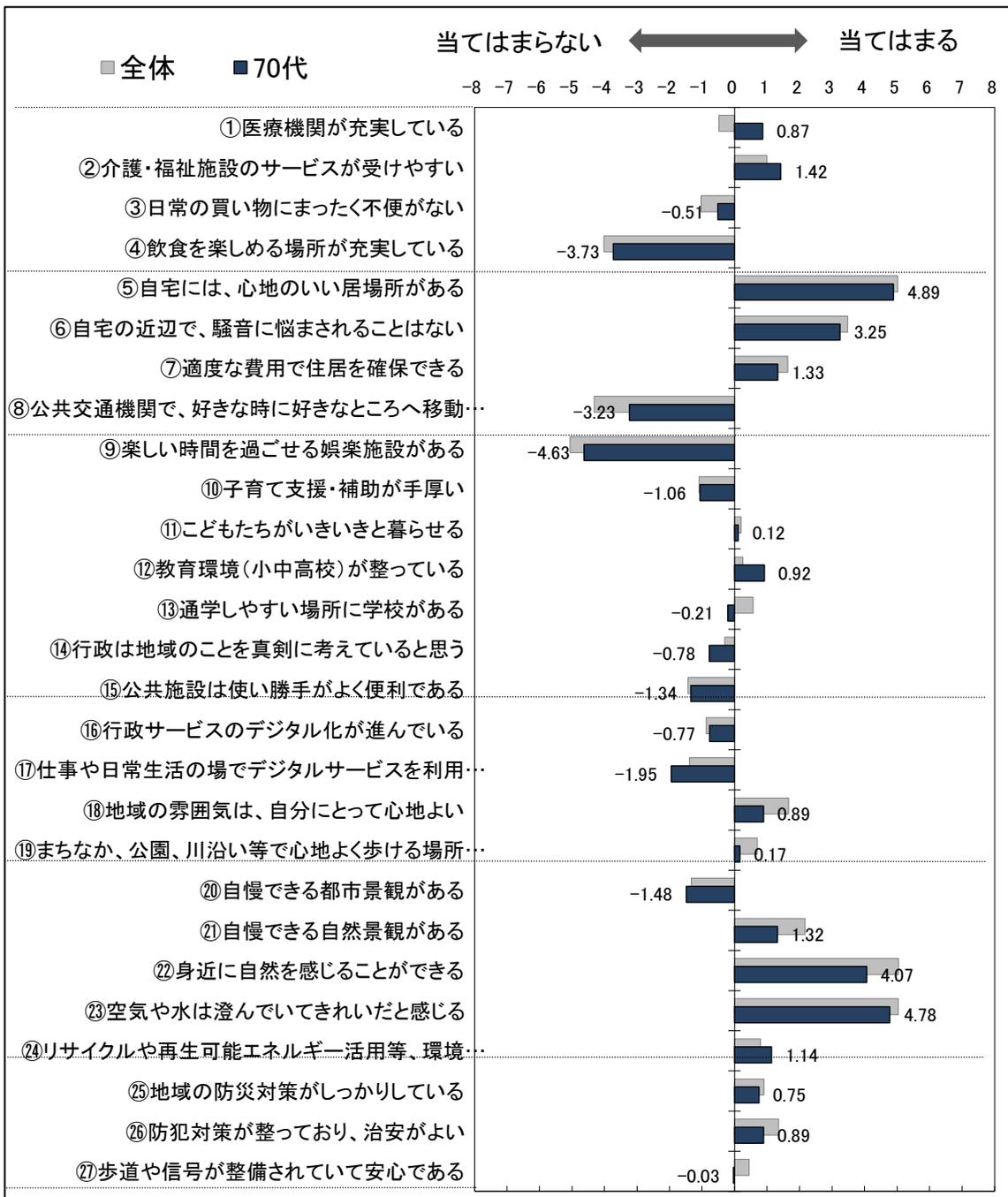


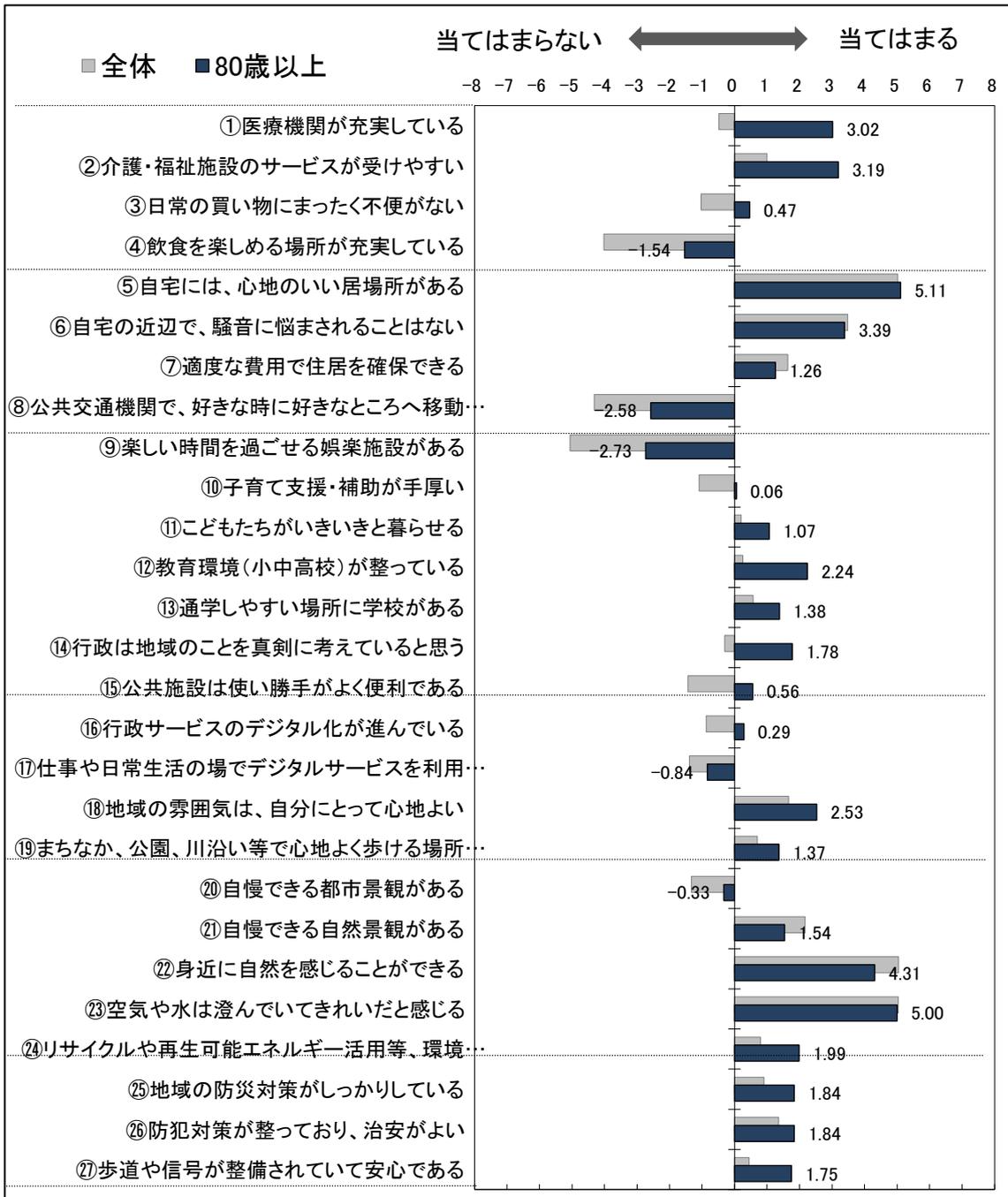




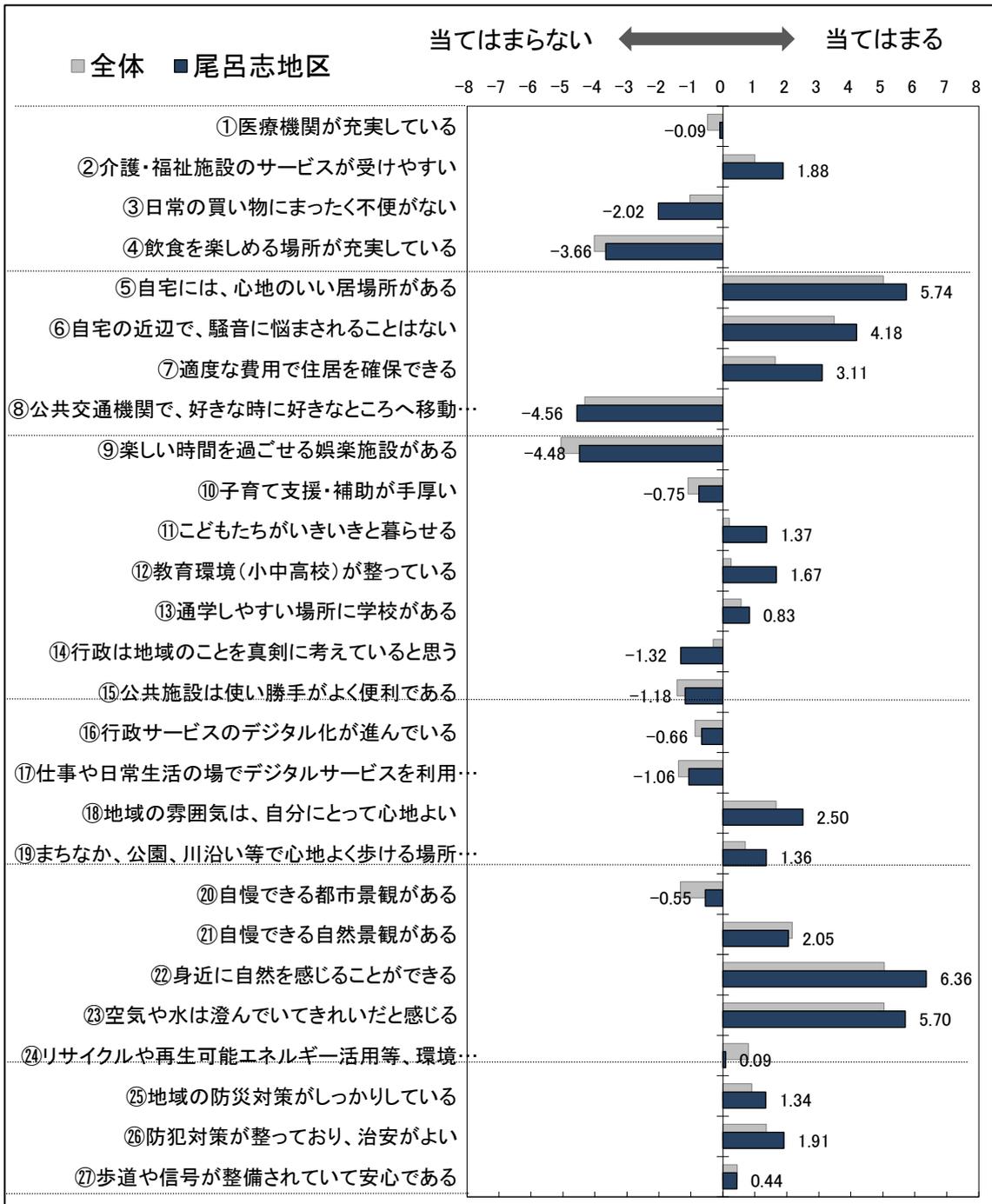


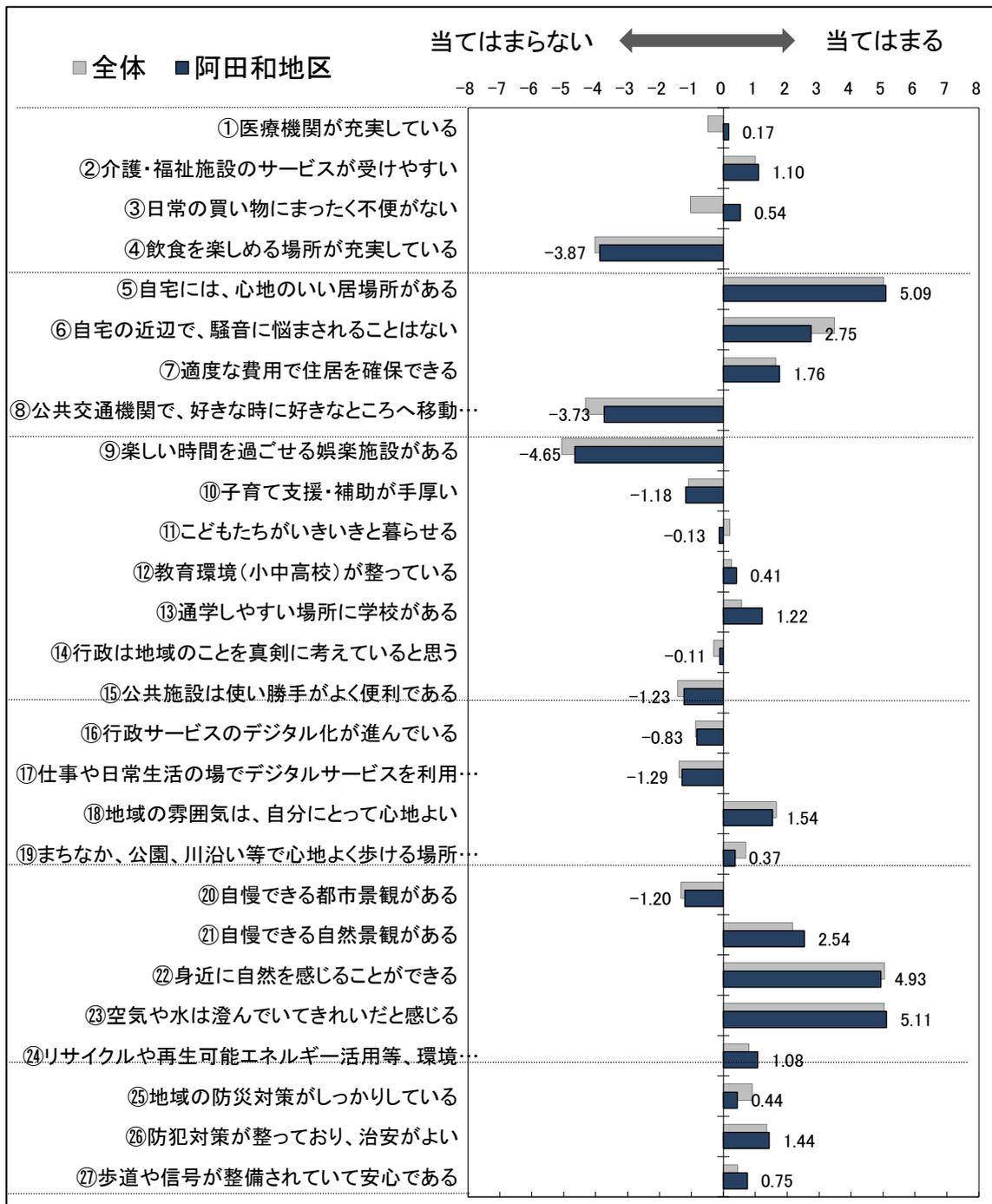


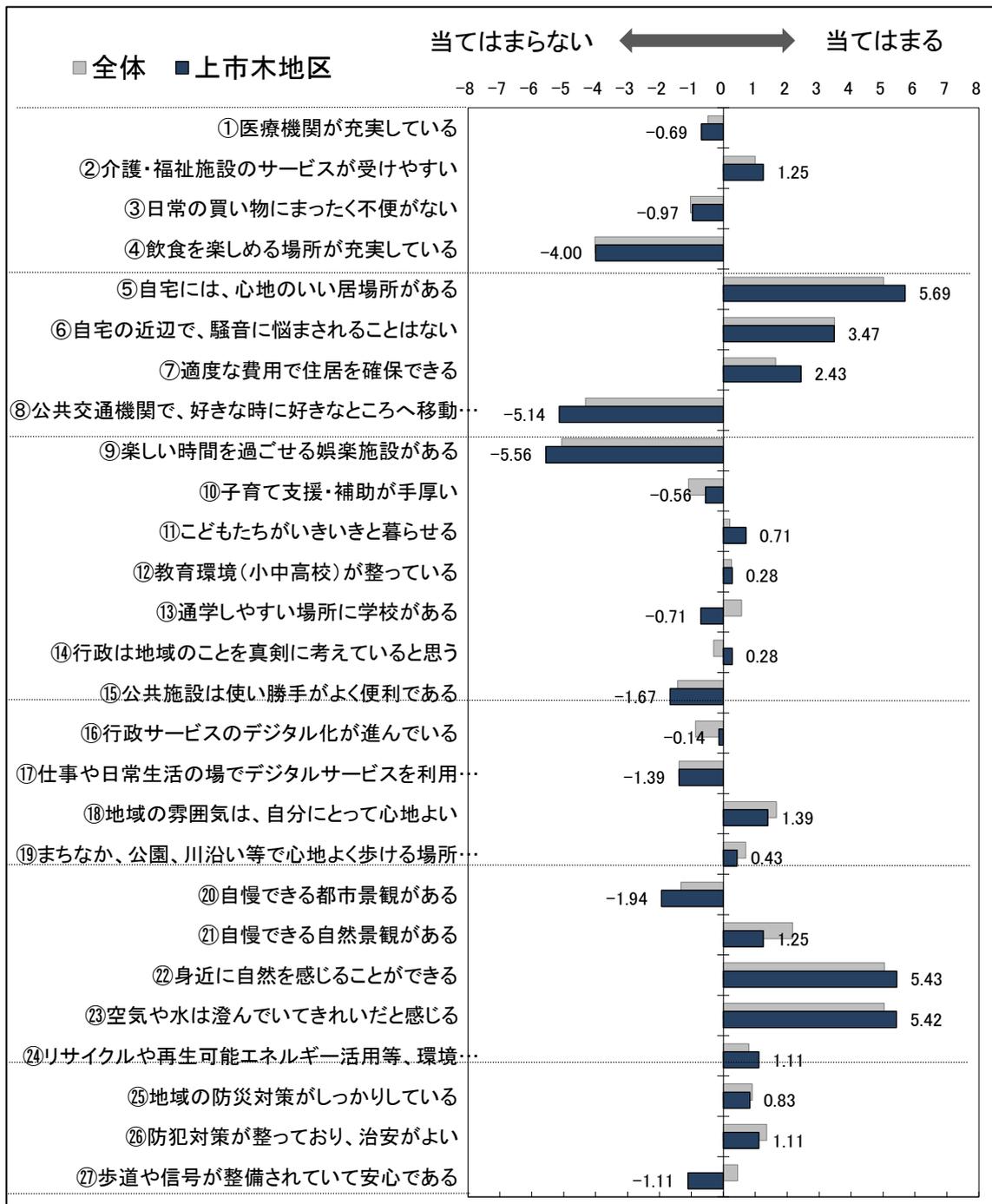


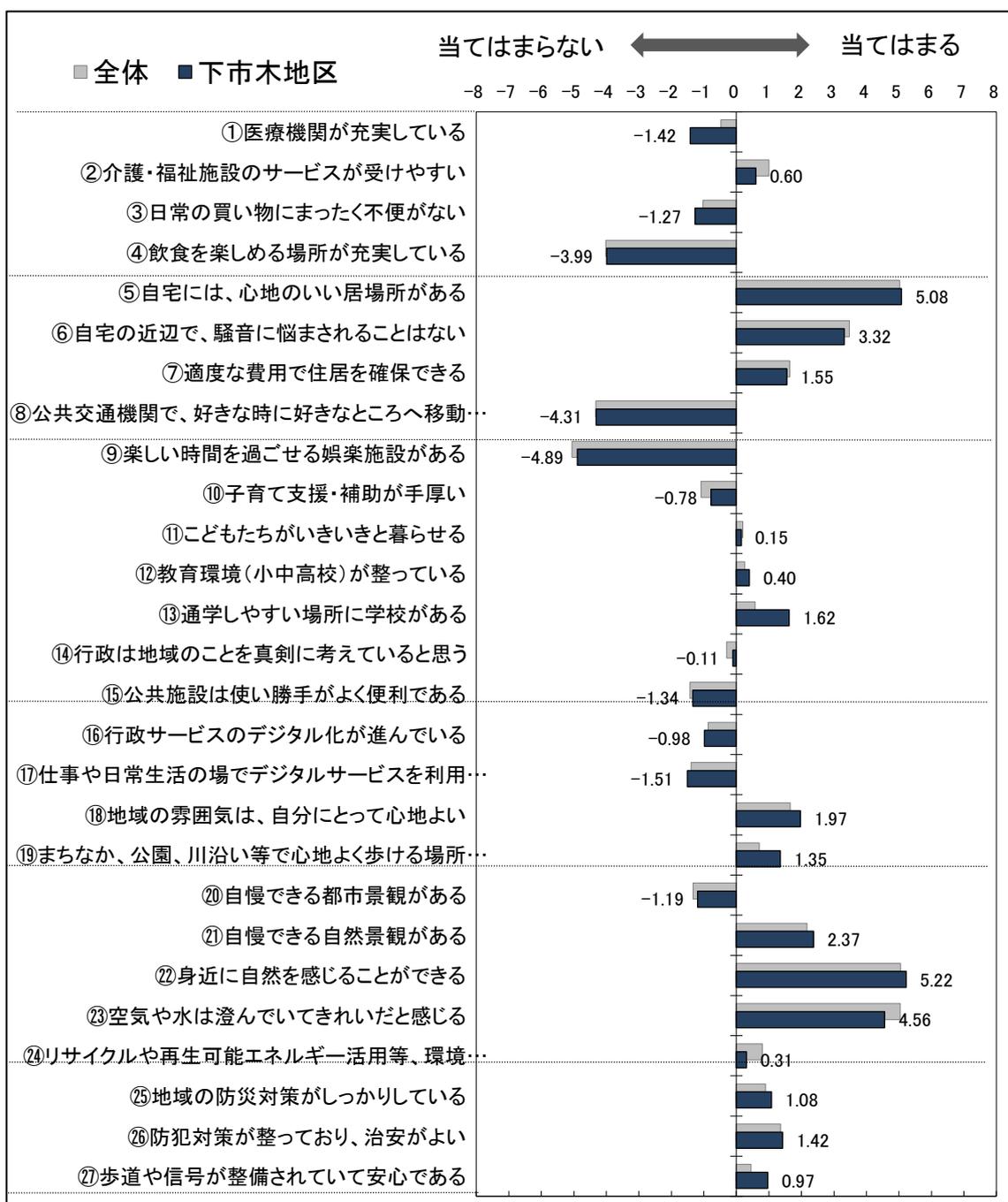


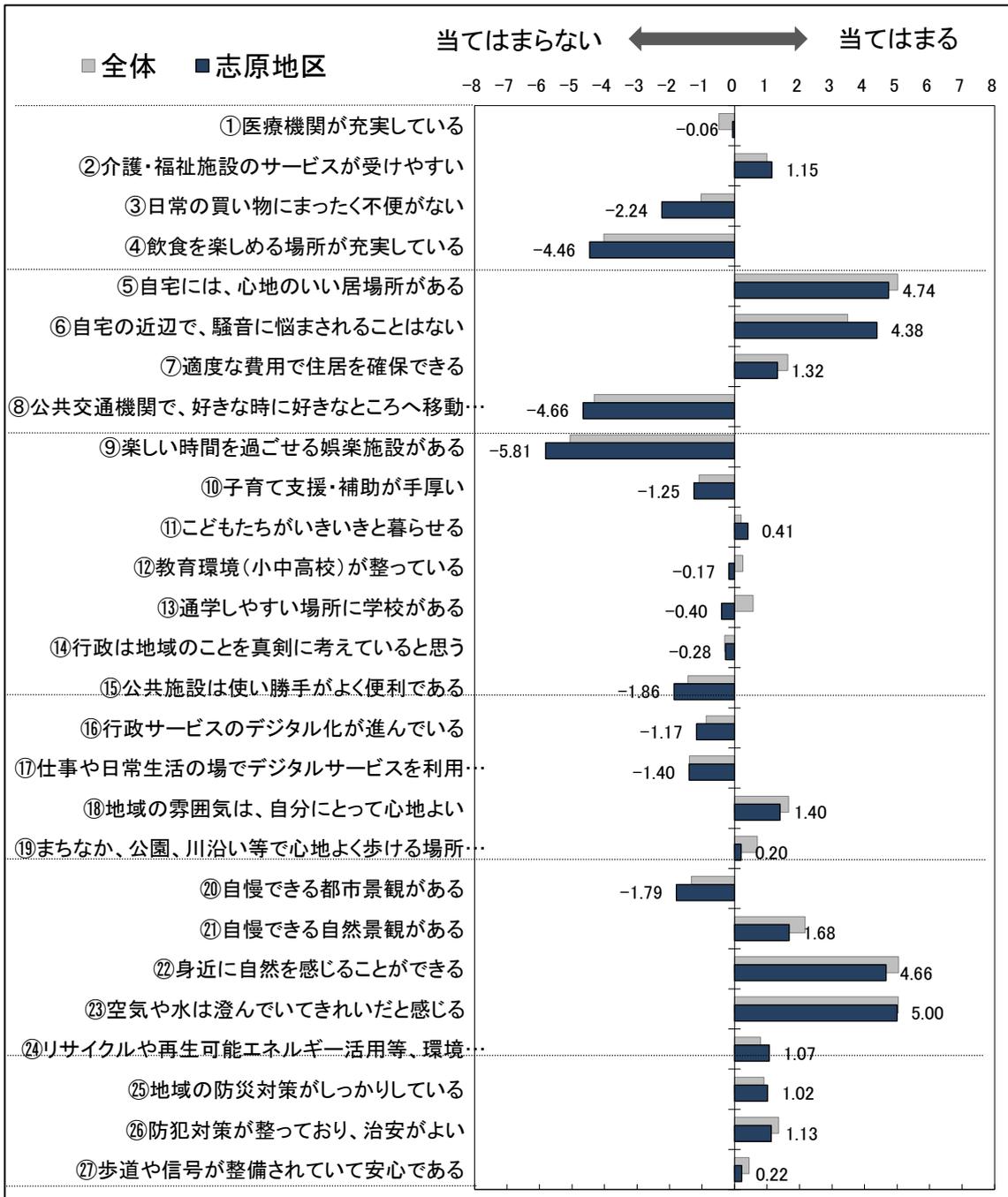
暮らしの満足度（居住地区別／評価点）

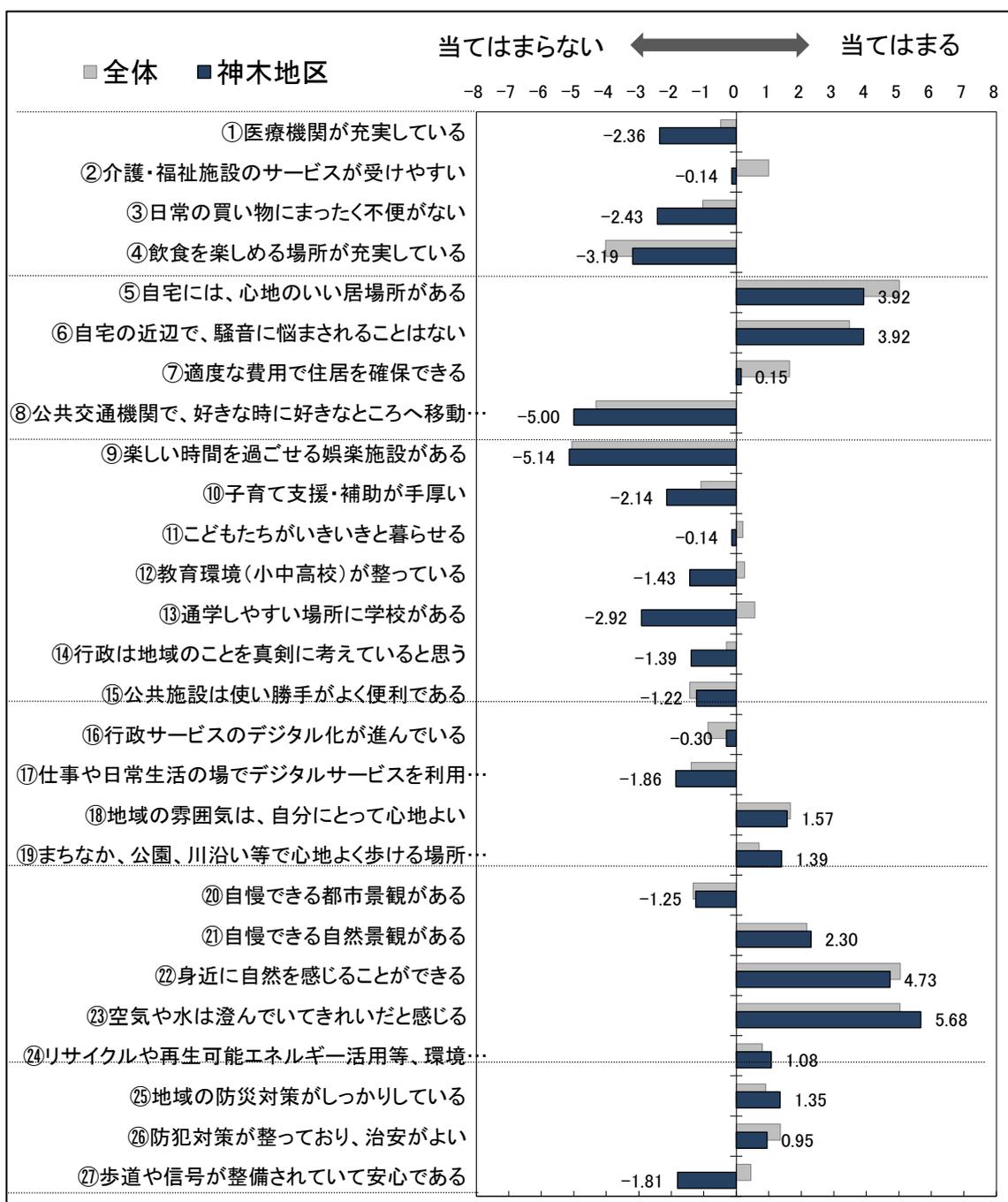












## (2)地域の人間関係について

問17 地域の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものを選んでください。

### ア 単純集計結果

- 「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『③困ったときに相談できる人が身近にいる』。「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦見知らぬ他者であっても信頼する』
- 

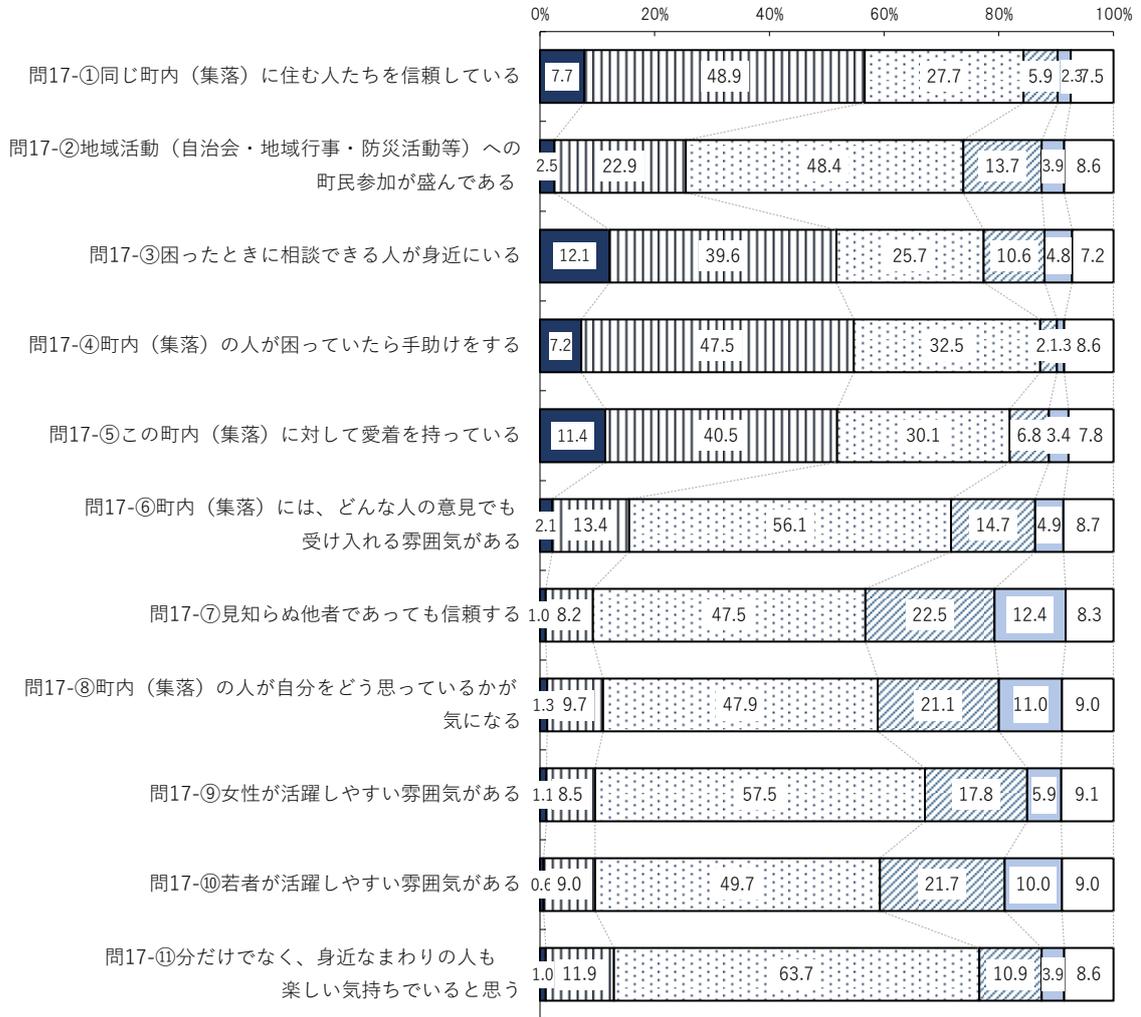
地域の人間関係に関する11の項目について状況をたずねたところ、「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『③困ったときに相談できる人が身近にいる』で12.1%、次いで『⑤この町内(集落)に対して愛着を持っている』(11.4%)といなっています。

一方、「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦見知らぬ他者であっても信頼する』(12.4%)、『⑧町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる』(11.0%)は1割強になっています。

## 地域の人間関係について（全体）

令和6年(n=791)

非常に当てはまる
  ある程度当てはまる
  どちらともいえない
  あまり当てはまらない
  全く当てはまらない
  無回答



## イ 回答結果の点数化

- 地域の人間関係について評価が最も高い項目は「この町内（集落）に対して愛着を持っている」。次いで「町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」、「同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」の順。
- 地域の人間関係について評価が最も低い項目は「見知らぬ他者であっても信頼する」。次いで「若者が活躍しやすい雰囲気がある」、「町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる」の順。

暮らしやすさの幸福度につながる地域の人間関係の評価について設定された 11 項目を、「非常に当てはまる」、「ある程度当てはまる」、「どちらともいえない」、「あまり当てはまらない」、「全く当てはまらない」の 5 段階で評価した回答結果を点数化※しました。

その結果をみると、地域の人間関係について最も高い項目は「⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている」（5.02 点）となっており、次いで「④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」（3.09 点）、「⑤自宅には、心地のいい居場所がある」（5.02 点）、「⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない」（3.48 点）、「①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」（2.91 点）が続き、地域への愛着や地域で暮らす人への信頼に関する項目が多くなっています。

一方、地域の人間関係について最も低い項目は「⑦見知らぬ他者であっても信頼する」（-2.02 点）となっており、次いで「⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある」（-1.73 点）、「⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる」（-1.69 点）、「⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある」（-1.04 点）、「⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」（-0.37 点）など、若者や女性の活躍のしやすさの項目への評価が厳しい結果となっています。

また、設定した 11 項目のうち、評価がプラス点の項目は 5 項目、マイナス点の項目は 6 項目となっています。

地域の人間関係について（全体／評価点、上位・下位項目）

上位	項目	評価点
1	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	5.02
2	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.09
3	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	2.91
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	2.35
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.35
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.02
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.73
3	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.69
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.04
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.37

※評価点の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left( \begin{array}{l} \text{「非常に当てはまる」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「ある程度} \\ \text{当てはまる」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \\ \text{の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「あまり当てはまらない」の} \\ \text{回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「全く当てはまらない」の回答者数} \\ \times -10 \text{点} \end{array} \right)}{\left( \begin{array}{l} \text{「非常に当てはまる」、「ある程度} \\ \text{当てはまる」、「どちらともいえない」、「あまり} \\ \text{当てはまらない」、「全く当てはまらないに不満」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)}$$

さらに、地域の人間関係の上位項目を年齢別で見ると、10-20代は「③困ったときに相談できる人が身近にいる」、80歳以上は「①同じ町内（集落）に住む人たちに信頼している」ですが、その他の年代では「④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」が第1位に挙げられています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区と下市木地区、志原地区は「④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」、阿田和地区と上市木地区は「①同じ町内（集落）に住む人たちに信頼している」、神木地区は「⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている」が第1位となっています。

一方、地域の人間関係の下位項目を年齢別で見ると、50代以下で「⑦見知らぬ他者であっても信頼する」、60代が「⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある」、70代と80歳以上で「⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる」が最下位となっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区は「⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる」、志原地区が「⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある」ですが、その他の地区は「⑦見知らぬ他者であっても信頼する」が最下位となっています。

地域の人間関係についての上位・下位項目（年齢別・居住地区別／評価点、上位・下位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	③困ったときに相談できる人が身近にいる	3.59
2	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	2.69
3	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	1.67
4	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	0.90
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.38
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.95
2	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-2.37
3	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-2.18
4	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	-0.64
5	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-0.51

40代

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.71
2	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	3.17
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.42
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	2.11
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.34
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.36
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.63
3	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.63
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.46
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.51

60代

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.01
2	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	2.84
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.72
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	1.86
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.39
下位	項目	評価点
1	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-2.19
2	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-1.97
3	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.52
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.36
5	⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	-0.48

80歳以上

上位	項目	評価点
1	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	4.23
2	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	3.99
3	③困ったときに相談できる人が身近にいる	3.94
4	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.19
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	1.08
下位	項目	評価点
1	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.17
2	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-1.01
3	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-0.16
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	0.33
4	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	0.33

30代

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.84
2	③困ったときに相談できる人が身近にいる	3.39
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	1.88
4	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	1.70
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	-0.36
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.41
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.70
2	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.70
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.07
5	⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	-0.71

50代

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.14
2	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	2.74
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.53
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	1.42
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.11
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.37
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-2.26
3	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.79
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.33
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.47

70代

上位	項目	評価点
1	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	2.90
2	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.82
3	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	2.64
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	2.01
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.49
下位	項目	評価点
1	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.92
2	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-1.90
3	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.76
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.15
5	⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	-0.52

### 尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	4.24
2	③困ったときに相談できる人が身近にいる	3.75
3	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	3.60
4	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	3.48
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	2.11
下位	項目	評価点
1	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-2.19
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.23
3	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-1.14
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-0.54
5	⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	0.26

### 上市木地区

上位	項目	評価点
1	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	3.51
2	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.24
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.97
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	2.63
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.86
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.57
2	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-2.36
3	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.89
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.49
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.68

### 志原地区

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	2.51
2	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	1.99
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	1.91
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	1.53
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	-0.35
下位	項目	評価点
1	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-2.38
2	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.18
3	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.67
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.11
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.75

### 阿田和地区

上位	項目	評価点
1	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	3.06
2	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.9
3	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	2.87
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	2.67
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	-0.15
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.13
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.96
3	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.95
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.08
5	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.58

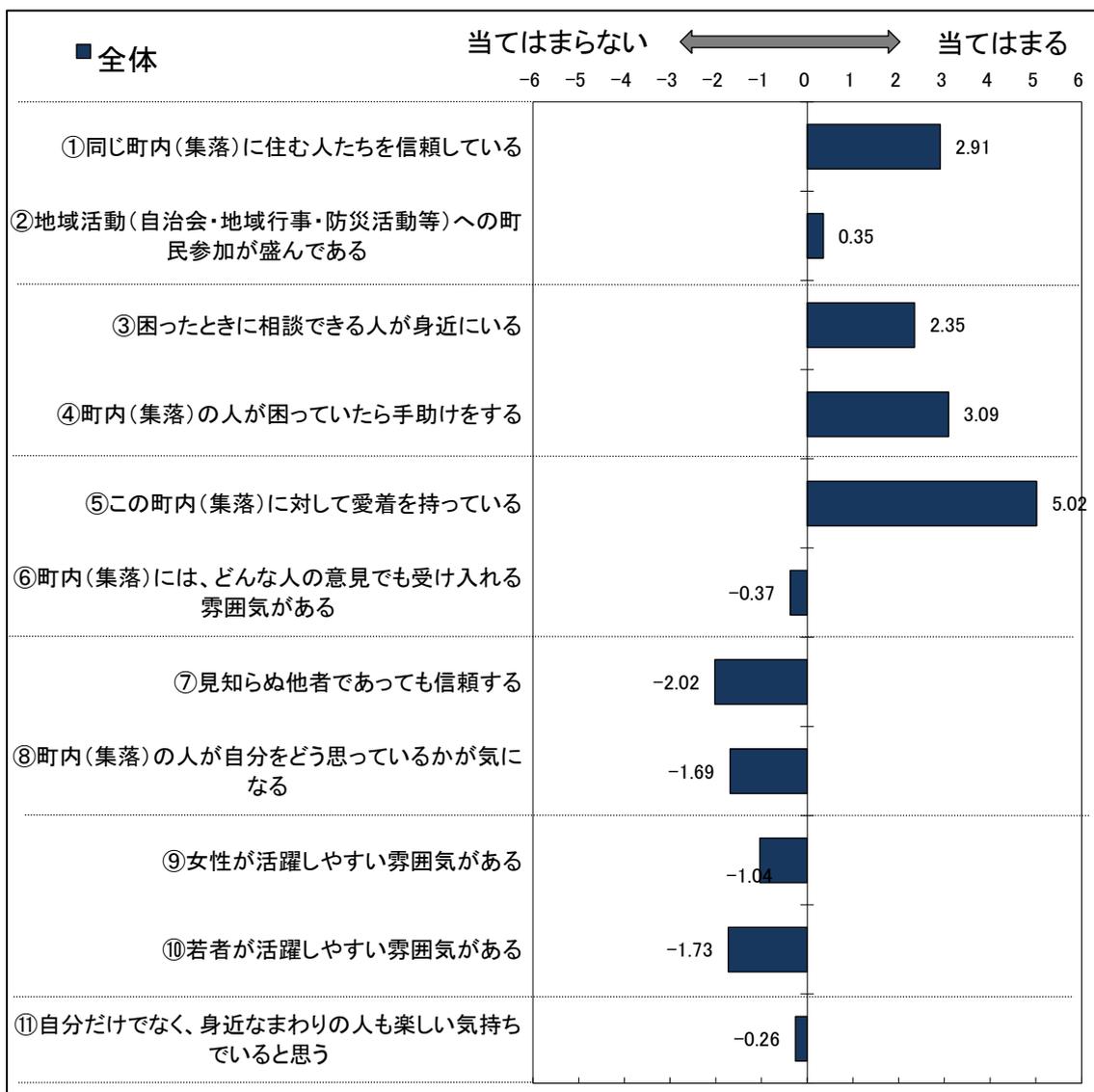
### 下市木地区

上位	項目	評価点
1	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	3.60
2	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	3.49
3	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	2.82
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	2.61
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.94
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-1.68
2	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-1.34
3	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-1.17
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-1.1
5	⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	-0.03

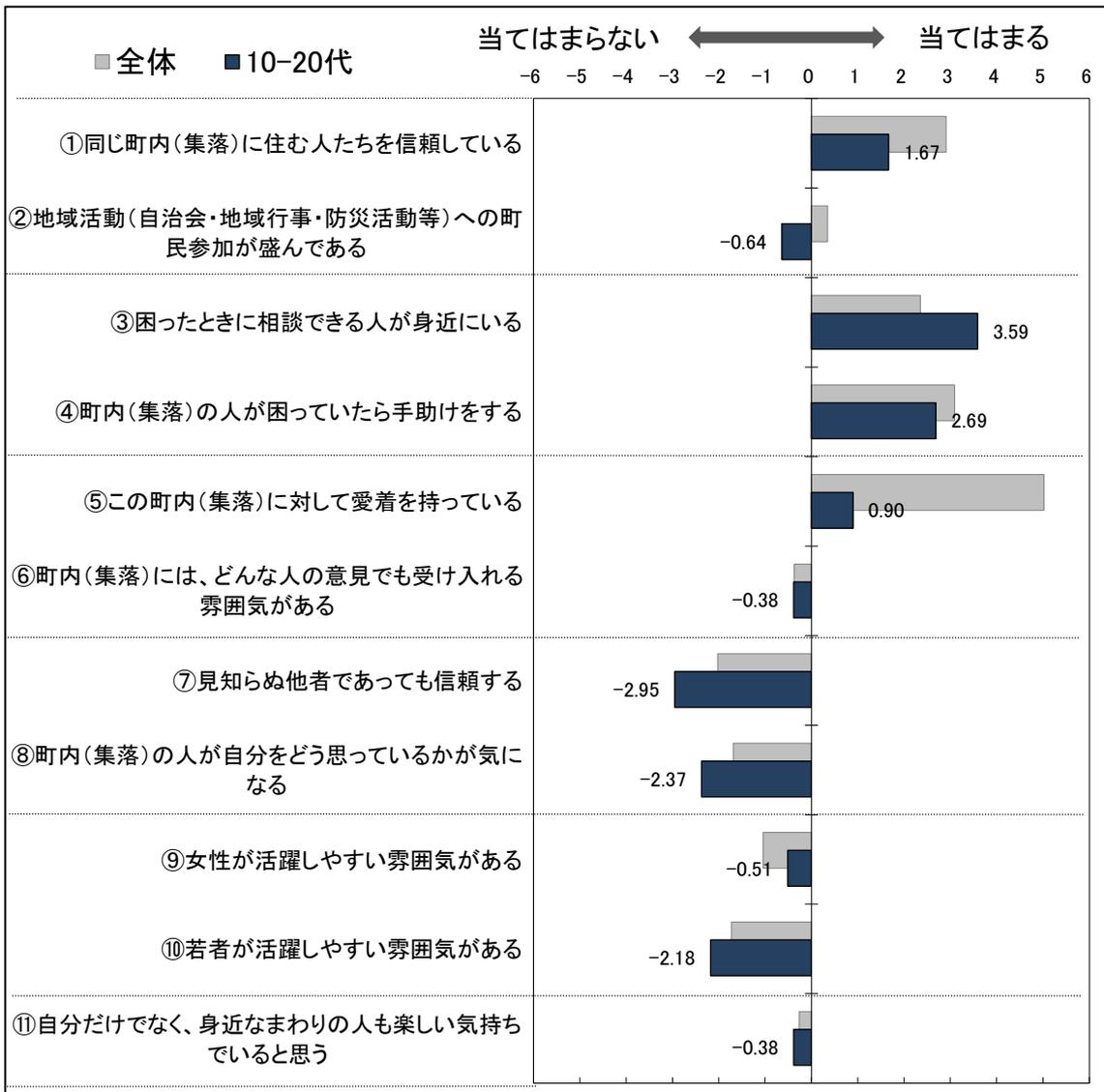
### 神木地区

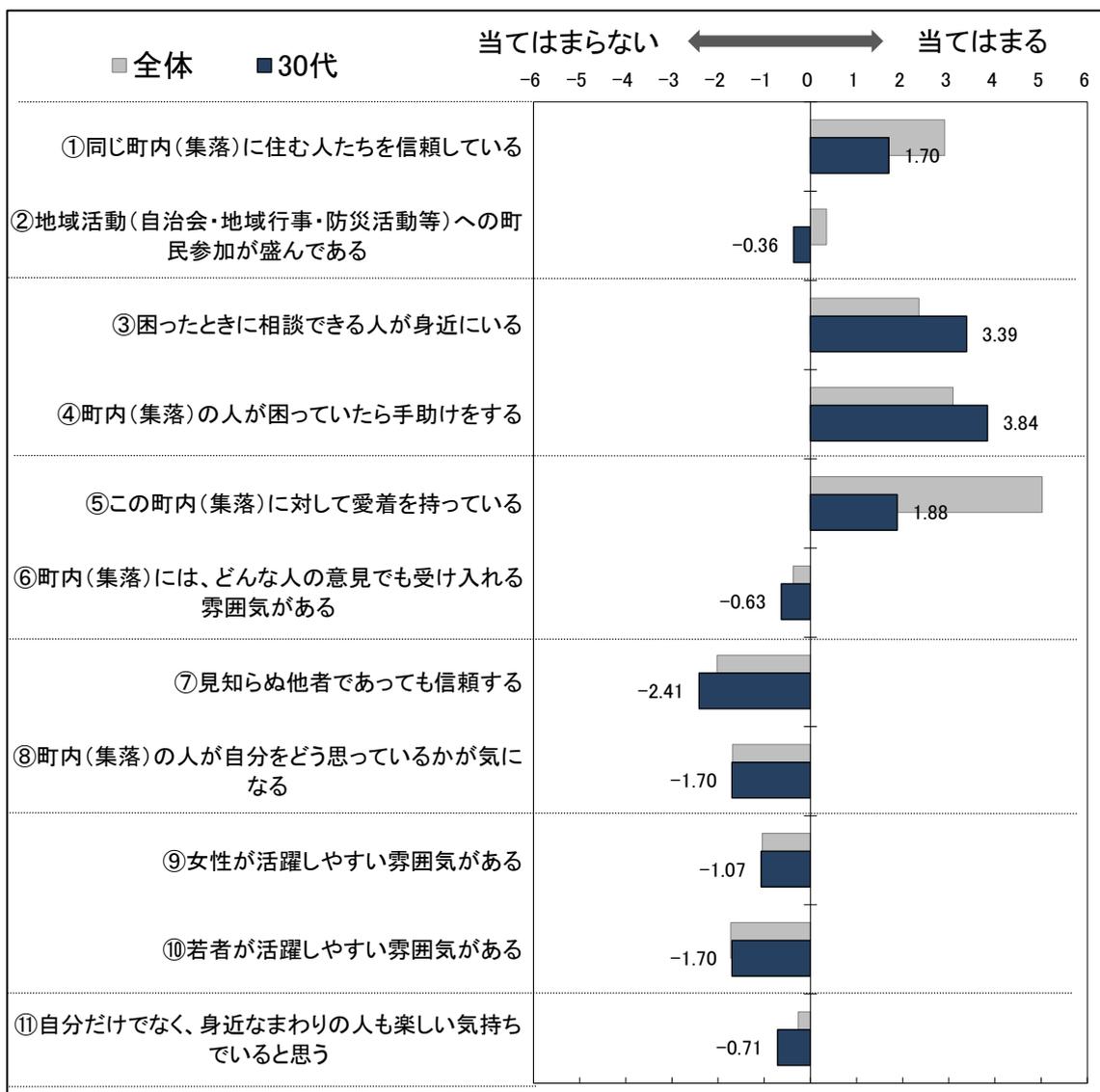
上位	項目	評価点
1	⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている	3.11
2	④町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	2.89
3	①同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	1.97
4	③困ったときに相談できる人が身近にいる	0.95
5	②地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	0.53
下位	項目	評価点
1	⑦見知らぬ他者であっても信頼する	-2.37
2	⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	-0.54
2	⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	-0.54
4	⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある	-0.41
4	⑥町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	-0.41

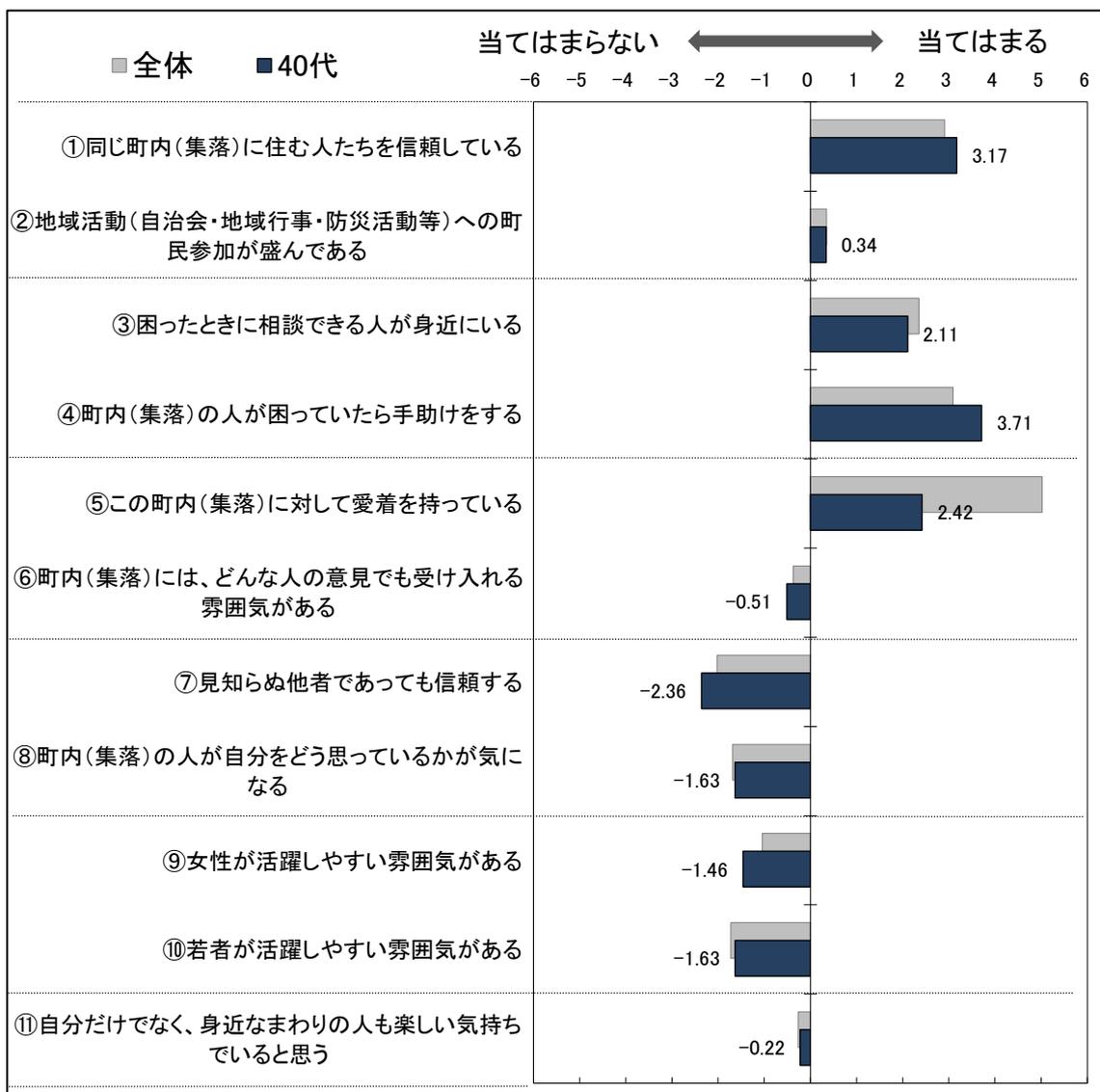
地域の人間関係（全体／評価点）

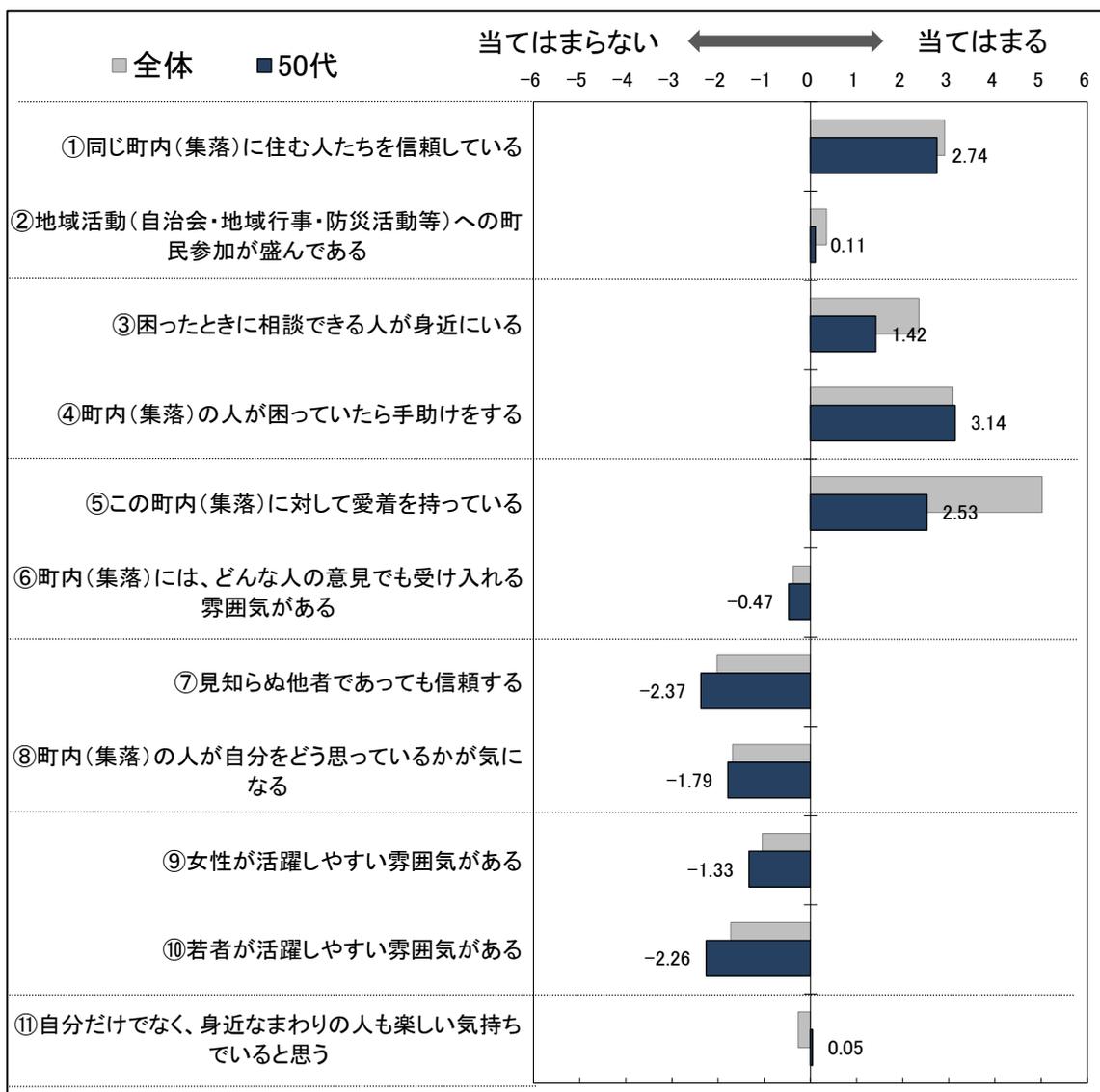


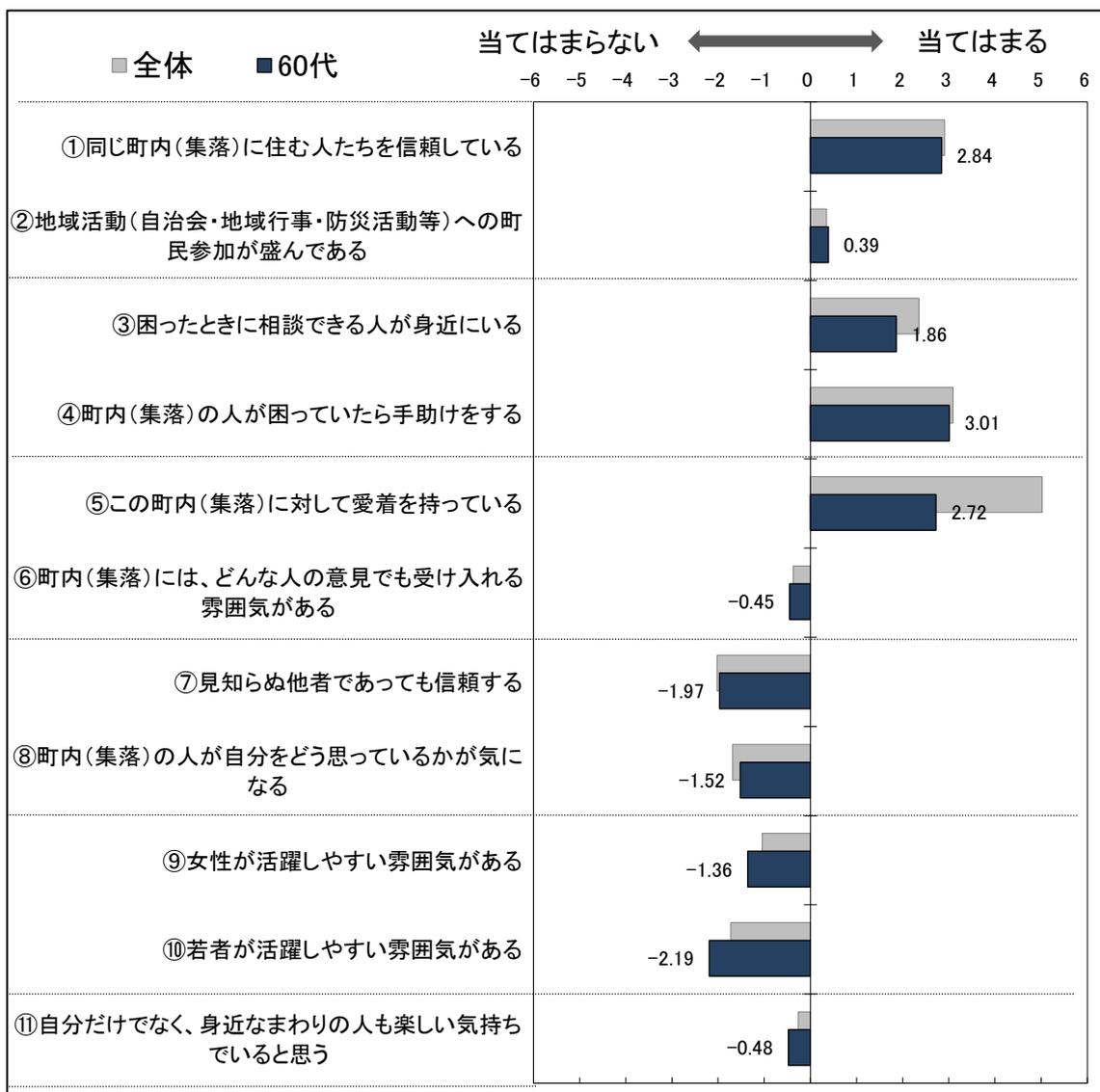
地域の人間関係（年代別／評価点）

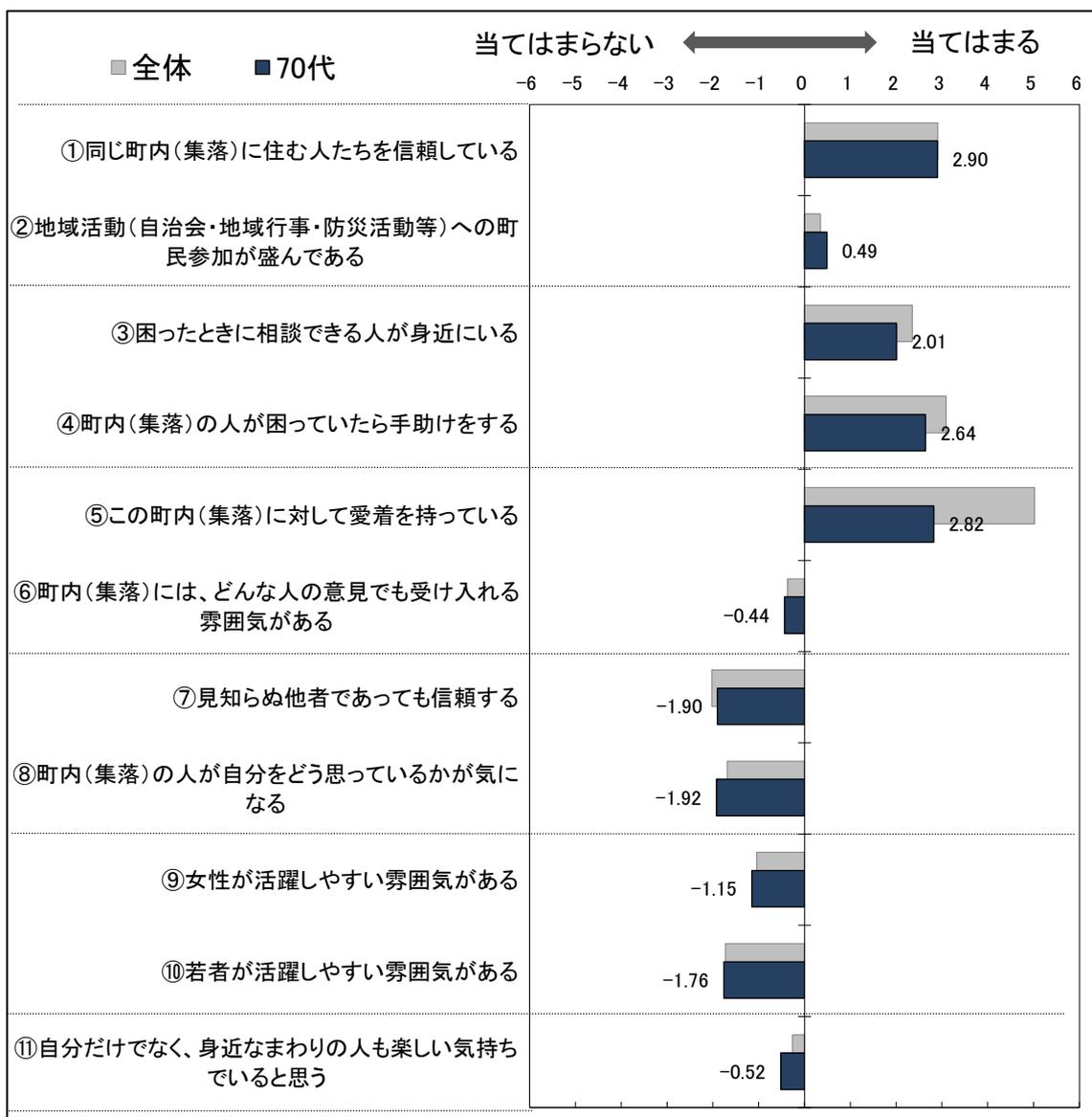


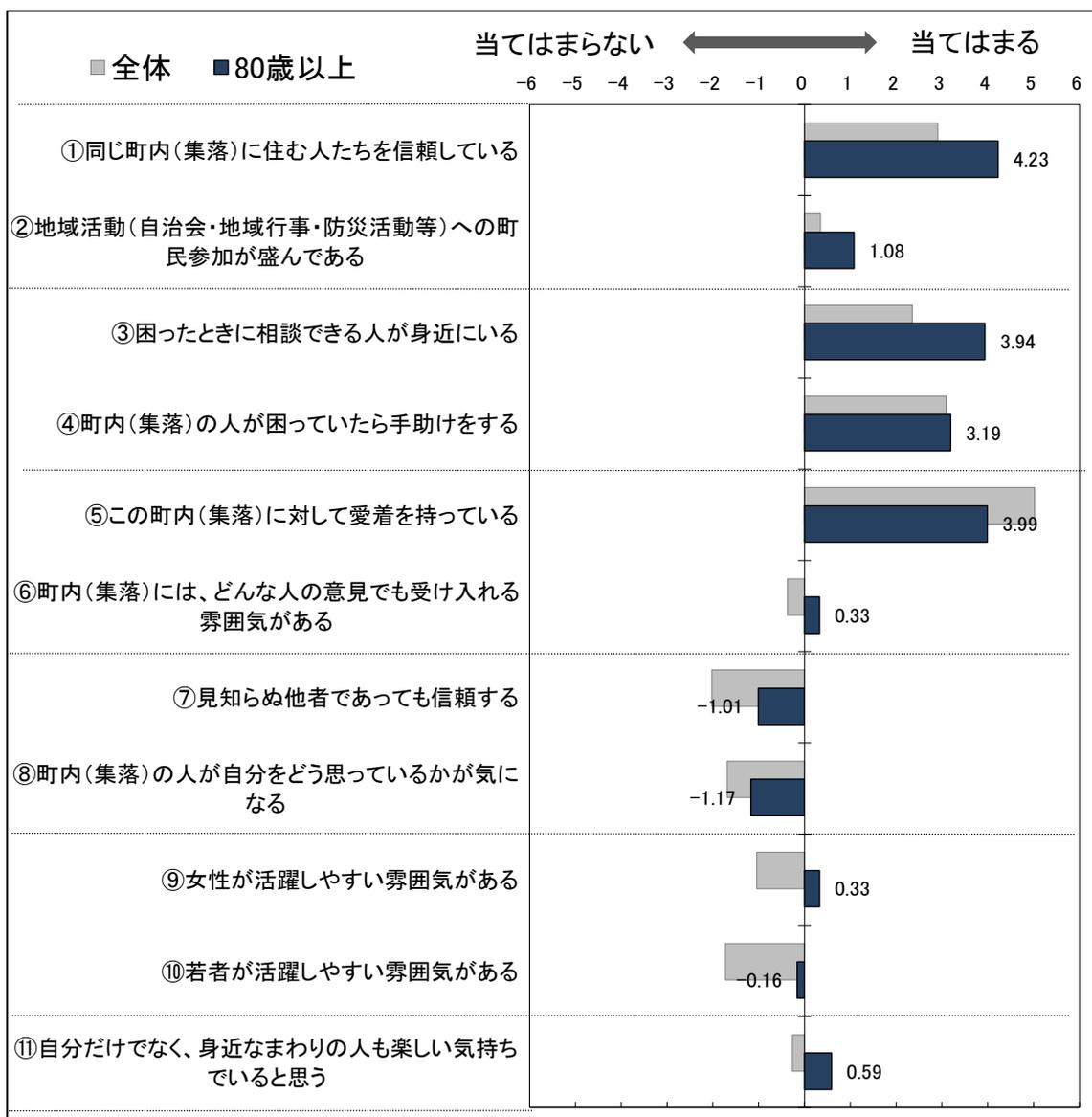




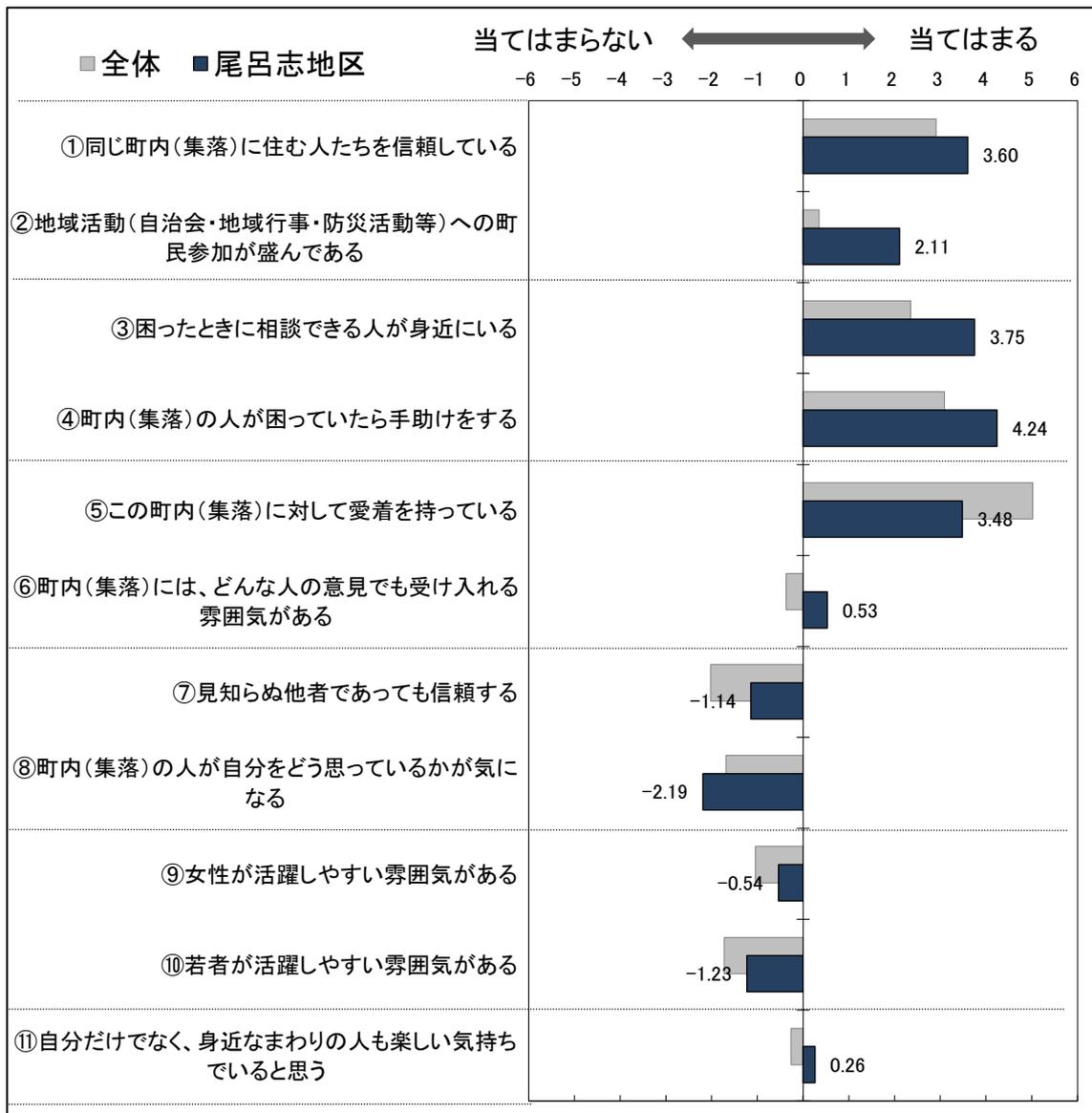


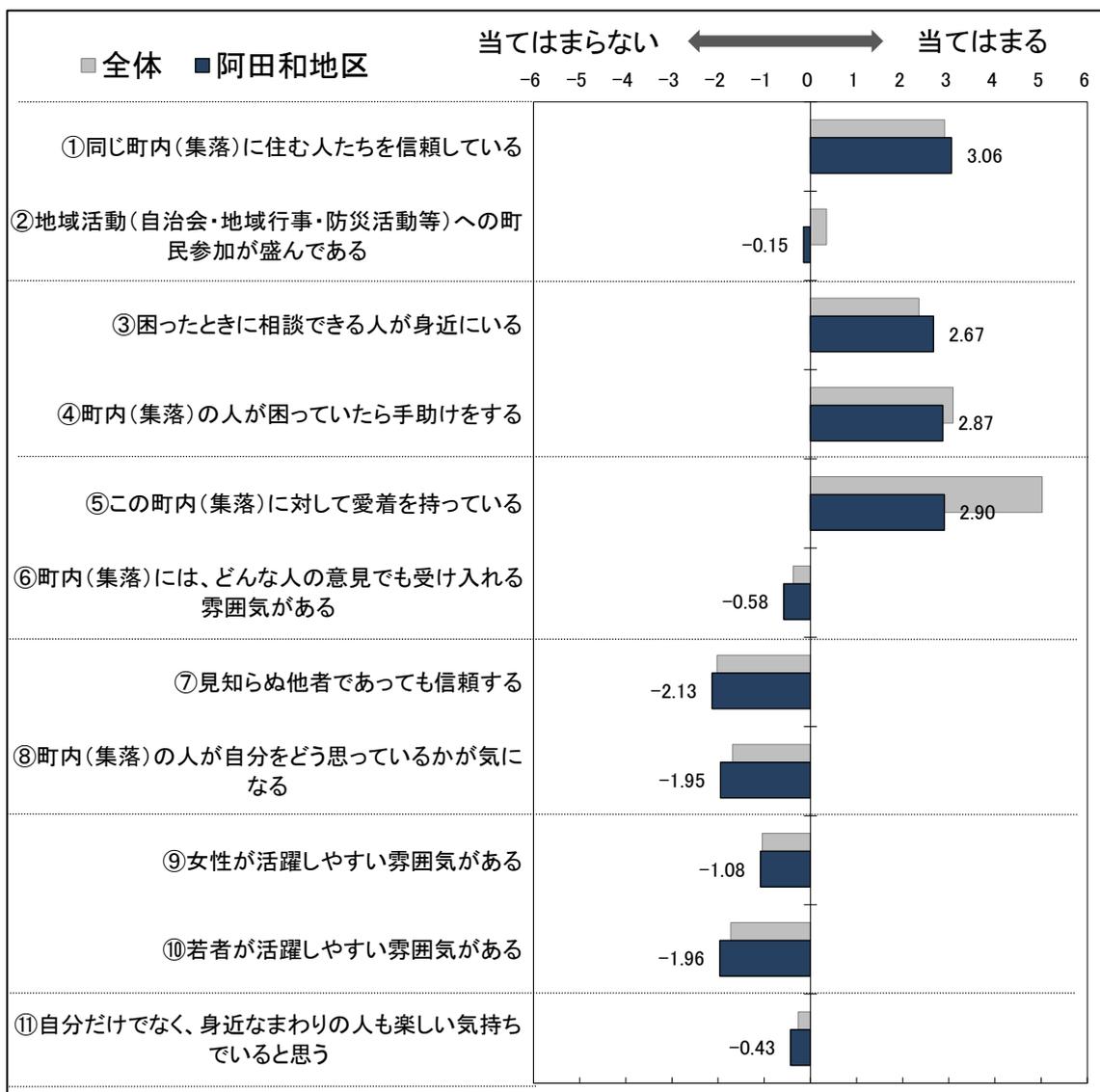


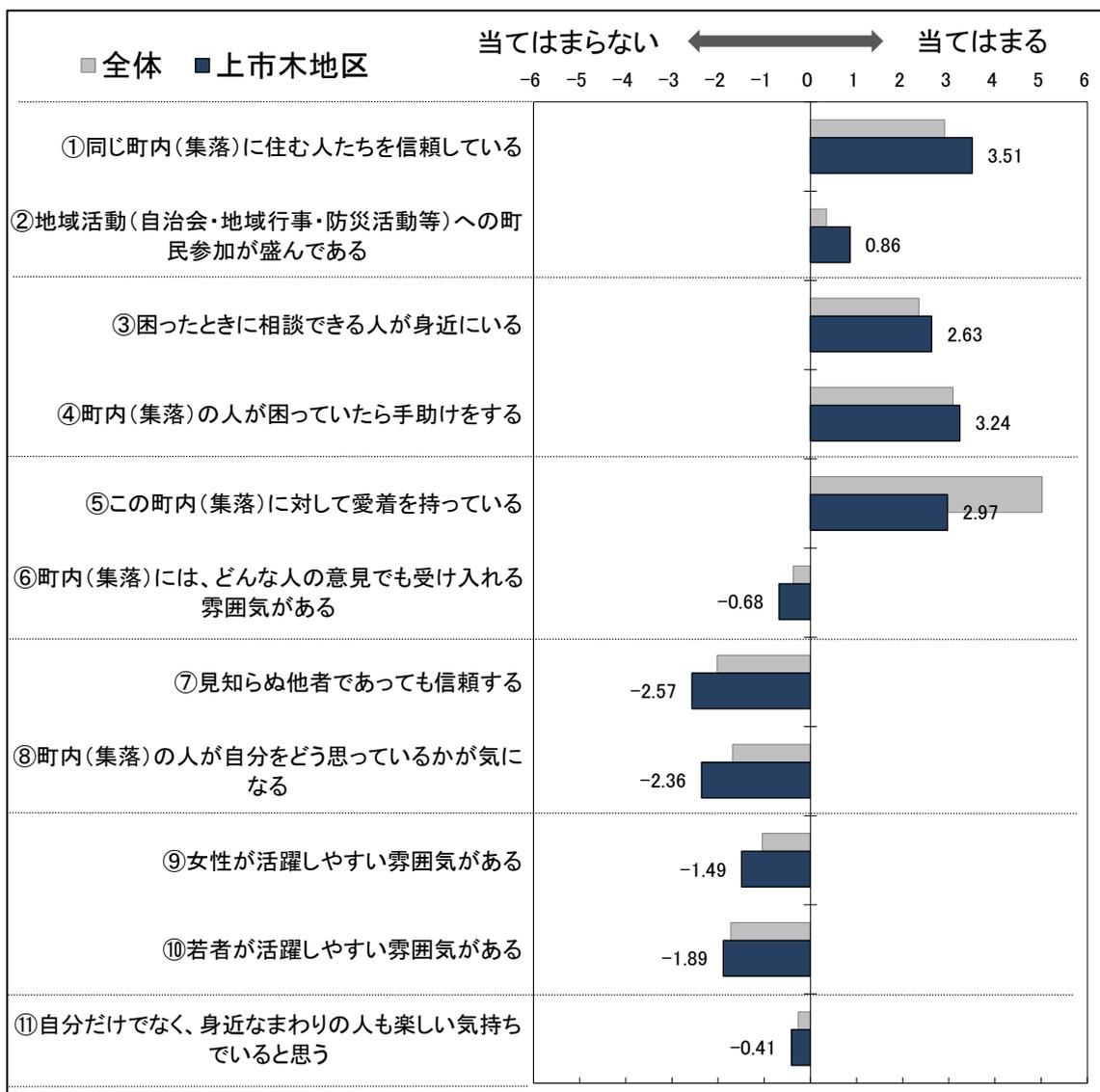


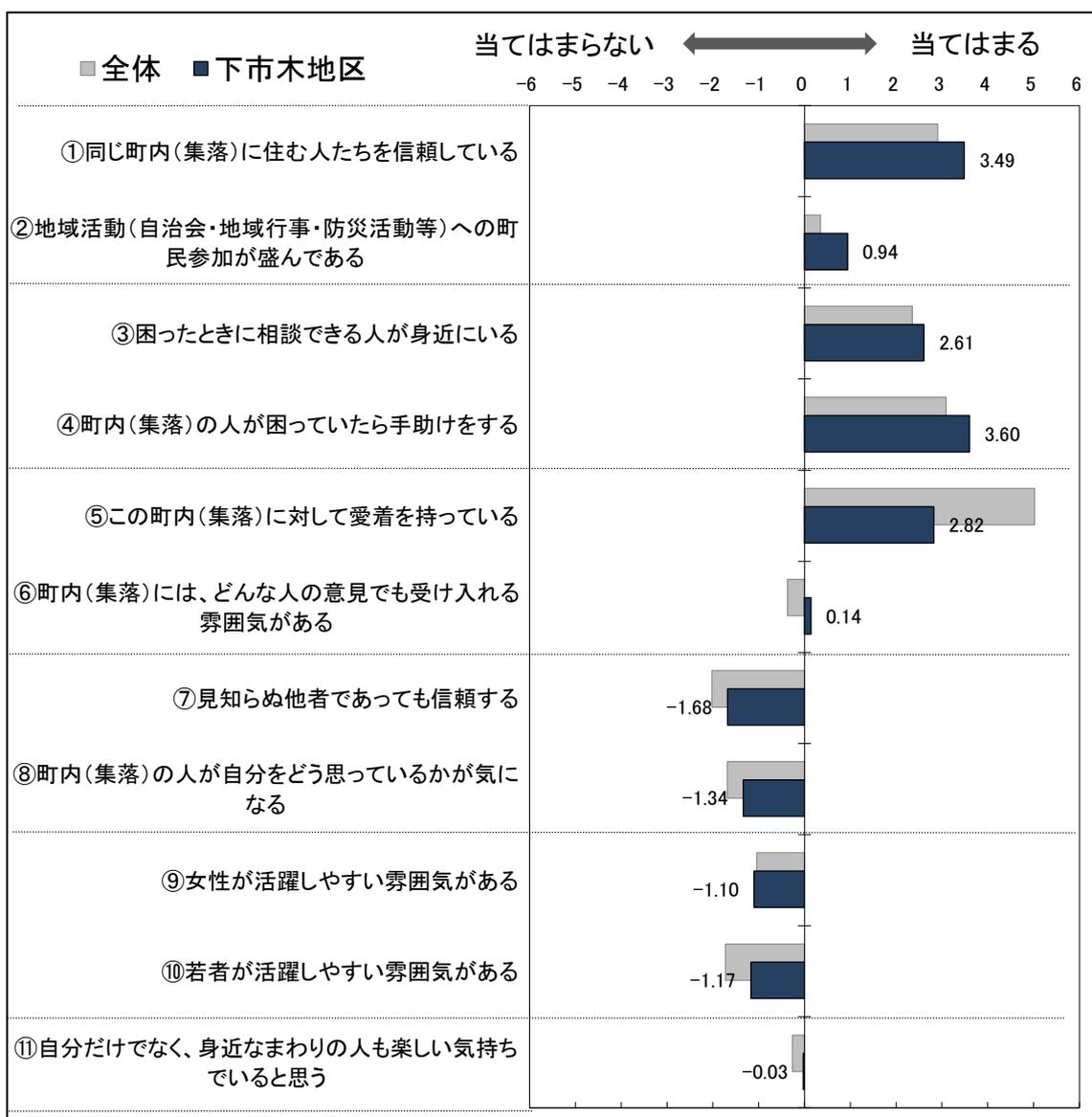


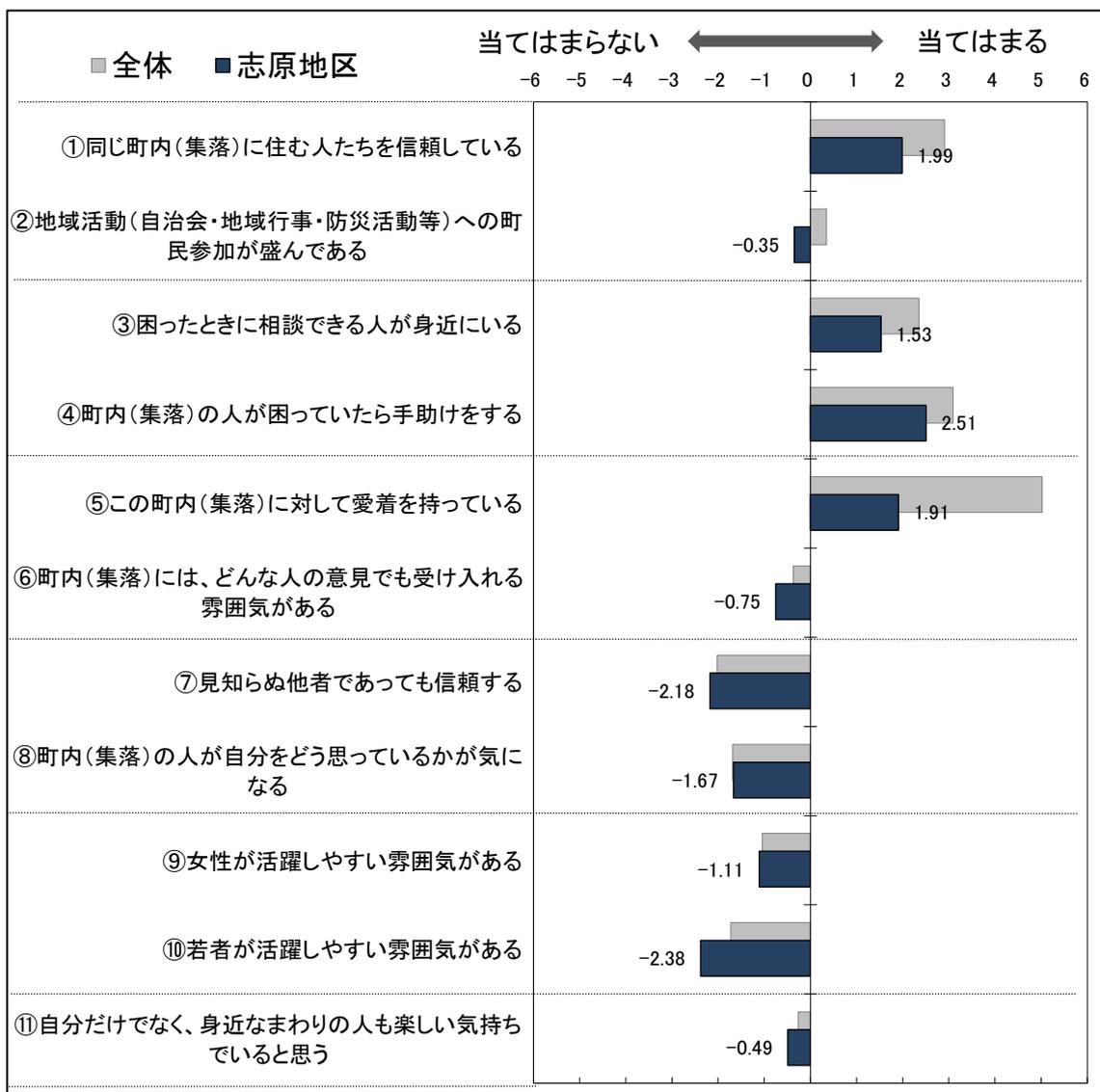
地域の人間関係（居住地区別／評価点）

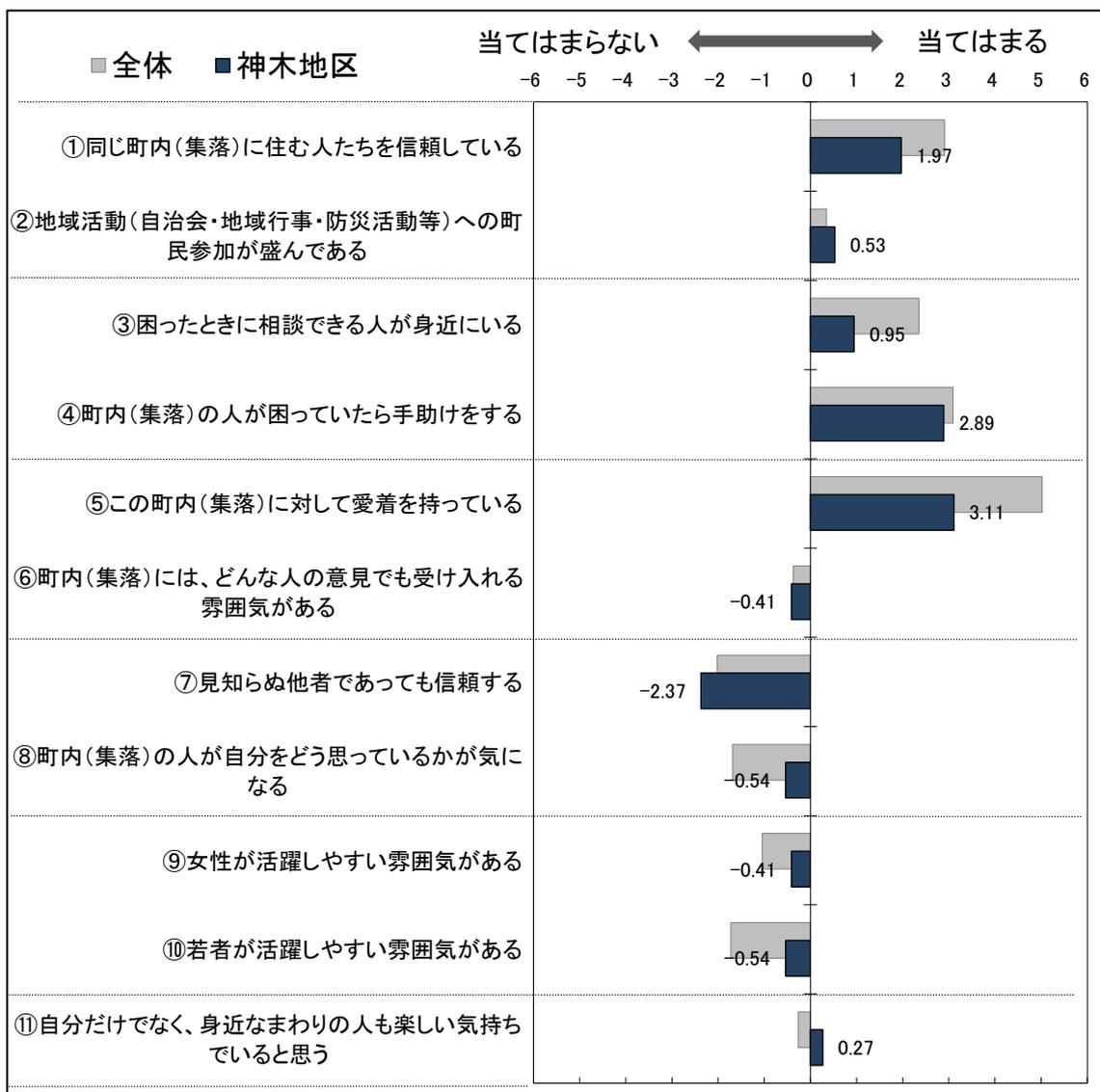












### (3)自分らしい生き方について

問18 自分らしい生き方に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものを選んでください。

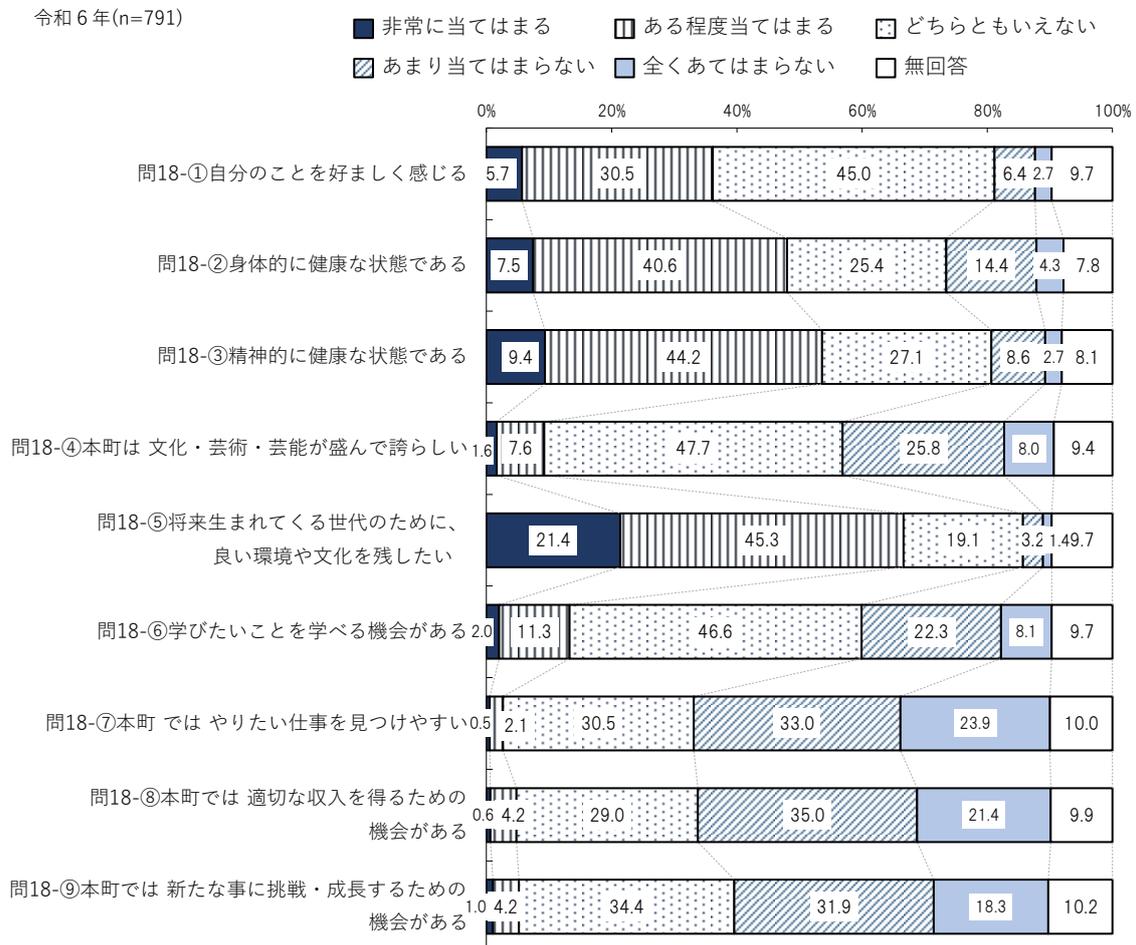
#### ア 単純集計結果

■「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい』。「全く当てはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい』

自分らしい生き方に関する9の項目について状況をたずねたところ、「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい』で21.4%となっています。次いで『③精神的に健康な状態である』(9.4%)となっています。

一方、「全く当てはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい』(23.9%)、『⑧本町では適切な収入を得るための機会がある』(21.4%)、『⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある』(18.3%)となっています。

#### 自分らしい生き方について（全体）



## イ 回答結果の点数化

- 自分らしい生き方について評価が最も高い項目は「将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」。次いで「精神的に健康な状態である」、「身体的に健康な状態である」の順。
- 自分らしい生き方について評価が最も低い項目は「本町ではやりたい仕事を見つけやすい」。次いで「本町では適切な収入を得るための機会がある」、「本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある」の順。

暮らしやすさの幸福度につながる自分らしい生き方の評価について設定された9項目を、「非常に当てはまる」、「ある程度当てはまる」、「どちらともいえない」、「あまり当てはまらない」、「全く当てはまらない」の5段階で評価した回答結果を点数化※しました。

その結果をみると、自分らしい生き方について最も高い項目は「⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」(4.54点)となっており、次いで「③精神的に健康な状態である」(2.67点)、「②身体的に健康な状態である」(5.02点)、「⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない」(1.76点)、「①自分のことを好ましく感じる」(1.67点)が続き、精神的・身体的には健康な状態であり、次世代へ引き継いでいくことについてが多くなっています。

一方、自分らしい生き方について最も低い項目は「⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい」(-4.31点)となっており、次いで「⑧本町では適切な収入を得るための機会がある」(-4.01点)、「⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある」(-1.69点)、「⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある」(-3.47点)、「④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」(-1.70点)など、仕事に関する項目への評価が厳しい結果となっています。

また、設定した9項目のうち、評価がプラス点の項目は4項目、マイナス点の項目は5項目となっています。

自分らしい生き方について（全体／評価点、上位・下位項目）

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.54
2	③精神的に健康な状態である	2.67
3	②身体的に健康な状態である	1.76
4	①自分のことを好ましく感じる	1.67
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.28
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.31
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.01
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.47
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.70
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.28

※評価点の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left( \begin{array}{l} \text{「非常に当てはまる」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「ある程度} \\ \text{当てはまる」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \\ \text{の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「あまり当てはまらない」の回} \\ \text{答者数} \times -5 \text{点} + \text{「全く当てはまらない」の回答者数} \times \\ -10 \text{点} \end{array} \right)}{\left( \begin{array}{l} \text{「非常に当てはまる」、「ある程度} \\ \text{当てはまる」、「どちらともいえない」、「あまり当てはまら} \\ \text{ない」、「全く当てはまらないに不} \\ \text{満」の回答者数} \end{array} \right)}$$

さらに、自分らしい生き方の上位項目を年齢別で見ると、全ての年代で「⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」が第1位に挙げられています。

居住地区別においても、全ての年代で「⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」が第1位に挙げられています。

一方、自分らしい生き方の下位項目を年齢別で見ると、70代で「⑧本町では適切な収入を得るための機会がある」ですが、その他の年代では「⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい」が最下位となっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区と上市木地区は「⑧本町では適切な収入を得るための機会がある」ですが、その他の地区は「⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい」が最下位となっています。

自分らしい生き方についての上位・下位項目（年齢別・居住地区別／評価点、上位・下位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	5.26
2	②身体的に健康な状態である	3.72
3	③精神的に健康な状態である	3.21
4	①自分のことを好ましく感じる	3.08
4	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.77
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-3.97
2	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.33
3	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-3.21
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.41
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.77

30代

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	5.71
2	③精神的に健康な状態である	3.75
3	②身体的に健康な状態である	3.39
4	①自分のことを好ましく感じる	1.88
5	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-2.32
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-5.45
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-5.00
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.66
4	⑥学びたいことを学べる機会がある	-2.41
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-2.32

40代

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.89
2	②身体的に健康な状態である	2.61
3	③精神的に健康な状態である	2.56
4	①自分のことを好ましく感じる	1.65
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.85
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.67
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.5
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-4.44
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-2.28
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.85

50代

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.53
2	②身体的に健康な状態である	2.58
3	③精神的に健康な状態である	2.42
4	①自分のことを好ましく感じる	1.84
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.81
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.95
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.10
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.62
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.86
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.81

60代

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.73
2	③精神的に健康な状態である	2.60
3	②身体的に健康な状態である	1.56
4	①自分のことを好ましく感じる	1.45
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.31
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.72
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.08
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.40
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-2.02
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.31

70代

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	3.86
2	③精神的に健康な状態である	2.43
3	①自分のことを好ましく感じる	1.36
4	②身体的に健康な状態である	0.33
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.85
下位	項目	評価点
1	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.31
2	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-3.95
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.82
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.66
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.85

80歳以上

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.22
2	③精神的に健康な状態である	2.81
3	①自分のことを好ましく感じる	1.60
4	②身体的に健康な状態である	1.46
5	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-0.11
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-2.75
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-2.66
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-1.90
4	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.54
5	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-0.11

### 尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.02
2	③精神的に健康な状態である	3.86
3	①自分のことを好ましく感じる	2.54
4	②身体的に健康な状態である	1.98
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.88
下位	項目	評価点
1	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-3.25
2	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-3.16
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-2.37
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.67
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-0.88

### 上市木地区

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.71
2	③精神的に健康な状態である	3.00
3	②身体的に健康な状態である	2.14
4	①自分のことを好ましく感じる	1.71
5	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-0.71
下位	項目	評価点
1	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.44
2	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.31
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.89
4	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.43
5	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-0.71

### 志原地区

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.43
2	③精神的に健康な状態である	1.85
3	①自分のことを好ましく感じる	1.29
4	②身体的に健康な状態である	1.24
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.58
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.79
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.49
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-4.17
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-2.28
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.58

### 阿田和地区

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.41
2	③精神的に健康な状態である	2.97
3	②身体的に健康な状態である	2.39
4	①自分のことを好ましく感じる	1.69
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.27
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.28
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-3.86
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.22
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.50
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.27

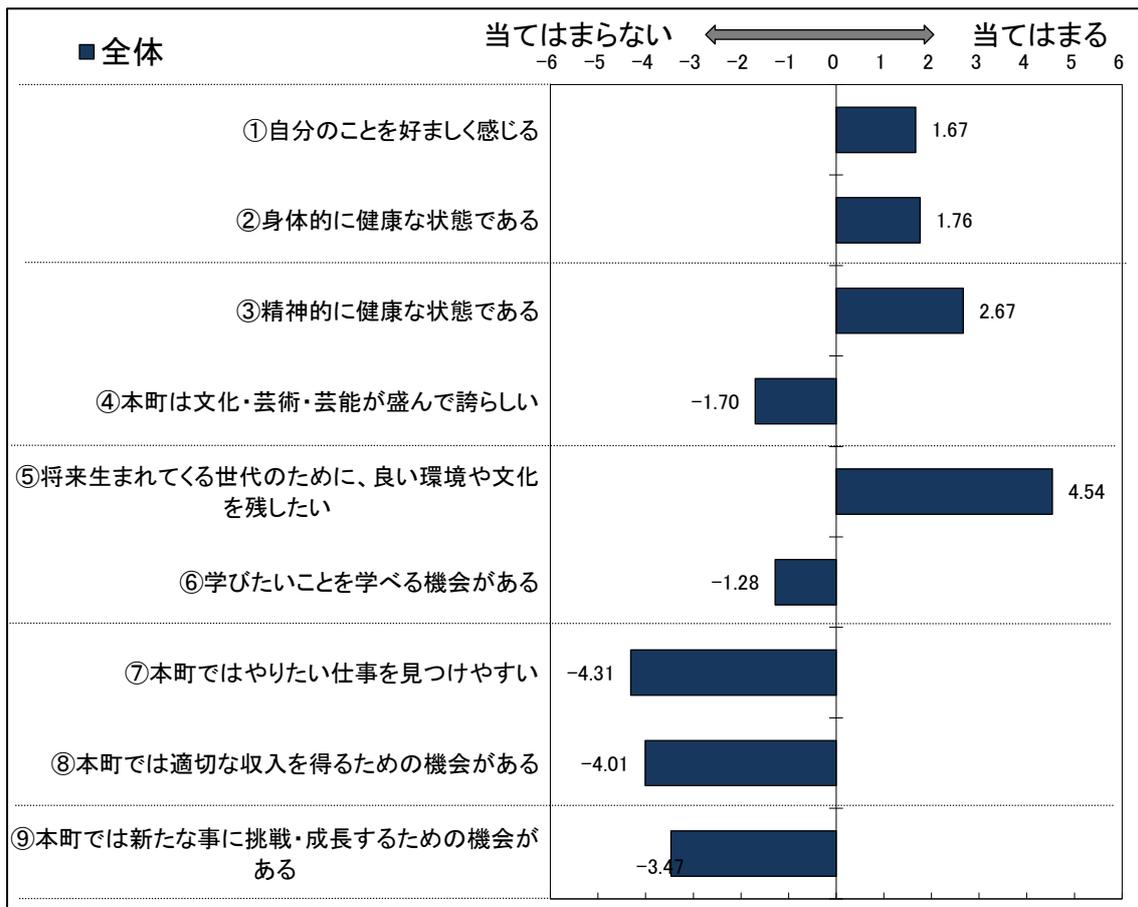
### 下市木地区

上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.95
2	③精神的に健康な状態である	2.70
3	①自分のことを好ましく感じる	1.67
4	②身体的に健康な状態である	1.66
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.20
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-4.11
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-3.78
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-3.28
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.61
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.20

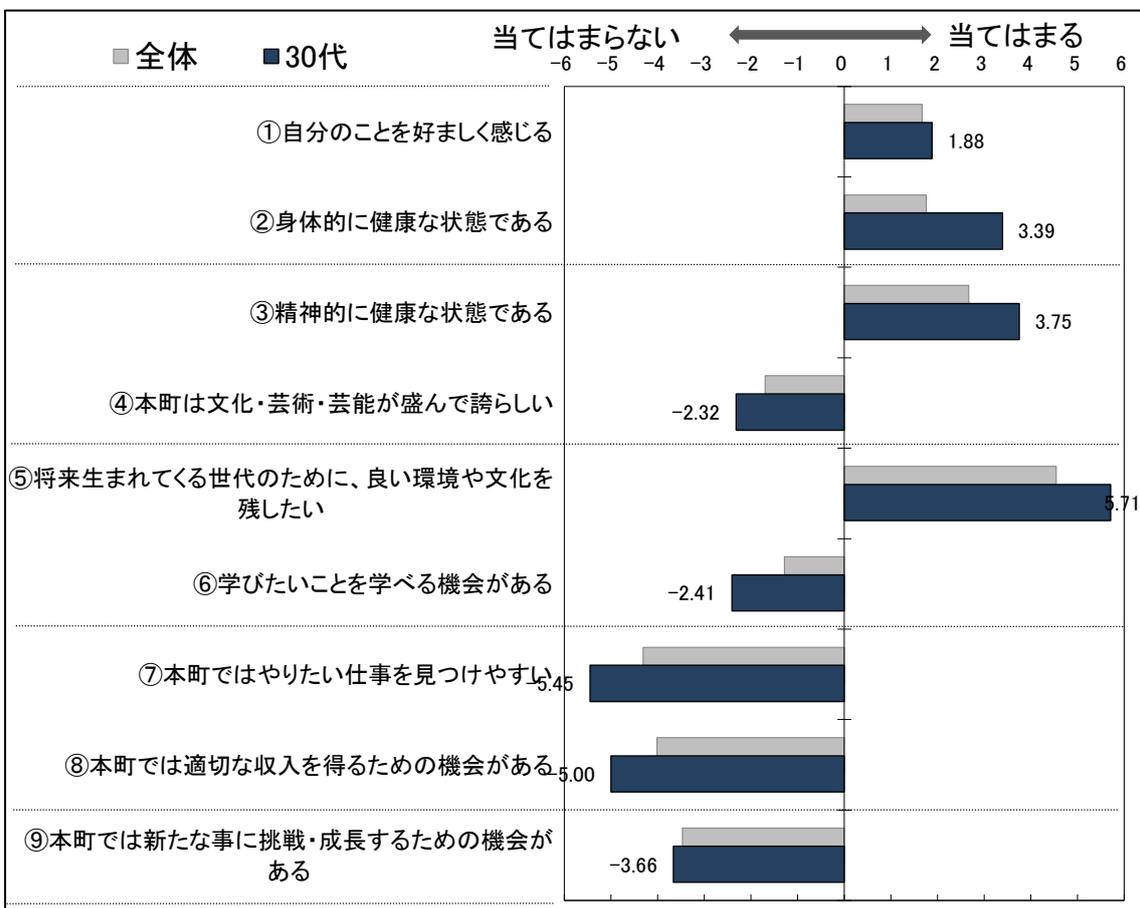
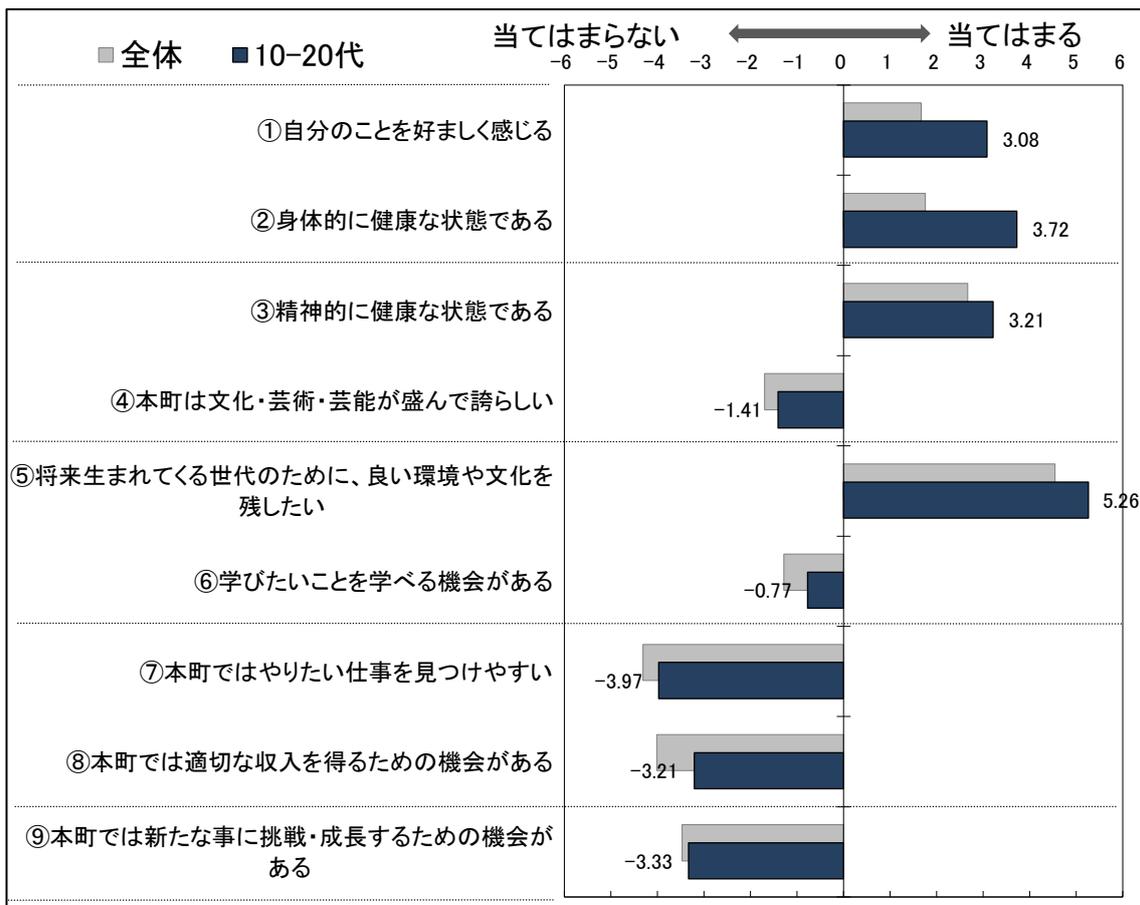
### 神木地区

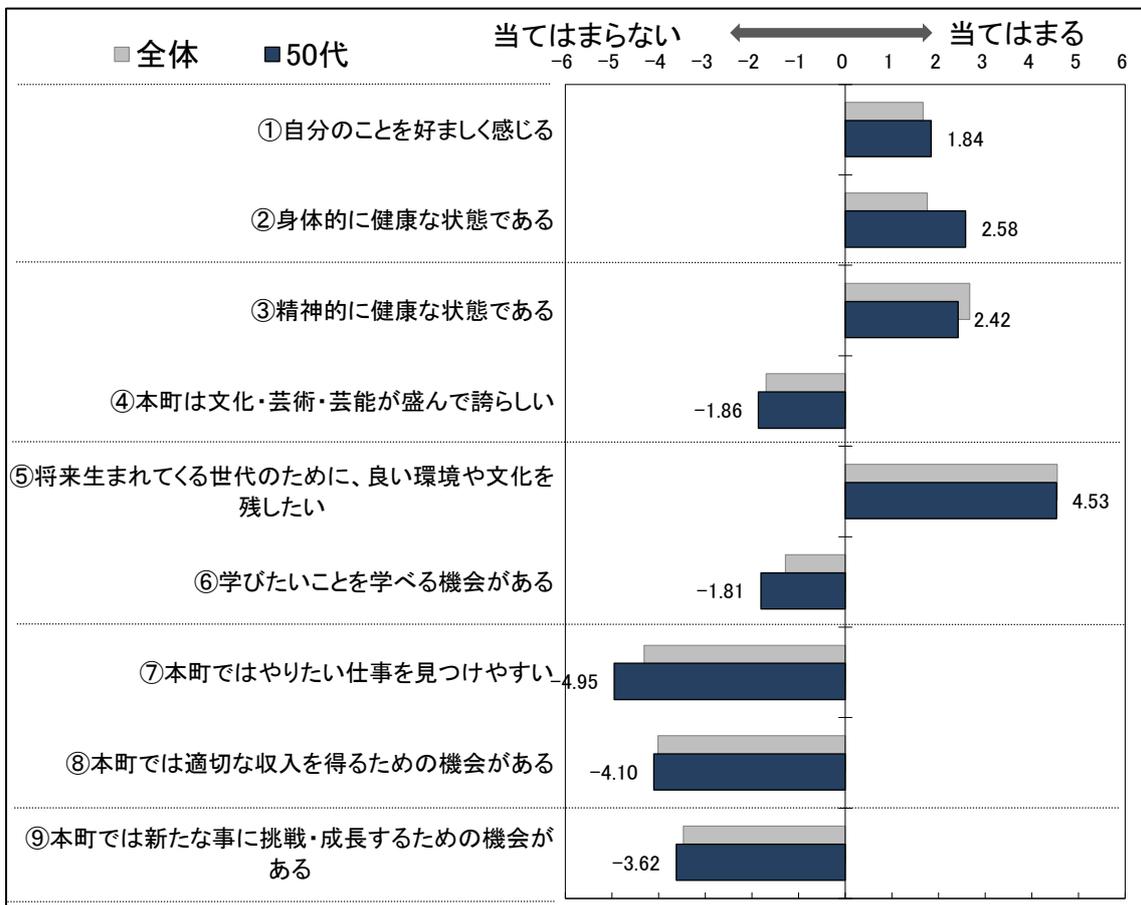
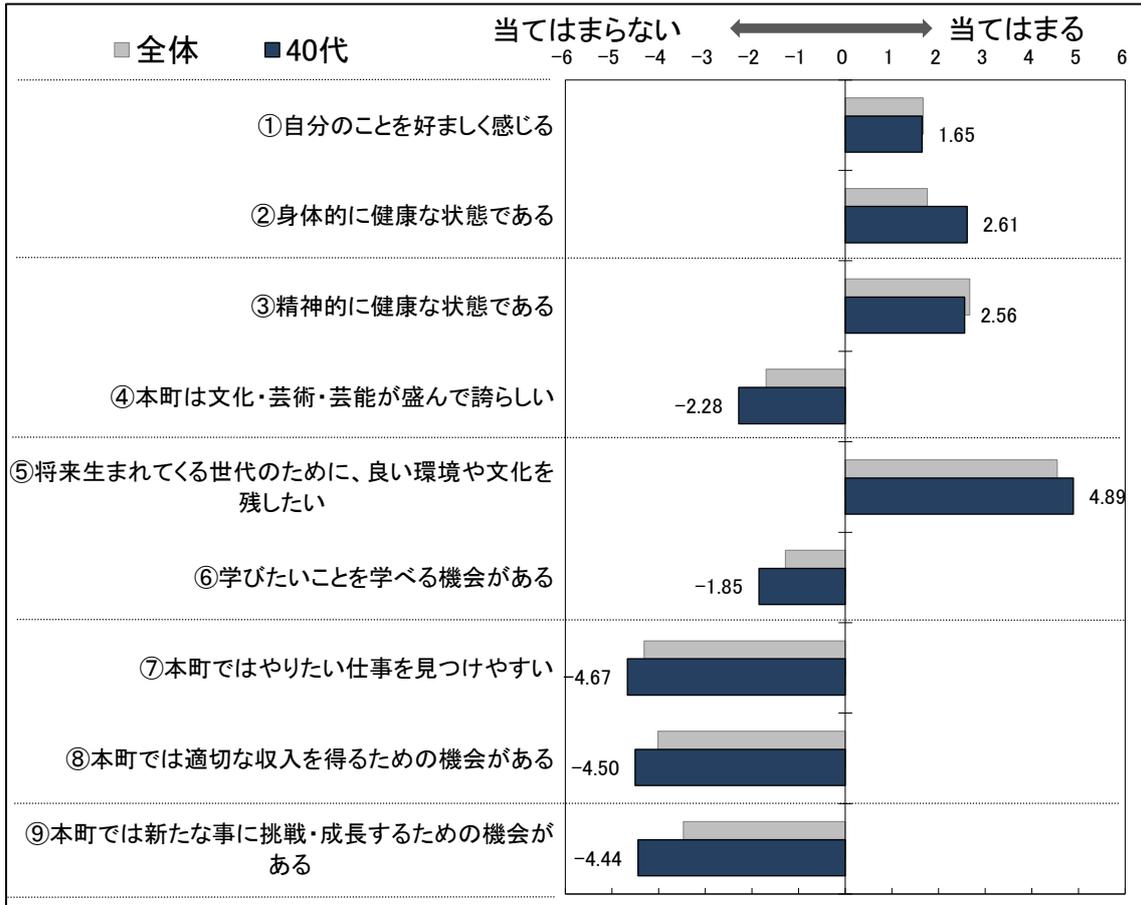
上位	項目	評価点
1	⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.61
2	③精神的に健康な状態である	2.84
3	①自分のことを好ましく感じる	2.29
4	②身体的に健康な状態である	1.11
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.18
下位	項目	評価点
1	⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい	-5.00
2	⑧本町では適切な収入を得るための機会がある	-4.73
3	⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある	-4.19
4	④本町は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	-1.58
5	⑥学びたいことを学べる機会がある	-1.18

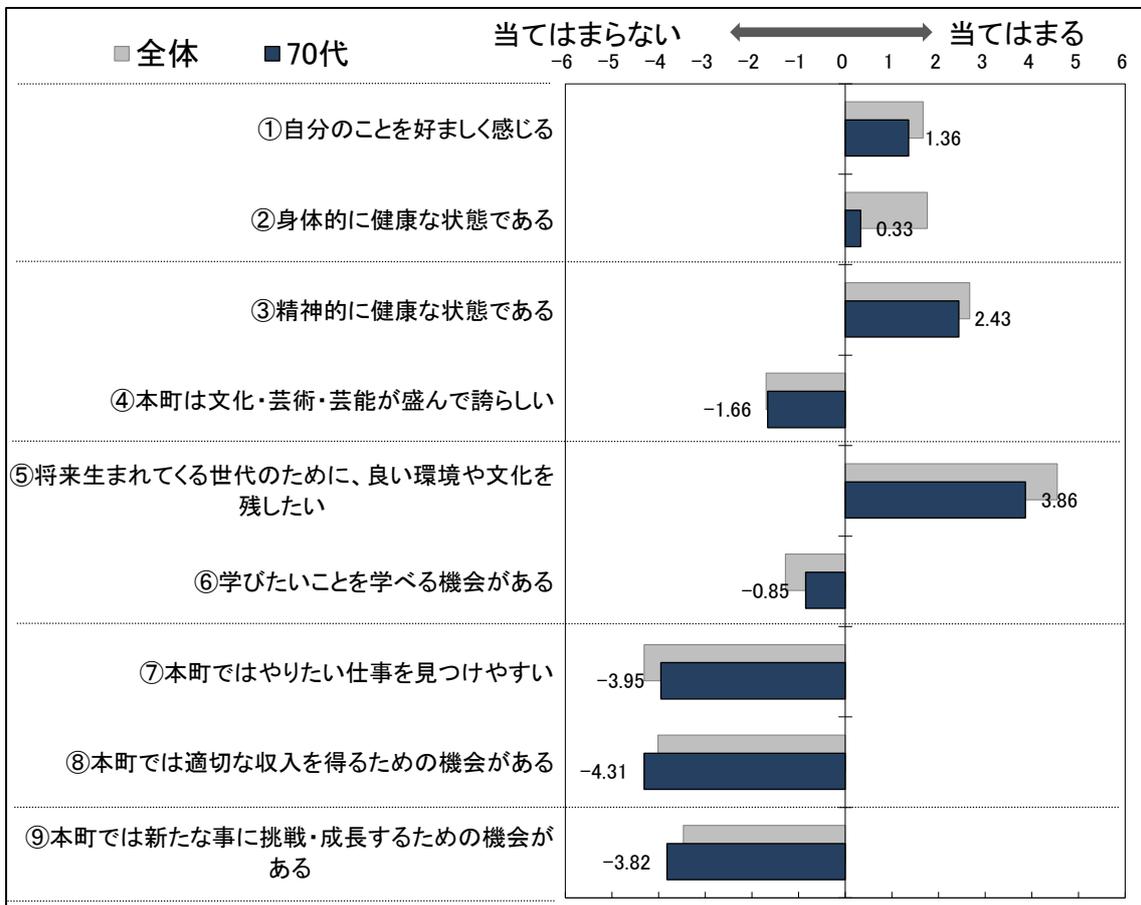
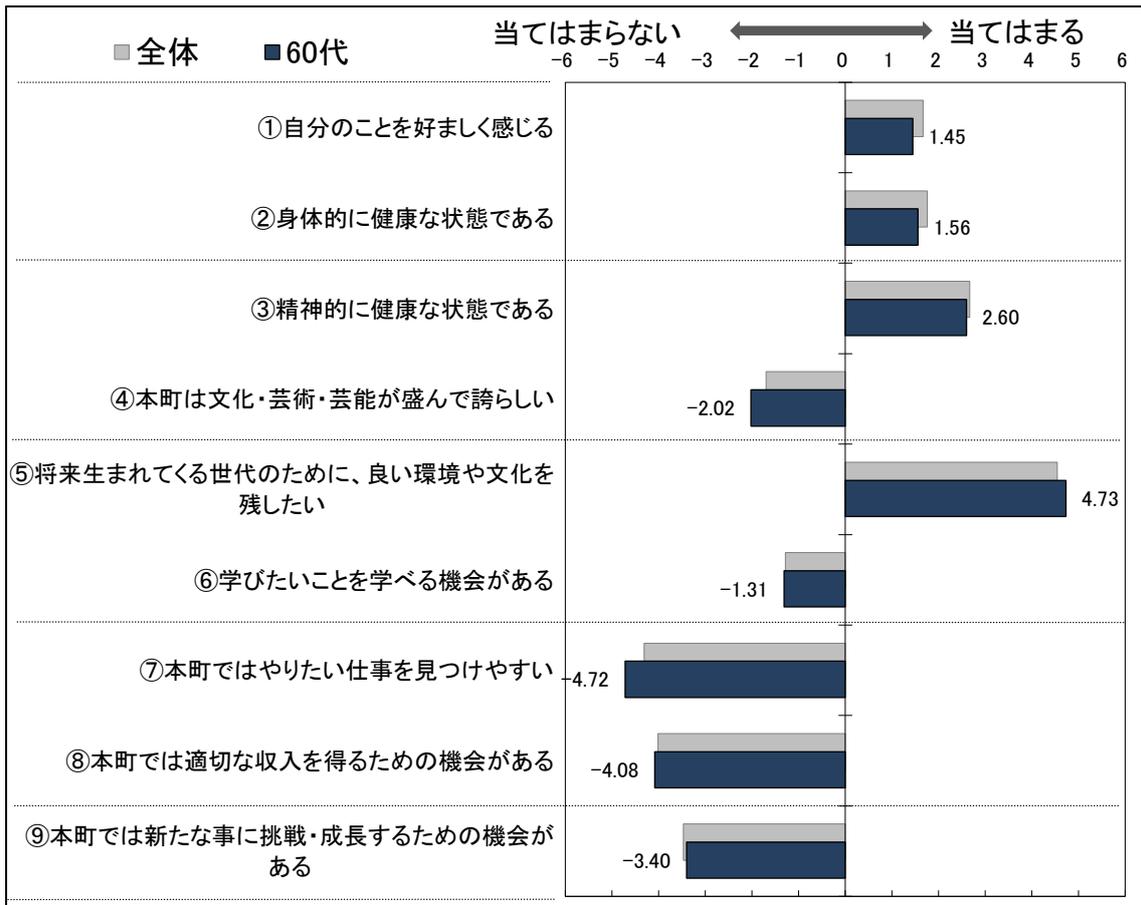
自分らしい生き方（全体／評価点）

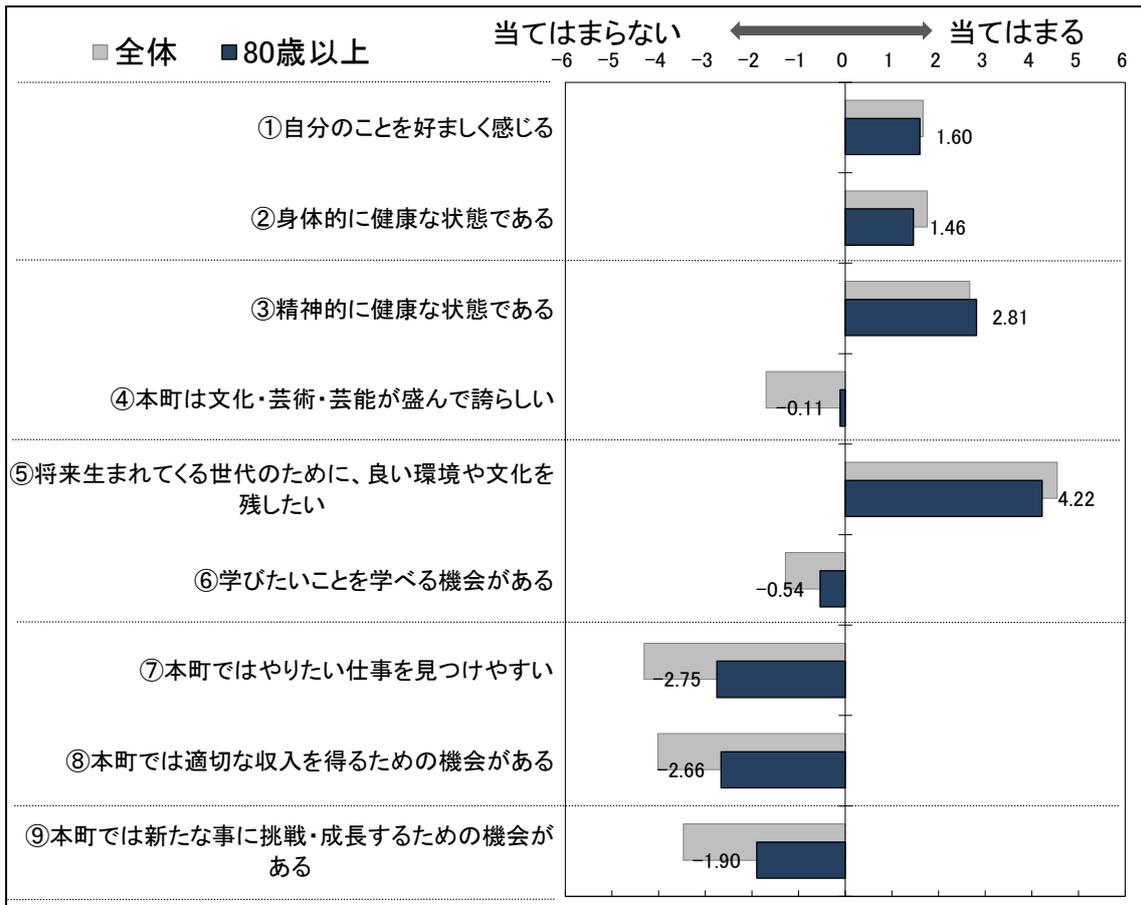


自分らしい生き方（年代別／評価点）

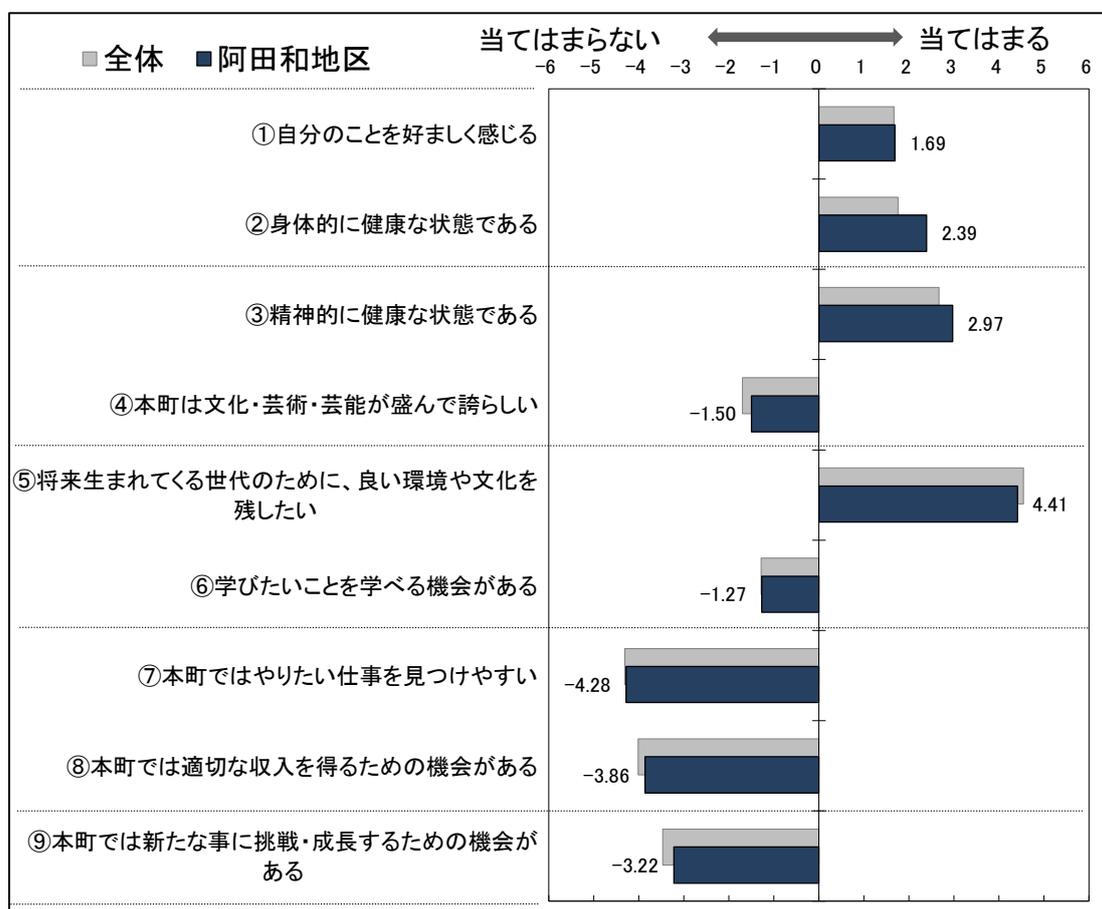
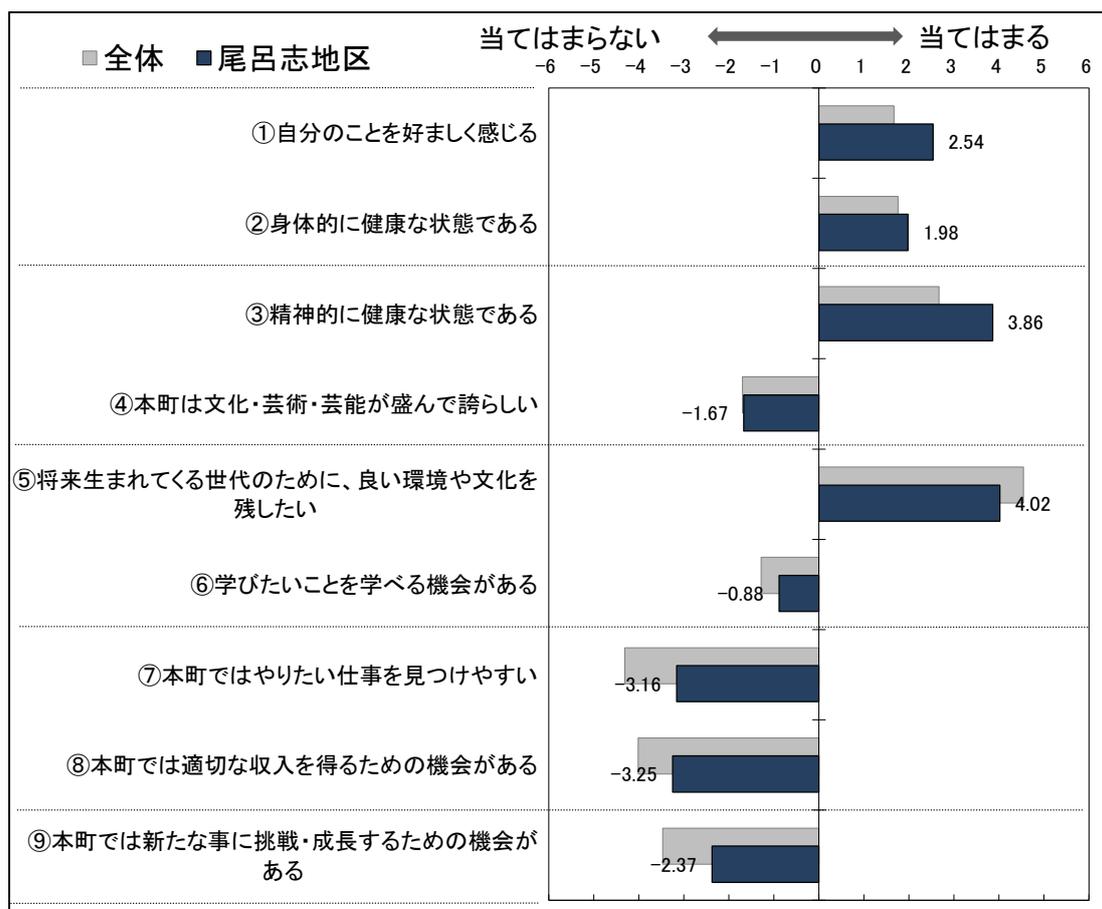


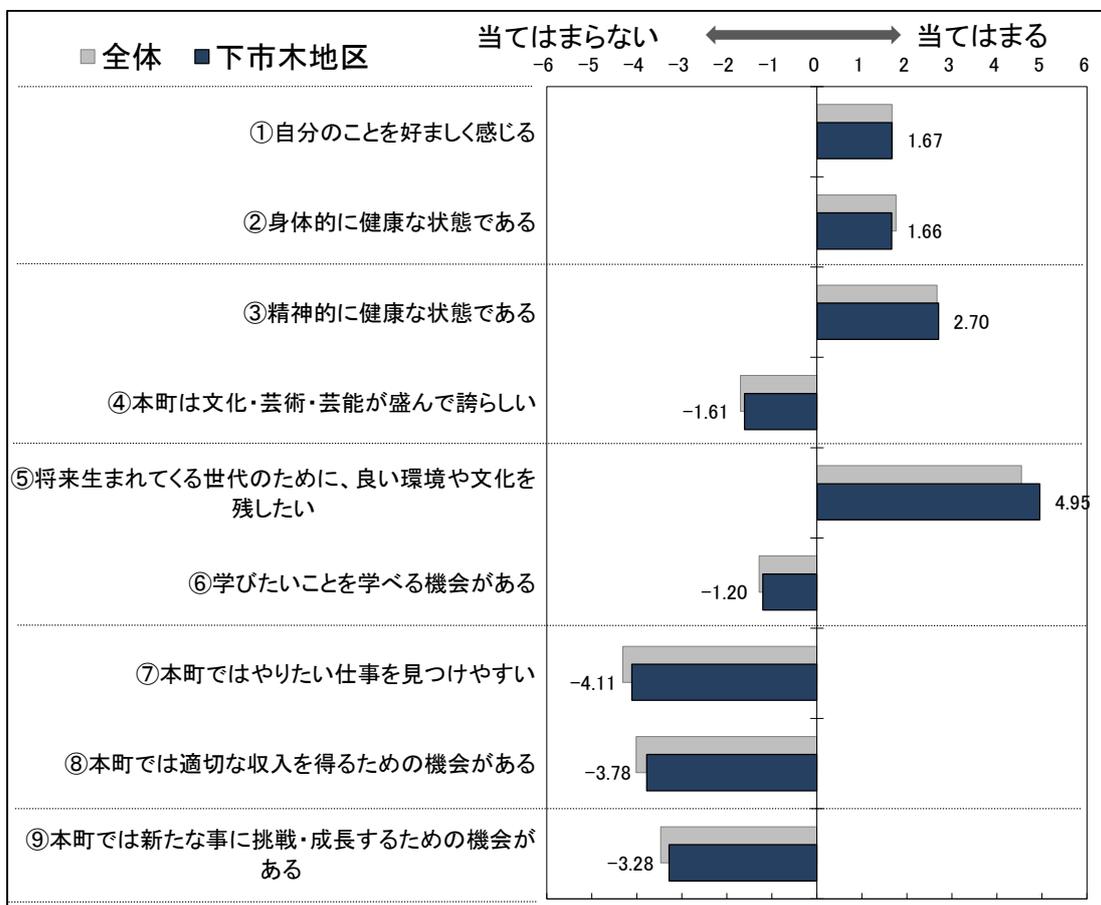
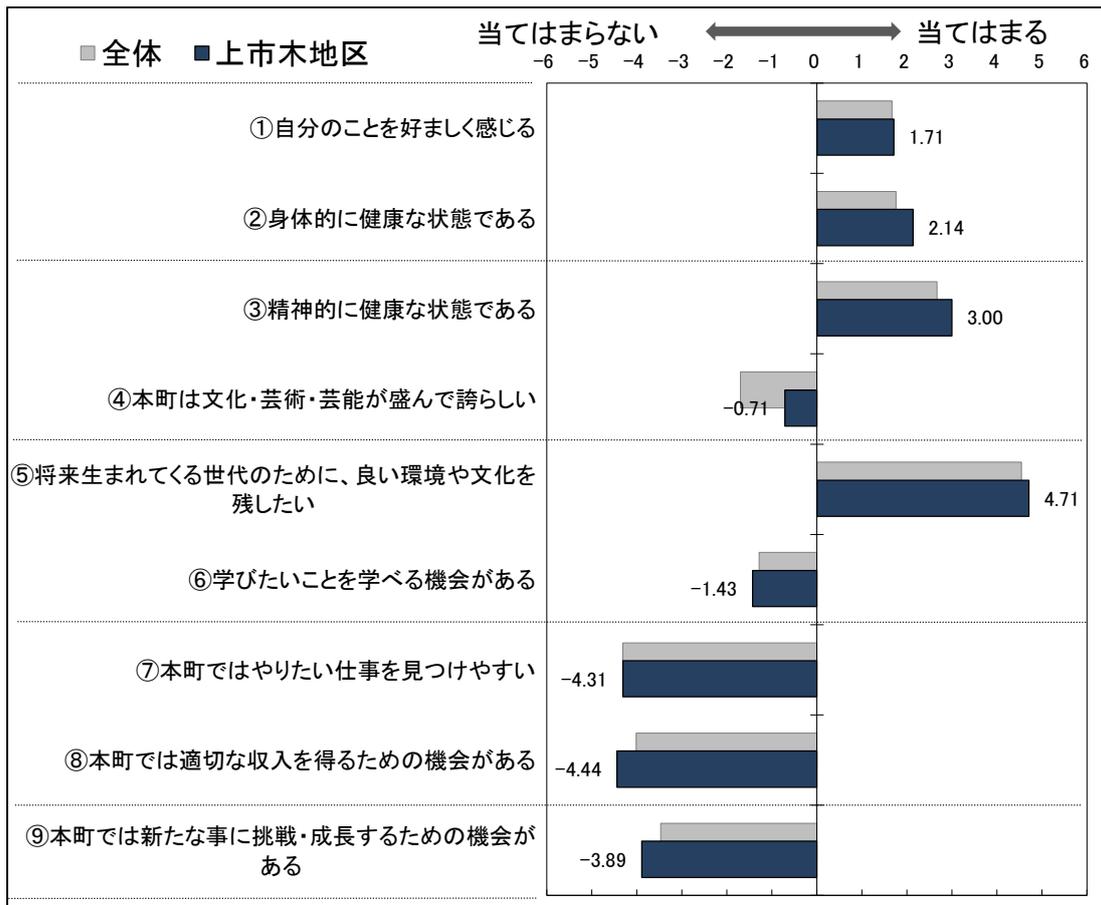


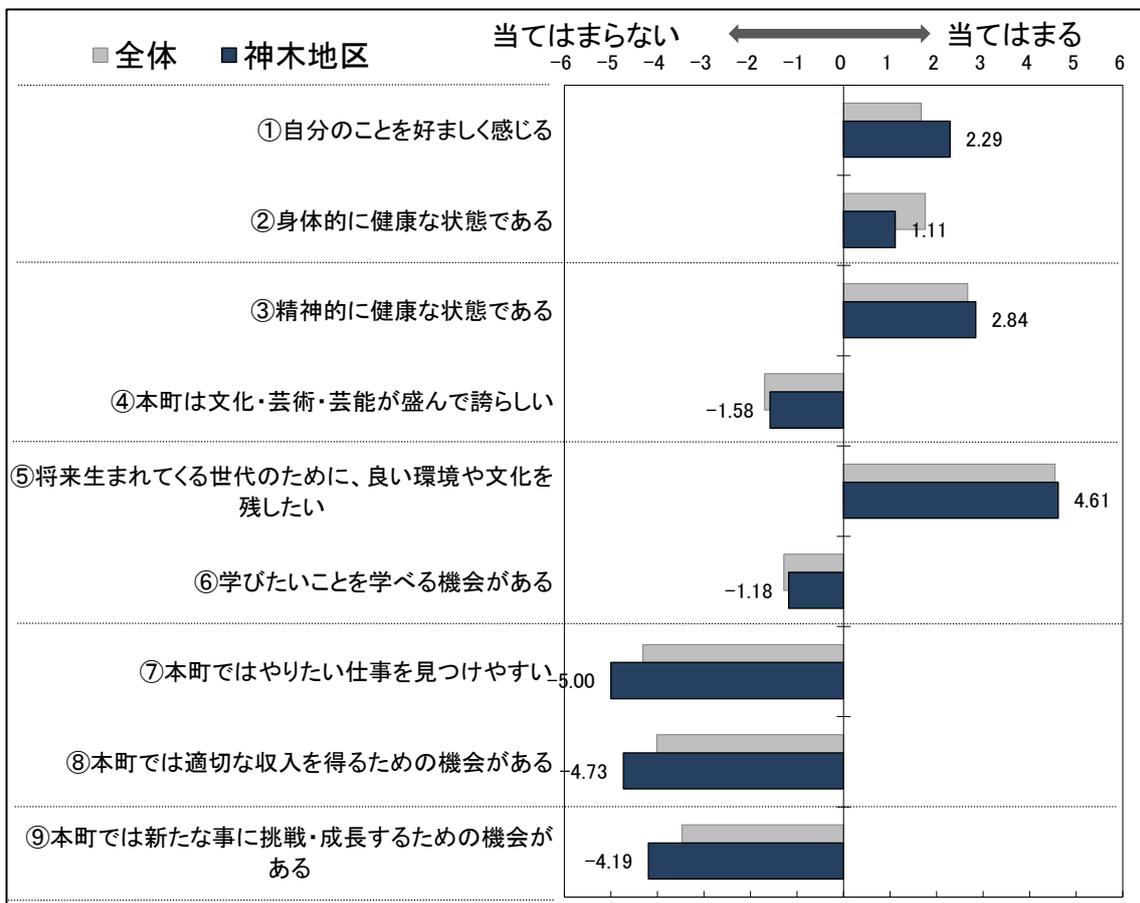
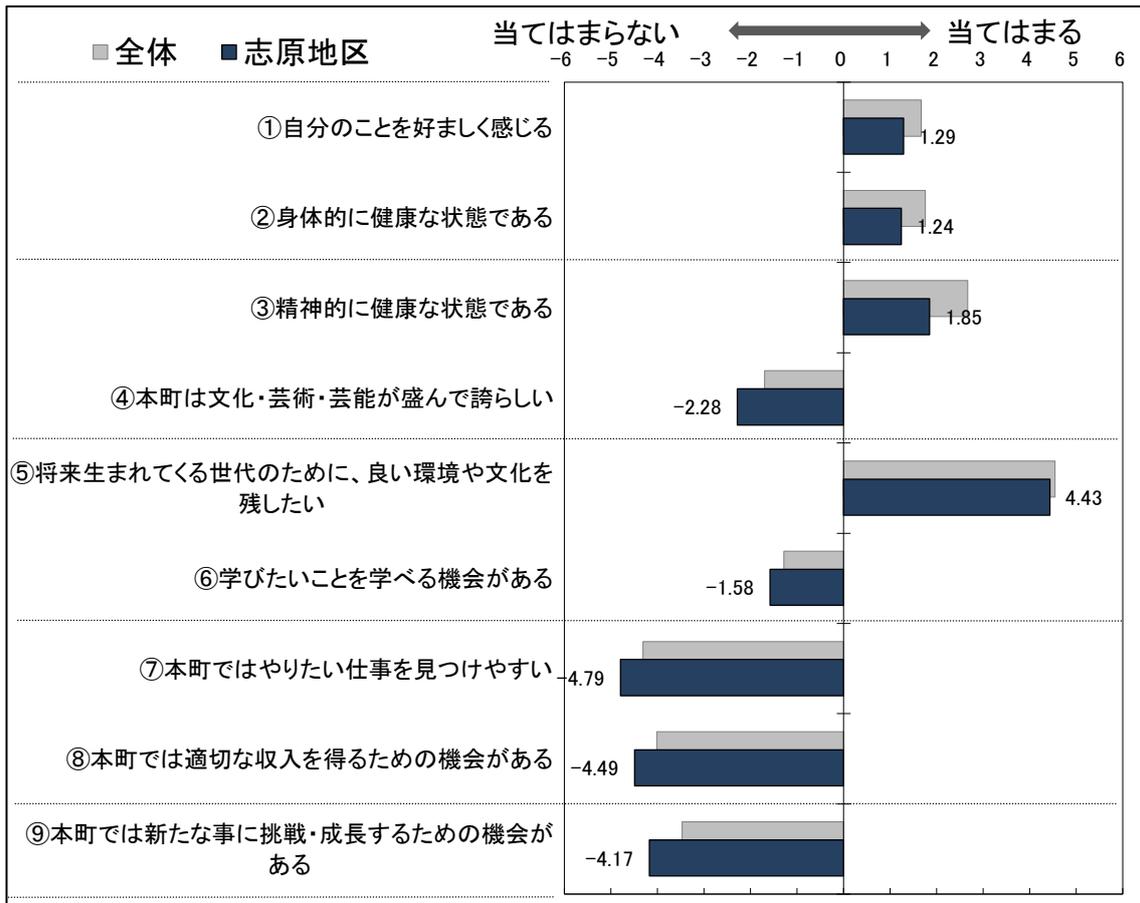




自分らしい生き方（居住地区別／評価点）







#### (4)幸福度について

問19 あなたは、御浜町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。

■ 「5点」が最も多く22.0%。次いで「7点」(19.8%)の順。

御浜町での暮らしの幸福度については、「5点」が最も多く22.0%、次いで「7点」(19.8%)、「6点」(15.2%)の順となっており、平均6.1点となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群(57.0%)が最も多く、次いで高得点群(21.4%)となっています。

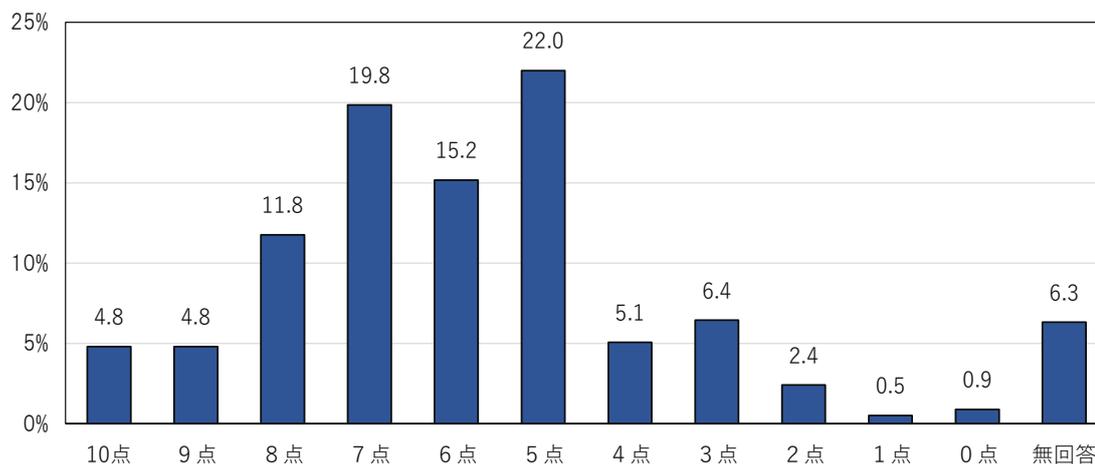
性別でみると、男性は「7点」(20.6%)、女性は「5点」(25.1%)が多く、得点群では大きな違いはありません。

年齢別でみると、10-20代と30代は「7点」と「8点」が多く、40代と50代は「7点」、60代以上は「5点」が多くなっています。高得点群は40代、50代、80歳以上が多く、低得点群は30代と40代が多くなっています。

居住地区別でみると、尾呂志地区は「8点」、阿田和地区と下市木地区は「7点」、その他の地区は「5点」が多くなっています。高得点群は尾呂志地区と上市木地区が多くなっています。

#### 御浜町での暮らしの幸福度について（全体）

令和6年(n=791)



御浜町での暮らしの幸福度について（全体、性別、年齢別、居住地区別）

		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
（％）												
全体 (n=791)		4.8	4.8	11.8	19.8	15.2	22.0	5.1	6.4	2.4	0.5	0.9
性別	男性 (n=359)	3.9	5.3	10.9	20.6	19.2	18.4	3.3	7.0	3.3	0.8	0.8
	女性 (n=423)	5.7	4.5	12.8	19.1	12.1	25.1	6.4	6.1	1.4	0.2	0.7
年齢別	10-20代 (n=40)	5.0	0.0	7.5	27.5	20.0	20.0	12.5	2.5	2.5	0.0	0.0
	30代 (n=58)	6.9	6.9	6.9	15.5	13.8	22.4	6.9	15.5	1.7	0.0	0.0
	40代 (n=92)	6.5	4.3	15.2	19.6	13.0	13.0	5.4	9.8	6.5	3.3	2.2
	50代 (n=98)	3.1	5.1	17.3	25.5	13.3	18.4	5.1	7.1	2.0	0.0	1.0
	60代 (n=175)	4.6	2.9	12.6	23.4	13.1	25.1	4.6	5.1	2.9	0.0	0.6
	70代 (n=202)	3.0	5.9	9.4	15.3	17.3	25.7	5.0	6.9	2.0	0.0	1.0
	80歳以上 (n=120)	6.7	6.7	11.7	16.7	17.5	20.8	2.5	1.7	0.0	0.8	0.0
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	11.1	3.2	20.6	19.0	11.1	12.7	0.0	11.1	3.2	0.0	0.0
	阿田和地区 (n=257)	5.1	4.7	11.7	19.8	16.7	19.5	5.8	5.1	2.3	0.8	0.8
	上市木地区 (n=39)	2.6	5.1	20.5	5.1	15.4	25.6	7.7	10.3	0.0	2.6	0.0
	下市木地区 (n=195)	4.6	6.2	11.3	24.6	12.3	23.6	3.1	6.7	2.1	0.5	1.0
	志原地区 (n=187)	4.3	5.3	8.6	17.6	17.6	24.6	6.4	5.3	2.7	0.0	1.1
	神木地区 (n=41)	0.0	0.0	9.8	19.5	17.1	26.8	9.8	7.3	2.4	0.0	0.0

		8-10点 高得点群	5-7点 中得点群	0-4点 低得点群
（％）				
全体 (n=791)		21.4	57.0	15.3
性別	男性 (n=359)	20.1	58.2	15.2
	女性 (n=423)	23.0	56.3	14.8
年齢別	10-20代 (n=40)	12.5	67.5	17.5
	30代 (n=58)	20.7	51.7	24.1
	40代 (n=92)	26.0	45.6	27.2
	50代 (n=98)	25.5	57.2	15.2
	60代 (n=175)	20.1	61.6	13.2
	70代 (n=202)	18.3	58.3	14.9
	80歳以上 (n=120)	25.1	55.0	5.0
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	34.9	42.8	14.3
	阿田和地区 (n=257)	21.5	56.0	14.8
	上市木地区 (n=39)	28.2	46.1	20.6
	下市木地区 (n=195)	22.1	60.5	13.4
	志原地区 (n=187)	18.2	59.8	15.5
	神木地区 (n=41)	9.8	63.4	19.5

※「無回答」は非掲載

問20 あなたは、現在住んでいる地域での暮らしにどの程度「満足」していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

■ 「5点」が最も多く21.5%。次いで「7点」(18.2%)の順。

現在住んでいる地域での暮らしの幸福度については、「5点」が21.5%と最も多く、次いで「7点」(18.2%)、「6点」(15.0%)の順となっており、平均6.0点となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群(54.7%)が最も多く、次いで高得点群(22.3%)となっています。

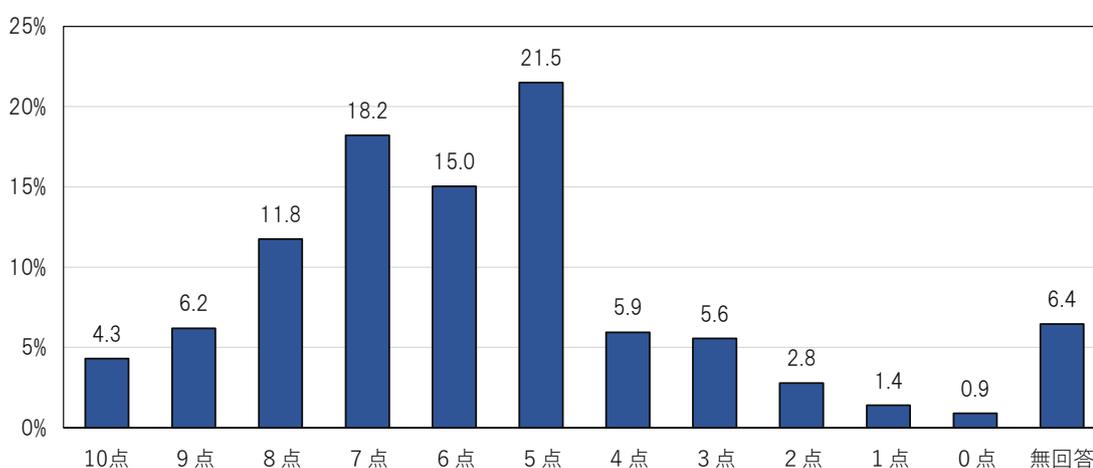
性別でみると、男性は「6点」(19.5%)、女性は「5点」(24.1%)が多く、得点群では大きな違いはありません。

年齢別でみると、50代は「7点」ですが、その他の年代は「5点」が多くなっています。高得点群は40代、80歳以上が多く、中得点群は50代、低得点群は40代以下の年代が多くなっています。

居住地区別でみると、尾呂志地区は「8点」、阿田和地区と神木地区は「7点」、その他の地区は「5点」が多くなっています。高得点群は尾呂志地区が多くなっています。

#### 現在住んでいる地域での暮らしの幸福度について（全体）

令和6年(n=791)



現在住んでいる地域での暮らしの幸福度について（全体、性別、年齢別、居住地区別）

		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
		（%）										
全体 (n=791)		4.3	6.2	11.8	18.2	15.0	21.5	5.9	5.6	2.8	1.4	0.9
性別	男性 (n=359)	3.9	7.0	11.4	18.4	19.5	18.7	3.3	5.8	2.5	1.9	1.1
	女性 (n=423)	4.7	5.7	12.1	18.2	11.6	24.1	8.0	5.2	3.1	0.7	0.5
年齢別	10-20代 (n=40)	5.0	0.0	12.5	15.0	17.5	20.0	20.0	5.0	2.5	0.0	0.0
	30代 (n=58)	3.4	3.4	10.3	20.7	5.2	27.6	8.6	10.3	3.4	3.4	0.0
	40代 (n=92)	5.4	4.3	14.1	19.6	13.0	19.6	2.2	7.6	5.4	5.4	2.2
	50代 (n=98)	2.0	5.1	14.3	23.5	17.3	19.4	3.1	5.1	4.1	2.0	2.0
	60代 (n=175)	3.4	4.6	15.4	17.7	17.7	20.6	7.4	5.1	1.7	0.6	0.6
	70代 (n=202)	4.0	6.9	8.9	15.8	18.3	22.3	4.5	6.9	2.5	0.5	0.5
	80歳以上 (n=120)	6.7	13.3	7.5	17.5	10.0	21.7	5.8	0.8	1.7	0.0	0.0
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	6.3	4.8	22.2	20.6	12.7	14.3	0.0	9.5	1.6	0.0	0.0
	阿田和地区 (n=257)	3.5	6.6	11.7	21.0	14.4	18.3	6.2	3.1	3.5	2.3	1.2
	上市木地区 (n=39)	5.1	12.8	7.7	10.3	5.1	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0
	下市木地区 (n=195)	5.6	5.1	13.8	17.9	15.4	21.5	5.6	7.2	1.5	1.0	1.0
	志原地区 (n=187)	4.3	7.0	8.0	13.9	19.3	25.7	5.3	5.3	3.2	1.1	0.5
	神木地区 (n=41)	0.0	2.4	7.3	24.4	14.6	22.0	14.6	7.3	0.0	0.0	0.0

		8-10点 高得点群	5-7点 中得点群	0-4点 低得点群
		（%）		
全体 (n=791)		22.3	54.7	16.6
性別	男性 (n=359)	22.3	56.6	14.6
	女性 (n=423)	22.5	53.9	17.5
年齢別	10-20代 (n=40)	17.5	52.5	27.5
	30代 (n=58)	17.1	53.5	25.7
	40代 (n=92)	23.8	52.2	22.8
	50代 (n=98)	21.4	60.2	16.3
	60代 (n=175)	23.4	56.0	15.4
	70代 (n=202)	19.8	56.4	14.9
	80歳以上 (n=120)	27.5	49.2	8.3
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	33.3	47.6	11.1
	阿田和地区 (n=257)	21.8	53.7	16.3
	上市木地区 (n=39)	25.6	46.2	23.1
	下市木地区 (n=195)	24.5	54.8	16.3
	志原地区 (n=187)	19.3	58.9	15.4
	神木地区 (n=41)	9.7	61.0	21.9

※「無回答」は非掲載

問21 あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれぐらい「幸せ」だと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（ご自分の同居家族は対象外とします。）

■ 「5点」が最も多く33.1%。次いで「6点」（18.7%）の順。

町内（集落）の人々の幸福度については、「5点」が33.1%と最も多く、次いで「6点」（18.7%）、「7点」（16.9%）の順となっており、平均5.8点となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群（68.7%）が最も多く、次いで高得点群（12.9%）となっています。

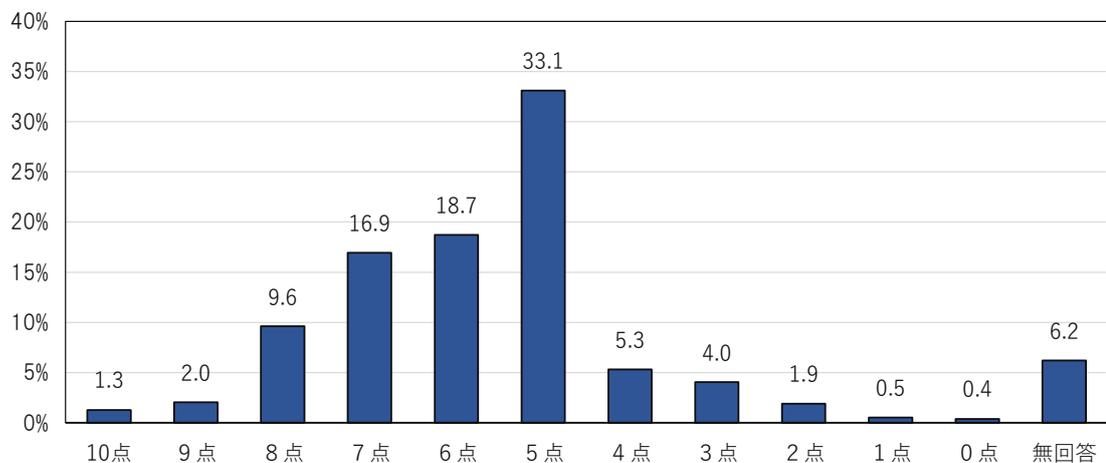
性別でみると、男女による大きな違いはありません。

年齢別でみると、全ての年代で「5点」が多くなっています。得点群による大きな違いはありません。

居住地区別でみると、全ての地区で「5点」が多くなっています。高得点群は尾呂志地区、低得点群は神木地区が多くなっています。

町内（集落）の人々の幸福度について（全体）

令和6年(n=791)



町内（集落）の人々の幸福度について（全体、性別、年齢別、居住地区別）

		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
(% )												
全体 (n=791)		1.3	2.0	9.6	16.9	18.7	33.1	5.3	4.0	1.9	0.5	0.4
性別	男性 (n=359)	0.6	1.1	10.3	17.0	19.2	31.8	5.6	3.6	2.8	1.1	0.6
	女性 (n=423)	1.9	2.8	9.0	17.0	18.4	34.3	5.2	4.3	1.2	0.0	0.0
年齢別	10-20代 (n=40)	2.5	2.5	10.0	25.0	22.5	25.0	10.0	0.0	2.5	0.0	0.0
	30代 (n=58)	0.0	0.0	10.3	17.2	15.5	36.2	5.2	10.3	0.0	1.7	0.0
	40代 (n=92)	0.0	1.1	14.1	18.5	17.4	29.3	2.2	5.4	6.5	2.2	0.0
	50代 (n=98)	5.1	1.0	9.2	17.3	26.5	32.7	2.0	4.1	1.0	0.0	0.0
	60代 (n=175)	0.0	1.7	8.6	17.7	21.1	32.0	10.3	1.1	1.1	0.0	0.6
	70代 (n=202)	0.0	3.0	6.9	15.3	16.3	37.1	4.0	5.4	2.0	0.0	0.5
	80歳以上 (n=120)	3.3	3.3	10.8	14.2	14.2	33.3	4.2	3.3	0.8	0.8	0.0
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	1.6	3.2	15.9	12.7	20.6	25.4	1.6	9.5	1.6	0.0	0.0
	阿田和地区 (n=257)	1.9	1.6	7.0	17.1	22.6	31.9	4.3	3.5	2.3	1.6	0.0
	上市木地区 (n=39)	2.6	0.0	12.8	20.5	12.8	33.3	5.1	2.6	5.1	0.0	0.0
	下市木地区 (n=195)	1.0	1.5	11.8	19.0	14.9	35.9	5.1	3.1	1.0	0.0	0.5
	志原地区 (n=187)	0.5	3.7	8.6	17.6	17.1	34.2	6.4	4.3	1.1	0.0	0.5
	神木地区 (n=41)	0.0	0.0	7.3	7.3	24.4	36.6	12.2	4.9	4.9	0.0	0.0

		8-10点 高得点群	5-7点 中得点群	0-4点 低得点群
(% )				
全体 (n=791)		12.9	68.7	12.1
性別	男性 (n=359)	12.0	68.0	13.7
	女性 (n=423)	13.7	69.7	10.7
年齢別	10-20代 (n=40)	15.0	72.5	12.5
	30代 (n=58)	10.3	68.9	17.2
	40代 (n=92)	15.2	65.2	16.3
	50代 (n=98)	15.3	76.5	7.1
	60代 (n=175)	10.3	70.8	13.1
	70代 (n=202)	9.9	68.7	11.9
	80歳以上 (n=120)	17.4	61.7	9.1
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	20.7	58.7	12.7
	阿田和地区 (n=257)	10.5	71.6	11.7
	上市木地区 (n=39)	15.4	66.6	12.8
	下市木地区 (n=195)	14.3	69.8	9.7
	志原地区 (n=187)	12.8	68.9	12.3
	神木地区 (n=41)	7.3	68.3	22.0

※「無回答」は非掲載

問22 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

■ 「5点」が最も多く26.0%。次いで「7点」(14.9%)の順。

今から5年後の暮らしの幸福度については、「5点」が26.0%と最も多く、次いで「7点」(14.9%)、「6点」(13.1%)の順となっており、平均5.6点となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群(54.0%)が最も多く、次いで低得点群(23.1%)となっています。

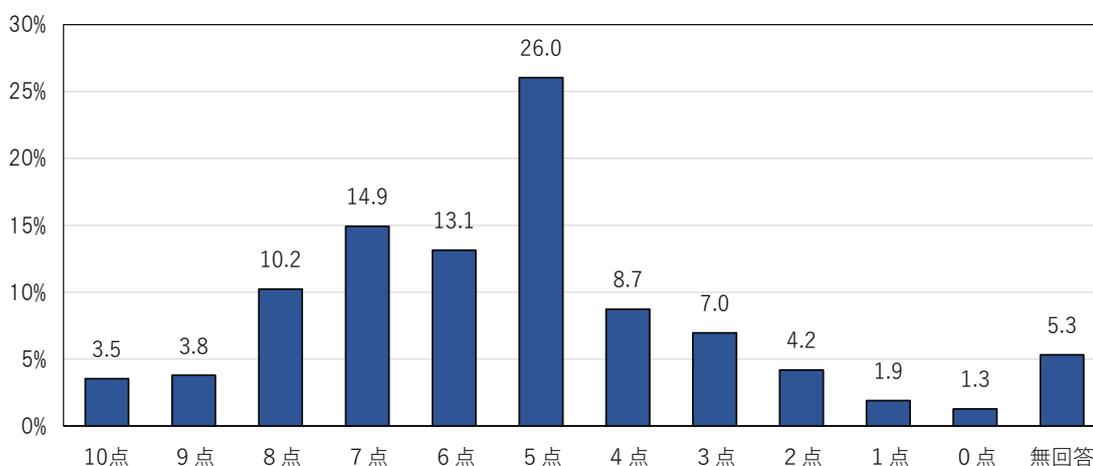
性別で見ると、男女による大きな違いはありません。

年齢別で見ると、10-20代は「4点」、その他の年代は「5点」が多くなっています。高得点群は40代以下の年代が多く、中得点群は50代と60代が多く、低得点群は40代が多くなっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区は「6点」、その他の地区は「5点」が多くなっています。高得点群は尾呂志地区が多く、低得点群は神木地区が多くなっています。

#### 今から5年後の暮らしの幸福度について (全体)

令和6年(n=791)



今から5年後の暮らしの幸福度について（全体、性別、年齢別、居住地区別）

		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
		（%）										
全体 (n=791)		3.5	3.8	10.2	14.9	13.1	26.0	8.7	7.0	4.2	1.9	1.3
性別	男性 (n=359)	2.5	2.8	10.6	15.3	15.3	26.5	7.5	6.7	4.2	1.9	1.4
	女性 (n=423)	4.5	4.7	9.9	14.4	11.3	26.0	9.7	7.3	4.3	1.4	1.2
年齢別	10-20代 (n=40)	10.0	5.0	12.5	12.5	17.5	15.0	20.0	2.5	2.5	0.0	0.0
	30代 (n=58)	6.9	3.4	13.8	17.2	13.8	17.2	6.9	6.9	10.3	0.0	0.0
	40代 (n=92)	4.3	6.5	12.0	14.1	14.1	18.5	9.8	6.5	7.6	3.3	2.2
	50代 (n=98)	8.2	2.0	13.3	21.4	14.3	25.5	5.1	4.1	2.0	2.0	1.0
	60代 (n=175)	1.1	4.0	8.0	16.0	16.6	27.4	8.0	8.0	3.4	1.7	1.1
	70代 (n=202)	1.0	3.0	8.4	10.4	10.4	34.7	7.9	9.4	3.5	1.5	2.0
	80歳以上 (n=120)	2.5	4.2	10.0	15.8	10.0	24.2	10.0	5.8	3.3	2.5	0.8
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	6.3	9.5	15.9	14.3	17.5	14.3	1.6	6.3	3.2	1.6	1.6
	阿田和地区 (n=257)	3.1	4.3	10.5	14.0	12.8	24.1	8.2	9.3	5.1	1.9	1.6
	上市木地区 (n=39)	2.6	2.6	7.7	17.9	7.7	33.3	10.3	2.6	7.7	5.1	0.0
	下市木地区 (n=195)	3.1	3.6	10.3	16.4	12.3	29.7	10.3	4.1	3.1	0.5	1.0
	志原地区 (n=187)	4.8	2.1	9.6	13.9	14.4	27.8	8.0	6.4	3.7	2.1	1.6
	神木地区 (n=41)	0.0	2.4	4.9	14.6	14.6	26.8	17.1	9.8	4.9	0.0	0.0

		8-10点 高得点群	5-7点 中得点群	0-4点 低得点群
		（%）		
全体 (n=791)		17.5	54.0	23.1
性別	男性 (n=359)	15.9	57.1	21.7
	女性 (n=423)	19.1	51.7	23.9
年齢別	10-20代 (n=40)	27.5	45.0	25.0
	30代 (n=58)	24.1	48.2	24.1
	40代 (n=92)	22.8	46.7	29.4
	50代 (n=98)	23.5	61.2	14.2
	60代 (n=175)	13.1	60.0	22.2
	70代 (n=202)	12.4	55.5	24.3
	80歳以上 (n=120)	16.7	50.0	22.4
居住地区別	尾呂志地区 (n=63)	31.7	46.1	14.3
	阿田和地区 (n=257)	17.9	50.9	26.1
	上市木地区 (n=39)	12.9	58.9	25.7
	下市木地区 (n=195)	17.0	58.4	19.0
	志原地区 (n=187)	16.5	56.1	21.8
	神木地区 (n=41)	7.3	56.0	31.8

※「無回答」は非掲載

また、問 19 で訪ねた現在の幸福度と問 22 の 5 年後の幸福度を比較すると、全体では中・高得点群がやや減少し低得点群がやや増加する傾向がみられます。

性別では、男女による大きな違いはありません。

年齢別でみると、10-20 代は中得点群が減少し高得点群と低得点群が増加しています。30 代から 50 代は大きな変化はありません。60 代以上は中・高得点群がやや減少し低得点群がやや増加する傾向がみられます。

居住地区別でみると、尾呂志地区と下市木地区、志原地区は大きな変化はありませんが、阿田和地区と神木地区は中・高得点群がやや減少し低得点群がやや増加する傾向、上市木地区は高得点群が減少し中得点群と低得点群が増加する傾向がみられます。

現在（問 19）と今から 5 年後の暮らしの幸福度について  
（全体、性別、年齢別、居住地区別）

		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	8-10 高得点群	5-7 中得点群	0-4 低得点群
（％）															
	全体 (n=791)	4.8	4.8	11.8	19.8	15.2	22.0	5.1	6.4	2.4	0.5	0.9	21.4	57.0	15.3
	全体 5年後(n=791)	3.5	3.8	10.2	14.9	13.1	26.0	8.7	7.0	4.2	1.9	1.3	17.5	54.0	23.1
性別	男性 (n=359)	3.9	5.3	10.9	20.6	19.2	18.4	3.3	7.0	3.3	0.8	0.8	20.1	58.2	15.2
	男性 5年後(n=359)	2.5	2.8	10.6	15.3	15.3	26.5	7.5	6.7	4.2	1.9	1.4	15.9	57.1	21.7
	女性 (n=423)	5.7	4.5	12.8	19.1	12.1	25.1	6.4	6.1	1.4	0.2	0.7	23.0	56.3	14.8
	女性 5年後(n=423)	4.5	4.7	9.9	14.4	11.3	26.0	9.7	7.3	4.3	1.4	1.2	19.1	51.7	23.9
年齢別	10-20代(n=40)	5.0	0.0	7.5	27.5	20.0	20.0	12.5	2.5	2.5	0.0	0.0	12.5	67.5	17.5
	10-20代 5年後(n=40)	10.0	5.0	12.5	12.5	17.5	15.0	20.0	2.5	2.5	0.0	0.0	27.5	45.0	25.0
	30代(n=58)	6.9	6.9	6.9	15.5	13.8	22.4	6.9	15.5	1.7	0.0	0.0	20.7	51.7	24.1
	30代 5年後(n=58)	6.9	3.4	13.8	17.2	13.8	17.2	6.9	6.9	10.3	0.0	0.0	24.1	48.2	24.1
	40代(n=92)	6.5	4.3	15.2	19.6	13.0	13.0	5.4	9.8	6.5	3.3	2.2	26.0	45.6	27.2
	40代 5年後(n=92)	4.3	6.5	12.0	14.1	14.1	18.5	9.8	6.5	7.6	3.3	2.2	22.8	46.7	29.4
	50代(n=98)	3.1	5.1	17.3	25.5	13.3	18.4	5.1	7.1	2.0	0.0	1.0	25.5	57.2	15.2
	50代 5年後(n=98)	8.2	2.0	13.3	21.4	14.3	25.5	5.1	4.1	2.0	2.0	1.0	23.5	61.2	14.2
	60代(n=175)	4.6	2.9	12.6	23.4	13.1	25.1	4.6	5.1	2.9	0.0	0.6	20.1	61.6	13.2
	60代 5年後(n=175)	1.1	4.0	8.0	16.0	16.6	27.4	8.0	8.0	3.4	1.7	1.1	13.1	60.0	22.2
	70代(n=202)	3.0	5.9	9.4	15.3	17.3	25.7	5.0	6.9	2.0	0.0	1.0	18.3	58.3	14.9
	70代 5年後(n=202)	1.0	3.0	8.4	10.4	10.4	34.7	7.9	9.4	3.5	1.5	2.0	12.4	55.5	24.3
80歳以上(n=120)	6.7	6.7	11.7	16.7	17.5	20.8	2.5	1.7	0.0	0.8	0.0	25.1	55.0	5.0	
80歳以上 5年後(n=120)	2.5	4.2	10.0	15.8	10.0	24.2	10.0	5.8	3.3	2.5	0.8	16.7	50.0	22.4	
居住地区別	尾呂志地区(n=63)	11.1	3.2	20.6	19.0	11.1	12.7	0.0	11.1	3.2	0.0	0.0	34.9	42.8	14.3
	尾呂志地区 5年後(n=63)	6.3	9.5	15.9	14.3	17.5	14.3	1.6	6.3	3.2	1.6	1.6	31.7	46.1	14.3
	阿田和地区(n=257)	5.1	4.7	11.7	19.8	16.7	19.5	5.8	5.1	2.3	0.8	0.8	21.5	56.0	14.8
	阿田和地区 5年後(n=257)	3.1	4.3	10.5	14.0	12.8	24.1	8.2	9.3	5.1	1.9	1.6	17.9	50.9	26.1
	上市木地区(n=39)	2.6	5.1	20.5	5.1	15.4	25.6	7.7	10.3	0.0	2.6	0.0	28.2	46.1	20.6
	上市木地区 5年後(n=39)	2.6	2.6	7.7	17.9	7.7	33.3	10.3	2.6	7.7	5.1	0.0	12.9	58.9	25.7
	下市木地区(n=195)	4.6	6.2	11.3	24.6	12.3	23.6	3.1	6.7	2.1	0.5	1.0	22.1	60.5	13.4
	下市木地区 5年後(n=195)	3.1	3.6	10.3	16.4	12.3	29.7	10.3	4.1	3.1	0.5	1.0	17.0	58.4	19.0
	志原地区(n=187)	4.3	5.3	8.6	17.6	17.6	24.6	6.4	5.3	2.7	0.0	1.1	18.2	59.8	15.5
	志原地区 5年後(n=187)	4.8	2.1	9.6	13.9	14.4	27.8	8.0	6.4	3.7	2.1	1.6	16.5	56.1	21.8
	神木地区(n=41)	0.0	0.0	9.8	19.5	17.1	26.8	9.8	7.3	2.4	0.0	0.0	9.8	63.4	19.5
	神木地区 5年後(n=41)	0.0	2.4	4.9	14.6	14.6	26.8	17.1	9.8	4.9	0.0	0.0	7.3	56.0	31.8

## (5)地域幸福度(Well-Being)指標について

■主観データの上位の因子は、「地域とのつながり」、「自己効力感」、「自然の恵み」など。下位の因子は「買物・飲食」、「雇用・所得」、「遊び・娯楽」など。

問 16（生活環境）、問 17（地域の人間関係）、問 18（自分らしい生き方）について、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-J）により、「生活環境」、「地域の人間関係」、「自分らしい生き方」の3つの因子群及び24の因子（カテゴリー・評価指標）として整理され、地域幸福度（Well-Being）指標における主観データとしてまとめられています。

また、24の因子（カテゴリー・評価指標）は各種統計データなど様々なオープンデータで構成されている客観データとともに設定されており、主観データと比較できるように整理されています。

本町における主観データの上位の因子は、「地域とのつながり」（80.0）、「自己効力感」（74.2）、「自然の恵み」（71.3）、「健康状態」（67.7）、「住宅環境」（67.1）などの順となっています。

また、下位の因子は、「買物・飲食」（20.0）、「雇用・所得」（23.6）、「遊び・娯楽」（25.7）、「事業創造」（27.5）、「初等・中等教育」（29.8）などとなっています。

### カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

主観データ：主観データは自分自身で感じる認識や感覚に基づいたデータで、アンケート調査などによって収集されたもの。  
客観データ：各種オープンデータなどから得られる数値をもとにしたもの。

因子別主観データ及び客観データ

因子群	カテゴリ・評価指標	主観データ	客観データ	SWOT
生活環境	医療・福祉	37.8	54.8	WO
生活環境	買物・飲食	20.0	43.8	WT
生活環境	住宅環境	67.1	55.1	SO
生活環境	移動・交通	32.5	36.9	WT
生活環境	遊び・娯楽	25.7	44.3	WT
生活環境	子育て	40.5	45.9	WT
生活環境	初等・中等教育	29.8	60.4	WO
生活環境	地域行政	41.9	36.0	WT
生活環境	デジタル生活	44.2	29.5	WT
生活環境	公共空間	39.6	39.1	WT
生活環境	都市景観	42.0	35.6	WT
生活環境	事故・犯罪	52.9	60.8	SO
生活環境	自然景観	60.4	68.2	SO
生活環境	自然の恵み	71.3	66.3	SO
生活環境	環境共生	62.2	55.1	SO
生活環境	自然災害	59.0	45.6	ST
地域の間人間関係	地域とのつながり	80.0	50.4	SO
地域の間人間関係	多様性と寛容性	56.5	34.1	ST
自分らしい生き方	自己効力感	74.2	80.0	SO
自分らしい生き方	健康状態	67.7	40.9	ST
自分らしい生き方	文化・芸術	63.8	45.5	ST
自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	37.0	44.5	WT
自分らしい生き方	雇用・所得	23.6	49.1	WT
自分らしい生き方	事業創造	27.5	43.6	WT

※データは偏差値 偏差値 50 は全国の都市の平均値

SO（緑色）：主観と客観の偏差値 50 以上

ST（水色）：主観 50 以上、客観 50 未満

WO（黄色）：主観 50 未満、客観 50 以上

WT（ピンク色）：主観と客観の偏差値 50 未満

## SWOT分析

	T (脅威)	O (機会)
<b>S</b> (強み)	<p style="text-align: center;"><b>(主観 50 以上、客観 50 未満)</b></p> 自然災害 多様性と寛容性 健康状態 文化・芸術	<p style="text-align: center;"><b>(主観と客観の偏差値 50 以上)</b></p> 住宅環境 事故・犯罪 自然景観 自然の恵み 環境共生 地域とのつながり 自己効力感
<b>W</b> (弱み)	<p style="text-align: center;"><b>(主観と客観の偏差値 50 未満)</b></p> 買物・飲食 移動・交通 遊び・娯楽 子育て 地域行政 デジタル生活 公共空間 都市景観 教育機会の豊かさ 雇用・所得 事業創造	<p style="text-align: center;"><b>(主観 50 未満、客観 50 以上)</b></p> 医療・福祉 初等・中等教育

ST：住民は強いと思っているが、客観的にはそうでもない。

⇒やがて劣化していくことが予想される

WO：客観的には強いが、住民が気づいていない（当たり前になりすぎている）

⇒知ることにより認識が変わる可能性がある。SOへの可能性。

SO：強み

WT：弱み

### ※SWOT (スワット) 分析

・Strength (強み)、Weakness (弱み)、Occasion (機会)、Threat (脅威) の各要素で分類されており、「強み」、「弱み」はまちの内部環境に関すること、「機会」、「脅威」はまちの外部環境に関すること。例えば「機会」は●年度に●●施設が建設予定、●●イベントが開催される、など。「脅威」は少子高齢化、人口減少の進行、想定外の自然災害の発生、など。「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」をマトリックスで分析し対応策や活用手法を検討すること。